2011年度
授業要覧

国際政治経済学部
履修ガイド

青山学院大学

教育方針・理念

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人とに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力を持つ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

総目次

Ⅰ．学事暦等…… 2

（2011年度年間スケジュール／キリスト教学事暦／教会暦・行事／キリスト教活動プログラム／個人情報の取扱いについて）

Ⅱ．大学での学習活動について…… 7

1　大学での学習とは（カリキュラム／履修）

2　単位（単位制／単位とは／単位数／既修得単位の認定／協定校・認定校留学による単位認定）

3　授業科目の種類と配置（授業科目の種類／履修年次／履修順序）

Ⅲ．履修について…… 10

1　履修計画（履修計画の立案／履修計画上の注意）

2　履修登録（履修登録の方法／履修登録の確認と修正／履修登録について／履修取消制度について／履修取消申請方法）

Ⅳ．学部履修要項…… 15

Ⅴ．授業について…… 150

1　授業（授業時間／授業教室／休講／補講／授業の欠席について）

2　大学からの伝達

3　緊急時の「授業の取り扱い」および「伝達手段」について

Ⅵ．試験・レポートについて…… 153

1　試験の種別（定期試験／平常試験／レポート／追試験）

2　定期試験の受験（定期試験時間／受験上の注意／不正行為）

3　追試験（申請資格／申請方法／追試験時間・採点）

Ⅶ．成績評価について（成績評価／G.P.A.／成績通知／成績調査）…… 157

Ⅷ．進級および卒業について（進級／卒業／9月卒業／卒業延期制度）…… 159

Ⅸ．学籍について…… 160

（修業年限／在学年限／休学／復学／退学／再入学／二重学籍／除籍／転部・転学部・転学科）

Ⅹ．教職課程（教員免許状・各種資格）について…… 162

Ⅺ．大学院について…… 179

Ⅻ．大学組織概要…… 190

1　大学役職員

2　教育・研究組織

3　教員組織

巻末　学務担当窓口について

Ⅰ．学事暦等

2011年度　年間スケジュール

前　　期

	日	月	火	水	木	金	土	
4月						1	2	4月1日(金)～8日(金)オリエンテーション＆履修ガイダンス・健康診断 4月2日(土)入学式（学部・大学院） 4月9日(土)前期授業開始
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	4月18日(月)青山キャンパス第一部所属学生履修登録最終日 4月19日(火)相模原キャンパス、青山キャンパス第二部所属学生履修登録最終日
	24	25	26	27	28	(29)	30	4月29日(金)昭和の日は授業実施日
5月	**1**	2	**3**	**4**	**5**	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					
6月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	[18]	6月18日(土)アドバイザー・グループ・デー
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30			
7月						1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	**18**	19	20	21	◇22◇	◇23◇	7月22日(金)・23日(土)補講日（第一、二部とも） 7月25日(月)～28日(木)補講日（第二部のみ）
	24	△25△	△26△	△27△	△28△	29	30	7月25日(月)～8月6日(土)前期定期試験期間
	31							
8月		1	2	3	4	5	6	8月8日(月)～9月20日(火)夏期休業期間
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				
9月					1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	**19**	20	21	22	**23**	24	9月21日(水)後期授業開始 9月24日(土) 9月学部・大学院学位授与式
	25	26	27	28	29	30		

○囲み表示日は休日授業実施日
□囲み表示日は学事上の休講日
ゴチック表示日は休・祝日
補講日（通常授業は休講）◇第一部・第二部とも
△第二部のみ

後　　期

	日	月	火	水	木	金	土	
10月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	10月８日(土)～９日(日)相模原祭期間 (８日(土)は相模原キャンパスのみ休講)
	9	⑩	11	12	13	14	15	10月10日(月)体育の日は授業実施日
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	□28	□29	10月28日(金)～10月30日(日)青山祭期間
	30	31						
11月			1	2	**3**	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	⑯	17	18	19	11月16日(水)創立記念日は授業実施日
	20	21	22	**23**	24	25	26	
	27	28	29	30				
12月					1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	**23**	24	12月24日(土)～１月５日(木)冬期休業期間
	25	26	27	28	29	30	31	
1月	**1**	**2**	3	4	5	6	7	１月６日(金)後期授業再開
	8	**9**	10	11	12	13	14	１月13日(金)センター試験準備日（実施キャンパスのみ休講）
	15	16	◇17	◇18	◇19	20	△21	１月14日(土)・15日(日)センター試験（14日は実施キャンパスのみ休講） １月17日(火)～19日(木)補講日（第一、二部とも）
	22	△23	△24	△25	26	27	28	１月21日(土)～25日(水)補講日（第二部のみ）
	29	30	31					１月21日(土)～２月３日(金)後期定期試験期間
2月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	**11**	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29				
3月					1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	**20**	21	22	23	24	３月24日(土)学部・大学院学位授与式
	25	26	27	28	29	30	31	

キリスト教学事暦

新入生歓迎礼拝（相模原）	4 月 11 日（月）～ 16 日（土）
イースター礼拝（相模原・青山）	4 月 25 日（月）
イースター礼拝（第二部）	4 月 26 日（火）
チャペル・ウィーク（前期）	5 月 23 日（月）～ 28 日（土）
ジョン・ウェスレー回心記念日礼拝（相模原・青山）	5 月 24 日（火）
ペンテコステ礼拝（相模原・青山）	6 月 13 日（月）
ペンテコステ礼拝（第二部）	6 月 14 日（火）
清里サマー・カレッジ	8 月 8 日（月）～ 10 日（水）
チャペル・ウィーク（後期）	10 月 17 日（月）～ 22 日（土）
創立記念礼拝（第二部）	11 月 15 日（火）
創立記念礼拝（相模原・青山）	11 月 16 日（水）
クリスマス・ツリー点火祭	11 月 25 日（金）
クリスマス礼拝（青山・第二部）	12 月 13 日（火）
クリスマス礼拝（相模原）	12 月 15 日（木）
卒業礼拝	3 月 24 日（土）

教会暦・行事

棕櫚の主日（Palm Sunday）	4 月 17 日（日）
受難週	4 月 17 日（日）～ 4 月 23 日（土）
聖（洗足）木曜日（Maundy Thursday）	4 月 21 日（木）
受難日（Good Friday）	4 月 22 日（金）
復活日（Easter）	4 月 24 日（日）
母の日	5 月 8 日（日）
ジョン・ウェスレー回心記念日	5 月 24 日（火）
聖霊降臨日（Pentecost）	6 月 12 日（日）
子どもの日（花の日）	6 月 12 日（日）
平和聖日	8 月 7 日（日）
世界聖餐日、世界宣教の日	10 月 2 日（日）
伝道献身者奨励日	10 月 9 日（日）
宗教改革記念日	10 月 31 日（月）
収穫感謝日、謝恩日	11 月 20 日（日）
待降節（Advent）	11 月 27 日（日）～ 12 月 24 日（土）
降誕日（Christmas）	12 月 25 日（日）
降誕節	12 月 25 日（日）～ 2012 年 1 月 5 日（木）
主顕現節（Epiphany）	1 月 6 日（金）～ 2 月 21 日（火）
信教の自由を守る日	2 月 11 日（土）
灰の水曜日（Ash Wednesday）	2 月 22 日（水）
四旬節（Lent）	2 月 22 日（水）～ 4 月 7 日（土）

キリスト教活動プログラム

キリスト教の精神のもとに建てられている青山学院大学は、その「教育方針」にも明記されているように「キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、神の前に真実に生き　真理を謙虚に追求し　愛と奉仕の精神をもって　すべての人と社会とに対する責任を　進んで果たす人間の形成を目的とする」特別な大学です。したがって、本学では、キリスト教活動プログラムを非常に重視しています。

本学における教育の特徴が他の国公立や私立の大学と異なる最もユニークな点は、このキリスト教による教育方針にあるといえます。

この教育目的を達成するために、本学には次の３つの基本的プログラムがあります。

⑴　大学礼拝　　⑵　キリスト教概論　　⑶　宗教センター活動

⑴　大学礼拝

大学では、キリスト教活動の中心に礼拝を位置づけており、時間を定めて礼拝を行っています（礼拝時間：青山･月～金 10時30分～11時 および 火 19時30分～20時、相模原・月～土 10時30分～11時）。大学礼拝は、キリスト教の信仰を土台とする学院の精神を最も具体的に示す場であるとともに、みなさんにキリスト教による人格教育を行う教育の場でもあります。また大学礼拝は教会における礼拝とは異なり、キリスト教信者だけの礼拝ではありません。礼拝出席は自由ですが、青山学院大学の独特な“スピリット”は礼拝においてよく表わされているので、礼拝を体験することなしに本学の教育を受けたとは言えないのです。

⑵　キリスト教概論

大学の必修科目の一つとして、「キリスト教概論」があります。この講義は、本学建学の精神であるキリスト教の信仰の内容を学問的に研究し、聖書を通してキリスト教の教義、歴史、神学、実践などの問題を理解するとともに、キリスト教の意義を学ぶことを目的としています。大学礼拝とキリスト教概論とは密接な関係があり、そのため礼拝レポートがキリスト教概論の中に取り入れられています。

⑶　宗教センター活動

青山学院は、プロテスタント･キリスト教信仰の上に創立された学園であり、宗教センターは、特に、メソジスト教会の創始者、ジョンおよびチャールズ･ウェスレー兄弟の信仰的伝統を重んじ、キリスト教活動を行っています。青山キャンパスは間島記念館１階に、相模原キャンパスはＣ棟（チャペル）１階にそれぞれ宗教センターがあり、学生キリスト教活動の中心になっています。

各宗教センターでは、みなさんのために聖書研究会、フォーカス･グループ、青山キリスト教学生会（A.C.F.）、聖歌隊、ハンドベル･クワイア、キリスト教図書の閲覧などの活動が行われており、学生生活に色彩とバランスをあたえるために重要な役割を果たしています。さらに、各宗教センターには専任の宗教主任がおり、事務職員と協力して毎日みなさんのために宗教上の指導、アドバイス、教会紹介、カウンセリングなどの責任を負っています。この宗教センター活動は他大学とは異なる本学独特のシステムであり、みなさんの利用を待っています。

学校法人青山学院の園児・児童・生徒・学生、保護者・保証人の方々にかかわる個人情報の取扱い

1．学校法人青山学院（以下「本法人」といいます。）の園児・児童・生徒・学生等（以下「生徒等」といいます。）の主な個人情報は、次のとおりです。

① 生徒等本人の氏名・住所・電話番号・生年月日・出身校等
② 保護者または保証人（以下「保護者等」といいます。）の氏名・住所・電話番号（自宅および緊急連絡先）・職業・本人との続柄・学費振替口座等
③ 生徒等の学籍・成績・健康診断・在学中の活動履歴情報等

2．上記1．の情報は、「学校法人青山学院個人情報保護に関する規則」に基づき、本法人が設置する学校（以下「設置学校」といいます。）及び設置学校の部局等において、生徒等の在籍管理、教育、生徒指導・支援等の業務ならびに当該業務に付随する生徒等・保護者等への連絡・通知など、教育に必要な範囲でのみ利用いたします。なお、利用する具体的な業務は次のとおりです。

① 入学時の学籍作成
② 学籍および教務管理
③ 課外活動、福利厚生、経済援助等、学生生活全般の支援
④ 進路・就職活動の支援
⑤ 学費の収納管理
⑥ 学内施設設備利用管理
⑦ 寄付金等の募集案内
⑧ 生徒等および保護者等への事務連絡通知
⑨ その他各設置学校独自の利用目的

なお、本法人が入手した個人情報の一部は、各設置学校の後援会と共同で利用いたします。詳細については、別途お知らせいたします。

3．上記2．の業務を行う際には、本法人が入手した個人情報の漏洩、流出、不正使用等が生じないよう必要な措置を講じます。また、個人情報を取り扱う業務を学外に委託するときは、委託先業者との間で契約を交わし、委託先に必要かつ適切な管理を義務付けます。

4．各設置学校卒業者の個人情報は、青山学院校友会に対し、当該組織の活動に必要な範囲で提供します。また、青山学院が100%出資しております株式会社アイビー・シー・エス（株式会社青学サービスより名称変更）に、各種ご案内発送等のため必要な情報を提供することがあります。

5．本法人は、上記2～4のほかには、特にご承諾いただいた場合を除いて個人情報を利用しまたは第三者に提供しません。ただし、「個人情報の保護に関する法律」により第三者提供が認められている場合は、この限りではありません。

6．青山学院大学および青山学院女子短期大学は学生への教育・指導をより適切に行うために、保証人の皆様にご理解とご協力をお願いしております。したがって、教育的配慮の必要性から保証人に対して学業成績等の開示や修業、履修状況等について相談を行っています。特別な事情により保証人に学業成績等の開示等をすることに不都合がある場合は、大学青山キャンパス学務部教務課または相模原キャンパス学務グループ、女子短期大学事務部教務課にご連絡ください。

※青山学院における個人情報保護への取り組みについては青山学院ホームページ
http://www.aoyamagakuin.jp/info_protection/index.html　を参照ください。

Ⅱ．大学での学習活動について

1．大学での学習とは

カリキュラム

大学の授業科目、単位数、履修年次（どの学年で履修するか）を体系的に編成したものを「カリキュラム（教育課程）」といいます。所属する学部・学科のカリキュラムにそって学習を進め、最終的に、定められたカリキュラムの授業内容を修得することが、大学での学習の目的です。

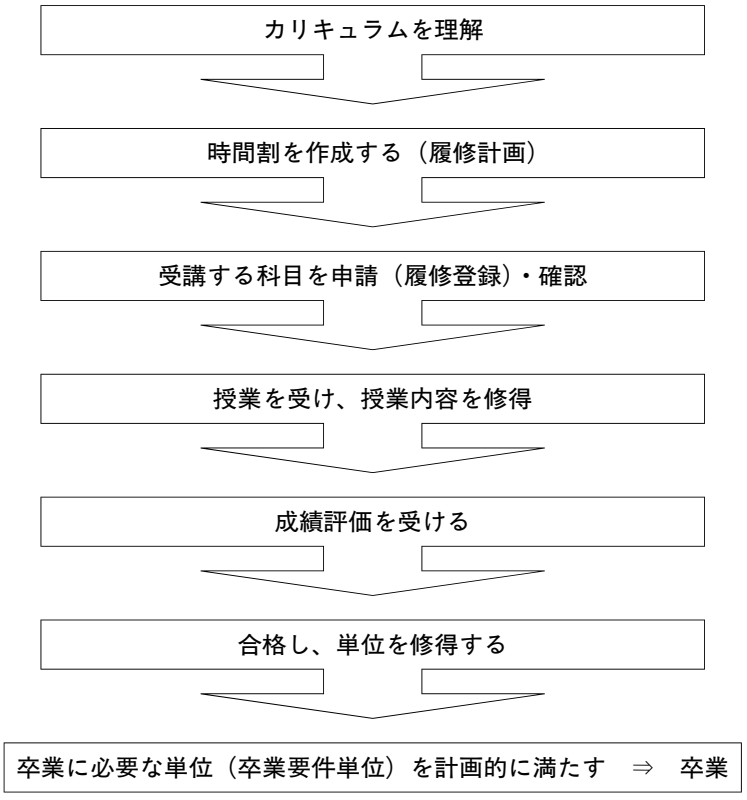
カリキュラムは入学年度別に定められており、卒業まで変更はありません。

各学部・学科のカリキュラムについては、「Ⅳ．学部履修要項」を参照してください。

履　修

各学部・学科のカリキュラムにそって配置された授業科目の受講を大学に申請することを「履修登録」、授業を受け、試験に合格して単位を得ることを「単位を修得する」といいます。この「履修登録」から「単位修得」までの一連の流れを「履修」といいます。

図式化すると以下のようになります。



大学では、カリキュラムで定められた範囲で履修する科目を選択することができますが、卒業に至るまでの過程は自己責任であるということを常に念頭に置いてください。

2．単　位

単位制

単位制とは、卒業するために、在学年限内に所定の単位を修得しなければならない制度です。これは極めて厳格なもので、たとえ１単位であっても不足すると卒業できません。卒業に必要な単位数は、学部･学科ごとに定められています。詳しくは、「Ⅳ．学部履修要項」の「卒業要件」を参照してください。

単位とは

単位とは、学習の成果を量的に表したものです。授業科目を履修し、出席回数、平常試験･定期試験またはレポート、その他担当教員が必要と認める学習作業の結果などによって、その授業科目に合格したと担当教員が判断したとき、所定の単位が与えられます。

単位数

単位数は、それぞれの授業科目ごとに定められており、授業形態によって算定方法が異なります。

大学設置基準による規定	１単位の標準＝“45時間の学修が必要な内容”

本学での単位算定方法

講義・演習の科目では…	１単位＝授業15～30時間分
実験・実習・実技（スポーツなど）の科目・集中科目では…	１単位＝授業30～45時間分

15時間の講義科目（１単位）を例に取ると、“45時間の学修を必要とする内容”で１単位、と規定されており、授業時間外に30時間の自習が前提となっています。

なお、ここでいう“１時間”とは、授業時間45分を表します。本学での１時限の授業は90分で行われているので、単位計算上は、１時限＝“２時間分の授業”となります。

半期の講義科目では、

15週×２時間＝30時間分＝２単位

となります。

実際の単位数

半期科目 （前期のみ、または後期のみの科目）	15週で完結 ・講義科目なら２単位 ・演習科目なら２単位または１単位 ・実験・実習・実技科目なら１単位
通年科目 （一年を通して行われる科目）	30週で完結 ・講義科目なら４単位 ・演習科目なら４単位または２単位 ・実験・実習・実技科目なら２単位

既修得単位の認定

新たに入学した１年生で、本学入学以前に他大学･短期大学ですでに修得した単位があり、修得済み単位として認定を受けたい学生は、指定された期間(**入学式翌日～前期授業開始日**)に書類を相模原キャンパス学務グループに提出し申請してください。**30単位を超えない範囲**で各学部･学科の基準に従って単位が認定されます（大学学則第42条参照)。この申請は、入学した年度に限って可能であり、次年度以降に申請することはできません。

編入・転部または転学部・転学科した学生の場合は、それまで修得した単位のうち、各学部・学科が適当と認める科目の単位が認定されますので、指定された期間（入学手続時配付書類に記載）に書類を青山キャンパス学務部教務課に提出し申請してください。

協定校･認定校留学による単位認定

協定校留学・認定校留学の制度によって留学した場合は、帰国後所定の手続きをふむことにより、留学先で修得した単位が30単位を超えない範囲で各学部・学科の基準に従って認定されます。

3．授業科目の種類と配置

授業科目の種類

各授業科目は、卒業要件として必ず履修・修得しなければならないか否かによって、以下の3つに区分されます。

授業科目の種類

必修科目	必ず履修し、単位を修得しなければならない科目
選択必修科目	指定されたいくつかの科目の中から選択履修し、各学部・学科所定の単位数を必ず修得しなければならない科目
選択科目	自由に選択履修し、必要単位数を修得する科目

上記の内容でわかるとおり、履修の際には、「必修科目」を優先して卒業要件単位を満たしてゆく必要があります。

また、授業の開講期間によって、1年を通じて実施する「通年科目」、前期あるいは後期で完結する「半期科目」、夏期･冬期休業期間などを利用して実施する「集中講義科目」に分かれます。

履修年次

「履修年次」とは、それぞれの授業科目を**履修するのが望ましい学年**のことです。履修年次は、4年間の学習を系統的に行えるよう、カリキュラムに基づいて定められています。

履修年次は「Ⅳ．学部履修要項」部分の科目配置表に記載されていますので、それに従って科目を履修してください。

原則として、**現在の学年より上級の年次に配置されている授業科目を履修することはできません**が、現在の学年より下級の年次に配置されている授業科目であれば履修することができます。ただし、例外もありますので、「Ⅳ．学部履修要項」で確認してください。

履修順序

各学部・学科には、段階的に学習を進めるために「履修順序」が設けられた授業科目があります。これは、**ある授業科目の単位を修得しなければ、その上級科目として設けられている授業科目を履修することができない**、というものです。

上級に設けられた授業科目は、初級の授業科目の内容をすでに修得していることを前提とし、その次の段階から授業を始めます。したがって、初級の授業科目と上級の授業科目を同時に履修することはできません。ただし、4年次留年生は、学部・学科によっては履修順序に関係なく履修できる場合もあります。

各学部･学科の履修順序については、「Ⅳ．学部履修要項」に記載されています。ただし『講義内容』に記載されている場合もありますので注意してください。

Ⅲ．履修について

1．履修計画

履修計画の立案

大学においては、各学生がカリキュラムにそって履修計画を立て、受講したい科目を選択します。

授業科目には、あらかじめ登録されている「事前登録科目」（必修科目等）があり、学生はそれ以外の時限について履修計画を立てることになります。

履修計画を立てるに当たっては、カリキュラムについてよく理解し、所属学部・学科で定められた必修科目の修得と、進級や卒業に必要な履修規定上の必要条件（進級条件・卒業要件）を満たすことを優先させます。

第一部では、1年間で履修申請できる単位数が決められています。下記の⑴～⑷にそって、履修計画を立ててください。

⑴ 年度初めのオリエンテーション期間中に行われる所属学部・学科のガイダンスに出席する。

ガイダンスでは、履修上の注意や授業科目の説明が行われますので、必ず出席して最新の情報を得てください。

⑵ カリキュラムの内容、特徴、意義について知る。

「Ⅳ．学部履修要項」の卒業要件単位表･科目配置表で、各授業科目がどのような分野に属しているかを確認してください。履修順序についても、ここで確認してください。

⑶ 各授業科目の講義内容を知る。

冊子『講義内容』（学部によっては授業要覧巻末の「講義内容」）およびWeb版『講義内容』（「学生ポータル」の「講義内容検索」よりアクセス可能）には、各授業の詳しい授業計画などが記載されています。履修しようと思う科目の内容をよく確認してください。具体的な授業内容を知りたい場合は、履修登録期間中に受講してみる、受講時に担当者に確認するなどの方法でも講義内容を確認できます。（履修登録期間終了後は、履修登録をしていない科目を受講することはできません。）

「Ⅳ．学部履修要項」の「履修年次」は履修が望ましい年次を表しています。また、『講義内容』の「履修年次」は履修可能な年次を表示しています。履修順序などで履修が制限されることがありますので、「Ⅳ．学部履修要項」で必ず確認し、なるべく望ましい年次での履修を心がけてください。

⑷ 卒業に必要な科目と単位数、資格に必要な科目と単位数を知る。

卒業要件単位とは、卒業に必要な最低限の単位です。教員免許状および各種資格を取得するためには、これに加えてそれぞれに必要な所定の単位を修得しなければなりません。「Ⅳ．学部履修要項」、「Ｘ．教職課程（教員免許状･各種資格）について」および冊子『教職課程履修の手引』を参照し、各自の目標に合った計画を立ててください。

履修計画上の注意

履修計画に際しては、以下のことに注意してください。

⑴ 同一時限に、2科目以上の授業科目を重複して履修登録することはできません。（特に許可された科目を除きます。）

⑵ 第一部では各学部・学科で1年間の履修登録単位数の限度（最高履修制限単位）が定められており、その単位数を超えて履修することはできません。

教職課程関連科目および教職課程科目については「Ⅳ．学部履修要項」および冊子『教職課程履修の手引』を参照してください。

⑶ 既に単位を修得した科目を、再度履修登録することはできません。（特に許可された科目を除きます。）

⑷ 他キャンパスの授業科目を履修する場合、90分間の移動時間が必要です。この移動時

間の間に実施されている授業科目の履修はできません。

⑸ 他学部科目の履修を希望する場合、「Ⅳ．学部履修要項」の「他学部科目一覧表」を参照してください。

⑹ 第一部の学生が第二部開講科目を履修することはできません。また、第二部の学生が第一部開講科目を履修することはできません。

⑺ 履修登録締め切り後、登録に不備や間違いがあったときは、当該科目の登録が無効となります。

⑻ 受講者数が著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果などを考慮して、クラスの分割・抽選などの措置を取ることがあります。

2．履修登録

履修登録の方法

「履修登録」は、年度初頭に、その年度に履修を希望する授業科目を大学に登録する、大変重要な手続きです。（集中講義科目、後期に開講される科目も年度初頭に履修登録を行います。）

本学の履修登録は、基本的には Web 上のシステム「Web 履修登録システム」（パソコンまたは学内情報端末を使用）で行います。詳細については、冊子『履修登録システム利用案内』を参照してください。

履修登録方法は次のとおりです。それぞれについてよく読み、理解しておいてください。

【登録番号と履修登録方法】

『授業時間割表』の登録番号表示	履修登録方法
数字 5 桁で表示されている	Web 履修登録システムを利用して、自分で登録できます。履修登録期間内であれば、自分で削除することもできます。
＋＋＋＋＋	Web で抽選または選考を行う科目です。Web 履修登録システムの「制限科目申請」から応募してください。抽選・選考の結果、履修登録された科目は、削除することはできません。曜日時限等に間違いのないよう、注意して応募してください。また、受付期間が科目によって異なりますので、注意してください。 注）青山スタンダード教養コア科目（人間理解関連科目、社会理解関連科目、自然理解関連科目、歴史理解関連科目）は、学生ポータルの登録・申請メニューにある「青山スタンダード教養コア科目応募登録」から応募してください。
＊＊＊＊＊	Web 以外で抽選または選考を行う科目です。所定の日時・場所（オリエンテーション期間中や初回授業等）で申請してください。申請方法については、『学年初頭行事』や『講義内容』、学部・学科等の指示に従ってください。抽選・選考の結果、履修登録された科目は、削除することはできません。
＃＃＃＃＃	事前に登録済または履修登録期間中に大学側で登録を行う科目です。自分で履修登録する必要はありません。
－－－－－	受講が許可された学生のみ登録できます。学部学科等の指示に従ってください。

【ペア科目】

ペア科目とは、同一授業科目で、週 2 回以上授業を行う科目です。『授業時間割表』には「ペア」と記載されています。『授業時間割表』に記載されている登録番号で登録してください。対応するほかの曜日・時限も自動的に登録されます。

【「健康・スポーツ演習」・「スポーツ運動実習」】

『学年初頭行事』を参照のうえ、これらの科目に関するガイダンスに出席してください。

履修登録の確認と修正

履修登録の手続きは重要なものであり、一科目でも登録もれや登録間違いがあってはなりません。『履修登録システム利用案内』をよく読み、各自の責任において、履修登録期間内に履修登録を完了してください。

履修が確定したら、**各自履修登録リストを印刷し、誤りがないか必ず確認してください。印刷した履修登録リストは、年度末まで保管してください。**確認を怠ったために生じた問題について、大学側は一切責任を負いません。

履修登録を行ったつもりで登録されていなかった科目や、誤って登録してしまった科目については、間違えたまま授業に出席し試験を受けても単位を修得することができないばかりでなく、登録していない科目の試験を受けることは不正行為とみなされ、処分の対象となります（『試験における不正行為者処分規則施行細則』第２条参照）ので注意してください。

期日までに履修登録をしない場合は、修学の意志がないものとして、大学学則第34条に基づき除籍処分となります。

なお、履修登録の期間は年度初頭のみに限られていますが、後期に履修変更期間を設けています。前期科目の成績を確認したうえで再度履修を見直し、必要がある場合は Web 履修登録システムを使用して、各自で履修の変更を行ってください。

履修登録、後期履修変更に関する詳細は、次項「履修登録について」を参照してください。

履修登録について

１．履修登録

履修登録期間

所　　属	受 付 期 間
青山キャンパス：第一部	4月2日(土) 9：30～4月18日(月) 16：00
相模原キャンパス：第一部	4月2日(土) 9：30～4月19日(火) 16：00

制限科目の応募締切日時は、個々の科目により異なりますので、注意してください。

後期開講の制限科目も年度初頭に応募・登録を行います。登録した履修内容は必ず「学生ポータル」で確認してください。

履修登録・修正時の注意点（後期履修変更時も同様）

履修登録最終日は、アクセスが多く、登録に時間がかかります。「混みあってアクセスできなかった」という理由は認められませんので、余裕をもって履修登録が完了するようにしてください。

エラーが表示されたら、適切な対処をおこなってください。自分で解決できない場合は、各キャンパス窓口で相談してください。

登録や修正をおこなった後は、必ず「履修登録画面」で履修登録リストを印刷して確認してください。

２．後期履修変更

後期に下記のとおり履修変更期間を設けます。前期科目の成績を確認したうえで再度履修を見直し、必要がある場合はWeb履修登録システムを使用して各自で履修の変更を行ってください。履修変更期間以降の修正は、一切認めません。

後期履修変更期間
9月29日（木）9：30～10月3日（月）16：00

後期の履修変更に際しては、次の5点に注意してください。

⑴　履修制限単位内で、後期科目のみの修正を行うことができます。
⑵　受講者を制限する科目（抽選・制限カード・受講許可等）に関わる変更はできません。
⑶　通年科目を削除しなければならない変更はできません。
⑷　前期に修得できなかった科目と同一名称科目の再履修はできません。
⑸　⑵～⑷の制限にかかわらず、学部学科等から特に指定があった場合は、それに従ってください。

後期履修変更を行った学生は、前期の履修登録と同様、変更の操作を行ったあと、履修変更期間内に履修登録リストを印刷し、修正に誤りがないか各自で確認してください。確認を怠ったために生じた問題について、大学側は一切責任を負いません。

後期履修変更期間中に追加できる単位数は次のとおりです。（第一部学生のみ）

$$\text{後期履修変更期間に追加できる単位数（後期科目のみ）} = \text{当該年度の最高履修制限単位} - \left[\begin{array}{c}\text{前期修得単位数}\\ +\\ \text{前期に修得できなかった単位数}\\ +\\ \text{履修取消科目の単位数}\\ +\\ \text{通年科目の単位数}\end{array}\right]$$

履修取消制度について

授業の内容が勉強したいものと異なっていた場合、履修登録（または後期履修変更）期間終了後の一定期間内であれば履修を取りやめることができます。
詳細は以下のとおりです。

1）対象者：全学部生
2）対象科目：下記①、②を除く全科目
　① 事前登録科目（履修登録期間中に大学側が登録する科目を含む）
　② 制限科目
※ この他に学部・学科で対象外としている科目がある場合は「Ⅳ．学部履修要項」に記載されていますので、参照してください。
3）履修取消科目の扱い：本制度を利用して取り消した前期科目と同一名称の科目を後期に履修することはできません。
4）履修取消科目の単位の扱い：本制度を利用して取り消した科目の単位数は、当該年度の申請単位数に含まれます。
5）履修取消科目の成績評価の表示：
　① 成績通知書：「W」
　② 成績証明書：記載しない。

履修取消申請方法

履修取消の申請は、以下の期間内に所属キャンパスの学務窓口でのみ受け付けます。申請の取り下げは一切認められません。

	履修取消申請受付期間
前期科目および通年科目	5月10日(火)～16日(月)
後期科目	10月21日(金)～27日(木)

Ⅳ．国際政治経済学部履修要項

Ａ．2006年度以降入学者……16

Ｂ．2003～2005年度入学者……93

Ｃ．他学部科目一覧表 ……134

Ａ．国際政治経済学部履修要項
（2006年度以降入学者）

【１】 国際政治経済学部履修について……17
１．卒業要件……17
２．最高履修制限単位……18
３．進級条件……18
４．修得単位僅少者について……18
５．授業科目履修にあたっての注意……18
６．編入学・転学部者について……18
【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表……19
【３】 外国語科目履修方法および配置表……37
【４】 学科・コース科目履修方法および配置表……46
【５】 自由選択科目履修方法……92

Ａ．国際政治経済学部履修要項（2006年度以降入学者）

【１】 国際政治経済学部履修について

１．卒業要件

⑴ 卒業に必要な単位数について

卒業資格を得るためには、下表に示す区分にしたがって必要な単位を修得しなければなりません。ここに示す単位数は科目の種別ごとに必要な最低の単位数なので、これが１単位でも不足すると卒業は認められません。

⑵ 学位について

国際政治経済学部に４年以上（ただし８年を限度）在学し、卒業に必要な要件を満たした者には、学位記を与え、学士の学位を授与します。

学士号は修了した学科によって異なり、国際政治学科および国際経済学科修了者には、学士（国際政治経済学）の学位を、国際コミュニケーション学科修了者には、学士（国際コミュニケーション）の学位を授与します。

卒業に必要な最低単位数

科目の種類		必選の別	必要単位
青山スタンダード科目（19ページ参照）			24
外国語科目	Ａ　群	必修	20
	Ｂ　群	必修	2
	Ｃ　群	選択必修	※4
	小　計		26
学科科目	Ａ　群	選択必修	28
	Ｂ　群	選択必修	36
	小　計		64
自由選択科目		選択	20
総　計			134

※外国語科目Ｃ群として修得した科目の単位は、異名称同一科目の学科科目の単位に振り替えることはできません。

◎国際政治経済学部においては、所属する学科を問わず、２年次より５コース（政治外交・安全保障コース、グローバル･ガバナンスコース、国際経済政策コース、国際ビジネスコース、国際コミュニケーションコース）のいずれかを選択し、在籍することになります。コース選択については、１年次の後期に必ず所定の手続きをとってください。手続き後にコースの変更をすることはできません。

2．最高履修制限単位

最高履修制限単位は次のとおりです。各年次ともこの単位を超えて履修することはできません。また、各年次においては、必ず１科目以上の履修をしなくてはなりません。

入学年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	合計
2006年度以降	44	44	44	54	186

注）社会教育主事の資格を取得希望する学生は教育原理(2009年度以降入学者は、教育原理Ａ、教育原理Ｂ）を上記制限単位外で履修できます。

3．進級条件

２年次終了時に、46単位（国際政治経済学部卒業要件単位）以上修得していなければ３年次に進級できません。

4．修得単位僅少者について

入学後の２年間（休学期間を除く）で修得単位が32単位に満たない者は、成業の見込みのない者として除籍されることがありますので、特に注意してください。

5．授業科目履修にあたっての注意

相模原キャンパスにおいて開講されている１・２年次履修科目については、計画を立て、相模原キャンパスにて確実に修得してください。該当科目が青山キャンパスに配置されていない場合、３・４年次生であっても相模原キャンパスに通わなければなりません。

6．編入学・転学部者について

編入学・転学部者は、入学時の学年の履修条件が適用されます。

（例） 2011年度２年次編入学･転学部者の場合…2010年度入学生の履修条件を適用します。

編入学・転学部者は、編入学・転学部した年度に限り、履修順序のある科目を同時に履修することができ、また、認定単位数が卒業に必要な最低単位数の４分の１未満の場合、その差分を最高履修制限単位に追加して履修することができます。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2011年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

<table>
<tr><th colspan="4">科目の種類</th><th>必選の別</th><th>必要単位</th></tr>
<tr><td rowspan="11">青山スタンダード科目</td><td>１）教養コア</td><td colspan="2">キリスト教理解関連科目</td><td>必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">２）技能コア</td><td rowspan="2">言葉の技能</td><td>英語</td><td colspan="2">※１</td></tr>
<tr><td>第二外国語　※２※３</td><td>必修</td><td>4</td></tr>
<tr><td colspan="2">身体の技能</td><td>必修※４</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報の技能</td><td>必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td>３）テーマ別</td><td colspan="2">キリスト教理解関連科目</td><td>必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">４）教養コア</td><td rowspan="2">人間理解関連科目
社会理解関連科目
自然理解関連科目
歴史理解関連科目</td><td rowspan="2">左記４領域のうち２領域から「教養コア科目」を選択</td><td rowspan="2">選択必修</td><td rowspan="2">4</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="2">５）領域指定</td><td rowspan="2">人間理解関連科目
社会理解関連科目
自然理解関連科目
歴史理解関連科目</td><td rowspan="2">左記領域より４）で選択しなかった２領域から各１科目（２単位）ずつ選択。（「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可）</td><td rowspan="2">選択必修</td><td rowspan="2">4</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td colspan="3">フレッシャーズ・セミナー、ウェルカム・レクチャー、キャリアデザイン・セミナー、教養コア科目、技能コア科目、テーマ別科目から選択。　（１）～５）で修得した科目は除く）</td><td>選択</td><td>6</td></tr>
</table>

※１　言葉の技能･英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。（英語スキルⅠ-１、Ⅰ-２を除く）

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

- 「（第二外国語）Ⅰ(A)」「（第二外国語）Ⅰ(B)」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。
- 「インテンシブ･（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。
- 「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ･（第二外国語）」あるいは「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます（国際政治経済学部を除く）。
- 「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※４　教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修です。

○　必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます（国際政治経済学部除く）。

○ 受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。

3．授業科目配置表

○配置年次が１年次の科目の開講キャンパスは、2011年度に開講するキャンパスを表示しています。

○テーマ別科目の開講キャンパスは、2012年度に開講されるキャンパス（予定）を表示しています。

（太字は必修科目）

			授業科目	単位	配置年次	開講キャンパス	備考
			フレッシャーズ・セミナー	2	1	相	１年生のみ
			ウェルカム・レクチャー	2	1	相	１年生のみ
			キャリアデザイン・セミナー	2	1	相	2011年度入学者１年生のみ
教養コア科目			（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	相	
			（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2 2	1 1	相 相	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
			（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題（総合科目） 現代社会の諸問題（個別科目）	2 2	1 1	相 相	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
			（自然理解関連科目） 科学・技術の視点（総合科目） 科学・技術の視点（個別科目）	2 2	1 1	相 相	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
			（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2 2	1 1	相 相	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	日本語・英語	英語スキルⅠ－１	1	1	相	１年生のみ
			英語スキルⅠ－２	1	1	相	１年生のみ
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)－1**	**1**	**1**	相	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
			（第二外国語）Ⅰ(A)－2	**1**	**1**	相	
			（第二外国語）Ⅰ(B)－1	**1**	**1**	相	
			（第二外国語）Ⅰ(B)－2	**1**	**1**	相	
			英語Ⅰ－１	**1**	**1**	相	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週２回履修し、計４単位修得してください。
			英語Ⅰ－２	**1**	**1**	相	
			英語（ⅠA）－１	**1**	**1**	相	外国人留学生のみ
			英語（ⅠA）－２	**1**	**1**	相	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）－１	**1**	**1**	相	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）－２	**1**	**1**	相	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(A)	**2**	**1**	相	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(B)	**2**	**1**	相	外国人留学生のみ
	技能の身体の		**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	相	教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修
	技能の情報の		**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	相	
テーマ別科目	連科目（領域A）キリスト教理解関		**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	相・青	理工学部・社会情報学部は２年次他は３年次配置
			旧約聖書と人間	2	2･3･4	青	
			新約聖書と人間	2	2･3･4	青	
			キリスト教生命倫理	2	2･3･4	青	
			キリスト教政治倫理	2	2･3･4	青	
			キリスト教と自然科学	2	2･3･4	相・青	両キャンパス隔年開講

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	キリスト教環境倫理	2	2･3･4	相・青	両キャンパス隔年開講
		キリスト教音楽	2	2･3･4	青	
		キリスト教美術	2	2･3･4	青	
		メソジスト教会史	2	2･3･4	青	
		世界の諸宗教	2	2･3･4	相・青	両キャンパス隔年開講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	2･3･4	相・青	両キャンパス隔年開講
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	相・青	両キャンパス隔年開講
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	青	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	青	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	相・青	
		哲学B	2	2･3･4	相・青	
		哲学の諸問題A	2	2･3･4	青	
		哲学の諸問題B	2	2･3･4	青	
		哲学の諸問題C	2	2･3･4	青	
		哲学の諸問題D	2	2･3･4	青	
		論理学A	2	2･3･4	相	
		論理学B	2	2･3･4	相	
		論理学の諸問題A	2	2･3･4	青	
		論理学の諸問題B	2	2･3･4	青	
		倫理学A	2	2･3･4	相・青	
		倫理学B	2	2･3･4	相	
		倫理学の諸問題A	2	2･3･4	青	
		倫理学の諸問題B	2	2･3･4	青	
		西洋倫理思想史A	2	2･3･4	青	
		西洋倫理思想史B	2	2･3･4	青	
		言語学A	2	2･3･4	青	
		言語学B	2	2･3･4	青	
		日本語学A	2	2･3･4	青	
		日本語学B	2	2･3･4	青	
		文学A	2	2･3･4	相・青	
		文学B	2	2･3･4	相・青	
		文学史A	2	2･3･4	青	
		文学史B	2	2･3･4	青	
		美術A	2	2･3･4	相・青	
		美術B	2	2･3･4	青	
		美術史A	2	2･3･4	青	
		美術史B	2	2･3･4	青	
		音楽A	2	2･3･4	相・青	
		音楽B	2	2･3･4	青	
		音楽史A	2	2･3･4	青	
		音楽史B	2	2･3･4	青	
		文化人類学A	2	2･3･4	相・青	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	文化人類学B	2	2･3･4	相・青	
		比較文化A	2	2･3･4	青	
		比較文化B	2	2･3･4	青	
		比較文化の諸問題A	2	2･3･4	青	
		比較文化の諸問題B	2	2･3･4	青	
		心理学A	2	2･3･4	相・青	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	相・青	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	相	
		教育学B	2	2･3･4	青	
		平和を考えるA	2	2･3･4	青	
		平和を考えるB	2	2･3･4	青	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	青	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	青	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	青	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	青	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	相・青	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	2･3･4	青	
		日本の法と社会B	2	2･3･4	青	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	青	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	青	
		国際関係概論A	2	2･3･4	青	
		国際関係概論B	2	2･3･4	青	
		社会学A	2	2･3･4	相・青	
		社会学B	2	2･3･4	相・青	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	青	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	青	
		経済学A	2	2･3･4	相・青	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	相・青	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	相・青	
		情報社会科学B	2	2･3･4	相・青	
		情報社会論	2	2･3･4	青	
		社会情報論	2	2･3･4	青	
		人口問題A	2	2･3･4	青	
		人口問題B	2	2･3･4	青	
		フェミニズムA	2	2･3･4	青	
		フェミニズムB	2	2･3･4	青	
		民族問題A	2	2･3･4	青	
		民族問題B	2	2･3･4	青	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	青	
		データサイエンス	2	2･3･4	青	
		福祉と人間A	2	2･3･4	青	

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	福祉と人間B	2	2･3･4	青	
		グローバリゼーションとWTO	2	2･3･4	青	
		日本農業とWTO	2	2･3･4	青	
		環境問題と社会	2	2･3･4	青	NPO環境平和持続の会寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	相・青	
		技術史B	2	2･3･4	相・青	
		日常生活の数理	2	2･3･4	相・青	
		数理科学入門I	2	2･3･4	青	理工学部・社会情報学部を除く 本年度休講
		数理科学入門II	2	2･3･4	青	理工学部・社会情報学部を除く 本年度休講
		数理科学の視点	2	2･3･4	相・青	
		数理モデル	2	2･3･4	相	本年度休講
		自然科学概論A	2	2･3･4	相	本年度休講
		自然科学概論B	2	2･3･4	相	本年度休講
		文化としての科学・技術A	2	2･3･4	青	
		文化としての科学・技術B	2	2･3･4	青	
		現代物理	2	2･3･4	青	
		ライフサイエンス	2	2･3･4	相	
		ゲノム	2	2･3･4	青	
		生物と地球環境	2	2･3･4	青	
		地球環境保全	2	2･3･4	青	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	2･3･4	青	
		地球観（自然と人の倫理）	2	2･3･4	相	本年度休講
		生命と地球の歴史	2	2･3･4	相	本年度休講
		宇宙科学	2	2･3･4	相・青	
		野鳥の生態	2	2･3･4	相	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	青	
		植物生態学	2	2･3･4	相	2012年度休講予定
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	相	
		環境科学A	2	2･3･4	相・青	両キャンパス隔年開講
		環境科学B	2	2･3･4	相・青	両キャンパス隔年開講
		自然地理学A	2	2･3･4	相	本年度休講
		自然地理学B	2	2･3･4	相	本年度休講
		科学史	2	2･3･4	相・青	
		生命と生態系（環境と生物）	2	2･3･4	青	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	青	
		かたちの科学	2	2･3･4	青	
		自然史	2	2･3･4	青	
		自然観の変遷	2	2･3･4	青	
		青山学院大学の歴史	2	2･3･4	相・青	
		日本社会史A	2	2･3･4	相	
		日本社会史B	2	2･3･4	青	

テーマ別科目	歴史理解関連科目（領域E）	日本社会史C	2	2･3･4	青	
		中国史A	2	2･3･4	相	
		中国史B	2	2･3･4	青	
		ヨーロッパ史A	2	2･3･4	相	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	青	
		ヨーロッパ史C	2	2･3･4	青	
		現代史A	2	2･3･4	相・青	
		現代史B	2	2･3･4	青	
		現代史C	2	2･3･4	青	
		現代史D	2	2･3･4	青	
		考古学A	2	2･3･4	青	
		考古学B	2	2･3･4	青	
		科学思想史A	2	2･3･4	相・青	
	言葉の技能（領域F）	インテンシブ・(第二外国語)(A)	2	2･3･4	青	(第二外国語)はフランス語(フランス文学科除く)、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ・(第二外国語)(B)	2	2･3･4	青	
		インテンシブ・(第二外国語)(C)	2	2･3･4	青	
		インテンシブ・(第二外国語)(D)	2	2･3･4	青	
		日本事情（I）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（II）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（III）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（IV）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（V）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（VI）	2	3	青	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	青	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	青	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	青	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	青	
		フランス語圏の社会と文化C	2	2･3･4	青	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	青	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	2･3･4	青	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	青	
		スペイン語圏の社会と文化C	2	2･3･4	青	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	青	
		中国語圏の社会と文化C	2	2･3･4	青	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	2･3･4	青	
		韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	相	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	韓国・朝鮮の社会と文化B	2	2･3･4	青	
		イスラム圏の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		イスラム圏の社会と文化B	2	2･3･4	青	
		日本学A	2	2･3･4	青	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	2･3･4	青	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	相・青	
		English Studies B	2	2･3･4	相・青	
		English Studies C	2	2･3･4	青	
		English Studies D	2	2･3･4	青	本年度休講
		English Studies E	2	2･3･4	青	本年度休講
		ことばの研究A	2	2･3･4	相	
		ことばの研究B	2	2･3･4	青	
		少数民族の社会と文化A	2	2･3･4	青	本年度休講
		少数民族の社会と文化B	2	2･3･4	青	本年度休講
		民族文化論A	2	2･3･4	青	
		民族文化論B	2	2･3･4	青	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	相・青	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	青	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	青	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	相	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	相・青	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	青	
		動きの人間学	2	2･3･4	青	
		医療社会学	2	2･3･4	青	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	相・青	4回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、1年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	相	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎Ⅰ	2	2･3･4	相・青	
		プログラミング基礎Ⅱ	2	2･3･4	相・青	
		情報スキルⅡ	2	2･3･4	相	本年度休講
		eラーニング入門	2	2･3･4	相・青	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2･3･4	相・青	
		教育システムのためのIT入門	2	2･3･4	相・青	両キャンパス相互に隔年開講
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	相・青	
	キャリアの技能（領域I）	キャリアデザイン基礎	2	2･3･4	相・青	
		キャリアデザイン応用	2	3・4	青	
		仕事力基礎論	2	3・4	青	
		日本語文章作成演習	2	2･3･4	相・青	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	相・青	
		国際ビジネス入門B	2	2･3･4	相・青	
		感性ビジネスA －ファッション産業のフロンティア－	2	2･3･4	青	

テーマ別科目	キャリアの技能（領域Ⅰ）	感性ビジネスB －ファッション産業のフロンティアー	2	2･3･4	青	
		感性ビジネスC －ファッション・ビジネス戦略論－	2	2･3･4	青	㈱ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		感性ビジネスD －ファッション・ビジネス戦略論－	2	2･3･4	青	㈱ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	2･3･4	青	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと人づくりのリテラシー	2	2･3･4	青	
		国際ビジネスと海外事情A	2	2･3･4	青	
		国際ビジネスと海外事情B	2	2･3･4	青	
		現代金融の諸問題	2	2･3･4	青	金融青山会寄附講座
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	相・青	㈱近代セールス社寄附講座

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2006～2010年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

<table>
<tr><th colspan="4">科目の種類</th><th>必選の別</th><th>必要単位</th></tr>
<tr><td rowspan="11">青山スタンダード科目</td><td>１）教養コア</td><td colspan="2">キリスト教理解関連科目</td><td>必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">２）技能コア</td><td rowspan="2">言葉の技能</td><td>英語</td><td colspan="2">※１</td></tr>
<tr><td>第二外国語　※２※３</td><td>必修</td><td>4</td></tr>
<tr><td colspan="2">身体の技能</td><td>必修※４</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報の技能</td><td>必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td>３）テーマ別</td><td colspan="2">キリスト教理解関連科目</td><td>必修</td><td>2</td></tr>
<tr><td>４）教養コア</td><td>人間理解関連科目
社会理解関連科目
自然理解関連科目
歴史理解関連科目</td><td>左記４領域のうち２領域から「教養コア科目」を選択</td><td>選択必修</td><td>4</td></tr>
<tr><td>５）領域指定</td><td>人間理解関連科目
社会理解関連科目
自然理解関連科目
歴史理解関連科目</td><td>左記領域より４）で選択しなかった２領域から各１科目（２単位）ずつ選択。（「教養コア科目」あるいは「テーマ別科目」いずれも可）</td><td>選択必修</td><td>4</td></tr>
<tr><td colspan="3">フレッシャーズ・セミナー、ウェルカム・レクチャー、教養コア科目、技能コア科目、テーマ別科目から選択。
（１）～５）で修得した科目は除く）</td><td>選択</td><td>6</td></tr>
</table>

※１　言葉の技能･英語は、所属する学部（学科）が開講する科目を履修します。詳しくは、所属する学部（学科）の外国語科目履修方法および配置表に関するページを参照してください。（英語スキルⅠ-１、Ⅰ-２を除く）

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

- 「（第二外国語）Ⅰ(A)」「（第二外国語）Ⅰ(B)」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。
- 「インテンシブ･（第二外国語）」「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。
- 「（第二外国語）Ⅲ」は、「インテンシブ･（第二外国語）」あるいは「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます（国際政治経済学部を除く）。
- 「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※４　文学部教育・教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修です。

○　必要単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　第二外国語として修得した外国語以外の第二外国語科目を修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます（国際政治経済学部除く）。

○ **受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。**

○ 総合文化政策学部生は、履修年次が3年次以上の青山キャンパス開講科目を2年次に履修できる場合があります。詳細は時間割表等で確認してください。

3．授業科目配置表

（太字は必修科目）

			授業科目	単位	配置年次	開講キャンパス	備考
			フレッシャーズ・セミナー	2	1	相	1年生のみ
			ウェルカム・レクチャー	2	1	相	2009年度以降入学者1年生のみ
教養コア科目			（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	相	
			（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2 2	1 1	相 相	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
			（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題（総合科目） 現代社会の諸問題（個別科目）	2 2	1 1	相 相	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
			（自然理解関連科目） 科学・技術の視点（総合科目） 科学・技術の視点（個別科目）	2 2	1 1	相 相	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
			（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2 2	1 1	相 相	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	英語・日本語	Essential English	**2**	**1**	相	2006年度入学者 法学部・理工学部のみ
			英語スキルⅠ－1	1	1	相	2007年度以降入学者1年生のみ
			英語スキルⅠ－2	1	1	相	2007年度以降入学者1年生のみ
			日本語初級A	**2**	**1**	相	2006年度入学者 法学部・理工学部の 外国人留学生該当者のみ
		第二外国語	**（第二外国語）Ⅰ(A)-1**	**1**	**1**	相	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
			（第二外国語）Ⅰ(A)-2	**1**	**1**	相	
			（第二外国語）Ⅰ(B)-1	**1**	**1**	相	
			（第二外国語）Ⅰ(B)-2	**1**	**1**	相	
			英語Ⅰ－1	**1**	**1**	相	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週2回履修し、計4単位修得してください。
			英語Ⅰ－2	**1**	**1**	相	
			英語（IA）－1	**1**	**1**	相	外国人留学生のみ
			英語（IA）－2	**1**	**1**	相	外国人留学生のみ
			英語（IB）－1	**1**	**1**	相	外国人留学生のみ
			英語（IB）－2	**1**	**1**	相	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(A)	**2**	**1**	相	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(B)	**2**	**1**	相	外国人留学生のみ
	技能の身体の		**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	相	文学部教育・教育人間科学部教育・経済・経営・総合文化政策・社会情報のみ必修
	技能の情報の		**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	相	
別テーマ科目	連科目（領域A）キリスト教理解関		**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	相・青	理工学部・社会情報学部は2年次他は3年次配置
			旧約聖書と人間	2	2･3･4	相	

テーマ別科目	キリスト教理解関連科目（領域A）	新約聖書と人間	2	3・4	青	
		キリスト教生命倫理	2	3・4	青	
		キリスト教政治倫理	2	3・4	青	
		キリスト教と自然科学	2	2･3･4	相	
		キリスト教環境倫理	2	2･3･4	相	
		キリスト教音楽	2	3・4	青	
		キリスト教美術	2	3・4	青	
		メソジスト教会史	2	3・4	青	
		キリスト教教育	2	3・4		閉講
		世界の諸宗教	2	2･3･4	相	旧称「比較宗教学」
		現代神学	2	3・4	青	
		キリスト教と社会福祉	2	3・4		閉講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	3・4	青	旧称「聖書とフェミニズム」（2003～2008年度）、「フェミニズムと聖書」（2008年度）
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	相	旧称「聖書の中の女性たち」
		サービス・ラーニングI	2	2･3･4	相	
		サービス・ラーニングII	2	2･3･4	相	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	相	
		哲学B	2	2･3･4	相	
		哲学の諸問題A	2	3・4	青	
		哲学の諸問題B	2	3・4	青	
		哲学の諸問題C	2	3・4	青	
		哲学の諸問題D	2	3・4	青	
		論理学A	2	2･3･4	相	
		論理学B	2	2･3･4	相	
		論理学の諸問題A	2	3・4	青	
		論理学の諸問題B	2	3・4	青	
		倫理学A	2	2･3･4	相	
		倫理学B	2	2･3･4	相	
		倫理学の諸問題A	2	3・4	青	
		倫理学の諸問題B	2	3・4	青	
		西洋倫理思想史A	2	3・4	青	
		西洋倫理思想史B	2	3・4	青	
		言語学A	2	2･3･4	相	
		言語学B	2	2･3･4	相	
		日本語学A	2	2･3･4	相	
		日本語学B	2	2･3･4	相	
		文学A	2	2･3･4	相	
		文学B	2	2･3･4	相	
		文学史A	2	3・4	青	
		文学史B	2	3・4	青	
		美術A	2	2･3･4	相	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	美術B	2	2･3･4	相	
		美術史A	2	3・4	青	
		美術史B	2	3・4	青	
		音楽A	2	2･3･4	相	
		音楽B	2	2･3･4	相	
		音楽史A	2	3・4	青	
		音楽史B	2	3・4	青	
		文化人類学A	2	2･3･4	相・青	
		文化人類学B	2	2･3･4	相・青	
		比較文化A	2	2･3･4	相	
		比較文化B	2	2･3･4	相	
		比較文化の諸問題A	2	3・4	青	
		比較文化の諸問題B	2	3・4	青	
		心理学A	2	2･3･4	相	心理学科除く
		心理学B	2	2･3･4	相	心理学科除く
		教育学A	2	2･3･4	相	
		教育学B	2	2･3･4	相	
		平和を考えるA	2	3・4	青	
		平和を考えるB	2	3・4	青	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	相	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	相	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	相	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	相	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	相・青	法学部除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	3・4	青	
		日本の法と社会B	2	3・4	青	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	相	
		国際政治経済学B	2	2･3･4	相	
		国際関係概論A	2	2･3･4	相	
		国際関係概論B	2	2･3･4	相	
		社会学A	2	2･3･4	相・青	
		社会学B	2	2･3･4	相・青	
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	相	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	相	
		経済学A	2	2･3･4	相	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	相	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	相・青	
		情報社会科学B	2	2･3･4	相・青	
		情報社会論	2	3・4	青	
		社会情報論	2	3・4	青	
		人口問題A	2	2･3･4	相	

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	人口問題B	2	2･3･4	相	
		フェミニズムA	2	3・4	青	
		フェミニズムB	2	3・4	青	
		民族問題A	2	3・4	青	
		民族問題B	2	3・4	青	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	相	
		データサイエンス	2	2･3･4	相	
		福祉と人間A	2	3・4	青	
		福祉と人間B	2	3･4	青	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	相	
		国際ビジネス入門B	2	2･3･4	相	
		感性ビジネスA －ファッション産業のフロンティア－	2	2･3･4	相・青	
		感性ビジネスB －ファッション産業のフロンティア－	2	2･3･4	相・青	
		感性ビジネスC －ファッション・ビジネス戦略論－	2	3・4	青	㈱ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		感性ビジネスD －ファッション・ビジネス戦略論－	2	3・4	青	㈱ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	3・4	青	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと 人づくりのリテラシー	2	2･3･4	相	
		国際ビジネスと海外事情A	2	3・4	青	
		国際ビジネスと海外事情B	2	3・4	青	
		グローバリゼーションとWTO	2	3・4	青	
		日本農業とWTO	2	3・4	青	
		環境問題と社会	2	3・4	青	NPO 環境平和持続の会寄附講座
		現代金融の諸問題	2	3・4	青	金融青山会寄附講座
		経済・金融とファイナンス	2	3・4	青	閉講
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	相・青	㈱近代セールス社寄附講座
	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	相	
		技術史B	2	2･3･4	相	
		日常生活の数理	2	2･3･4	相	
		数理科学入門I	2	2･3･4	相	理工学部・社会情報学部を除く 本年度休講
		数理科学入門II	2	2･3･4	相	理工学部・社会情報学部を除く 本年度休講
		数理科学の視点	2	2･3･4	相	
		数理モデル	2	2･3･4	相	本年度休講
		自然科学概論A	2	2･3･4	相	本年度休講
		自然科学概論B	2	2･3･4	相	本年度休講
		文化としての科学・技術A	2	3・4	相・青	
		文化としての科学・技術B	2	3・4	相・青	
		現代物理	2	2･3･4	相	

テーマ別科目	自然理解関連科目（領域D）	ライフサイエンス	2	2･3･4	相	
		ゲノム	2	2･3･4	相	
		生物と地球環境	2	3・4	青	
		地球環境保全	2	3・4	青	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	3・4	青	
		地球観（自然と人の倫理）	2	2･3･4	相	本年度休講
		生命と地球の歴史	2	2･3･4	相	本年度休講
		宇宙科学	2	2･3･4	相	
		野鳥の生態	2	2･3･4	相	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	相	
		植物生態学	2	2･3･4	相	
		メカワールド	2	2･3･4	相	理工学部除く
		経営管理の技術	2	2･3･4	相	理工学部除く
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	相	
		環境科学A	2	2･3･4	相	
		環境科学B	2	2･3･4	相	
		自然地理学A	2	2･3･4	相	本年度休講
		自然地理学B	2	2･3･4	相	本年度休講
		科学史	2	2･3･4	相	
		生命と生態系（環境と生物）	2	2･3･4	相	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	相	
		かたちの科学	2	2･3･4	相	
		自然史	2	2･3･4	相	
		自然観の変遷	2	2･3･4	相	
	歴史理解関連科目（領域E）	青山学院大学の歴史	2	2･3･4	相・青	
		日本社会史A	2	2･3･4	相	
		日本社会史B	2	2･3･4	相	
		日本社会史C	2	3・4	青	
		中国史A	2	2･3･4	相	
		中国史B	2	2･3･4	相	
		中国史C	2	3・4	青	
		ヨーロッパ史A	2	2･3･4	相	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	相	
		ヨーロッパ史C	2	3・4	青	
		現代史A	2	2･3･4	相	
		現代史B	2	2･3･4	相	
		現代史C	2	2･3･4	相	
		現代史D	2	2･3･4	相	
		考古学A	2	2･3･4	相	
		考古学B	2	2･3･4	相	
		科学思想史A	2	2･3･4	相	
		科学思想史B	2	2･3･4	相	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	インテンシブ・（第二外国語）Ⓐ	2	2･3･4	相	（第二外国語）はフランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ・（第二外国語）Ⓑ	2	2･3･4	相	
		インテンシブ・（第二外国語）Ⓒ	2	2･3･4	相	
		インテンシブ・（第二外国語）Ⓓ	2	2･3･4	相	
		日本事情（Ⅰ）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅱ）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅲ）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅳ）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅴ）	2	3	青	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化Ａ	2	2･3･4	相	
		アメリカ合衆国の社会と文化Ｂ	2	2･3･4	相	
		英語圏の社会と文化Ａ	2	2･3･4	相	国際政治経済学部除く
		英語圏の社会と文化Ｂ	2	2･3･4	相	
		フランス語圏の社会と文化Ａ	2	2･3･4	相	
		フランス語圏の社会と文化Ｂ	2	2･3･4	相	
		フランス語圏の社会と文化Ｃ	2	3・4	青	
		ドイツ語圏の社会と文化Ａ	2	2･3･4	相	
		ドイツ語圏の社会と文化Ｂ	2	2･3･4	相	
		ドイツ語圏の社会と文化Ｃ	2	3・4	青	
		スペイン語圏の社会と文化Ａ	2	2･3･4	相	
		スペイン語圏の社会と文化Ｂ	2	2･3･4	相	
		スペイン語圏の社会と文化Ｃ	2	3・4	青	
		中国語圏の社会と文化Ａ	2	2･3･4	相	
		中国語圏の社会と文化Ｂ	2	2･3･4	相	
		中国語圏の社会と文化Ｃ	2	3・4	青	
		ロシア語圏の社会と文化Ａ	2	2･3･4	相	
		ロシア語圏の社会と文化Ｂ	2	3・4	青	
		韓国・朝鮮の社会と文化Ａ	2	2･3･4	相	
		韓国・朝鮮の社会と文化Ｂ	2	3・4	青	
		イスラム圏の社会と文化Ａ	2	3・4	青	
		イスラム圏の社会と文化Ｂ	2	3・4	青	
		日本学Ａ	2	3・4	青	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学Ｂ	2	3・4	青	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	相	
		English Studies B	2	2･3･4	相	
		English Studies C	2	3・4	青	
		English Studies D	2	3・4	青	本年度休講
		English Studies E	2	3・4	青	本年度休講
		ことばの研究Ａ	2	2･3･4	相	
		ことばの研究Ｂ	2	3・4	青	
		少数民族の社会と文化Ａ	2	3・4	青	本年度休講
		少数民族の社会と文化Ｂ	2	3・4	青	本年度休講

テーマ別科目		民族文化論A	2	2･3･4	相	
		民族文化論B	2	2･3･4	相	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	相・青	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	相	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	相	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	相	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	相	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	相	
		動きの人間学	2	2･3･4	相	
		医療社会学	2	2･3･4	相	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	相・青	4回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、1年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	相	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎I	2	2･3･4	相・青	
		プログラミング基礎II	2	2･3･4	相・青	
		情報スキルII	2	2･3･4	相	本年度休講
		eラーニング入門	2	2･3･4	相	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2･3･4	相	
		教育システムのためのIT入門	2	2･3･4	相	
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	相	

【３】 外国語科目履修方法および配置表

１．2006年度以降入学生 外国語科目について

⑴ 国際政治経済学部の外国語科目について

本学部の外国語科目は、A 群（英語）、B 群（英語以外の外国語）、C 群（言語とコミュニケーション）という 3 つの科目群より構成されます。

⑵ 外国語科目 A 群（英語）について

本学部の外国語科目 A 群の科目は、すべてが各 1 単位の必修科目です。卒業するためには20単位を修得する必要があります。

外国語科目 A 群のカリキュラムは、3 種類の STREAM（「BASIC STREAM」「INTERMEDIATE STREAM」「ADVANCED STREAM」）から成り、それぞれが独立したカリキュラムです。オリエンテーション期間に実施するプレースメント・テストの成績により、どの STREAM に所属するかが決定します（Reading, Writing は除く）。なお、決定後の STREAM の変更はできません。

外国語科目 A 群の科目は、その年度に履修する科目が自動的に登録されます。（Reading Ⅲ・Ⅳ、再履修科目を除く）

⑶ 外国語科目 B 群（英語以外の外国語）について

本学部の外国語科目 B 群の科目は、入学手続時に選択した第二外国語（フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語、日本語（外国人留学生のみ））を学習するものであり、必修科目です。卒業するためには、 2 単位を修得する必要があります。

本学部の外国語科目 B 群の科目は、青山スタンダード科目（言葉の技能）第二外国語の必要単位（ 4 単位）を修得済みである者に履修が許可されます。

⑷ 外国語科目 C 群（言語とコミュニケーション）について

本学部の外国語科目 C 群の科目は、選択必修科目であり、卒業するためには 4 単位を修得する必要があります。

外国語科目 C 群は、「英語科目」「英語以外の外国語科目」「大学院国際コミュニケーション専攻国際コミュニケーション科目」から構成されます。

※青山スタンダード科目「インテンシブ・（第二外国語）」を本学部生が修得した場合、外国語科目 C 群の単位に算入されます。

2．A群（英語）科目履修方法

(1) A群（英語）科目の必要単位

必　　修（20単位）

ADVANCED STREAM	INTERMEDIATE STREAM	BASIC STREAM
Freshman year, 1st semester Broadcast Media Print Media Public Speaking Presentations Reading Ⅰ Writing Ⅰ	Freshman year, 1st semester Intermediate Eng. Ⅰ Intermediate Eng. Ⅱ Intermediate Eng. Ⅲ Intermediate Eng. Ⅳ Reading Ⅰ Writing Ⅰ	Freshman year, 1st semester Basic English Ⅰ Basic English Ⅱ Basic English Ⅲ Basic English Ⅳ Reading Ⅰ Writing Ⅰ
Freshman year, 2nd semester Current Events Global Issues Debate Discussion Reading Ⅱ Writing Ⅱ	Freshman year, 2nd semester Broadcast Media Print Media Public Speaking Presentations Reading Ⅱ Writing Ⅱ	Freshman year, 2nd semester Intermediate Eng. Ⅰ Intermediate Eng. Ⅱ Intermediate Eng. Ⅲ Intermediate Eng. Ⅳ Reading Ⅱ Writing Ⅱ
Sophomore year, 1st semester Academic English Ⅰ English Seminar Ⅰ Reading Ⅲ Writing Ⅲ	Sophomore year, 1st semester Current Events Global Issues Reading Ⅲ Writing Ⅲ	Sophomore year, 1st semester Broadcast Media Print Media Reading Ⅲ Writing Ⅲ
Sophomore year, 2nd semester Academic English Ⅱ English Seminar Ⅱ Reading Ⅳ Writing Ⅳ	Sophomore year, 2nd semester Debate Discussion Reading Ⅳ Writing Ⅳ	Sophomore year, 2nd semester Public Speaking Presentations Reading Ⅳ Writing Ⅳ

注）オリエンテーション期間に行うプレースメントテストにより、STREAM別のカリキュラムとなります。STREAMは、「ADVANCED STREAM」「INTERMEDIATE STREAM」「BASIC STREAM」の3種類です。

(2) **他学部の第一外国語科目を履修することはできません。**

(3) A群（英語）科目配置表

（半期科目）

授業科目	単位	履修年次	備考
Basic English I	1	1	
Basic English II	1	1	
Basic English III	1	1	
Basic English IV	1	1	
Intermediate Eng. I	1	1	
Intermediate Eng. II	1	1	
Intermediate Eng. III	1	1	
Intermediate Eng. IV	1	1	
Broadcast Media	1	1・2	
Print Media	1	1・2	
Public Speaking	1	1・2	
Presentations	1	1・2	
Current Events	1	1・2	
Global Issues	1	1・2	
Debate	1	1・2	
Discussion	1	1・2	
Academic English I	1	2	
Academic English II	1	2	
English Seminar I	1	2	
English Seminar II	1	2	
Reading I	1	1	
Reading II	1	1	
Reading III	1	2	
Reading IV	1	2	
Writing I	1	1	
Writing II	1	1	
Writing III	1	2	
Writing IV	1	2	

3．B群（英語以外の外国語）科目履修方法

(1) B群（英語以外の外国語）科目の必要単位

必　　修（2単位）

フランス語　ⅡA（2単位）
ドイツ語　ⅡA（2単位）
スペイン語　ⅡA（2単位）
中国語　ⅡA（2単位）
ロシア語　ⅡA（2単位）
韓国語　ⅡA（2単位）
} いずれか1カ国語必修

日本語　ⅡA（2単位）　＊外国人留学生用

(2) **B群科目は、入学時に学籍資料票により申請した外国語の科目を履修しなければなりません。申請以外の外国語の科目は卒業に必要な単位に算入されません。**

(3) B群科目の履修順序は次のとおりです。

①	②	③
	①を履修し合格した場合のみ履修可	②を履修し合格した場合のみ履修可
青山スタンダード科目 **フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** } **Ⅰ(A)－1**	青山スタンダード科目 **フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** } **Ⅰ(A)－2**	外国語科目B群 **フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** } **ⅡA**
フランス語 **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** } **Ⅰ(B)－1**	**フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語** } **Ⅰ(B)－2**	
日本語　Ⅰ(A) **Ⅰ(B)**	**日本語　ⅡA**	

※上表①の単位が修得できない場合、②の科目の履修登録は自動的に削除されます。（日本語を除く）

(4) **他学部の第二外国語科目を履修することはできません。**

(5)　B群（英語以外の外国語）科目配置表

（通年科目）

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
フランス語　ⅡA	2	2	
ドイツ語　ⅡA	2	2	
スペイン語　ⅡA	2	2	
中　国　語　ⅡA	2	2	
ロシア語　ⅡA	2	2	
韓　国　語　ⅡA	2	2	
日　本　語　ⅡA	2	2	外国人留学生用

4．C群（言語とコミュニケーション）科目履修方法

(1) C群（言語とコミュニケーション）科目の必要単位
選択必修（4単位）
C群で4単位を超えて修得した単位は、自由選択科目に算入されます。

(2) 英語および大学院国際コミュニケーション専攻国際コミュニケーション科目以外の外国語科目については、入学時に学籍資料票により申請した外国語の科目を履修しなければなりません。それ以外の外国語の科目は卒業に必要な単位に算入されません。

(3) 青山スタンダード科目「インテンシブ・(第二外国語)」の単位を本学部生が修得した場合、外国語科目C群の科目として、卒業要件単位に算入されます。

(4) C群科目の中で履修順序があるものは次のとおりです。

<table>
<tr><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th></tr>
<tr><td></td><td>①を履修し合格した場合のみ履修可</td><td>②の必修科目を合格した場合のみ履修可</td><td>③のうちⅡAを合格した場合のみ履修可</td></tr>
<tr><td>フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語
} Ⅰ(A)－1</td><td>フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語
} Ⅰ(A)－2</td><td rowspan="3">フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語
} ⅡA
IIB
会話
（Ⅰ）

日本語 ⅡA
IIB
インテンシブ・(第二外国語)</td><td>フランス語 III(A)
III(B)
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語
} III</td></tr>
<tr><td>フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語
} Ⅰ(B)－1</td><td>フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語
} Ⅰ(B)－2</td><td>③のうちⅡAまたは会話(Ⅰ)のどちらかを合格した場合のみ履修可</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
} 会話(II)</td></tr>
</table>

※上表①の単位が修得できない場合、②の科目の履修登録は自動的に削除されます。

<table>
<tr><th>①</th><th>②</th></tr>
<tr><td></td><td>①を履修し合格した場合のみ履修可
（4年次科目）</td></tr>
<tr><td>外国語科目
A群　20単位（必修）
B群　2単位（必修）</td><td>大学院国際コミュニケーション専攻科目
言語科学
対照言語学
社会言語学
コミュニケーション論
国際コミュニケーション特講
文化と世界観
比較文化論＊
比較文化特講
日中比較文化論
中国文化論
ロシア文化論
ヨーロッパ文化論＊
ラテン・アメリカ文化論</td></tr>
</table>

(5) **他学部の外国語科目を履修することはできません。**

(6) C群（言語とコミュニケーション）科目配置表

英語科目　（原則として、I…前期科目 II…後期科目）

授　業　科　目	単位	履修年次	備考および異名称同一の科目
メディア・コミュニケーションI	1	3	本年度休講　メディア･コミュニケーション論I
メディア・コミュニケーションII	1	3	本年度休講　メディア･コミュニケーション論II
ジェンダー・コミュニケーションI	1	3	本年度休講　ジェンダー･コミュニケーション論I
ジェンダー・コミュニケーションII	1	3	本年度休講　ジェンダー･コミュニケーション論II
通訳の理論と方法I	2	3・4	通訳の理論と実践I
通訳の理論と方法II	2	3・4	通訳の理論と実践II
翻訳の理論と方法I	2	3・4	翻訳の理論と実践I
翻訳の理論と方法II	2	3・4	翻訳の理論と実践II
英語レポート・論文作成I	2	3・4	
英語レポート・論文作成II	2	3・4	
国際ビジネス・コミュニケーションI	2	3・4	国際ビジネス・コミュニケーション（I）
国際ビジネス・コミュニケーションII	2	3・4	国際ビジネス・コミュニケーション（II）
国際言語としての英語I	2	3・4	社会言語学＊
国際言語としての英語II	2	3・4	本年度休講　国際言語としての英語
認知とことばI	2	3・4	後期　英語発音の理論と演習
認知とことばII	2	3・4	前期　認知言語学
Thesis Writing（I）	2	3・4	前期
Thesis Writing（II）	2	3・4	後期
日英語比較I	2	3・4	認知コミュニケーション論
日英語比較II	2	3・4	言語形式と意味
ヨーロッパ文化論I	2	3・4	ヨーロッパ文化総論I
ヨーロッパ文化論II	2	3・4	ヨーロッパ文化総論II
異文化リテラシーI	2	3・4	後期　国際交渉論
異文化リテラシーII	2	3・4	前期　インターカルチュラル・リテラシー

注）上記の外国語科目C群において単位を修得した科目の異名称同一科目は履修することができません。また、上記の外国語科目C群において修得した科目の単位は、その科目の異名称同一科目の単位に振り替えることはできません。

英語以外の外国語科目　（通年科目）

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
フランス語IIB	2	2	
フランス語III（A）	2	3	
フランス語III（B）	2	3	
フランス語会話（I）	2	2	
フランス語会話（II）	2	3	
ドイツ語IIB	2	2	
ドイツ語III	2	3	
ドイツ語会話（I）	2	2	
ドイツ語会話（II）	2	3	
スペイン語IIB	2	2	
スペイン語III	2	3	
スペイン語会話（I）	2	2	
スペイン語会話（II）	2	3	
中国語IIB	2	2	
中国語III	2	3	
中国語会話（I）	2	2	
中国語会話（II）	2	3	
ロシア語IIB	2	2	
ロシア語III	2	3	
ロシア語会話（I）	2	2	
ロシア語会話（II）	2	3	
韓国語IIB	2	2	
韓国語III	2	3	
韓国語会話（I）	2	2	
日本語IIB	2	3	外国人留学生用
日本語（I）A	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（I）B	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（I）C	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（I）D	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（II）A	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（II）B	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（II）C	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（II）D	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（III）A	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（III）B	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（III）C	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（III）D	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（IV）A	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（IV）B	1	3	交換留学生用（半期科目）

日本語（Ⅳ）C	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（Ⅳ）D	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（Ⅴ）A	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（Ⅴ）B	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（Ⅴ）C	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（Ⅴ）D	1	3	交換留学生用（半期科目）

大学院国際コミュニケーション専攻国際コミュニケーション科目　（半期科目）

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
言語科学	2	4	本年度休講
対照言語学	2	4	本年度休講
社会言語学	2	4	前期
コミュニケーション論	2	4	前期
国際コミュニケーション特講	2	4	本年度休講
文化と世界観	2	4	本年度休講
比較文化論＊	2	4	前・後期
比較文化特講	2	4	前・後期
日中比較文化論	2	4	前期
中国文化論	2	4	後期
ロシア文化論	2	4	本年度休講
ヨーロッパ文化論＊	2	4	前期
ラテン・アメリカ文化論	2	4	前期

【４】 学科・コース科目履修方法および配置表

１．学科科目の履修方法

(1) 学科科目について

本学部の学科科目は、**学科科目Ａ群**および**学科科目Ｂ群**から成り、その内容、すなわちカリキュラムは所属する学科および２年次以降に所属するコースによって異なります。

学科科目には「**必修科目**（学科科目Ａ群の一部）」「**選択必修科目**」があり、所属する学科・コースによって、指定されている科目のなかから指定単位数を修得することが卒業するために必要な条件として課せられています。

また、所属する学科・コースの学科科目配置表に無い本学部学科科目は、自由選択科目として履修することができます。(92ページ参照)

(2) コースについて

本学部生は、２年次以降、５コース（政治外交・安全保障コース、グローバル・ガバナンスコース、国際経済政策コース、国際ビジネスコース、国際コミュニケーションコース）のいずれか１コースに所属します。なお、決定後のコース変更はできませんので注意してください。

所属学科・コースによってカリキュラムが異なりますので、学科・コース別の学科科目配置表（54ページ以降）をもとに、本学部における学習計画を立ててください。なお、科目の配置は**２年次以降に所属するコースの科目配置**にもとづきます。

(3) 学科別　学科・コース科目および必要単位数一覧

◎国際政治学科

<table>
<tr><td colspan="7">A 群</td><td>B 群</td></tr>
<tr><td colspan="5">必修</td><td>選択必修</td><td>計</td><td>選択必修</td></tr>
<tr><td rowspan="6">全コース共通</td><td rowspan="6">入門セミナーⅠ
入門セミナーⅡ
政治学原論Ⅰ
政治学原論Ⅱ</td><td rowspan="6">8</td><td>政治外交・安全保障コース</td><td></td><td>0</td><td></td><td>20</td><td rowspan="6">28</td><td rowspan="6">36</td></tr>
<tr><td>グローバル・ガバナンスコース</td><td>グローバル・ガバナンス概論Ⅰ
グローバル・ガバナンス概論Ⅱ</td><td>4</td><td></td><td>16</td></tr>
<tr><td>国際経済政策コース</td><td>経済学入門（ミクロ）</td><td rowspan="3">6</td><td rowspan="3">必要単位のうち、以下の４科目の中から２科目（４単位）以上を含めること</td><td>14</td></tr>
<tr><td>国際ビジネスコース</td><td>経済学入門（マクロ）
国際経済学入門</td><td rowspan="2">国際政治学Ⅰ
国際政治学Ⅱ
国際政治経済学Ⅰ</td><td>14</td></tr>
<tr><td>国際コミュニケーションコース</td><td>国際コミュニケーション総論Ⅰ
国際コミュニケーション総論Ⅱ</td><td>4</td><td>国際政治経済学Ⅱ</td><td>16</td></tr>
</table>

◎国際経済学科

A群									B群
必修						選択必修		計	選択必修
全コース共通	入門セミナーⅠ 入門セミナーⅡ 経済学入門（ミクロ） 経済学入門（マクロ） 国際経済学入門	10	政治外交・安全保障コース	政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ	4	必要単位のうち以下の2科目の中から1科目（2単位）以上を含めること	14	28	36
			グローバル・ガバナンスコース	グローバル・ガバナンス概論Ⅰ グローバル・ガバナンス概論Ⅱ 政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ	8	国際経済政策入門 国際ビジネス入門	10		
			国際経済政策コース		0		18		
			国際ビジネスコース		0		18		
			国際コミュニケーションコース	国際コミュニケーション総論Ⅰ 国際コミュニケーション総論Ⅱ	4	必要単位のうち、以下の2科目の中から1科目（2単位）以上を含めること 国際経済政策入門 国際ビジネス入門	14		

◎国際コミュニケーション学科

A群									B群
必修						選択必修		計	選択必修
全コース共通	入門セミナーⅠ 入門セミナーⅡ 国際コミュニケーション総論Ⅰ 国際コミュニケーション総論Ⅱ	8	政治外交・安全保障コース	政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ	4	必要単位のうち以下の6科目の中から2科目（4単位）以上を含めること	16	28	36
			グローバル・ガバナンスコース	グローバル・ガバナンス概論Ⅰ グローバル・ガバナンス概論Ⅱ 政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ	8	コミュニケーション論Ⅰ コミュニケーション論Ⅱ 比較文化概論Ⅰ	12		
			国際経済政策コース	経済学入門（ミクロ） 経済学入門（マクロ）	6	比較文化概論Ⅱ 言語科学概論Ⅰ	14		
			国際ビジネスコース	国際経済学入門		言語科学概論Ⅱ	14		
			国際コミュニケーションコース		0		20		

(4)　学科科目の履修順序

以下の表にある科目は、履修する順序が定められています。

〈2006・2007年度入学者〉

学科・コース名	①	②
	（3年次配置科目）	①を履修し合格した場合のみ履修可（4年次配置科目）
全学科・コース共通	演　習　Ⅰ	演　習　Ⅱ

〈2008年度以降入学者〉

学科・コース名	①	②	③
	（3年次前期配置科目）	①を履修し合格した場合のみ履修可（3年次後期配置科目）	②を履修し合格した場合のみ履修可（4年次配置科目）
全学科・コース共通	演習ⅠA	演習ⅠB	演習Ⅱ

(5)　演習の履修について

【「演習ⅠA」「演習ⅠB」（2008年度以降入学者）、「演習Ⅰ」（2007年度以前入学者）】

①　演習は、受講する前年度に選考を受け、合格した場合に履修することができます。

②　「演習ⅠA」、「演習ⅠB」（2008年度以降入学者）は同一教員とします。

③　3年次履修の「演習ⅠA」「演習ⅠB」（半期科目、各4単位）（2008年度以降入学者）、「演習Ⅰ」（通年科目、8単位）（2007年度以前入学者）は、全学科･全コースとも学科科目B群の科目です。

④　「演習ⅠA」、「演習ⅠB」、「演習Ⅰ」の選考申込・選考方法等は、例年後期に配布する「AGU SEMINAR GUIDE」に掲載されます。内容を確認のうえ、期日までに申込みをしてください。

・9月下旬　「AGU SEMINAR GUIDE」配布
・10月中旬　オリエンテーション・個別ガイダンス開催　第一次募集日程告知
・10月下旬　第一次選考申込み
・11月上旬～11月中旬　第一次選考開始
・11月中旬　選考結果を学生ポータルで配信　第二次募集日程告知・第二次選考申込み
・11月下旬～12月中旬　第二次選考開始　選考結果は学生ポータルにて配信

⑤　「演習ⅠA」「演習ⅠB」「演習Ⅰ」は選考の合格により、自動的に履修登録されます。また、「演習ⅠA」の単位が修得できない場合、「演習ⅠB」の科目の履修登録は自動的に削除されます。翌年度、再度「演習ⅠA」の履修を希望する場合は改めて選考を受ける必要があります。

【「演習Ⅱ」】

⑥　4年次履修の「演習Ⅱ」（通年科目、4単位）は、全学科･全コースともに学科科目B群の科目です。

⑦　**「演習Ⅱ」を履修する場合は、4月の履修登録期間中に、各自で履修登録してください。**（単位を修得した「演習ⅠB」「演習Ⅰ」）と担当者が同一である場合に限ります）

⑧　「演習Ⅱ」の担当者変更を希望する場合は、学務部教務課窓口にて「演習Ⅱ担当者変更申込要項」と「演習Ⅱ担当者変更届」を受取り、手続きしてください。（「演習Ⅱ」受講者を新規募集する担当者への変更に限ります）

(6)　下記学科科目の履修について

①　「国際政治学特殊講義Ⅴ」「国際経済学特殊講義Ⅴ」は、複数回履修することができ、

すべて卒業に必要な単位として算入されます。

② 「プリゼミ」は2回まで履修することができる2年生のみの科目です。卒業に必要な単位の学科科目A群科目として算入されるのは、2回履修分の4単位までです。ただし、同一教員の「プリゼミ」を2回履修することはできません。

③ 「国連研究II」は、国連大学グローバル・セミナーに参加（個人参加、費用は個人負担）し、修了証を修得した者のみが、所定の手続きをして後期履修変更期間に履修登録をおこなえます。詳細については、学務部教務課（青山キャンパス）に問い合わせてください。

(7) 集中講義の履修について

下記科目は集中講義にて授業を行います。

履修登録に際しては授業時間割の各学部注意事項を参照してください。

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
国連研究Ⅰ	2	3・4	夏期集中講義
国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1～4	青山キャンパス開講　夏期集中講義 英語講義
国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1～4	本年度休講

(8) 海外短期研修制度について

国際政治経済学部では、毎年いくつかの海外短期研修を実施しています。参加した者が、一定の条件を満たすことにより、単位を修得することが可能な海外短期研修もあります。ただし、卒業に必要な単位として認められるのは2回の参加までです。海外短期研修制度のプログラム、募集日程、研修期間の詳細については、学務部教務課（青山キャンパス）または、学務グループ（相模原キャンパス）に問い合わせてください。

(9) インターンシップ制度について

公益団体や民間企業など社会の現場で実務に携わることで国際政治経済学への関心を高めることを目的にインターンシップの機会を提供しています。インターンシップの期間は原則として夏期休暇期間中（8月～9月）あるいは春期休暇期間中（2月～3月）です。

学部提供のインターンシップについては学部内の選考面接を、個人開拓のインターンシップについては単位認定対象のインターンシップとして適当かどうか審査するための面接を行なった後に、面接合格者がインターンシップ活動に参加し、インターンシップ期間の終了後、活動レポート、インターンシップ先による評価とインターンシップ単位認定面接の総合評価により単位を修得することができます。

修得できる科目は以下のとおりです。

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
インターンシップ	2	1～3	全学科　学科科目B群

インターンシップへの参加を希望する学生は、募集期間にあわせて実施するガイダンス（例年6月と12月に実施）に必ず出席してください。インターンシップの履修登録と成績評価についての説明もこのガイダンスで行います。

詳細については、学務部教務課（青山キャンパス）または、学務グループ（相模原キャンパス）に問い合わせてください。

(10) 他学部学科科目・専門教育科目の履修について

他学部の学科科目・専門教育科目の単位を修得した場合、自由選択科目の単位に算入されます。履修については、他学部科目一覧表（134ページ）を参照してください。

注１）他学部の学科科目・専門教育科目を履修する場合は、その学部で制限を設けていない科目に限ります。
注２）本学部に同一名称・異名称同一科目がある他学部学科科目・専門教育科目の履修は認めません。

⑾　社会調査士の資格について

この資格は、国際コミュニケーション・コース学科科目の５科目（科目については申請中のため、詳細は学務部教務課窓口で必ず確認してください。）、「コミュニケーション研究法の全体像」、「アンケート・社会調査の方法」、「コンピュータによる調査データの解析」、「コミュニケーションの量的分析法Ⅰ」、「コミュニケーションの量的分析法Ⅱ」、「コミュニケーションの質的分析法Ⅰ」、「コミュニケーションの質的分析法Ⅱ」、（最後の３科目はいずれか１科目を選択）の単位を修得し、さらに実証系の演習（末田、抱井、田崎、猿橋＊）に２年間所属してグループ調査の方法を学ぶことによって修得できます。
（＊ 2011年度は猿橋に代わり平山が担当）

さらに、大学院に入学して所定の科目を修得すれば、上級の「専門社会調査士」の資格が取得できます。

⑿　大学院進学予定者の大学院科目特別履修について

国際政治経済学研究科進学を目指す本学部の学業成績優秀な４年次生に対して、早期研究機会の提供を図るために、条件を満たした学生に大学院科目の特別履修を認めます。

詳細については大学院事務室へ問い合わせてください。

⒀　他学部学生の本学部学科科目の履修について

本学部の学科科目のうちＢ群科目の履修を他学部学生に認めます。履修の際は人数制限をしている科目がありますので、「学生ポータル」を参照し確認してください。

なお、Ｂ群科目中、以下の科目は履修できません。また、所属学部に同一名称または異名称同一科目がある本学部学科科目の履修もできません。

「外国書（フランス語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「外国書（ドイツ語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「外国書（スペイン語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「外国書（中国語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「外国書（ロシア語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「国際政治学特殊講義Ⅲ」
「国際経済学特殊講義Ⅲ」
「インターンシップ」
「経営情報Ⅰ・Ⅱ」
「演習Ⅰ」
「演習ⅠA・ⅠB」
「演習Ⅱ」
「通訳の理論と実践Ⅰ・Ⅱ」
「翻訳の理論と実践Ⅰ・Ⅱ」
「国際ビジネス・コミュニケーション（Ⅰ）・（Ⅱ）」
「言語の普遍性」
「パブリック・リレーションズ」
「広告コミュニケーション論」
「国際取引法」
「インターネットと法＊」
「紛争解決と法」

「インターカルチュラル・コミュニケーション」
「国際コミュニケーション特殊講義（海外研修）」
「コンピュータによる調査データの解析」
「コミュニケーション研究法の全体像」
「アンケート・社会調査の方法」
「イギリス文化論」
「文化とコミュニケーションⅠ・Ⅱ」
「国連研究Ⅱ」
「民法概論Ⅰ・Ⅱ」
「国際私法Ⅰ・Ⅱ」
「日本経済と証券ビジネス」
「情報と組織の経済学Ⅰ」
「財政学」
「簿記論Ⅰ・Ⅱ」
「簿記論ⅡA・ⅡB」（2011年度以降入学者）

2．全学科共通
（1年次）科目配置表

（太字は必修科目）

全学科共通（1年次）科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

授業科目	単位	履修年次	備考
入門セミナーⅠ	2	1	全学科必修
入門セミナーⅡ	2	1	全学科必修
政治学原論Ⅰ	2	1・2	国際政治学科のみ必修
政治学原論Ⅱ	2	1・2	国際政治学科のみ必修
経済学入門（ミクロ）	2	1・2	国際経済学科のみ必修　前・後期
経済学入門（マクロ）	2	1・2	国際経済学科のみ必修　前・後期
国際経済学入門	2	1・2	国際経済学科のみ必修　後期
国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1・2	国際コミュニケーション学科のみ必修
国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1・2	国際コミュニケーション学科のみ必修
政治過程論Ⅰ	2	1・2	
政治過程論Ⅱ	2	1・2	
憲法と政治制度Ⅰ	2	1・2	
憲法と政治制度Ⅱ	2	1・2	
開発経済学入門Ⅰ	2	1・2	
開発経済学入門Ⅱ	2	1・2	
国際経済政策入門	2	1・2	後期
国際ビジネス入門	2	1・2	前・後期
情報と組織の経済学Ⅰ	2	1・2	後期
社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1・2	
社会科学のための統計学入門Ⅱ	2	1・2	
社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1・2	
社会科学のための数学入門Ⅱ	2	1・2	
経済発展史	2	1・2	後期
日本経済	2	1・2	後期
政治学方法論Ⅰ	2	1・2	
政治学方法論Ⅱ	2	1・2	
アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
アジア圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1・2	
米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
米洲圏概論Ⅱ	2	1・2	
環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
環太平洋圏概論Ⅱ	2	1・2	
民法概論Ⅰ	2	1・2	
民法概論Ⅱ	2	1・2	
経済情報入門＊	2	1・2	前期
国際政治学特殊講義Ⅰ＊	2	1・2	「読売新聞社寄附講座」 世界最前線
国際政治学特殊講義Ⅱ	2	1・2	本年度休講
国際政治学特殊講義Ⅲ	2	1～4	海外短期研修
インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1～4	夏期集中講義
簿記論Ⅰ	4	1・2	通年
国際経済学特殊講義Ⅲ	2	1～4	海外短期研修
国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1～4	本年度休講
国際コミュニケーション特殊講義（海外研修）	2	1～4	海外短期研修

※２年次より所属するコースによって、必修科目や科目区分（**学科科目Ａ群、学科科目Ｂ群、自由選択科目**）が異なります。各自、次頁以降の各学科コース別科目配置表を参照し、履修計画を立ててください。なお、Web 履修登録画面の「単位修得後結果情報」等では便宜的に、国際政治学科は「政治外交・安全保障コース」、国際経済学科は「国際経済政策コース」、国際コミュニケーション学科は「国際コミュニケーションコース」の科目区分にもとづく情報が表示されますが、あくまで参考としてください。

3．国際政治学科 科目配置表

(1) 政治外交・安全保障コース

国際政治学科　　（太字は必修科目）

政治外交・安全保障コース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	政治過程論Ⅰ	2	1・2	
	政治過程論Ⅱ	2	1・2	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1・2	
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1・2	
	国際法Ⅰ A	2	2	前期　※紛争解決と法
	国際法Ⅰ B	2	2	後期
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1・2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1・2	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1・2	前・後期
	国際経済学入門	2	1・2	前期（2年生以上用）・後期
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1・2	
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期
B群	政治学方法論Ⅰ	2	1・2	
	政治学方法論Ⅱ	2	1・2	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1・2	
	民法概論Ⅰ	2	1・2	
	民法概論Ⅱ	2	1・2	
	政治思想史Ⅰ	2	3・4	
	政治思想史Ⅱ	2	3・4	
	国際関係史Ⅰ	2	3・4	
	国際関係史Ⅱ	2	3・4	
	国際法Ⅱ A	2	3・4	前期
	国際法Ⅱ B	2	3・4	後期
	国際私法Ⅰ	2	3・4	
	国際私法Ⅱ	2	3・4	
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法Ⅱ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	外交史Ⅰ	2	3・4	
	外交史Ⅱ	2	3・4	
	日本政治論Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	日本政治論Ⅱ	2	3・4	本年度休講

B群	日本外交論Ⅰ	2	3・4	
	日本外交論Ⅱ	2	3・4	
	日本の外交・安全保障政策	2	3・4	前期
	日本の平和と安全保障	2	3・4	後期
	日本の環境政策	2	3・4	前期
	国際機構論Ⅰ	2	3・4	後期　英語講義
	国際機構論Ⅱ	2	3・4	前期　英語講義
	比較政治論Ⅰ	2	3・4	後期
	比較政治論Ⅱ	2	3・4	前期
	国際安全保障論Ⅰ	2	3・4	
	国際安全保障論Ⅱ	2	3・4	
	戦略論Ⅰ	2	3・4	
	戦略論Ⅱ	2	3・4	
	比較文化論Ⅰ	2	3・4	
	比較文化論Ⅱ	2	3・4	
	国際政治理論Ⅰ	2	3・4	
	国際政治理論Ⅱ	2	3・4	
	マスメディアと国際政治Ⅰ	2	3・4	
	マスメディアと国際政治Ⅱ	2	3・4	
	メディア論Ⅰ	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	メディア論Ⅱ	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	国連研究Ⅰ	2	3・4	夏期集中講義
	国連研究Ⅱ	2	3・4	49ページ参照
	アジア政治論Ⅰ	2	3・4	
	アジア政治論Ⅱ	2	3・4	
	アジア太平洋政治論Ⅰ	2	3・4	
	アジア太平洋政治論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	ロシア・中央アジア政治論Ⅰ	2	3・4	
	ロシア・中央アジア政治論Ⅱ	2	3・4	
	ヨーロッパ政治論Ⅰ	2	3・4	
	ヨーロッパ政治論Ⅱ	2	3・4	前期
	アメリカ政治論Ⅰ	2	3・4	2011年度新設科目
	アメリカ政治論Ⅱ	2	3・4	2011年度新設科目
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3・4	旧称　地域研究（アジア･アメリカ経済）Ⅰ
	地域研究（アジア経済）Ⅱ	2	3・4	旧称　地域研究（アジア･アメリカ経済）Ⅱ
	地域研究（EU経済）	2	3・4	本年度休講　旧称　地域研究（EU経済）Ⅰ
	地域研究（アメリカ経済）	2	3・4	後期
	開発経済学Ⅰ	2	3・4	後期
	開発経済学Ⅱ	2	3・4	前期
	経済情報入門＊	2	1・2	前期
	国際政治学特殊講義Ⅰ＊	2	1・2	「読売新聞社寄附講座」世界最前線
	国際政治学特殊講義Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	国際政治学特殊講義Ⅲ	2	1～4	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1～4	青山キャンパス開講　夏期集中講義　英語講義
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3・4	
	演習ⅠA	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習ⅠB	4	3	後期　2008年度以降入学者用

	演習Ⅰ 演習Ⅱ	8 4	3 4	通年　2007年度以前入学者用 通年
	〈閉講〉 地域研究（EU 経済）Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講

(2) グローバル・ガバナンスコース

国際政治学科　（太字は必修科目）

グローバル・ガバナンスコース科目配置表（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅰ	2	2	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅱ	2	2	
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1・2	
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1・2	
	国際法Ⅰ A	2	2	前期　※紛争解決と法
	国際法Ⅰ B	2	2	後期
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1・2	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1・2	前・後期
	国際経済学入門	2	1・2	前期（2年生以上用）・後期
	開発経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1・2	
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期
B群	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1・2	
	民法概論Ⅰ	2	1・2	
	民法概論Ⅱ	2	1・2	
	国際制度論Ⅰ	2	3・4	
	国際制度論Ⅱ	2	3・4	
	国連研究Ⅰ	2	3・4	夏期集中講義
	国連研究Ⅱ	2	3・4	49ページ参照
	日本の外交・安全保障政策	2	3・4	前期
	日本の平和と安全保障	2	3・4	後期
	日本の環境政策	2	3・4	前期
	国際機構論Ⅰ	2	3・4	後期　英語講義
	国際機構論Ⅱ	2	3・4	前期　英語講義
	国際平和協力論Ⅰ	2	3・4	
	国際平和協力論Ⅱ	2	3・4	
	戦略論Ⅰ	2	3・4	
	戦略論Ⅱ	2	3・4	
	国際環境論Ⅰ	2	3・4	
	国際環境論Ⅱ	2	3・4	

B群	国際行政論Ⅰ	2	3・4	
	国際行政論Ⅱ	2	3・4	
	国際NGO論Ⅰ	2	3・4	
	国際NGO論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	国際金融Ⅰ	2	3・4	
	国際金融Ⅱ	2	3・4	
	国際法ⅡA	2	3・4	前期
	国際法ⅡB	2	3・4	後期
	国際私法Ⅰ	2	3・4	
	国際私法Ⅱ	2	3・4	
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法Ⅱ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	国際関係史Ⅰ	2	3・4	
	国際関係史Ⅱ	2	3・4	
	外交史Ⅰ	2	3・4	
	外交史Ⅱ	2	3・4	
	国際安全保障論Ⅰ	2	3・4	
	国際安全保障論Ⅱ	2	3・4	
	経済情報入門＊	2	1・2	前期
	開発経済学Ⅰ	2	3・4	後期
	開発経済学Ⅱ	2	3・4	前期
	国際政治学特殊講義Ⅲ	2	1～4	海外短期研修
	国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1～4	青山キャンパス開講　夏期集中講義　英語講義
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3・4	
	演習ⅠA	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習ⅠB	4	3	後期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習Ⅱ	4	4	通年

(3) 国際経済政策コース

国際政治学科　　（太字は必修科目）

国際経済政策コース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1・2	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1・2	前・後期
	国際経済学入門	2	1・2	前期（２年生以上用）・後期
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	国際政治学Ⅰ（注１）	2	2	
	国際政治学Ⅱ（注１）	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ（注１）	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ（注１）	2	2	
	国際経済政策入門	2	1・2	後期
	国際ビジネス入門	2	1・2	前・後期
	開発経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1・2	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1・2	後期
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための統計学入門Ⅱ	2	1・2	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための数学入門Ⅱ	2	1・2	
	経済発展史	2	1・2	後期
	日本経済	2	1・2	後期
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2	
	プリゼミ	2	２のみ	前・後期
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1・2	
B群	経済情報入門＊	2	1・2	前期
	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1・2	
	簿記論Ⅰ	4	1・2	通年
	簿記論Ⅱ	4	3・4	通年
	簿記論ⅡA	2	3・4	2011年度以降入学者用
	簿記論ⅡB	2	3・4	2011年度以降入学者用
	国際経済A	2	3・4	前期　英語講義
	国際経済B	2	3・4	後期　英語講義
	開発経済学Ⅰ	2	3・4	後期
	開発経済学Ⅱ	2	3・4	前期
	国際貿易Ⅰ	2	3・4	

B群	国際貿易II	2	3・4	
	国際開発政策	2	3・4	後期
	国際金融Ⅰ	2	3・4	
	国際金融II	2	3・4	
	国際マクロ経済学	2	3・4	後期　英語講義
	開発金融	2	3・4	後期
	中国経済Ⅰ	2	3・4	
	中国経済II	2	3・4	
	国際経済政策論Ⅰ	2	3・4	
	国際経済政策論II	2	3・4	
	国際環境経済学Ⅰ	2	3・4	
	国際環境経済学II	2	3・4	
	ゲーム理論Ⅰ	2	3・4	
	ゲーム理論II	2	3・4	
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	ミクロ経済学中級II	2	3・4	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	マクロ経済学中級II	2	3・4	
	統計分析演習Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	統計分析演習II	2	3・4	本年度休講
	計量経済学Ⅰ	2	3・4	
	計量経済学II	2	3・4	
	平和経済学Ⅰ	2	3・4	
	平和経済学II	2	3・4	本年度休講
	国際産業論Ⅰ	2	3・4	
	国際産業論II	2	3・4	
	ビジネス・エコノミクス	2	3・4	後期
	多国籍企業論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	多国籍企業論II	2	3・4	英語講義
	国際労働経済学Ⅰ	2	3・4	2011年度新設科目
	国際労働経済学II	2	3・4	2011年度新設科目
	財政学	4	3・4	通年
	日本経済と証券ビジネス	2	3・4	「野村證券㈱寄附講座」 前期
	国際制度論Ⅰ	2	3・4	
	国際制度論II	2	3・4	
	国際行政論Ⅰ	2	3・4	
	国際行政論II	2	3・4	
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法II	2	3・4	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3・4	旧称　地域研究（アジア･アメリカ経済）Ⅰ
	地域研究（アジア経済）II	2	3・4	旧称　地域研究（アジア･アメリカ経済）II
	地域研究（EU 経済）	2	3・4	本年度休講　旧称　地域研究（EU 経済）Ⅰ
	地域研究（アメリカ経済）	2	3・4	後期
	国際経済学特殊講義Ⅰ	2	3・4	
	国際経済学特殊講義II	2	3・4	
	国際経済学特殊講義III	2	1～4	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1～4	本年度休講
	国際経済学特殊講義Ⅵ	2	3・4	前期
	国際経済学特殊講義Ⅶ	2	3・4	本年度休講
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	演習ⅠA	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習ⅠB	4	3	後期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習II	4	4	通年

	〈閉講〉			
	経済数学中級Ⅰ	2	3・4	2010年度閉講
	経済数学中級Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講
	地域研究（EU 経済）Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講

（注１） 学科科目Ａ群科目として**「国際政治学Ⅰ」「国際政治学Ⅱ」「国際政治経済学Ⅰ」「国際政治経済学Ⅱ」**の４科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目Ａ群の科目と同じ扱いになります。

(4) 国際ビジネスコース

国際政治学科　　（太字は必修科目）

国際ビジネスコース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1・2	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1・2	前・後期
	国際経済学入門	2	1・2	前期（2年生以上用）・後期
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	国際政治学Ⅰ（注2）	2	2	
	国際政治学Ⅱ（注2）	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ（注2）	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ（注2）	2	2	
	国際経済政策入門	2	1・2	後期
	国際ビジネス入門	2	1・2	前・後期
	ビジネス・マネジメントⅠ	2	1・2	
	ビジネス・マネジメントII	2	1・2	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1・2	後期
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための統計学入門II	2	1・2	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための数学入門II	2	1・2	
	経済発展史	2	1・2	後期
	日本経済	2	1・2	後期
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2	
	ミクロ経済学II	2	2	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学II	2	2	
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論II	2	1・2	
B群	経済情報入門＊	2	1・2	前期
	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論II	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論II	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論II	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論II	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論II	2	1・2	
	簿記論Ⅰ	4	1・2	通年
	簿記論II	4	3・4	通年
	簿記論II A	2	3・4	2011年度以降入学者用
	簿記論II B	2	3・4	2011年度以降入学者用
	国際経済A	2	3・4	前期　英語講義
	国際経済B	2	3・4	後期　英語講義
	国際貿易Ⅰ	2	3・4	
	国際貿易II	2	3・4	
	国際金融Ⅰ	2	3・4	
	国際金融II	2	3・4	
	中国経済Ⅰ	2	3・4	
	中国経済II	2	3・4	

B群	ゲーム理論Ⅰ	2	3・4	
	ゲーム理論Ⅱ	2	3・4	
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	ミクロ経済学中級Ⅱ	2	3・4	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	マクロ経済学中級Ⅱ	2	3・4	
	計量経済学Ⅰ	2	3・4	
	計量経済学Ⅱ	2	3・4	
	国際産業論Ⅰ	2	3・4	
	国際産業論Ⅱ	2	3・4	
	ビジネス・エコノミクス	2	3・4	後期
	多国籍企業論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	多国籍企業論Ⅱ	2	3・4	英語講義
	国際労働経済学Ⅰ	2	3・4	2011年度新設科目
	国際労働経済学Ⅱ	2	3・4	2011年度新設科目
	財務会計論Ⅰ	2	3・4	
	財務会計論Ⅱ	2	3・4	
	管理会計論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	管理会計論Ⅱ	2	3・4	英語講義
	国際会計（Ⅰ）	2	3・4	前期
	国際会計（Ⅱ）	2	3・4	後期
	国際マーケティング論Ⅰ	2	3・4	
	国際マーケティング論Ⅱ	2	3・4	
	コーポレートファイナンスⅠ	2	3・4	
	コーポレートファイナンスⅡ	2	3・4	
	グローバル経営論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	グローバル経営論Ⅱ	2	3・4	英語講義
	数理ファイナンスⅠ	2	3・4	
	数理ファイナンスⅡ	2	3・4	
	経営情報Ⅰ	2	3・4	
	経営情報Ⅱ	2	3・4	
	日本経済と証券ビジネス	2	3・4	「野村證券㈱寄附講座」 前期
	証券の基礎と資産選択入門	2	3・4	「日興フィナンシャル・インテリジェンス㈱寄附講座」 後期
	パブリック・リレーションズ	2	3・4	前期
	広告コミュニケーション論	2	3・4	後期
	コミュニケーション研究法の全体像	2	3・4	前期 旧称 多文化社会のコミュニケーション
	インターカルチュラル・コミュニケーション	2	3・4	前期 英語講義
	国際ビジネス・コミュニケーション（Ⅰ）	2	3・4	前期 ※国際ビジネス・コミュニケーションⅠ
	国際ビジネス・コミュニケーション（Ⅱ）	2	3・4	後期 ※国際ビジネス・コミュニケーションⅡ
	国際交渉論	2	3・4	後期 英語講義 ※異文化リテラシーⅠ
	国際交流論	2	3・4	前期
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法Ⅱ	2	3・4	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3・4	旧称 地域研究（アジア・アメリカ経済）Ⅰ
	地域研究（アジア経済）Ⅱ	2	3・4	旧称 地域研究（アジア・アメリカ経済）Ⅱ
	地域研究（EU 経済）	2	3・4	本年度休講 旧称 地域研究（EU 経済）Ⅰ
	地域研究（アメリカ経済）	2	3・4	後期
	国際経済学特殊講義Ⅲ	2	1～4	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1～4	本年度休講
	国際経済学特殊講義Ⅵ	2	3・4	前期
	国際経済学特殊講義Ⅶ	2	3・4	本年度休講
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講 後期 英語講義
	演習ⅠA	4	3	前期 2008年度以降入学者用
	演習ⅠB	4	3	後期 2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ	8	3	通年 2007年度以前入学者用

	演習II	4	4	通年
	〈閉講〉 地域研究（EU 経済）II	2	3・4	2010年度閉講

（注２） 学科科目Ａ群科目として**「国際政治学Ⅰ」「国際政治学Ⅱ」「国際政治経済学Ⅰ」「国際政治経済学Ⅱ」**の４科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。
なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(5) 国際コミュニケーションコース

国際政治学科　　（太字は必修科目）

国際コミュニケーションコース科目配置表（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1・2	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	国際政治学Ⅰ（注３）	2	2	
	国際政治学Ⅱ（注３）	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ（注３）	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ（注３）	2	2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1・2	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1・2	前・後期
	コミュニケーション論Ⅰ	2	2	
	コミュニケーション論Ⅱ	2	2	
	比較文化概論Ⅰ	2	2	
	比較文化概論Ⅱ	2	2	
	言語科学概論Ⅰ	2	2	
	言語科学概論Ⅱ	2	2	
	インターカルチュラル･コミュニケーション	2	3・4	前期　英語講義
	インターカルチュラル・リテラシー	2	3・4	前期　英語講義　※異文化リテラシーⅡ
	コミュニケーション研究法の全体像	2	3・4	前期　旧称　多文化社会のコミュニケーション
	言語の仕組み	2	3・4	前期
B群	パブリック・リレーションズ	2	3・4	前期
	コンフリクト・レゾルーション	2	3・4	前期
	国際交渉論	2	3・4	後期　英語講義　※異文化リテラシーⅠ
	国際交流論	2	3・4	前期
	紛争解決と法	2	2	前期　※国際法ⅠA
	インターネットと法＊	2	2	後期
	国際取引法	2	3・4	後期
	国際ネットワーク論	2	3・4	本年度休講
	社会情報論＊	2	3・4	前期
	情報倫理学	2	3・4	後期
	メディア論Ⅰ	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	メディア論Ⅱ	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	マスメディアと国際政治Ⅰ	2	3・4	
	マスメディアと国際政治Ⅱ	2	3・4	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1・2	後期
	広告コミュニケーション論	2	3・4	後期
	アンケート・社会調査の方法	2	3・4	後期　旧称　コミュニケーション研究法概論
	コンピュータによる調査データの解析	2	3・4	前期
	コミュニケーションの質的分析法Ⅰ	2	3・4	後期
	コミュニケーションの質的分析法Ⅱ	2	3・4	前期
	コミュニケーションの量的分析法Ⅰ	2	3・4	
	コミュニケーションの量的分析法Ⅱ	2	3・4	
	メディア・コミュニケーション論Ⅰ	1	3・4	本年度休講　※メディア･コミュニケーションⅠ
	メディア・コミュニケーション論Ⅱ	1	3・4	本年度休講　※メディア･コミュニケーションⅡ
	ジェンダー・コミュニケーション論Ⅰ	1	3・4	本年度休講　※ジェンダー･コミュニケーションⅠ
	ジェンダー・コミュニケーション論Ⅱ	1	3・4	本年度休講　※ジェンダー･コミュニケーションⅡ
	文化とコミュニケーションⅠ	2	2	※文化とコミュニケーションA
	文化とコミュニケーションⅡ	2	2	※文化とコミュニケーションB

B群	比較文化論Ⅰ	2	3・4	
	比較文化論Ⅱ	2	3・4	
	宗教文化論Ⅰ	2	2	
	宗教文化論Ⅱ	2	2	
	ヨーロッパ文化総論Ⅰ	2	3・4	※ヨーロッパ文化論Ⅰ
	ヨーロッパ文化総論Ⅱ	2	3・4	※ヨーロッパ文化論Ⅱ
	イスラム文化総論	2	3・4	前期
	日本文化論	2	3・4	前期
	中国文化論＊	2	3・4	後期
	韓国文化論	2	2	後期
	イギリス文化論	2	2	前期　※英語圏の社会と文化Ａ
	フランス文化論	2	3・4	後期
	ドイツ文化論	2	3・4	前期
	ロシア東欧文化論	2	3・4	後期
	スペイン文化論	2	3・4	前期
	アングロ・アメリカ文化論	2	3・4	後期
	イベロ・アメリカ文化論	2	3・4	後期
	インターカルチュラル・トレーニング	2	3・4	後期
	通訳の理論と実践Ⅰ	2	3・4	※通訳の理論と方法Ⅰ
	通訳の理論と実践Ⅱ	2	3・4	※通訳の理論と方法Ⅱ
	翻訳の理論と実践Ⅰ	2	3・4	※翻訳の理論と方法Ⅰ
	翻訳の理論と実践Ⅱ	2	3・4	※翻訳の理論と方法Ⅱ
	会議英語	2	3・4	後期　英語講義
	英語発音の理論と演習	2	3・4	後期　※認知とことばⅠ
	ディベートの理論と実習	2	3・4	前期　英語講義
	国際ビジネス･コミュニケーション（Ⅰ）	2	3・4	前期　※国際ビジネス･コミュニケーションⅠ
	国際ビジネス･コミュニケーション（Ⅱ）	2	3・4	後期　※国際ビジネス･コミュニケーションⅡ
	認知コミュニケーション論	2	3・4	前期　※日英語比較Ⅰ
	社会言語学＊	2	3・4	前期　※国際言語としての英語Ⅰ
	認知言語学	2	3・4	前期　※認知とことばⅡ
	国際言語としての英語	2	3・4	本年度休講　※国際言語としての英語Ⅱ
	言語形式と意味	2	3・4	後期　※日英語比較Ⅱ
	言語の普遍性	2	3・4	後期
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	国際コミュニケーション特殊講義(海外研修)	2	1～4	海外短期研修
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3・4	
	演習ⅠＡ	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習ⅠＢ	4	3	後期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習Ⅱ	4	4	通年

（注３）　学科科目Ａ群科目として**「国際政治学Ⅰ」「国際政治学Ⅱ」「国際政治経済学Ⅰ」「国際政治経済学Ⅱ」**の４科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。
　なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

（注４）　上記学科科目において単位を修得した科目の異名称同一科目は履修することができません。

（注５）　上記の学科科目Ａ群、Ｂ群、自由選択科目として修得した単位は、異名称同一の外国語科目Ｃ群の単位に振り替えることはできません。

4．国際経済学科 科目配置表

(1) 政治外交・安全保障コース

国際経済学科　（太字は必修科目）

政治外交・安全保障コース科目配置表　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論Ⅱ	2	1・2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1	前・後期
	国際経済学入門	2	1	前期（２年生以上用）・後期
	国際経済政策入門（注１）	2	1・2	後期
	国際ビジネス入門（注１）	2	1・2	前・後期
	政治過程論Ⅰ	2	1・2	
	政治過程論Ⅱ	2	1・2	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1・2	
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1・2	
	国際法Ⅰ A	2	2	前期　※紛争解決と法
	国際法Ⅰ B	2	2	後期
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1・2	
	プリゼミ	2	２のみ	前・後期
B群	政治学方法論Ⅰ	2	1・2	
	政治学方法論Ⅱ	2	1・2	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1・2	
	民法概論Ⅰ	2	1・2	
	民法概論Ⅱ	2	1・2	
	政治思想史Ⅰ	2	3・4	
	政治思想史Ⅱ	2	3・4	
	国際関係史Ⅰ	2	3・4	
	国際関係史Ⅱ	2	3・4	
	国際法Ⅱ A	2	3・4	前期
	国際法Ⅱ B	2	3・4	後期
	国際私法Ⅰ	2	3・4	
	国際私法Ⅱ	2	3・4	
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法Ⅱ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3・4	

B群	朝鮮半島の国際政治論II	2	3・4	本年度休講
	外交史I	2	3・4	
	外交史II	2	3・4	
	日本政治論I	2	3・4	本年度休講
	日本政治論II	2	3・4	本年度休講
	日本外交論I	2	3・4	
	日本外交論II	2	3・4	
	日本の外交・安全保障政策	2	3・4	前期
	日本の平和と安全保障	2	3・4	後期
	日本の環境政策	2	3・4	前期
	国際機構論I	2	3・4	後期　英語講義
	国際機構論II	2	3・4	前期　英語講義
	比較政治論I	2	3・4	後期
	比較政治論II	2	3・4	前期
	国際安全保障論I	2	3・4	
	国際安全保障論II	2	3・4	
	戦略論I	2	3・4	
	戦略論II	2	3・4	
	比較文化論I	2	3・4	
	比較文化論II	2	3・4	
	国際政治理論I	2	3・4	
	国際政治理論II	2	3・4	
	マスメディアと国際政治I	2	3・4	
	マスメディアと国際政治II	2	3・4	
	メディア論I	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	メディア論II	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	国連研究I	2	3・4	夏期集中講義
	国連研究II	2	3・4	49ページ参照
	アジア政治論I	2	3・4	
	アジア政治論II	2	3・4	
	アジア太平洋政治論I	2	3・4	
	アジア太平洋政治論II	2	3・4	本年度休講
	ロシア・中央アジア政治論I	2	3・4	
	ロシア・中央アジア政治論II	2	3・4	
	ヨーロッパ政治論I	2	3・4	
	ヨーロッパ政治論II	2	3・4	前期
	アメリカ政治論I	2	3・4	2011年度新設科目
	アメリカ政治論II	2	3・4	2011年度新設科目
	地域研究（アジア経済）I	2	3・4	旧称　地域研究（アジア･アメリカ経済）I
	地域研究（アジア経済）II	2	3・4	旧称　地域研究（アジア･アメリカ経済）II
	地域研究（EU 経済）	2	3・4	本年度休講　旧称　地域研究（EU 経済）I
	地域研究（アメリカ経済）	2	3・4	後期
	開発経済学I	2	3・4	後期
	開発経済学II	2	3・4	前期
	経済情報入門＊	2	1・2	前期
	国際政治学特殊講義I＊	2	1・2	「読売新聞社寄附講座」世界最前線
	国際政治学特殊講義II	2	1・2	本年度休講
	国際政治学特殊講義III	2	1～4	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	国際政治学特殊講義V	2	1～4	青山キャンパス開講　夏期集中講義　英語講義
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	外国書（フランス語）講読I	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読II	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読I	2	3・4	

B	外国書（ドイツ語）講読II	2	3・4	
群	外国書（スペイン語）講読 I	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読II	2	3・4	
	外国書（中国語）講読 I	2	3・4	
	外国書（中国語）講読II	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読 I	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読II	2	3・4	
	演習Ｉ A	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習Ｉ B	4	3	後期　2008年度以降入学者用
	演習 I	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習II	4	4	通年
	〈閉講〉			
	地域研究（EU 経済）II	2	3 ・ 4	2010年度閉講

（注１）　学科科目 A 群必修科目として**「国際経済政策入門」「国際ビジネス入門」**の 2 科目から **1 科目（ 2 単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目の A 群科目と同じ扱いになります。

(2) グローバル・ガバナンスコース

国際経済学科　　（太字は必修科目）

グローバル・ガバナンスコース科目配置表（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論Ⅱ	2	1・2	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅰ	2	2	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅱ	2	2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1	前・後期
	国際経済学入門	2	1	前期（2年生以上用）・後期
	国際経済政策入門（注2）	2	1・2	後期
	国際ビジネス入門（注2）	2	1・2	前・後期
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1・2	
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1・2	
	国際法ⅠA	2	2	前期　※紛争解決と法
	国際法ⅠB	2	2	後期
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1・2	
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期
B群	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1・2	
	民法概論Ⅰ	2	1・2	
	民法概論Ⅱ	2	1・2	
	国際制度論Ⅰ	2	3・4	
	国際制度論Ⅱ	2	3・4	
	国連研究Ⅰ	2	3・4	夏期集中講義
	国連研究Ⅱ	2	3・4	49ページ参照
	日本の外交・安全保障政策	2	3・4	前期
	日本の平和と安全保障	2	3・4	後期
	日本の環境政策	2	3・4	前期
	国際機構論Ⅰ	2	3・4	後期　英語講義
	国際機構論Ⅱ	2	3・4	前期　英語講義
	国際平和協力論Ⅰ	2	3・4	
	国際平和協力論Ⅱ	2	3・4	
	戦略論Ⅰ	2	3・4	
	戦略論Ⅱ	2	3・4	

B	国際環境論Ⅰ	2	3・4	
群	国際環境論Ⅱ	2	3・4	
	国際行政論Ⅰ	2	3・4	
	国際行政論Ⅱ	2	3・4	
	国際 NGO 論Ⅰ	2	3・4	
	国際 NGO 論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	国際金融Ⅰ	2	3・4	
	国際金融Ⅱ	2	3・4	
	国際法ⅡA	2	3・4	前期
	国際法ⅡB	2	3・4	後期
	国際私法Ⅰ	2	3・4	
	国際私法Ⅱ	2	3・4	
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法Ⅱ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	国際関係史Ⅰ	2	3・4	
	国際関係史Ⅱ	2	3・4	
	外交史Ⅰ	2	3・4	
	外交史Ⅱ	2	3・4	
	国際安全保障論Ⅰ	2	3・4	
	国際安全保障論Ⅱ	2	3・4	
	経済情報入門＊	2	1・2	前期
	開発経済学Ⅰ	2	3・4	後期
	開発経済学Ⅱ	2	3・4	前期
	国際政治学特殊講義Ⅲ	2	1 ～ 4	海外短期研修
	国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1 ～ 4	青山キャンパス開講　夏期集中講義　英語講義
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2 ～ 4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	インターンシップ	2	1 ～ 3	49ページ参照
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3・4	
	演習Ⅰ A	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ B	4	3	後期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習Ⅱ	4	4	通年

（注２）　学科科目Ａ群科目として**「国際経済政策入門」「国際ビジネス入門」**の２科目から**１科目（２単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(3) 国際経済政策コース

国際経済学科　　（太字は必修科目）

国際経済政策コース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1	前・後期
	国際経済学入門	2	1	前期（2年生以上用）・後期
	国際経済政策入門	2	1・2	後期
	国際ビジネス入門	2	1・2	前・後期
	開発経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1・2	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1・2	後期
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための統計学入門Ⅱ	2	1・2	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための数学入門Ⅱ	2	1・2	
	経済発展史	2	1・2	後期
	日本経済	2	1・2	後期
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2	
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論Ⅱ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1・2	
B群	経済情報入門＊	2	1・2	前期
	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1・2	
	簿記論Ⅰ	4	1・2	通年
	簿記論Ⅱ	4	3・4	通年
	簿記論ⅡA	2	3・4	2011年度以降入学者用
	簿記論ⅡB	2	3・4	2011年度以降入学者用
	国際経済A	2	3・4	前期　英語講義
	国際経済B	2	3・4	後期　英語講義
	開発経済学Ⅰ	2	3・4	後期
	開発経済学Ⅱ	2	3・4	前期
	国際貿易Ⅰ	2	3・4	
	国際貿易Ⅱ	2	3・4	
	国際開発政策	2	3・4	後期
	国際金融Ⅰ	2	3・4	
	国際金融Ⅱ	2	3・4	

B群	国際マクロ経済学	2	3・4	後期　英語講義
	開発金融	2	3・4	後期
	中国経済Ⅰ	2	3・4	
	中国経済Ⅱ	2	3・4	
	国際経済政策論Ⅰ	2	3・4	
	国際経済政策論Ⅱ	2	3・4	
	国際環境経済学Ⅰ	2	3・4	
	国際環境経済学Ⅱ	2	3・4	
	ゲーム理論Ⅰ	2	3・4	
	ゲーム理論Ⅱ	2	3・4	
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	ミクロ経済学中級Ⅱ	2	3・4	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	マクロ経済学中級Ⅱ	2	3・4	
	統計分析演習Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	統計分析演習Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	計量経済学Ⅰ	2	3・4	
	計量経済学Ⅱ	2	3・4	
	平和経済学Ⅰ	2	3・4	
	平和経済学Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	国際産業論Ⅰ	2	3・4	
	国際産業論Ⅱ	2	3・4	
	ビジネス・エコノミクス	2	3・4	後期
	多国籍企業論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	多国籍企業論Ⅱ	2	3・4	英語講義
	国際労働経済学Ⅰ	2	3・4	2011年度新設科目
	国際労働経済学Ⅱ	2	3・4	2011年度新設科目
	財政学	4	3・4	通年
	日本経済と証券ビジネス	2	3・4	「野村證券㈱寄附講座」　前期
	国際制度論Ⅰ	2	3・4	
	国際制度論Ⅱ	2	3・4	
	国際行政論Ⅰ	2	3・4	
	国際行政論Ⅱ	2	3・4	
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法Ⅱ	2	3・4	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3・4	旧称　地域研究（アジア・アメリカ経済）Ⅰ
	地域研究（アジア経済）Ⅱ	2	3・4	旧称　地域研究（アジア・アメリカ経済）Ⅱ
	地域研究（EU経済）	2	3・4	本年度休講　旧称　地域研究（EU経済）Ⅰ
	地域研究（アメリカ経済）	2	3・4	後期
	国際経済学特殊講義Ⅰ	2	3・4	
	国際経済学特殊講義Ⅱ	2	3・4	
	国際経済学特殊講義Ⅲ	2	1～4	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1～4	本年度休講
	国際経済学特殊講義Ⅵ	2	3・4	前期
	国際経済学特殊講義Ⅶ	2	3・4	本年度休講
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	演習ⅠA	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習ⅠB	4	3	後期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習Ⅱ	4	4	通年
	〈閉講〉			
	経済数学中級Ⅰ	2	3・4	2010年度閉講
	経済数学中級Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講
	地域研究（EU経済）Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講

(4) 国際ビジネスコース

国際経済学科　（太字は必修科目）

国際ビジネスコース科目配置表　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1	前・後期
	国際経済学入門	2	1	前期（2年生以上用）・後期
	国際経済政策入門	2	1・2	後期
	国際ビジネス入門	2	1・2	前・後期
	ビジネス・マネジメントⅠ	2	1・2	
	ビジネス・マネジメントⅡ	2	1・2	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1・2	後期
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための統計学入門Ⅱ	2	1・2	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための数学入門Ⅱ	2	1・2	
	経済発展史	2	1・2	後期
	日本経済	2	1・2	後期
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2	
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論Ⅱ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1・2	
B群	経済情報入門＊	2	1・2	前期
	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1・2	
	簿記論Ⅰ	4	1・2	通年
	簿記論Ⅱ	4	3・4	通年
	簿記論ⅡA	2	3・4	2011年度以降入学者用
	簿記論ⅡB	2	3・4	2011年度以降入学者用
	国際経済A	2	3・4	前期　英語講義
	国際経済B	2	3・4	後期　英語講義
	国際貿易Ⅰ	2	3・4	
	国際貿易Ⅱ	2	3・4	
	国際金融Ⅰ	2	3・4	
	国際金融Ⅱ	2	3・4	
	中国経済Ⅰ	2	3・4	
	中国経済Ⅱ	2	3・4	
	ゲーム理論Ⅰ	2	3・4	

B群	ゲーム理論II	2	3・4	
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	ミクロ経済学中級II	2	3・4	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	マクロ経済学中級II	2	3・4	
	計量経済学Ⅰ	2	3・4	
	計量経済学II	2	3・4	
	国際産業論Ⅰ	2	3・4	
	国際産業論II	2	3・4	
	ビジネス・エコノミクス	2	3・4	後期
	多国籍企業論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	多国籍企業論II	2	3・4	英語講義
	国際労働経済学Ⅰ	2	3・4	2011年度新設科目
	国際労働経済学II	2	3・4	2011年度新設科目
	財務会計論Ⅰ	2	3・4	
	財務会計論II	2	3・4	
	管理会計論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	管理会計論II	2	3・4	英語講義
	国際会計（Ⅰ）	2	3・4	前期
	国際会計（II）	2	3・4	後期
	国際マーケティング論Ⅰ	2	3・4	
	国際マーケティング論II	2	3・4	
	コーポレートファイナンスⅠ	2	3・4	
	コーポレートファイナンスII	2	3・4	
	グローバル経営論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	グローバル経営論II	2	3・4	英語講義
	数理ファイナンスⅠ	2	3・4	
	数理ファイナンスII	2	3・4	
	経営情報Ⅰ	2	3・4	
	経営情報II	2	3・4	
	日本経済と証券ビジネス	2	3・4	「野村證券㈱寄附講座」 前期
	証券の基礎と資産選択入門	2	3・4	「日興フィナンシャル・インテリジェンス㈱寄附講座」 後期
	パブリック・リレーションズ	2	3・4	前期
	広告コミュニケーション論	2	3・4	後期
	コミュニケーション研究法の全体像	2	3・4	前期 旧称 多文化社会のコミュニケーション
	インターカルチュラル・コミュニケーション	2	3・4	前期 英語講義
	国際ビジネス・コミュニケーション（Ⅰ）	2	3・4	前期 ※国際ビジネス・コミュニケーションⅠ
	国際ビジネス・コミュニケーション（II）	2	3・4	後期 ※国際ビジネス・コミュニケーションII
	国際交渉論	2	3・4	後期 英語講義 ※異文化リテラシーⅠ
	国際交流論	2	3・4	前期
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法II	2	3・4	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3・4	旧称 地域研究（アジア・アメリカ経済）Ⅰ
	地域研究（アジア経済）II	2	3・4	旧称 地域研究（アジア・アメリカ経済）II
	地域研究（EU 経済）	2	3・4	本年度休講 旧称 地域研究（EU 経済）Ⅰ
	地域研究（アメリカ経済）	2	3・4	後期
	国際経済学特殊講義III	2	1～4	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1～4	本年度休講
	国際経済学特殊講義Ⅵ	2	3・4	前期
	国際経済学特殊講義Ⅶ	2	3・4	本年度休講
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講 後期 英語講義
	演習ⅠA	4	3	前期 2008年度以降入学者用
	演習ⅠB	4	3	後期 2008年度以降入学者用

	演習Ⅰ	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習Ⅱ	4	4	通年
	〈閉講〉			
	地域研究（EU 経済）Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講

(5) 国際コミュニケーションコース

国際経済学科　（太字は必修科目）

国際コミュニケーションコース科目配置表（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1・2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1	前・後期
	国際経済学入門	2	1	前期（２年生以上用）・後期
	国際経済政策入門（注３）	2	1・2	後期
	国際ビジネス入門（注３）	2	1・2	前・後期
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論Ⅱ	2	1・2	
	コミュニケーション論Ⅰ	2	2	
	コミュニケーション論Ⅱ	2	2	
	比較文化概論Ⅰ	2	2	
	比較文化概論Ⅱ	2	2	
	言語科学概論Ⅰ	2	2	
	言語科学概論Ⅱ	2	2	
	インターカルチュラル･コミュニケーション	2	3・4	前期　英語講義
	インターカルチュラル・リテラシー	2	3・4	前期　英語講義　※異文化リテラシーⅡ
	コミュニケーション研究法の全体像	2	3・4	前期　旧称　多文化社会のコミュニケーション
	言語の仕組み	2	3・4	前期
B群	パブリック・リレーションズ	2	3・4	前期
	コンフリクト・レゾルーション	2	3・4	前期
	国際交渉論	2	3・4	後期　英語講義　※異文化リテラシーⅠ
	国際交流論	2	3・4	前期
	紛争解決と法	2	2	前期　※国際法ⅠA
	インターネットと法＊	2	2	後期
	国際取引法	2	3・4	後期
	国際ネットワーク論	2	3・4	本年度休講
	社会情報論＊	2	3・4	前期
	情報倫理学	2	3・4	後期
	メディア論Ⅰ	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	メディア論Ⅱ	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	マスメディアと国際政治Ⅰ	2	3・4	
	マスメディアと国際政治Ⅱ	2	3・4	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1・2	後期
	広告コミュニケーション論	2	3・4	後期
	アンケート・社会調査の方法	2	3・4	後期　旧称　コミュニケーション研究法概論
	コンピュータによる調査データの解析	2	3・4	前期
	コミュニケーションの質的分析法Ⅰ	2	3・4	後期
	コミュニケーションの質的分析法Ⅱ	2	3・4	前期
	コミュニケーションの量的分析法Ⅰ	2	3・4	
	コミュニケーションの量的分析法Ⅱ	2	3・4	
	メディア・コミュニケーション論Ⅰ	1	3・4	本年度休講　※メディア･コミュニケーションⅠ
	メディア・コミュニケーション論Ⅱ	1	3・4	本年度休講　※メディア･コミュニケーションⅡ
	ジェンダー・コミュニケーション論Ⅰ	1	3・4	本年度休講　※ジェンダー･コミュニケーションⅠ
	ジェンダー・コミュニケーション論Ⅱ	1	3・4	本年度休講　※ジェンダー･コミュニケーションⅡ
	文化とコミュニケーションⅠ	2	2	※文化とコミュニケーションA
	文化とコミュニケーションⅡ	2	2	※文化とコミュニケーションB
	比較文化論Ⅰ	2	3・4	

B群	比較文化論II	2	3・4	
	宗教文化論Ⅰ	2	2	
	宗教文化論II	2	2	
	ヨーロッパ文化総論Ⅰ	2	3・4	※ヨーロッパ文化論Ⅰ
	ヨーロッパ文化総論II	2	3・4	※ヨーロッパ文化論II
	イスラム文化総論	2	3・4	前期
	日本文化論	2	3・4	前期
	中国文化論＊	2	3・4	後期
	韓国文化論	2	2	後期
	イギリス文化論	2	2	前期　※英語圏の社会と文化Ａ
	フランス文化論	2	3・4	後期
	ドイツ文化論	2	3・4	前期
	ロシア東欧文化論	2	3・4	後期
	スペイン文化論	2	3・4	前期
	アングロ・アメリカ文化論	2	3・4	後期
	イベロ・アメリカ文化論	2	3・4	後期
	インターカルチュラル・トレーニング	2	3・4	後期
	通訳の理論と実践Ⅰ	2	3・4	※通訳の理論と方法Ⅰ
	通訳の理論と実践II	2	3・4	※通訳の理論と方法II
	翻訳の理論と実践Ⅰ	2	3・4	※翻訳の理論と方法Ⅰ
	翻訳の理論と実践II	2	3・4	※翻訳の理論と方法II
	会議英語	2	3・4	後期　英語講義
	英語発音の理論と演習	2	3・4	後期　※認知とことばⅠ
	ディベートの理論と実習	2	3・4	前期　英語講義
	国際ビジネス･コミュニケーション（Ⅰ）	2	3・4	前期　※国際ビジネス･コミュニケーションⅠ
	国際ビジネス･コミュニケーション（II）	2	3・4	後期　※国際ビジネス･コミュニケーションII
	認知コミュニケーション論	2	3・4	前期　※日英語比較Ⅰ
	社会言語学＊	2	3・4	前期　※国際言語としての英語Ⅰ
	認知言語学	2	3・4	前期　※認知とことばII
	国際言語としての英語	2	3・4	本年度休講　※国際言語としての英語II
	言語形式と意味	2	3・4	後期　※日英語比較II
	言語の普遍性	2	3・4	後期
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	国際コミュニケーション特殊講義(海外研修)	2	1～4	海外短期研修
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読II	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読II	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読II	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読II	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読II	2	3・4	
	演習Ⅰ A	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ B	4	3	後期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習II	4	4	通年

（注３）　学科科目Ａ群科目として**「国際経済政策入門」「国際ビジネス入門」**の２科目から**１科目（２単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

（注４）　上記学科科目において単位を修得した科目の異名称同一科目は履修することができません。

（注５）　上記の学科科目Ａ群、Ｂ群、自由選択科目として修得した単位は、異名称同一の外国語科目Ｃ群の単位に振り替えることはできません。

5．国際コミュニケーション学科 科目配置表

(1) 政治外交・安全保障コース

国際コミュニケーション学科　（太字は必修科目）

政治外交・安全保障コース科目配置表　（原則として、Ⅰ…前期科目　II…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論Ⅱ	2	1・2	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	コミュニケーション論Ⅰ（注１）	2	2	
	コミュニケーション論Ⅱ（注１）	2	2	
	比較文化概論Ⅰ（注１）	2	2	
	比較文化概論Ⅱ（注１）	2	2	
	言語科学概論Ⅰ（注１）	2	2	
	言語科学概論Ⅱ（注１）	2	2	
	政治過程論Ⅰ	2	1・2	
	政治過程論II	2	1・2	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1・2	
	憲法と政治制度II	2	1・2	
	国際法ⅠA	2	2	前期　※紛争解決と法
	国際法ⅠB	2	2	後期
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学II	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学II	2	2	
	開発経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	開発経済学入門II	2	1・2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1・2	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1・2	前・後期
	国際経済学入門	2	1・2	前期（２年生以上用）・後期
	プリゼミ	2	２のみ	前・後期
B群	政治学方法論Ⅰ	2	1・2	
	政治学方法論II	2	1・2	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論II	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論II	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論II	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論II	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論II	2	1・2	
	民法概論Ⅰ	2	1・2	
	民法概論II	2	1・2	
	政治思想史Ⅰ	2	3・4	
	政治思想史II	2	3・4	
	国際関係史Ⅰ	2	3・4	
	国際関係史II	2	3・4	
	国際法II A	2	3・4	前期
	国際法II B	2	3・4	後期
	国際私法Ⅰ	2	3・4	

B群	国際私法II	2	3・4	
	国際経済法 I	2	3・4	
	国際経済法II	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論 I	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論II	2	3・4	本年度休講
	外交史 I	2	3・4	
	外交史II	2	3・4	
	日本政治論 I	2	3・4	本年度休講
	日本政治論II	2	3・4	本年度休講
	日本外交論 I	2	3・4	
	日本外交論II	2	3・4	
	日本の外交・安全保障政策	2	3・4	前期
	日本の平和と安全保障	2	3・4	後期
	日本の環境政策	2	3・4	前期
	国際機構論 I	2	3・4	後期　英語講義
	国際機構論II	2	3・4	前期　英語講義
	比較政治論 I	2	3・4	後期
	比較政治論II	2	3・4	前期
	国際安全保障論 I	2	3・4	
	国際安全保障論II	2	3・4	
	戦略論 I	2	3・4	
	戦略論II	2	3・4	
	比較文化論 I	2	3・4	
	比較文化論II	2	3・4	
	国際政治理論 I	2	3・4	
	国際政治理論II	2	3・4	
	マスメディアと国際政治 I	2	3・4	
	マスメディアと国際政治II	2	3・4	
	メディア論 I	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	メディア論II	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	国連研究 I	2	3・4	夏期集中講義
	国連研究II	2	3・4	49ページ参照
	アジア政治論 I	2	3・4	
	アジア政治論II	2	3・4	
	アジア太平洋政治論 I	2	3・4	
	アジア太平洋政治論II	2	3・4	本年度休講
	ロシア・中央アジア政治論 I	2	3・4	
	ロシア・中央アジア政治論II	2	3・4	
	ヨーロッパ政治論 I	2	3・4	
	ヨーロッパ政治論II	2	3・4	前期
	アメリカ政治論 I	2	3・4	2011年度新設科目
	アメリカ政治論II	2	3・4	2011年度新設科目
	地域研究（アジア経済）I	2	3・4	旧称　地域研究（アジア･アメリカ経済）I
	地域研究（アジア経済）II	2	3・4	旧称　地域研究（アジア･アメリカ経済）II
	地域研究（EU 経済）	2	3・4	本年度休講　旧称　地域研究（EU 経済）I
	地域研究（アメリカ経済）	2	3・4	後期
	開発経済学 I	2	3・4	後期
	開発経済学II	2	3・4	前期
	経済情報入門＊	2	1・2	前期
	国際政治学特殊講義 I ＊	2	1・2	「読売新聞社寄附講座」世界最前線
	国際政治学特殊講義II	2	1・2	本年度休講
	国際政治学特殊講義III	2	1 ～ 4	海外短期研修
	インターンシップ	2	1 ～ 3	49ページ参照
	国際政治学特殊講義V	2	1 ～ 4	青山キャンパス開講　夏期集中講義 英語講義

B群	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3・4	
	演習ⅠA	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習ⅠB	4	3	後期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習Ⅱ	4	4	通年
	〈閉講〉			
	地域研究（EU経済）Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講

（注１）　学科科目Ａ群科目として**「コミュニケーション論Ⅰ」「コミュニケーション論Ⅱ」「比較文化概論Ⅰ」「比較文化概論Ⅱ」「言語科学概論Ⅰ」「言語科学概論Ⅱ」**の６科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(2) グローバル・ガバナンスコース

国際コミュニケーション学科　　（太字は必修科目）

グローバル・ガバナンスコース科目配置表（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論Ⅱ	2	1・2	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅰ	2	2	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅱ	2	2	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	コミュニケーション論Ⅰ（注２）	2	2	
	コミュニケーション論Ⅱ（注２）	2	2	
	比較文化概論Ⅰ（注２）	2	2	
	比較文化概論Ⅱ（注２）	2	2	
	言語科学概論Ⅰ（注２）	2	2	
	言語科学概論Ⅱ（注２）	2	2	
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1・2	
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1・2	
	国際法ⅠA	2	2	前期　※紛争解決と法
	国際法ⅠB	2	2	後期
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1・2	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1・2	前・後期
	国際経済学入門	2	1・2	前期（２年生以上用）・後期
	開発経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1・2	
	プリゼミ	2	２のみ	前・後期
B群	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1・2	
	民法概論Ⅰ	2	1・2	
	民法概論Ⅱ	2	1・2	
	国際制度論Ⅰ	2	3・4	
	国際制度論Ⅱ	2	3・4	
	国連研究Ⅰ	2	3・4	夏期集中講義
	国連研究Ⅱ	2	3・4	49ページ参照
	日本の外交・安全保障政策	2	3・4	前期
	日本の平和と安全保障	2	3・4	後期
	日本の環境政策	2	3・4	前期
	国際機構論Ⅰ	2	3・4	後期　英語講義
	国際機構論Ⅱ	2	3・4	前期　英語講義

B	国際平和協力論Ⅰ	2	3・4	
群	国際平和協力論Ⅱ	2	3・4	
	戦略論Ⅰ	2	3・4	
	戦略論Ⅱ	2	3・4	
	国際環境論Ⅰ	2	3・4	
	国際環境論Ⅱ	2	3・4	
	国際行政論Ⅰ	2	3・4	
	国際行政論Ⅱ	2	3・4	
	国際 NGO 論Ⅰ	2	3・4	
	国際 NGO 論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	国際金融Ⅰ	2	3・4	
	国際金融Ⅱ	2	3・4	
	国際法Ⅱ A	2	3・4	前期
	国際法Ⅱ B	2	3・4	後期
	国際私法Ⅰ	2	3・4	
	国際私法Ⅱ	2	3・4	
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法Ⅱ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	国際関係史Ⅰ	2	3・4	
	国際関係史Ⅱ	2	3・4	
	外交史Ⅰ	2	3・4	
	外交史Ⅱ	2	3・4	
	国際安全保障論Ⅰ	2	3・4	
	国際安全保障論Ⅱ	2	3・4	
	経済情報入門＊	2	1・2	前期
	開発経済学Ⅰ	2	3・4	後期
	開発経済学Ⅱ	2	3・4	前期
	国際政治学特殊講義Ⅲ	2	1～4	海外短期研修
	国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1～4	青山キャンパス開講　夏期集中講義　英語講義
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3・4	
	演習Ⅰ A	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ B	4	3	後期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習Ⅱ	4	4	通年

（注２）　学科科目Ａ群科目として**「コミュニケーション論Ⅰ」「コミュニケーション論Ⅱ」「比較文化概論Ⅰ」「比較文化概論Ⅱ」「言語科学概論Ⅰ」「言語科学概論Ⅱ」**の６科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(3) 国際経済政策コース

国際コミュニケーション学科　　（太字は必修科目）

国際経済政策コース科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1・2	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1・2	前・後期
	国際経済学入門	2	1・2	前期（2年生以上用）・後期
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	コミュニケーション論Ⅰ（注3）	2	2	
	コミュニケーション論Ⅱ（注3）	2	2	
	比較文化概論Ⅰ（注3）	2	2	
	比較文化概論Ⅱ（注3）	2	2	
	言語科学概論Ⅰ（注3）	2	2	
	言語科学概論Ⅱ（注3）	2	2	
	国際経済政策入門	2	1・2	後期
	国際ビジネス入門	2	1・2	前・後期
	開発経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	開発経済学入門Ⅱ	2	1・2	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1・2	後期
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための統計学入門Ⅱ	2	1・2	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための数学入門Ⅱ	2	1・2	
	経済発展史	2	1・2	後期
	日本経済	2	1・2	後期
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2	
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論Ⅱ	2	1・2	
B群	経済情報入門＊	2	1・2	前期
	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1・2	
	簿記論Ⅰ	4	1・2	通年
	簿記論Ⅱ	4	3・4	通年
	簿記論ⅡA	2	3・4	2011年度以降入学者用
	簿記論ⅡB	2	3・4	2011年度以降入学者用
	国際経済A	2	3・4	前期　英語講義
	国際経済B	2	3・4	後期　英語講義
	開発経済学Ⅰ	2	3・4	後期
	開発経済学Ⅱ	2	3・4	前期
	国際貿易Ⅰ	2	3・4	

B	国際貿易II	2	3・4	
群	国際開発政策	2	3・4	後期
	国際金融Ⅰ	2	3・4	
	国際金融II	2	3・4	
	国際マクロ経済学	2	3・4	後期　英語講義
	開発金融	2	3・4	後期
	中国経済Ⅰ	2	3・4	
	中国経済II	2	3・4	
	国際経済政策論Ⅰ	2	3・4	
	国際経済政策論II	2	3・4	
	国際環境経済学Ⅰ	2	3・4	
	国際環境経済学II	2	3・4	
	ゲーム理論Ⅰ	2	3・4	
	ゲーム理論II	2	3・4	
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	ミクロ経済学中級II	2	3・4	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	マクロ経済学中級II	2	3・4	
	統計分析演習Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	統計分析演習II	2	3・4	本年度休講
	計量経済学Ⅰ	2	3・4	
	計量経済学II	2	3・4	
	平和経済学Ⅰ	2	3・4	
	平和経済学II	2	3・4	本年度休講
	国際産業論Ⅰ	2	3・4	
	国際産業論II	2	3・4	
	ビジネス・エコノミクス	2	3・4	後期
	多国籍企業論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	多国籍企業論II	2	3・4	英語講義
	国際労働経済学Ⅰ	2	3・4	2011年度新設科目
	国際労働経済学II	2	3・4	2011年度新設科目
	財政学	4	3・4	通年
	日本経済と証券ビジネス	2	3・4	「野村證券㈱寄附講座」 前期
	国際制度論Ⅰ	2	3・4	
	国際制度論II	2	3・4	
	国際行政論Ⅰ	2	3・4	
	国際行政論II	2	3・4	
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法II	2	3・4	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3・4	旧称　地域研究（アジア･アメリカ経済）Ⅰ
	地域研究（アジア経済）II	2	3・4	旧称　地域研究（アジア･アメリカ経済）II
	地域研究（EU 経済）	2	3・4	本年度休講　旧称　地域研究（EU 経済）Ⅰ
	地域研究（アメリカ経済）	2	3・4	後期
	国際経済学特殊講義Ⅰ	2	3・4	
	国際経済学特殊講義II	2	3・4	
	国際経済学特殊講義III	2	1～4	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1～4	本年度休講
	国際経済学特殊講義Ⅵ	2	3・4	前期
	国際経済学特殊講義Ⅶ	2	3・4	本年度休講
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	演習ⅠA	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習ⅠB	4	3	後期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習II	4	4	通年

	〈閉講〉			
	経済数学中級Ⅰ	2	3・4	2010年度閉講
	経済数学中級Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講
	地域研究（EU 経済）Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講

（注３） 学科科目Ａ群科目として**「コミュニケーション論Ⅰ」「コミュニケーション論Ⅱ」「比較文化概論Ⅰ」「比較文化概論Ⅱ」「言語科学概論Ⅰ」「言語科学概論Ⅱ」**の６科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(4) 国際ビジネスコース

国際コミュニケーション学科　（太字は必修科目）

国際ビジネスコース科目配置表　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	経済学入門（ミクロ）	2	1・2	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1・2	前・後期
	国際経済学入門	2	1・2	前期（2年生以上用）・後期
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	コミュニケーション論Ⅰ（注4）	2	2	
	コミュニケーション論Ⅱ（注4）	2	2	
	比較文化概論Ⅰ（注4）	2	2	
	比較文化概論Ⅱ（注4）	2	2	
	言語科学概論Ⅰ（注4）	2	2	
	言語科学概論Ⅱ（注4）	2	2	
	国際経済政策入門	2	1・2	後期
	国際ビジネス入門	2	1・2	前・後期
	ビジネス・マネジメントⅠ	2	1・2	
	ビジネス・マネジメントII	2	1・2	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1・2	後期
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための統計学入門II	2	1・2	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための数学入門II	2	1・2	
	経済発展史	2	1・2	後期
	日本経済	2	1・2	後期
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2	
	ミクロ経済学II	2	2	
	マクロ経済学Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学II	2	2	
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論II	2	1・2	
B群	経済情報入門＊	2	1・2	前期
	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論II	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論II	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論II	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論II	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論II	2	1・2	
	簿記論Ⅰ	4	1・2	通年
	簿記論II	4	3・4	通年
	簿記論II A	2	3・4	2011年度以降入学者用
	簿記論II B	2	3・4	2011年度以降入学者用
	国際経済A	2	3・4	前期　英語講義
	国際経済B	2	3・4	後期　英語講義
	国際貿易Ⅰ	2	3・4	

B群	国際貿易II	2	3・4	
	国際金融Ⅰ	2	3・4	
	国際金融II	2	3・4	
	中国経済Ⅰ	2	3・4	
	中国経済II	2	3・4	
	ゲーム理論Ⅰ	2	3・4	
	ゲーム理論II	2	3・4	
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	ミクロ経済学中級II	2	3・4	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	マクロ経済学中級II	2	3・4	
	計量経済学Ⅰ	2	3・4	
	計量経済学II	2	3・4	
	国際産業論Ⅰ	2	3・4	
	国際産業論II	2	3・4	
	ビジネス・エコノミクス	2	3・4	後期
	多国籍企業論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	多国籍企業論II	2	3・4	英語講義
	国際労働経済学Ⅰ	2	3・4	2011年度新設科目
	国際労働経済学II	2	3・4	2011年度新設科目
	財務会計論Ⅰ	2	3・4	
	財務会計論II	2	3・4	
	管理会計論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	管理会計論II	2	3・4	英語講義
	国際会計（Ⅰ）	2	3・4	前期
	国際会計（II）	2	3・4	後期
	国際マーケティング論Ⅰ	2	3・4	
	国際マーケティング論II	2	3・4	
	コーポレートファイナンスⅠ	2	3・4	
	コーポレートファイナンスII	2	3・4	
	グローバル経営論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	グローバル経営論II	2	3・4	英語講義
	数理ファイナンスⅠ	2	3・4	
	数理ファイナンスII	2	3・4	
	経営情報Ⅰ	2	3・4	
	経営情報II	2	3・4	
	日本経済と証券ビジネス	2	3・4	「野村證券㈱寄附講座」 前期
	証券の基礎と資産選択入門	2	3・4	「日興フィナンシャル・インテリジェンス㈱寄附講座」 後期
	パブリック・リレーションズ	2	3・4	前期
	広告コミュニケーション論	2	3・4	後期
	コミュニケーション研究法の全体像	2	3・4	前期 旧称 多文化社会のコミュニケーション
	インターカルチュラル・コミュニケーション	2	3・4	前期 英語講義
	国際ビジネス・コミュニケーション（Ⅰ）	2	3・4	前期 ※国際ビジネス・コミュニケーションⅠ
	国際ビジネス・コミュニケーション（II）	2	3・4	後期 ※国際ビジネス・コミュニケーションII
	国際交渉論	2	3・4	後期 英語講義 ※異文化リテラシーⅠ
	国際交流論	2	3・4	前期
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法II	2	3・4	
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3・4	旧称 地域研究（アジア・アメリカ経済）Ⅰ
	地域研究（アジア経済）II	2	3・4	旧称 地域研究（アジア・アメリカ経済）II
	地域研究（EU 経済）	2	3・4	本年度休講 旧称 地域研究（EU 経済）Ⅰ
	地域研究（アメリカ経済）	2	3・4	後期
	国際経済学特殊講義III	2	1～4	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	国際経済学特殊講義V	2	1～4	本年度休講

B群	国際経済学特殊講義VI	2	3・4	前期
	国際経済学特殊講義VII	2	3・4	本年度休講
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2 ～ 4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	演習Ⅰ A	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ B	4	3	後期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習II	4	4	通年
	〈閉講〉			
	地域研究（EU 経済）II	2	3・4	2010年度閉講

（注４）　学科科目Ａ群科目として**「コミュニケーション論Ⅰ」「コミュニケーション論Ⅱ」「比較文化概論Ⅰ」「比較文化概論Ⅱ」「言語科学概論Ⅰ」「言語科学概論Ⅱ」**の６科目から**２科目（４単位）**以上選択し、修得すること。なお、修得した単位は、他の学科科目のＡ群科目と同じ扱いになります。

(5) 国際コミュニケーションコース

国際コミュニケーション学科　（太字は必修科目）

国際コミュニケーションコース科目配置表（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考 ※は異名称同一科目
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅰ	2	1	
	国際コミュニケーション総論Ⅱ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論Ⅱ	2	1・2	
	経済学入門（ミクロ）	2	1・2	前・後期
	経済学入門（マクロ）	2	1・2	前・後期
	コミュニケーション論Ⅰ	2	2	
	コミュニケーション論Ⅱ	2	2	
	比較文化概論Ⅰ	2	2	
	比較文化概論Ⅱ	2	2	
	言語科学概論Ⅰ	2	2	
	言語科学概論Ⅱ	2	2	
	インターカルチュラル･コミュニケーション	2	3・4	前期　英語講義
	インターカルチュラル・リテラシー	2	3・4	前期　英語講義　※異文化リテラシーⅡ
	コミュニケーション研究法の全体像	2	3・4	前期　英語講義　旧称　多文化社会のコミュニケーション
	言語の仕組み	2	3・4	前期
B群	パブリック・リレーションズ	2	3・4	前期
	コンフリクト・レゾルーション	2	3・4	前期
	国際交渉論	2	3・4	後期　英語講義　※異文化リテラシーⅠ
	国際交流論	2	3・4	前期
	紛争解決と法	2	2	前期　※国際法ⅠA
	インターネットと法＊	2	2	後期
	国際取引法	2	3・4	後期
	国際ネットワーク論	2	3・4	本年度休講
	社会情報論＊	2	3・4	前期
	情報倫理学	2	3・4	後期
	メディア論Ⅰ	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	メディア論Ⅱ	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	マスメディアと国際政治Ⅰ	2	3・4	
	マスメディアと国際政治Ⅱ	2	3・4	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	1・2	後期
	広告コミュニケーション論	2	3・4	後期
	アンケート・社会調査の方法	2	3・4	後期　旧称　コミュニケーション研究法概論
	コンピュータによる調査データの解析	2	3・4	前期
	コミュニケーションの質的分析法Ⅰ	2	3・4	後期
	コミュニケーションの質的分析法Ⅱ	2	3・4	前期
	コミュニケーションの量的分析法Ⅰ	2	3・4	
	コミュニケーションの量的分析法Ⅱ	2	3・4	
	メディア・コミュニケーション論Ⅰ	1	3・4	本年度休講　※メディア･コミュニケーションⅠ
	メディア・コミュニケーション論Ⅱ	1	3・4	本年度休講　※メディア･コミュニケーションⅡ
	ジェンダー・コミュニケーション論Ⅰ	1	3・4	本年度休講　※ジェンダー･コミュニケーションⅠ
	ジェンダー・コミュニケーション論Ⅱ	1	3・4	本年度休講　※ジェンダー･コミュニケーションⅡ
	文化とコミュニケーションⅠ	2	2	※文化とコミュニケーションA
	文化とコミュニケーションⅡ	2	2	※文化とコミュニケーションB
	比較文化論Ⅰ	2	3・4	

B群	比較文化論II	2	3・4	
	宗教文化論Ⅰ	2	2	
	宗教文化論II	2	2	
	ヨーロッパ文化総論Ⅰ	2	3・4	※ヨーロッパ文化論Ⅰ
	ヨーロッパ文化総論II	2	3・4	※ヨーロッパ文化論II
	イスラム文化総論	2	3・4	前期
	日本文化論	2	3・4	前期
	中国文化論＊	2	3・4	後期
	韓国文化論	2	2	後期
	イギリス文化論	2	2	前期　※英語圏の社会と文化Ａ
	フランス文化論	2	3・4	後期
	ドイツ文化論	2	3・4	前期
	ロシア東欧文化論	2	3・4	後期
	スペイン文化論	2	3・4	前期
	アングロ・アメリカ文化論	2	3・4	後期
	イベロ・アメリカ文化論	2	3・4	後期
	インターカルチュラル・トレーニング	2	3・4	後期
	通訳の理論と実践Ⅰ	2	3・4	※通訳の理論と方法Ⅰ
	通訳の理論と実践II	2	3・4	※通訳の理論と方法II
	翻訳の理論と実践Ⅰ	2	3・4	※翻訳の理論と方法Ⅰ
	翻訳の理論と実践II	2	3・4	※翻訳の理論と方法II
	会議英語	2	3・4	後期　英語講義
	英語発音の理論と演習	2	3・4	後期　※認知とことばⅠ
	ディベートの理論と実習	2	3・4	前期　英語講義
	国際ビジネス･コミュニケーション（Ⅰ）	2	3・4	前期　※国際ビジネス･コミュニケーションⅠ
	国際ビジネス･コミュニケーション（II）	2	3・4	後期　※国際ビジネス･コミュニケーションII
	認知コミュニケーション論	2	3・4	前期　※日英語比較Ⅰ
	社会言語学＊	2	3・4	前期　※国際言語としての英語Ⅰ
	認知言語学	2	3・4	前期　※認知とことばII
	国際言語としての英語	2	3・4	本年度休講　※国際言語としての英語II
	言語形式と意味	2	3・4	後期　※日英語比較II
	言語の普遍性	2	3・4	後期
	インターンシップ	2	1～3	49ページ参照
	国際コミュニケーション特殊講義(海外研修)	2	1～4	海外短期研修
	総合講義（アジア大学連携プログラム）	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読II	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読II	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読II	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読II	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読II	2	3・4	
	演習Ⅰ Ａ	4	3	前期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ Ｂ	4	3	後期　2008年度以降入学者用
	演習Ⅰ	8	3	通年　2007年度以前入学者用
	演習II	4	4	通年

（注５）　上記学科科目において単位を修得した科目の異名称同一の科目は履修することができません。

（注６）　上記の学科科目Ａ群、Ｂ群、自由選択科目として修得した単位は、異名称同一の外国語科目Ｃ群の単位に振り替えることはできません。

【５】 自由選択科目履修方法

１．自由選択科目の履修方法

⑴ 自由選択科目の必要単位
選択（20単位）

⑵ 下記の科目は、自由選択科目として卒業要件単位に算入されます。

① 本学部の学科科目で、自学科･自コースの学科科目Ａ群と学科科目Ｂ群における卒業に必要な単位を超えて修得した単位

② 本学部の学科科目で、他学科･他コースの学科科目Ａ群と学科科目Ｂ群の科目の単位

③ 青山スタンダード科目の卒業に必要な単位を超えて修得した単位

④ 外国語科目Ｃ群における卒業に必要な単位を超えて修得した単位（英語以外の外国語科目は入学時に学籍資料票により申請した外国語の科目に限ります。申請以外の外国語の科目は卒業に必要な単位に参入されません。）

⑤ 他学部の学科科目・専門教育科目の単位
履修については、他学部科目一覧表134ページ以降を参照してください。
注１）他学部の学科科目・専門教育科目を履修する場合は、当該学部で制限を設けていない科目に限ります。
注２）本学部に同一名称・異名称同一科目がある他学部学科科目・専門教育科目の履修は認めません。

Ｂ．国際政治経済学部履修要項
（2003～2005年度入学者）

【１】 国際政治経済学部履修について……94
１．卒業要件……94
２．最高履修制限単位……95
３．進級条件……95
４．修得単位僅少者について……95
５．授業科目履修にあたっての注意……95
６．編入学・転学部者について……95
【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表……96
【３】 外国語科目履修方法および配置表 ……104
【４】 学科・コース科目履修方法および配置表 ……115
【５】 自由選択科目履修方法 ……133

B．国際政治経済学部履修要項（2003～2005年度入学者）

【1】 国際政治経済学部履修について

1．卒業要件

(1) 卒業に必要な単位数について

卒業資格を得るためには、下表に示す区分にしたがって必要な単位を修得しなければなりません。ここに示す単位数は科目の種別ごとに必要な最低の単位数なので、これが1単位でも不足すると卒業は認められません。

(2) 学位について

国際政治経済学部（国際政治学科・国際経済学科）に4年以上（ただし8年を限度）在学し、卒業に必要な要件を満たした者には、学位記を与え、学士（国際政治経済学）の学位を授与します。

卒業に必要な最低単位数

科目の種類				必選の別	必要単位
青山スタンダード科目	コア科目	教養コア	キリスト教理解関連科目 〔領域A〕	必修	2
			人間理解関連科目 〔領域B〕	選択必修	2
			社会理解関連科目 〔領域C〕	選択必修	2
			自然理解関連科目 〔領域D〕	選択必修	2
			歴史理解関連科目 〔領域E〕	選択必修	2
		技能コア	言葉の技能 〔領域F〕	必修	6
			情報の技能 〔領域H〕	必修	2
	テーマ別科目		〔領域A〕	必修	2
			〔領域A〕～〔領域H〕	選択必修	6
	小　計				26
外国語科目	A　群			必修	18
	B　群			必修	2
	C　群			選択必修	※4
	小　計				24
学科科目	A　群			選択必修	28
	B　群			選択必修	36
	小　計				64
自由選択科目				選択	20
総　計					134

※外国語科目C群として修得した単位は、同一名称の学科科目の単位に振り替えることはできません。

◎国際政治経済学部においては、2年次より2学科3コース（国際政治学科、国際経済学科、グローバル・ガバナンスコース、ファイナンス・マネジメントコース、国際コミュニケーションコース）に分かれます。学科・コースについては、1年次の後期に必ず所定の手続きをとってください。手続き後にコースの変更をすることはできません。

2．最高履修制限単位

最高履修制限単位は次のとおりです。各年次ともこの単位を超えて履修することはできません。また、各年次においては、必ず１科目以上の履修をしなくてはなりません。

入学年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	合　　計
2003年度	42	44	46	54	186
2004・2005年度	44	44	44	54	186

注）社会教育主事の資格を取得希望する学生は、教育原理を上記制限単位外で履修できます。

3．進級条件

２年次終了時に、46単位（国際政治経済学部卒業要件単位）以上修得していなければ３年次に進級できません。

4．修得単位僅少者について

入学後の２年間（休学期間を除く）で修得単位が32単位に満たない者は、成業の見込みのない者として除籍されることがありますので、特に注意してください。

5．授業科目履修にあたっての注意

相模原キャンパスにおいて開講されている１・２年次履修科目については、計画を立て、相模原キャンパスにて確実に修得してください。該当科目が青山キャンパスに配置されていない場合、３・４年次であっても相模原キャンパスに通わなければなりません。

6．編入学・転学部者について

編入学・転学部者は、入学時の学年の履修条件が適用されます。

（例）　2005年度２年次編入学･転学部者の場合…2004年度入学生の履修条件を適用します。

編入学・転学部者は、編入学・転学部した年度に限り、履修順序のある科目を同時に履修することができ、また、認定単位数が卒業に必要な最低単位数の４分の１未満の場合、その差分を最高履修制限単位に追加して履修することができます。

【２】 青山スタンダード科目履修方法および配置表（2003～2005年度入学者）

１．全学部に共通する教養教育の理念・目標

青山学院の教育方針は、キリスト教信仰にもとづく教育を基盤として、幅広く深い知識を授けることにより、主体的な学習能力、着実な思考力、問題解決能力および総合的な判断力を培い、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす、人間性豊かで国際性に富む人材を育成することです。

本学の全学部に共通する教養教育は、この理念をうけて、「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けることを到達目標とする」として、青山スタンダード科目を開講しています。

２．履修方法

科目の種別			授業科目	必要単位
フレッシャーズ・セミナー				自由
コア科目	教養コア	キリスト教理解関連科目（領域 A）	キリスト教概論Ⅰ	2
		人間理解関連科目（領域 B）	自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	2
		社会理解関連科目（領域 C）	現代社会の諸問題（総合科目） 現代社会の諸問題（個別科目）	2
		自然理解関連科目（領域 D）	科学・技術の視点（総合科目） 科学・技術の視点（個別科目）	2
		歴史理解関連科目（領域 E）	歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	2
	技能コア	言葉の技能（領域 F）	英語　※１	2
			第二外国語　※２　※３	4
		身体の技能（領域 G）	健康・スポーツ演習　※４	2
		情報の技能（領域 H）	情報スキルⅠ	2
テーマ別科目		キリスト教理解関連科目（領域 A）	キリスト教概論Ⅱ	2
		（領域 A）～（領域 H）※５		6

※１　英米文学科、フランス文学科を除きます。

※２　第二外国語科目の中から１外国語を選択します（入学手続き時に申請されています）。

※３　第二外国語科目には、履修順序があります。

・2004年度以降入学生は、「（第二外国語）Ⅰ㈀」「（第二外国語）Ⅰ㈁」について、それぞれ前期の単位が修得できた者のみが後期の履修を認められます（日本語は除く）。

・「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」は、「（第二外国語）Ⅰ」の必要単位をすべて修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）Ⅲ」は、「（第二外国語）Ⅱ」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

・「（第二外国語）会話（Ⅱ）」は、「（第二外国語）Ⅱ」あるいは「（第二外国語）会話（Ⅰ）」の単位を修得した者のみが履修を認められます。

※４　教育・経済・経営のみ必修です。

※５　６単位以上修得した場合は、卒業要件の中の自由選択科目に算入されます。

○　フレッシャーズ・セミナー、健康・スポーツ演習（教育・経済・経営除く）の修得した単位は、卒業要件の中の自由選択科目の単位に算入されます（日本文学科除く）。

○　**受講者数の著しく多い科目については、教室の収容人数、教育効果等を考慮して、クラスの分割・抽選などの措置をとることがあります。**

3．授業科目配置表

（太字は必修科目）

			授業科目	単位	配置年次	開講キャンパス	備考
			フレッシャーズ・セミナー	2	1	相	1年生のみ
教養コア科目			（キリスト教理解関連科目） **キリスト教概論Ⅰ**	**2**	**1**	相	
			（人間理解関連科目） 自己理解（総合科目） 自己理解（個別科目）	 2 2	 1 1	 相 相	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
			（社会理解関連科目） 現代社会の諸問題（総合科目） 現代社会の諸問題（個別科目）	 2 2	 1 1	 相 相	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
			（自然理解関連科目） 科学・技術の視点（総合科目） 科学・技術の視点（個別科目）	 2 2	 1 1	 相 相	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
			（歴史理解関連科目） 歴史と人間（総合科目） 歴史と人間（個別科目）	 2 2	 1 1	 相 相	（総合科目）：複数の教員による担当 （個別科目）：一人の教員による担当
技能コア科目	言葉の技能	英語・日本語	Essential English	**2**	**1**	相	英米文･フランス文･国際政治経済除く
			Essential English Ⅰ	**1**	**1**	相	国際政治経済学部のみ
			Essential English Ⅱ	**1**	**1**	相	国際政治経済学部のみ
			日本語初級A	**2**	**1**	相	外国人留学生該当者のみ
		第二外国語（2004・2005年度入学生）	**（第二外国語）Ⅰ(A)-1**	**1**	**1**	相	（第二外国語）は フランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指す。
			（第二外国語）Ⅰ(A)-2	**1**	**1**	相	
			（第二外国語）Ⅰ(B)-1	**1**	**1**	相	
			（第二外国語）Ⅰ(B)-2	**1**	**1**	相	
			英語Ⅰ-1	**1**	**1**	相	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週2回履修し、計4単位修得してください。
			英語Ⅰ-2	**1**	**1**	相	
			英語（ⅠA）-1	**1**	**1**	相	外国人留学生のみ
			英語（ⅠA）-2	**1**	**1**	相	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）-1	**1**	**1**	相	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）-2	**1**	**1**	相	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(A)	**2**	**1**	相	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(B)	**2**	**1**	相	外国人留学生のみ
		第二外国語（2003年度入学生）	**（第二外国語）Ⅰ(A)**	**2**	**1**	相	（第二外国語）は フランス語（フランス文学科除く）、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指す。
			（第二外国語）Ⅰ(B)	**2**	**1**	相	
			英語Ⅰ	**2**	**1**	相	フランス文学科のみ選択可。それぞれ週2回履修し、計4単位修得すること。
			英語（ⅠA）	**2**	**1**	相	外国人留学生のみ
			英語（ⅠB）	**2**	**1**	相	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(A)	**2**	**1**	相	外国人留学生のみ
			日本語Ⅰ(B)	**2**	**1**	相	外国人留学生のみ

テーマ別科目	身体の技能	**健康・スポーツ演習**	**2**	**1**	相	教育・経済・経営のみ必修
	情報の技能	**情報スキルⅠ**	**2**	**1**	相	
	キリスト教理解関連科目（領域A）	**キリスト教概論Ⅱ**	**2**	**2・3**	相・青	理工学部は2年次 他は3年次配置
		旧約聖書と人間	2	2･3･4	相	
		新約聖書と人間	2	3・4	青	
		キリスト教生命倫理	2	3・4	青	
		キリスト教政治倫理	2	3・4	青	
		キリスト教と自然科学	2	2･3･4	相	
		キリスト教環境倫理	2	2･3･4	相	
		キリスト教音楽	2	3・4	青	
		キリスト教美術	2	3・4	青	
		メソジスト教会史	2	3・4	青	
		キリスト教教育	2	3・4		閉講
		世界の諸宗教	2	2･3･4	相	旧称 「比較宗教学」
		現代神学	2	3・4	青	
		キリスト教と社会福祉	2	3・4		閉講
		聖書の中の女性たち（旧約）	2	3・4	青	旧称 「聖書とフェミニズム」(2003～2007年度)、「フェミニズムと聖書」(2008年度)
		聖書の中の女性たち（新約）	2	2･3･4	相	旧称「聖書の中の女性たち」
		サービス・ラーニングⅠ	2	2･3･4	相	
		サービス・ラーニングⅡ	2	2･3･4	相	
	人間理解関連科目（領域B）	哲学A	2	2･3･4	相	
		哲学B	2	2･3･4	相	
		哲学の諸問題A	2	3・4	青	
		哲学の諸問題B	2	3・4	青	
		哲学の諸問題C	2	3・4	青	
		哲学の諸問題D	2	3・4	青	
		論理学A	2	2･3･4	相	
		論理学B	2	2･3･4	相	
		論理学の諸問題A	2	3・4	青	
		論理学の諸問題B	2	3・4	青	
		倫理学A	2	2･3･4	相	
		倫理学B	2	2･3･4	相	
		倫理学の諸問題A	2	3・4	青	
		倫理学の諸問題B	2	3・4	青	
		西洋倫理思想史A	2	3・4	青	
		西洋倫理思想史B	2	3・4	青	
		言語学A	2	2･3･4	相	
		言語学B	2	2･3･4	相	
		日本語学A	2	2･3･4	相	

テーマ別科目	人間理解関連科目（領域B）	日本語学B	2	2･3･4	相	
		文学A	2	2･3･4	相	
		文学B	2	2･3･4	相	
		文学史A	2	3・4	青	
		文学史B	2	3・4	青	
		美術A	2	2･3･4	相	
		美術B	2	2･3･4	相	
		美術史A	2	3・4	青	
		美術史B	2	3・4	青	
		音楽A	2	2･3･4	相	
		音楽B	2	2･3･4	相	
		音楽史A	2	3・4	青	
		音楽史B	2	3・4	青	
		文化人類学A	2	2･3･4	相・青	
		文化人類学B	2	2･3･4	相・青	
		比較文化A	2	2･3･4	相	
		比較文化B	2	2･3･4	相	
		比較文化の諸問題A	2	3・4	青	
		比較文化の諸問題B	2	3・4	青	
		心理学A	2	2･3･4	相	心理学科・経営学部2003年度入学生除く
		心理学B	2	2･3･4	相	心理学科・経営学部2003年度入学生除く
		教育学A	2	2･3･4	相	
		教育学B	2	2･3･4	相	
		平和を考えるA	2	3・4	青	
		平和を考えるB	2	3・4	青	
		人間関係とコミュニケーションA	2	2･3･4	相	
		人間関係とコミュニケーションB	2	2･3･4	相	
		文化とコミュニケーションA	2	2･3･4	相	国際政治経済学部除く
		文化とコミュニケーションB	2	2･3･4	相	国際政治経済学部除く
	社会理解関連科目（領域C）	法学（日本国憲法を含む）	4	2･3･4	相・青	法学部・経営学部2003年度入学生除く。 教員免許状取得申請者は、１年次から履修できます。
		日本の法と社会A	2	3・4	青	
		日本の法と社会B	2	3・4	青	
		国際政治経済学A	2	2･3･4	相	（旧称）「政治学Ａ」 経営学部2003年度入学生除く
		国際政治経済学B	2	2･3･4	相	（旧称）「政治学Ｂ」 経営学部2003年度入学生除く
		国際関係概論A	2	2･3･4	相	
		国際関係概論B	2	2･3･4	相	
		社会学A	2	2･3･4	相・青	経営学部2003年度入学生除く

テーマ別科目	社会理解関連科目（領域C）	社会学B	2	2･3･4	相・青	経営学部2003年度入学生除く
		社会学C（社会学による国際感覚）	2	3・4		閉講
		社会学D（社会学による国際理解）	2	3・4		閉講
		現代社会と教育人間学A	2	2･3･4	相	
		現代社会と教育人間学B	2	2･3･4	相	
		経済学A	2	2･3･4	相	経済学部除く
		経済学B	2	2･3･4	相	経済学部除く
		情報社会科学A	2	2･3･4	相・青	
		情報社会科学B	2	2･3･4	相・青	
		情報社会論	2	3・4	青	
		社会情報論	2	3・4	青	
		人口問題A	2	2･3･4	相	
		人口問題B	2	2･3･4	相	
		フェミニズムA	2	3・4	青	
		フェミニズムB	2	3・4	青	
		民族問題A	2	3・4	青	
		民族問題B	2	3・4	青	
		マスメディアと社会	2	2･3･4	相	
		文献と情報の世界	2	2･3･4		閉講
		データサイエンス	2	2･3･4	相	
		福祉と人間A	2	3・4	青	
		福祉と人間B	2	3・4	青	
		国際ビジネス入門A	2	2･3･4	相	
		国際ビジネス入門B	2	2･3･4	相	
		感性ビジネスA －ファッション産業のフロンティアー	2	2･3･4	相・青	
		感性ビジネスB －ファッション産業のフロンティアー	2	2･3･4	相・青	
		感性ビジネスC －ファッション･ビジネス戦略論－	2	3・4	青	㈶ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		感性ビジネスD －ファッション･ビジネス戦略論－	2	3・4	青	㈶ファッション産業人材育成機構（IFI）寄附講座
		パーソナル・マネー・マネジメント入門	2	3・4	青	三井生命寄附講座
		企業のモノづくりと 人づくりのリテラシー	2	2･3･4	相	
		国際ビジネスと海外事情A	2	3・4	青	
		国際ビジネスと海外事情B	2	3・4	青	
		グローバリゼーションとWTO	2	3・4	青	
		日本農業とWTO	2	3・4	青	
		環境問題と社会	2	3・4	青	NPO 環境平和持続の会寄附講座
		現代金融の諸問題	2	3・4	青	金融青山会寄附講座
		経済・金融とファイナンス	2	3・4	青	閉講
		ファイナンシャルプランニング入門	2	2･3･4	相・青	㈱近代セールス社寄附講座

テーマ別科目	自然理解関連科目（領域D）	技術史A	2	2･3･4	相	
		技術史B	2	2･3･4	相	
		日常生活の数理	2	2･3･4	相	
		数理科学入門Ⅰ	2	2･3･4	相	理工学部除く 本年度休講
		数理科学入門Ⅱ	2	2･3･4	相	理工学部除く 本年度休講
		数理科学の視点	2	2･3･4	相	
		数理モデル	2	2･3･4	相	本年度休講
		自然科学概論A	2	2･3･4	相	本年度休講
		自然科学概論B	2	2･3･4	相	本年度休講
		文化としての科学・技術A	2	3・4	相・青	
		文化としての科学・技術B	2	3・4	相・青	
		現代物理	2	2･3･4	相	
		現代社会と化学物質	2	2･3･4		閉講
		ライフサイエンス	2	2･3･4	相	
		ゲノム	2	2･3･4	相	
		生物と地球環境	2	3・4	青	
		地球環境保全	2	3・4	青	
		バイオテクノロジーと生命倫理	2	3・4	青	
		地球観（自然と人の倫理）	2	2･3･4	相	本年度休講
		生命と地球の歴史	2	2･3･4	相	本年度休講
		宇宙科学	2	2･3･4	相	
		野鳥の生態	2	2･3･4	相	
		鳥類と生物多様性	2	2･3･4	相	
		植物生態学	2	2･3･4	相	
		メカワールド	2	2･3･4	相	理工学部除く
		経営管理の技術	2	2･3･4	相	旧称「技術と経営」理工学部除く
		先端エレクトロニクス	2	2･3･4	相	
		環境科学A	2	2･3･4	相	
		環境科学B	2	2･3･4	相	
		自然地理学A	2	2･3･4	相	本年度休講
		自然地理学B	2	2･3･4	相	本年度休講
		科学史	2	2･3･4	相	
		生命と生態系（環境と生物）	2	2･3･4	相	
		生命の連続（遺伝）	2	2･3･4	相	
	歴史理解関連科目（領域E）	青山学院大学の歴史	2	2･3･4	相・青	
		日本社会史A	2	2･3･4	相	
		日本社会史B	2	2･3･4	相	
		日本社会史C	2	3・4	青	
		中国史A	2	2･3･4	相	
		中国史B	2	2･3･4	相	
		中国史C	2	3・4	青	

テーマ別科目	歴史理解関連科目（領域E）	ヨーロッパ史A	2	2･3･4	相	
		ヨーロッパ史B	2	2･3･4	相	
		ヨーロッパ史C	2	3・4	青	
		現代史A	2	2･3･4	相	
		現代史B	2	2･3･4	相	
		現代史C	2	2･3･4	相	
		現代史D	2	2･3･4	相	
		考古学A	2	2･3･4	相	
		考古学B	2	2･3･4	相	
		科学思想史A	2	2･3･4	相	
		科学思想史B	2	2･3･4	相	
		人間形成の歴史A（日本）	2	2･3･4		閉講
		人間形成の歴史B（日本）	2	2･3･4		閉講
		人間形成の歴史C（西洋）	2	3・4		閉講
		人間形成の歴史D（西洋）	2	3・4		閉講
	言葉の技能（領域F）	インテンシブ・(第二外国語) ㈀	2	2･3･4	相	(第二外国語) はフランス語（フランス文学科除く)、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語を指します。
		インテンシブ・(第二外国語) ㈁	2	2･3･4	相	
		インテンシブ・(第二外国語) ㈂	2	2･3･4	相	
		インテンシブ・(第二外国語) ㈃	2	2･3･4	相	
		日本事情（Ⅰ）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅱ）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅲ）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅳ）	2	3	青	交換留学生のみ
		日本事情（Ⅴ）	2	3	青	交換留学生のみ
		アメリカ合衆国の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		アメリカ合衆国の社会と文化B	2	2･3･4	相	
		英語圏の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		英語圏の社会と文化B	2	2･3･4	相	
		フランス語圏の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		フランス語圏の社会と文化B	2	2･3･4	相	
		フランス語圏の社会と文化C	2	3・4	青	
		ドイツ語圏の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		ドイツ語圏の社会と文化B	2	2･3･4	相	
		ドイツ語圏の社会と文化C	2	3・4	青	
		スペイン語圏の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		スペイン語圏の社会と文化B	2	2･3･4	相	
		スペイン語圏の社会と文化C	2	3・4	青	
		中国語圏の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		中国語圏の社会と文化B	2	2･3･4	相	
		中国語圏の社会と文化C	2	3・4	青	
		ロシア語圏の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		ロシア語圏の社会と文化B	2	3・4	青	

テーマ別科目	言葉の技能（領域F）	韓国・朝鮮の社会と文化A	2	2･3･4	相	
		韓国・朝鮮の社会と文化B	2	3・4	青	
		イスラム圏の社会と文化A	2	3・4	青	
		イスラム圏の社会と文化B	2	3・4	青	
		日本学A	2	3・4	青	交換留学生・外国人留学生のみ
		日本学B	2	3・4	青	交換留学生・外国人留学生のみ
		English Studies A	2	2･3･4	相	
		English Studies B	2	2･3･4	相	
		English Studies C	2	3・4	青	
		English Studies D	2	3・4	青	本年度休講
		English Studies E	2	3・4	青	本年度休講
		ことばの研究A	2	2･3･4	相	
		ことばの研究B	2	3・4	青	
		少数民族の社会と文化A	2	3・4	青	本年度休講
		少数民族の社会と文化B	2	3・4	青	本年度休講
		民族文化論A	2	2･3･4	相	
		民族文化論B	2	2･3･4	相	
	身体の技能（領域G）	健康医学	2	2･3･4	相・青	
		身体の仕組みと病気A	2	2･3･4	相	
		身体の仕組みと病気B	2	2･3･4	相	
		スポーツ生理学	2	2･3･4	相	
		スポーツバイオメカニクス	2	2･3･4	相	
		スポーツ心理学	2	2･3･4	相	
		動きの人間学	2	2･3･4	相	
		医療社会学	2	2･3･4	相	
		スポーツ運動実習	1	2･3･4	相・青	4回まで重複履修を認めます。 教員免許状取得申請者は、1年次から履修できます。
		アドバンストスポーツ実習	2	2･3･4	相	
	情報の技能（領域H）	プログラミング基礎I	2	2･3･4	相・青	
		プログラミング基礎II	2	2･3･4	相・青	
		情報スキルII	2	2･3･4	相	本年度休講
		eラーニング入門	2	2･3･4	相	
		インストラクショナルデザイン入門	2	2･3･4	相	
		教育システムのためのIT入門	2	2･3･4	相	
		eラーニングの法的課題入門	2	2･3･4	相	

【３】 外国語科目履修方法および配置表

１．2004・2005年度入学生

A群(英語)科目履修方法

(1) A群科目の必要単位

必　　修（18単位）

＜2004・2005年度入学生用＞

ADVANCED STREAM	INTERMEDIATE STREAM	BASIC STREAM
Freshman year, 1st semester Broadcast Media Print Media Public Speaking Presentations Reading I	Freshman year, 1st semester Intermediate Eng. I Intermediate Eng. II Intermediate Eng. III Intermediate Eng. IV Reading I	Freshman year, 1st semester Basic English I Basic English II Basic English III Basic English IV Reading I
Freshman year, 2nd semester Current Events Global Issues Debate Discussion Reading II	Freshman year, 2nd semester Broadcast Media Print Media Public Speaking Presentations Reading II	Freshman year, 2nd semester Intermediate Eng. I Intermediate Eng. II Intermediate Eng. III Intermediate Eng. IV Reading II
Sophomore year, 1st semester Academic English I English Seminar I Reading III Writing III	Sophomore year, 1st semester Current Events Global Issues Reading III Writing III	Sophomore year, 1st semester Broadcast Media Print Media Reading III Writing III
Sophomore year, 2nd semester Academic English II English Seminar II Reading IV Writing IV	Sophomore year, 2nd semester Debate Discussion Reading IV Writing IV	Sophomore year, 2nd semester Public Speaking Presentations Reading IV Writing IV

注）オリエンテーション期間に行うプレースメントテストにより、STREAM別のカリキュラムとなります。STREAMは、「ADVANCED STREAM」「INTERMEDIATE STREAM」「BASIC STREAM」の3種類です。

(2) **他学部の第一外国語科目を履修することはできません。**

(3) A群科目配置表（2004・2005年度入学生用）

（半期科目）

授業科目	単位	履修年次	備考
Basic English I	1	1	
Basic English II	1	1	
Basic English III	1	1	
Basic English IV	1	1	
Intermediate Eng. I	1	1	
Intermediate Eng. II	1	1	
Intermediate Eng. III	1	1	
Intermediate Eng. IV	1	1	
Broadcast Media	1	1・2	
Print Media	1	1・2	
Public Speaking	1	1・2	
Presentations	1	1・2	
Current Events	1	1・2	
Global Issues	1	1・2	
Debate	1	1・2	
Discussion	1	1・2	
Academic English I	1	2	
Academic English II	1	2	
English Seminar I	1	2	
English Seminar II	1	2	
Reading I	1	1	
Reading II	1	1	
Reading III	1	2	
Reading IV	1	2	
Writing III	1	2	
Writing IV	1	2	

2．2003年度入学生
A群(英語)科目履修方法

(1) A群科目の必要単位

必　　修（18単位）

＜2003年度入学生用＞

ADVANCED STREAM	INTERMEDIATE STREAM	BASIC STREAM
Freshman year, 1st semester Broadcast Media Print Media Public Speaking Debate Reading I	Freshman year, 1st semester Intermediate Eng. I Intermediate Eng. II Intermediate Eng. III Intermediate Eng. IV Reading I	Freshman year, 1st semester Basic English I Basic English II Basic English III Basic English IV Reading I
Freshman year, 2nd semester Current Events Global Issues Presentations Discussion Reading II	Freshman year, 2nd semester Broadcast Media Print Media Public Speaking Debate Reading II	Freshman year, 2nd semester Intermediate Eng. I Intermediate Eng. II Intermediate Eng. III Intermediate Eng. IV Reading II
Sophomore year, 1st semester Academic English I English Seminar I Reading III Writing III	Sophomore year, 1st semester Current Events Global Issues Reading III Writing III	Sophomore year, 1st semester Broadcast Media Print Media Reading III Writing III
Sophomore year, 2nd semester Academic English II English Seminar II Reading IV Writing IV	Sophomore year, 2nd semester Presentations Discussion Reading IV Writing IV	Sophomore year, 2nd semester Public Speaking Presentations Reading IV Writing IV

注）オリエンテーション期間に行うプレースメントテストにより、STREAM別のカリキュラムとなります。STREAMは、「ADVANCED STREAM」「INTERMEDIATE STREAM」「BASIC STREAM」の3種類です。なお、Sophomore yearの科目に、一部変更があるので注意してください。

(2) **他学部の第一外国語科目を履修することはできません。**

(3) A 群科目配置表（2003年度入学生用）

（半期科目）

授 業 科 目	単位	履修年次	備 考
Basic English I	1	1	
Basic English II	1	1	
Basic English III	1	1	
Basic English IV	1	1	
Intermediate Eng. I	1	1	
Intermediate Eng. II	1	1	
Intermediate Eng. III	1	1	
Intermediate Eng. IV	1	1	
Broadcast Media	1	1・2	
Print Media	1	1・2	
Public Speaking	1	1・2	
Presentations	1	1・2	
Current Events	1	1・2	
Global Issues	1	1・2	
Debate	1	1・2	
Discussion	1	1・2	
Academic English I	1	2	
Academic English II	1	2	
English Seminar I	1	2	
English Seminar II	1	2	
Reading I	1	1	
Reading II	1	1	
Reading III	1	2	
Reading IV	1	2	
Writing III	1	2	
Writing IV	1	2	

3．B群（英語以外の外国語）科目履修方法

⑴　B群科目の必要単位

必　　修（2単位）

フランス語　ⅡA（2単位）
ドイツ語　ⅡA（2単位）
スペイン語　ⅡA（2単位）
中国語　ⅡA（2単位）
ロシア語　ⅡA（2単位）
韓国語　ⅡA（2単位）
　　いずれか1カ国語必修

日本語　ⅡA（2単位）　＊外国人留学生用

⑵　**B群科目は、入学時に学籍資料票により申請した外国語の科目を履修しなければなりません。申請以外の外国語の科目は卒業に必要な単位に算入されません。**

⑶　B群科目の履修順序は次のとおりです。

＜2004・2005年度入学者＞

①	②	③
	①を履修し合格した場合のみ履修可	②を履修し合格した場合のみ履修可
青山スタンダード科目 **フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語**　} **Ⅰ(A)－1**	青山スタンダード科目 **フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語**　} **Ⅰ(A)－2**	外国語科目B群 **フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語**　} **ⅡA**
フランス語 **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語**　} **Ⅰ(B)－1**	**フランス語** **ドイツ語** **スペイン語** **中国語** **ロシア語** **韓国語**　} **Ⅰ(B)－2**	
日本語　Ⅰ(A) **Ⅰ(B)**	**日本語　ⅡA**	

※上表①の単位が修得できない場合、②の科目の履修登録は自動的に削除されます。（日本語を除く）

＜2003年度入学者＞

①	②
	①を履修し合格した場合のみ履修可
青山スタンダード科目 フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語 日本語 } Ⅰ(A)、Ⅰ(B)	外国語科目Ｂ群 フランス語 ドイツ語 スペイン語 中国語 ロシア語 韓国語 日本語 } ⅡA

(4) **他学部の第二外国語科目を履修することはできません。**

(5) Ｂ群科目配置表

（通年科目）

授業科目	単位	履修年次	備考
フランス語 ⅡA	2	2	
ドイツ語 ⅡA	2	2	
スペイン語 ⅡA	2	2	
中国語 ⅡA	2	2	
ロシア語 ⅡA	2	2	
韓国語 ⅡA	2	2	
日本語 ⅡA	2	2	外国人留学生用

4．C群（言語とコミュニケーション）科目履修方法

⑴　C群科目の必要単位
選択必修（4単位）
C群で4単位を超えて修得した単位は、自由選択科目に算入されます。

⑵　英語および大学院国際コミュニケーション専攻国際コミュニケーション科目以外の外国語科目については、入学時に学籍資料票により申請した外国語の科目を履修しなければなりません。それ以外の外国語の科目は卒業に必要な単位に算入されません。

⑶　青山スタンダード科目「インテンシブ・(第二外国語)」の単位を本学部生が修得した場合、外国語C群科目として、卒業要件単位に算入されます。

⑷　C群科目の中で履修順序があるものは次のとおりです。

＜2004・2005年度入学者＞

<table>
<tr><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th></tr>
<tr><td></td><td>①を履修し合格した場合のみ履修可</td><td>②の必修科目を合格した場合のみ履修可</td><td>③のうちⅡAを合格した場合のみ履修可</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語　} Ⅰ(A)－1</td><td rowspan="2">フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語　} Ⅰ(A)－2</td><td rowspan="3">フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語　} ⅡA
IIB
会話（Ⅰ）

日本語　ⅡA
IIB
インテンシブ・(第二外国語)</td><td>フランス語III(A)
III(B)
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語　} III</td></tr>
<tr><td>③のうちⅡAまたは会話(Ⅰ)のどちらかを合格した場合のみ履修可</td></tr>
<tr><td>フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語　} Ⅰ(B)－1</td><td>フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語　} Ⅰ(B)－2</td><td>フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語　} 会話(II)</td></tr>
</table>

※上表①の単位が修得できない場合、②の科目の履修登録は自動的に削除されます。

＜2003年度入学者＞

<table>
<tr><th>①</th><th>②</th><th>③</th></tr>
<tr><td></td><td>①を履修し合格した場合のみ履修可</td><td>②のうちⅡAを履修し合格した場合のみ履修可</td></tr>
<tr><td rowspan="3">フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語 } Ⅰ(A)
Ⅰ(B)</td><td rowspan="2">フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語
日本語 } ⅡA
ⅡB
インテンシブ</td><td>フランス語 Ⅲ(A)
Ⅲ(B)
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語 } Ⅲ</td></tr>
<tr><td>②のうちⅡAまたは会話(Ⅰ)のどちらかを合格した場合のみ履修可</td></tr>
<tr><td>フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語
韓国語 } ⅡA
会話（Ⅰ）
インテンシブ</td><td>フランス語
ドイツ語
スペイン語
中国語
ロシア語 } 会話（Ⅱ）</td></tr>
</table>

①	②
	①を履修し合格した場合のみ履修可 （4年次科目）
外国語科目 A群　18単位（必修） B群　2単位（必修）	大学院国際コミュニケーション専攻科目 言語科学 対照言語学 社会言語学 コミュニケーション論 国際コミュニケーション特講 文化と世界観 比較文化論＊ 比較文化特講 日中比較文化論 中国文化論 ロシア文化論 ヨーロッパ文化論＊ ラテン・アメリカ文化論

⑷　**他学部の外国語科目を履修することはできません。**

⑸　C群科目配置表

英語科目　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考（※異名称同一科目）
メディア・コミュニケーションⅠ	1	3	本年度休講
メディア・コミュニケーションⅡ	1	3	本年度休講
ジェンダー・コミュニケーションⅠ	1	3	本年度休講
ジェンダー・コミュニケーションⅡ	1	3	本年度休講
通訳の理論と方法Ⅰ	2	3・4	
通訳の理論と方法Ⅱ	2	3・4	
翻訳の理論と方法Ⅰ	2	3・4	
翻訳の理論と方法Ⅱ	2	3・4	
英語レポート・論文作成Ⅰ	2	3・4	
英語レポート・論文作成Ⅱ	2	3・4	
国際ビジネス・コミュニケーションⅠ	2	3・4	
国際ビジネス・コミュニケーションⅡ	2	3・4	
国際言語としての英語Ⅰ	2	3・4	
国際言語としての英語Ⅱ	2	3・4	本年度休講
認知とことばⅠ	2	3・4	後期
認知とことばⅡ	2	3・4	前期
Thesis Writing（Ⅰ）	2	3・4	前期　※ Thesis Writing Ⅰ
Thesis Writing（Ⅱ）	2	3・4	後期　※ Thesis Writing Ⅱ
日英語比較Ⅰ	2	3・4	
日英語比較Ⅱ	2	3・4	
ヨーロッパ文化論Ⅰ	2	3・4	
ヨーロッパ文化論Ⅱ	2	3・4	
異文化リテラシーⅠ	2	3・4	後期
異文化リテラシーⅡ	2	3・4	前期

注）上記の外国語科目C群において単位を修得した科目の同一名称および異名称同一の科目は履修することができません。また上記の外国語科目C群において修得した科目の単位は、同一名称および異名称同一の学科科目の単位に振り替えることはできません。

英語以外の外国語科目　（通年科目）

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
フランス語ⅡB	2	2	
フランス語Ⅲ（A）	2	3	
フランス語Ⅲ（B）	2	3	
フランス語会話（Ⅰ）	2	2	
フランス語会話（Ⅱ）	2	3	
ドイツ語ⅡB	2	2	
ドイツ語Ⅲ	2	3	
ドイツ語会話（Ⅰ）	2	2	
ドイツ語会話（Ⅱ）	2	3	

スペイン語IIB	2	2	
スペイン語III	2	3	
スペイン語会話（I）	2	2	
スペイン語会話（II）	2	3	
中国語IIB	2	2	
中国語III	2	3	
中国語会話（I）	2	2	
中国語会話（II）	2	3	
ロシア語IIB	2	2	
ロシア語III	2	3	
ロシア語会話（I）	2	2	
ロシア語会話（II）	2	3	
韓国語IIB	2	2	
韓国語III	2	3	
韓国語会話（I）	2	2	
日本語IIB	2	3	外国人留学生用
日本語（I）A	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（I）B	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（I）C	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（I）D	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（II）A	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（II）B	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（II）C	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（II）D	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（III）A	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（III）B	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（III）C	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（III）D	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（IV）A	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（IV）B	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（IV）C	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（IV）D	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（V）A	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（V）B	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（V）C	1	3	交換留学生用（半期科目）
日本語（V）D	1	3	交換留学生用（半期科目）

大学院国際コミュニケーション専攻国際コミュニケーション科目　（半期科目）

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
言語科学	2	4	本年度休講
対照言語学	2	4	本年度休講
社会言語学	2	4	前期
コミュニケーション論	2	4	前期
国際コミュニケーション特講	2	4	本年度休講
文化と世界観	2	4	本年度休講
比較文化論＊	2	4	前・後期
比較文化特講	2	4	前・後期
日中比較文化論	2	4	前期
中国文化論	2	4	後期
ロシア文化論	2	4	本年度休講
ヨーロッパ文化論＊	2	4	前期
ラテン・アメリカ文化論	2	4	前期

【4】 学科・コース科目履修方法および配置表

1．学科・コース科目の履修方法

(1) 学科・コース科目の必要単位

◎国際政治学科

（ ）内は科目単位数

<table>
<tr><th rowspan="2">学科
コース</th><th colspan="2">必　修</th><th>選択必修</th></tr>
<tr><th colspan="2">A 群</th><th>B 群</th></tr>
<tr><td>国際政治</td><td rowspan="5">入門セミナーⅠ(2)
入門セミナーⅡ(2)</td><td>政治学原論Ⅰ(2)
政治学原論Ⅱ(2)
4</td><td>20</td><td>36</td></tr>
<tr><td>グローバル・ガバナンス</td><td>政治学原論Ⅰ(2)
政治学原論Ⅱ(2)
グローバル・ガバナンス概論Ⅰ(2)
グローバル・ガバナンス概論Ⅱ(2)
8</td><td>16</td><td>36</td></tr>
<tr><td>ファイナンス・マネジメント</td><td>政治学原論Ⅰ(2)
政治学原論Ⅱ(2)
ミクロ経済学入門Ⅰ(2)
ミクロ経済学入門Ⅱ(2)
ファイナンス概論Ⅰ(2)
ファイナンス概論Ⅱ(2)
12</td><td>12</td><td>36</td></tr>
<tr><td>国際コミュニケーション</td><td>政治学原論Ⅰ(2)
政治学原論Ⅱ(2)
コミュニケーション総論Ⅰ(2)
コミュニケーション総論Ⅱ(2)</td><td>16</td><td>36</td></tr>
<tr><td colspan="2">4</td><td>8</td><td></td></tr>
</table>

◎国際経済学科

（　）内は科目単位数

<table>
<tr><td rowspan="2">学科
コース</td><td colspan="2">必　修</td><td colspan="2">選択必修</td></tr>
<tr><td colspan="2">A　群</td><td></td><td>B群</td></tr>
<tr><td rowspan="2">国際経済</td><td rowspan="8">入門セミナーⅠ(2)
入門セミナーⅡ(2)</td><td>ミクロ経済学入門Ⅰ(2)
ミクロ経済学入門Ⅱ(2)
マクロ経済学入門Ⅰ(2)
マクロ経済学入門Ⅱ(2)</td><td rowspan="2">16</td><td rowspan="2">36</td></tr>
<tr><td>8</td></tr>
<tr><td rowspan="2">グローバル・ガバナンス</td><td>ミクロ経済学入門Ⅰ(2)
ミクロ経済学入門Ⅱ(2)
マクロ経済学入門Ⅰ(2)
マクロ経済学入門Ⅱ(2)
政治学原論Ⅰ(2)
政治学原論Ⅱ(2)
グローバル・ガバナンス概論Ⅰ(2)
グローバル・ガバナンス概論Ⅱ(2)</td><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2">36</td></tr>
<tr><td>16</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ファイナンス・マネジメント</td><td>ミクロ経済学入門Ⅰ(2)
ミクロ経済学入門Ⅱ(2)
マクロ経済学入門Ⅰ(2)
マクロ経済学入門Ⅱ(2)
ファイナンス概論Ⅰ(2)
ファイナンス概論Ⅱ(2)</td><td rowspan="2">12</td><td rowspan="2">36</td></tr>
<tr><td>12</td></tr>
<tr><td rowspan="2">国際コミュニケーション</td><td>ミクロ経済学入門Ⅰ(2)
ミクロ経済学入門Ⅱ(2)
マクロ経済学入門Ⅰ(2)
マクロ経済学入門Ⅱ(2)
コミュニケーション総論Ⅰ(2)
コミュニケーション総論Ⅱ(2)</td><td rowspan="2">12</td><td rowspan="2">36</td></tr>
<tr><td>4</td><td>12</td></tr>
</table>

⑵　学科科目の履修順序は次のとおりです。

学科・コース		①	②	③
		（１年次科目）	①を履修し合格した場合のみ履修可（３年次科目）	②を履修し合格した場合のみ履修可（４年次科目）
国際政治学科	国際政治学科	**政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ**	国際政治学科のＢ群科目	
			演習Ⅰ	演習Ⅱ
	グローバル・ガバナンスコース		グローバル・ガバナンスコースのＢ群科目	
			演習Ⅰ	演習Ⅱ
	ファイナンス・マネジメントコース		ファイナンス・マネジメントコースのＢ群科目	
			演習Ⅰ	演習Ⅱ
	国際コミュニケーションコース		国際コミュニケーションコースのＢ群科目	
			演習Ⅰ	演習Ⅱ
国際経済学科	国際経済学科	**ミクロ経済学入門Ⅰ ミクロ経済学入門Ⅱ**	国際経済学科のＢ群科目	
			演習Ⅰ	演習Ⅱ
	グローバル・ガバナンスコース		グローバル・ガバナンスコースのＢ群科目	
			演習Ⅰ	演習Ⅱ
	ファイナンス・マネジメントコース		ファイナンス・マネジメントコースのＢ群科目	
			演習Ⅰ	演習Ⅱ
	国際コミュニケーションコース		国際コミュニケーションコースのＢ群科目	
			演習Ⅰ	演習Ⅱ

全学科・コース	①	②
	（１年次科目）	①を履修し合格した場合のみ履修可（３年次科目）
	ミクロ経済学入門Ⅰ	ミクロ経済学中級Ⅰ
	ミクロ経済学入門Ⅱ	ミクロ経済学中級Ⅱ
	マクロ経済学入門Ⅰ	マクロ経済学中級Ⅰ
	マクロ経済学入門Ⅱ	マクロ経済学中級Ⅱ

⑶　演習の履修について

①　演習は、選考を受けて合格した後、その翌年の受講になります。３年次履修の「演習Ⅰ」（通年８単位）、４年次履修の「演習Ⅱ」（通年４単位）は各学科･コースのＢ群科目です。

②　「演習Ⅰ」の申込・選考方法等は、例年後期に配布する「AGU SEMINAR GUIDE」巻末に掲載されるので、要項内容を確認のうえ、各自、期日までに申込みしてください。

③　「演習Ⅰ」（３年次配置）は、選考の合格により自動的に履修登録されます。**ただし、「演習Ⅱ」（４年次配置）を履修する場合は、４月の履修登録期間中に、各自で履修登録してください。**

・９月下旬　「AGU SEMINAR GUIDE」配布
・10月中旬　「演習Ⅰ」オリエンテーション･個別ガイダンス開催　第一次募集日程告知
・10月下旬　第一次選考申込み
・11月上旬～11月中旬　第一次選考開始
・11月中旬　選考結果を学生ポータルで配信　第二次募集日程告示・第二次選考申込み
・11月下旬～12月中旬　第二次選考開始　選考結果は学生ポータルにて配信

④　4年生の4月の履修登録時に、「演習II」の「担当者変更」を希望する場合は、学務部教務課窓口にて「演習II担当者変更申込要項」と「演習II担当者変更届」を受取り手続きしてください。(「演習II」受講者を新規募集する先生への変更にかぎります)

(4)　下記学科科目の履修について

①「国際政治学特殊講義Ⅰ・II・Ⅴ」「国際経済学特殊講義Ⅰ・II・Ⅴ」「国際コミュニケーション特殊講義Ⅰ・II（2010年度閉講)」は、複数回履修することができ、すべて卒業に必要な単位として算入されます。

②「プリゼミ」は、2回まで履修することができる2年生のみの科目です。卒業に必要な単位･学科科目B群科目として算入されるのは、2回履修分の4単位までです。ただし、同一教員の「プリゼミ」を2回履修することはできません。

③「国連研究II」は、国連大学グローバル･セミナーに参加（個人参加･費用は個人負担）し、修了証を修得した者のみが、所定の手続きをして後期履修変更期間に履修登録をおこなえます。詳細については、学務部教務課（青山キャンパス）に問い合わせてください。

(5)　集中講義の履修について

下記科目は集中講義にて授業を行います。

履修登録に際しては、授業時間割の各学部注意事項を参照してください。

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
国連研究Ⅰ	2	3・4	夏期集中講義
国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1～4	青山キャンパス開講　夏期集中講義　英語講義
国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1～4	本年度休講

(6)　海外短期研修制度について

国際政治経済学部では、毎年いくつかの海外短期研修を実施しています。参加した者が、一定の条件を満たすことにより、単位を修得することが可能な海外短期研修もあります。ただし、卒業に必要な単位として認められるのは2回の参加までです。海外短期研修制度のプログラム、募集日程、研修期間の詳細については、学務部教務課（青山キャンパス）または、学務グループ（相模原キャンパス）に問い合わせてください。

(7)　インターンシップ制度について

公益団体や民間企業など社会の現場で実務に携わることで国際政治経済学への関心を高めることを目的にインターンシップの機会を提供しています。インターンシップの期間は原則として夏期休暇期間中（8月～9月）あるいは春期休暇期間中（2月～3月）です。

学部提供のインターンシップについては学部内の選考面接を、個人開拓のインターンシップについては単位認定対象のインターンシップとして適当かどうか審査するための面接を行なった後に、面接合格者がインターンシップ活動に参加し、インターンシップ期間の終了後、活動レポート、インターンシップ先による評価とインターンシップ単位認定面接の総合評価により単位を修得することができます。

修得できる科目は以下のとおりです。

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
インターンシップ	2	1～3	全学科　学科科目B群

インターンシップへの参加を希望する学生は、募集期間にあわせて実施するガイダンス

（例年６月と12月に実施）に必ず出席してください。インターンシップの履修登録と成績評価についての説明もこのガイダンスで行います。

詳細については、学務部教務課（青山キャンパス）または、学務グループ（相模原キャンパス）に問い合わせてください。

⑻　他学部学科科目・専門教育科目の履修について

他学部の学科科目・専門教育科目の単位を修得した場合、自由選択科目の単位に算入されます。履修については、他学部科目一覧表（134ページ以降）を参照してください。

注１）他学部の学科科目・専門教育科目を履修する場合は、その学部で制限を設けていない科目に限ります。

注２）本学部に同一名称・異名称同一科目がある他学部学科科目・専門教育科目の履修は認めません。

⑼　社会調査士の資格について

社会調査士の資格取得を希望する場合は、青山キャンパス教務課窓口へ問い合わせてください。

⑽　大学院進学予定者の大学院科目特別履修について

国際政治経済学研究科進学を目指す本学部の学業成績優秀な４年次生に対して、早期研究機会の提供を図るために、条件を満たした学生に大学院科目の特別履修を認めます。

詳細については大学院事務室へ問い合わせてください。

⑾　他学部学生の本学部学科科目の履修について

本学部の学科科目のうちＢ群科目の履修を他学部学生に認めます。履修の際は人数制限をしている科目がありますので、「学年初頭行事」を参照し確認してください。

なお、Ｂ群科目中、以下の科目は履修できません。また、所属学部に同一名称または異名称同一科目がある本学部学科科目の履修もできません。

「外国書（フランス語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「外国書（ドイツ語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「外国書（スペイン語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「外国書（中国語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「外国書（ロシア語）講読Ⅰ・Ⅱ」
「国際政治学特殊講義Ⅲ」
「国際経済学特殊講義Ⅲ」
「インターンシップ」
「プリゼミ」
「演習Ⅰ・Ⅱ」
「経営情報論Ⅰ・Ⅱ」
「文化とコミュニケーションⅠ・Ⅱ」
「通訳の理論と方法Ⅰ・Ⅱ」
「翻訳の理論と方法Ⅰ・Ⅱ」
「英語レポート・論文作成Ⅰ・Ⅱ」
「Thesis Writing Ⅰ・Ⅱ」
「国際ビジネス・コミュニケーションⅠ・Ⅱ」
「言語科学特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
「民法概論Ⅰ・Ⅱ」
「国際私法Ⅰ・Ⅱ」
「統計分析演習Ⅰ・Ⅱ」

「国連研究Ⅱ」
「日本経済と証券ビジネス」

2．国際政治学科（IP）

（太字は必修科目）

学科科目配置表　　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1	
	政治学原論Ⅱ	2	1	
	政治過程論Ⅰ	2	1・2	
	政治過程論Ⅱ	2	1・2	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1・2	旧称　憲法Ⅰ
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1・2	旧称　憲法Ⅱ
	国際法Ⅰ A	2	2	前期
	国際法Ⅰ B	2	2	後期
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
	経済情報入門Ⅰ	2	2	
	経済情報入門Ⅱ	2	2	本年度休講
	ミクロ経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	ミクロ経済学入門Ⅱ	2	1・2	
B群	政治学方法論Ⅰ	2	1・2	
	政治学方法論Ⅱ	2	1・2	
	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1・2	
	民法概論Ⅰ	2	1・2	
	民法概論Ⅱ	2	1・2	
	政治思想史Ⅰ	2	3・4	
	政治思想史Ⅱ	2	3・4	
	国際関係史Ⅰ	2	3・4	
	国際関係史Ⅱ	2	3・4	
	国際法Ⅱ A	2	3・4	前期
	国際法Ⅱ B	2	3・4	後期
	国際私法Ⅰ	2	3・4	
	国際私法Ⅱ	2	3・4	
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法Ⅱ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	外交史Ⅰ	2	3・4	
	外交史Ⅱ	2	3・4	
	日本政治論Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	日本政治論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	日本外交論Ⅰ	2	3・4	
	日本外交論Ⅱ	2	3・4	
	日本の外交・安全保障政策	2	3・4	前期

B群	日本の平和と安全保障	2	3・4	後期
	日本の環境政策	2	3・4	前期
	国際機構論Ⅰ	2	3・4	後期　英語講義
	国際機構論Ⅱ	2	3・4	前期　英語講義
	比較政治論Ⅰ	2	3・4	後期
	比較政治論Ⅱ	2	3・4	前期
	国際安全保障論Ⅰ	2	3・4	
	国際安全保障論Ⅱ	2	3・4	
	戦略論Ⅰ	2	3・4	
	戦略論Ⅱ	2	3・4	
	比較文化論Ⅰ	2	3・4	
	比較文化論Ⅱ	2	3・4	
	国際政治理論Ⅰ	2	3・4	
	国際政治理論Ⅱ	2	3・4	
	マスメディアと国際政治Ⅰ	2	3・4	
	マスメディアと国際政治Ⅱ	2	3・4	
	メディア論Ⅰ	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	メディア論Ⅱ	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	国連研究Ⅰ	2	3・4	夏期集中講義
	国連研究Ⅱ	2	3・4	118ページ参照
	アジア政治論Ⅰ	2	3・4	
	アジア政治論Ⅱ	2	3・4	
	アジア太平洋政治論Ⅰ	2	3・4	
	アジア太平洋政治論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	ロシア・中央アジア政治論Ⅰ	2	3・4	
	ロシア・中央アジア政治論Ⅱ	2	3・4	
	ヨーロッパ政治論Ⅰ	2	3・4	
	ヨーロッパ政治論Ⅱ	2	3・4	前期
	アメリカ政治論Ⅰ	2	3・4	2011年度新設科目
	アメリカ政治論Ⅱ	2	3・4	2011年度新設科目
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3・4	旧称　地域研究（アジア・アメリカ経済）Ⅰ
	地域研究（アジア経済）Ⅱ	2	3・4	旧称　地域研究（アジア・アメリカ経済）Ⅱ
	地域研究（アメリカ経済）	2	3・4	後期
	地域研究（西ヨーロッパ経済）Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	地域研究（西ヨーロッパ経済）Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	地域研究（東ヨーロッパ経済）Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	地域研究（東ヨーロッパ経済）Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	国際政治学特殊講義Ⅰ＊	2	1・2	「読売新聞社寄附講座」世界最前線
	国際政治学特殊講義Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	国際政治学特殊講義Ⅲ	2	1～4	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	118ページ参照
	国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1～4	青山キャンパス開講　夏期集中講義　英語講義
	総合講義(アジア大学連携プログラム)	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3・4	
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期

	演習Ⅰ	8	3	通年
	演習Ⅱ	4	4	通年

3．国際経済学科（IE）

（太字は必修科目）

学科科目配置表　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考
A群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	ミクロ経済学入門Ⅰ	2	1	
	ミクロ経済学入門Ⅱ	2	1	
	マクロ経済学入門Ⅰ	2	1	
	マクロ経済学入門Ⅱ	2	1	
	経済情報入門Ⅰ	2	2	
	経済情報入門II	2	2	本年度休講
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための統計学入門II	2	1・2	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための数学入門II	2	1・2	
	経営マネジメント論Ⅰ	2	2	
	経営マネジメント論II	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学II	2	2	
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論II	2	1・2	
B群	国際経済学Ⅰ	2	2	前・後期
	国際経済学II	2	2	本年度休講
	経済史概論Ⅰ	2	2	後期
	経済史概論II	2	2	本年度休講
	日本経済Ⅰ	2	2	後期
	日本経済II	2	2	本年度休講
	アジア経済Ⅰ	2	2	
	アジア経済II	2	2	
	国際経済Ａ	2	3・4	前期　英語講義
	国際経済Ｂ	2	3・4	後期　英語講義
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	ミクロ経済学中級II	2	3・4	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	マクロ経済学中級II	2	3・4	
	国際マクロ経済学Ⅰ	2	3・4	後期　英語講義
	国際マクロ経済学II	2	3・4	本年度休講
	統計分析演習Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	統計分析演習II	2	3・4	本年度休講
	ゲーム理論Ⅰ	2	3・4	
	ゲーム理論II	2	3・4	
	経済政策論Ⅰ	2	3・4	
	経済政策論II	2	3・4	
	計量経済学Ⅰ	2	3・4	
	計量経済学II	2	3・4	
	応用計量経済学Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	応用計量経済学II	2	3・4	本年度休講
	公共経済学Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	公共経済学II	2	3・4	本年度休講
	産業組織Ⅰ	2	3・4	
	産業組織II	2	3・4	
	開発経済学Ⅰ	2	3・4	後期
	開発経済学II	2	3・4	前期
	国際開発政策Ⅰ	2	3・4	後期

B	国際開発政策II	2	3・4	本年度休講
群	国際金融Ⅰ	2	3・4	
	国際金融II	2	3・4	
	国際貿易Ⅰ	2	3・4	
	国際貿易II	2	3・4	
	国際労働経済論Ⅰ	2	3・4	
	国際労働経済論II	2	3・4	
	中国経済Ⅰ	2	3・4	
	中国経済II	2	3・4	
	国際環境経済学Ⅰ	2	3・4	
	国際環境経済学II	2	3・4	
	会計学Ⅰ	2	3・4	
	会計学II	2	3・4	
	経営戦略論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	経営戦略論II	2	3・4	英語講義
	マーケティング原理Ⅰ	2	3・4	
	マーケティング原理II	2	3・4	
	国際経営論Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	国際経営論II	2	3・4	本年度休講
	経営分析論Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	経営分析論II	2	3・4	本年度休講
	経営情報論Ⅰ	2	3・4	
	経営情報論II	2	3・4	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	情報と組織の経済学II	2	3・4	
	ビジネス・シミュレーションⅠ	2	3・4	本年度休講
	ビジネス・シミュレーションII	2	3・4	本年度休講
	コーポレートファイナンスⅠ	2	3・4	
	コーポレートファイナンスII	2	3・4	
	日本経済と証券ビジネス	2	3・4	「野村證券㈱寄附講座」 前期
	証券の基礎と資産選択入門	2	3・4	「日興フィナンシャル･インテリジェンス㈱寄附講座」 後期
	アジア政治論Ⅰ	2	3・4	
	アジア政治論II	2	3・4	
	アジア太平洋政治論Ⅰ	2	3・4	
	アジア太平洋政治論II	2	3・4	本年度休講
	ヨーロッパ政治論Ⅰ	2	3・4	
	ヨーロッパ政治論II	2	3・4	前期
	地域研究（アジア経済）Ⅰ	2	3・4	旧称 地域研究（アジア・アメリカ経済）Ⅰ
	地域研究（アジア経済）II	2	3・4	旧称 地域研究（アジア・アメリカ経済）Ⅰ
	地域研究（アメリカ経済）	2	3・4	後期
	地域研究（西ヨーロッパ経済）Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	地域研究（西ヨーロッパ経済）II	2	3・4	本年度休講
	地域研究（東ヨーロッパ経済）Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	地域研究（東ヨーロッパ経済）II	2	3・4	本年度休講
	国際経済学特殊講義Ⅰ	2	3・4	
	国際経済学特殊講義II	2	3・4	
	国際経済学特殊講義III	2	1～4	海外短期研修
	インターンシップ	2	1～3	118ページ参照
	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1～4	本年度休講
	総合講義(アジア大学連携プログラム)	2	2～4	青山キャンパス開講 後期 英語講義
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読II	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読II	2	3・4	

B群	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3・4	
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期
	演習Ⅰ	8	3	通年
	演習Ⅱ	4	4	通年
	〈閉講〉			
	経済・経営数学中級Ⅰ	2	3・4	2010年度閉講
	経済・経営数学中級Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講
	経営管理・組織論Ⅰ	2	3・4	2010年度閉講
	経営管理・組織論Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講

4．国際政治学科・国際経済学科 グローバルガバナンスコース（GOV）

※国際政治学科所属学生の必修科目は、下記Ａ群必修科目です。
※国際経済学科所属学生の必修科目は、下記Ａ群必修科目および学科必修科目（**「ミクロ経済学入門Ⅰ」「ミクロ経済学入門Ⅱ」「マクロ経済学入門Ⅰ」「マクロ経済学入門Ⅱ」**）です。
（太字は必修科目）

学科科目配置表　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考
Ａ群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論Ⅱ	2	1・2	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅰ	2	2	
	グローバル・ガバナンス概論Ⅱ	2	2	
	国際政治学Ⅰ	2	2	
	国際政治学Ⅱ	2	2	
	憲法と政治制度Ⅰ	2	1・2	旧称　憲法Ⅰ
	憲法と政治制度Ⅱ	2	1・2	旧称　憲法Ⅱ
	国際法Ⅰ Ａ	2	2	前期
	国際法Ⅰ Ｂ	2	2	後期
	経済情報入門Ⅰ	2	2	
	経済情報入門Ⅱ	2	2	本年度休講
	ミクロ経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	ミクロ経済学入門Ⅱ	2	1・2	
	マクロ経済学入門Ⅰ	2	2	
	マクロ経済学入門Ⅱ	2	2	
	国際政治経済学Ⅰ	2	2	
	国際政治経済学Ⅱ	2	2	
Ｂ群	アジア圏概論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	アジア圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	ヨーロッパ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	ヨーロッパ圏概論Ⅱ	2	1・2	本年度休講
	中東アフリカ圏概論Ⅰ	2	1・2	
	中東アフリカ圏概論Ⅱ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅰ	2	1・2	
	米洲圏概論Ⅱ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅰ	2	1・2	
	環太平洋圏概論Ⅱ	2	1・2	
	民法概論Ⅰ	2	1・2	
	民法概論Ⅱ	2	1・2	
	国際経済学Ⅰ	2	2	前・後期
	国際経済学Ⅱ	2	2	本年度休講
	国際制度論Ⅰ	2	3・4	
	国際制度論Ⅱ	2	3・4	
	国連研究Ⅰ	2	3・4	夏期集中講義
	国連研究Ⅱ	2	3・4	118ページ参照
	国際機構論Ⅰ	2	3・4	後期　英語講義
	国際機構論Ⅱ	2	3・4	前期　英語講義
	国際平和協力論Ⅰ	2	3・4	
	国際平和協力論Ⅱ	2	3・4	
	戦略論Ⅰ	2	3・4	
	戦略論Ⅱ	2	3・4	
	国際環境論Ⅰ	2	3・4	
	国際環境論Ⅱ	2	3・4	
	国際行政論Ⅰ	2	3・4	
	国際行政論Ⅱ	2	3・4	

B群	国際NGO論Ⅰ	2	3・4	
	国際NGO論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	国際開発政策Ⅰ	2	3・4	後期
	国際開発政策Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	国際金融Ⅰ	2	3・4	
	国際金融Ⅱ	2	3・4	
	国際法ⅡA	2	3・4	前期
	国際法ⅡB	2	3・4	後期
	国際私法Ⅰ	2	3・4	
	国際私法Ⅱ	2	3・4	
	国際経済法Ⅰ	2	3・4	
	国際経済法Ⅱ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅰ	2	3・4	
	朝鮮半島の国際政治論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	国際関係史Ⅰ	2	3・4	
	国際関係史Ⅱ	2	3・4	
	外交史Ⅰ	2	3・4	
	外交史Ⅱ	2	3・4	
	日本の外交・安全保障政策	2	3・4	前期
	日本の平和と安全保障	2	3・4	後期
	日本の環境政策	2	3・4	前期
	国際安全保障論Ⅰ	2	3・4	
	国際安全保障論Ⅱ	2	3・4	
	国際政治学特殊講義Ⅲ	2	1～4	海外短期研修
	国際政治学特殊講義Ⅴ	2	1～4	青山キャンパス開講　夏期集中講義　英語講義
	総合講義(アジア大学連携プログラム)	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3・4	
	インターンシップ	2	1～3	118ページ参照
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期
	演習Ⅰ	8	3	通年
	演習Ⅱ	4	4	通年

5．国際政治学科・国際経済学科 ファイナンス・マネジメントコース（FM）

※国際政治学科所属学生の必修科目は、下記Ａ群必修科目および学科必修科目（**「政治学原論Ⅰ」「政治学原論Ⅱ」**）です。
※国際経済学科所属学生の必修科目は、下記Ａ群必修科目および学科必修科目（**「マクロ経済学入門Ⅰ」「マクロ経済学入門Ⅱ」**）です。

（太字は必修科目）

学科科目配置表　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考
Ａ群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	ファイナンス概論Ⅰ	2	2	
	ファイナンス概論Ⅱ	2	2	
	ミクロ経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	ミクロ経済学入門Ⅱ	2	1・2	
	マクロ経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	マクロ経済学入門II	2	1・2	
	経済情報入門Ⅰ	2	2	
	経済情報入門II	2	2	本年度休講
	社会科学のための統計学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための統計学入門II	2	1・2	
	社会科学のための数学入門Ⅰ	2	1・2	
	社会科学のための数学入門II	2	1・2	
	経営マネジメント論Ⅰ	2	2	
	経営マネジメント論II	2	2	
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論II	2	1・2	
Ｂ群	確率・統計理論Ⅰ	2	1・2	本年度休講
	確率・統計理論II	2	1・2	本年度休講
	国際経済学Ⅰ	2	2	前・後期
	国際経済学II	2	2	本年度休講
	国際経済Ａ	2	3・4	前期　英語講義
	国際経済Ｂ	2	3・4	後期　英語講義
	ミクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	ミクロ経済学中級II	2	3・4	
	マクロ経済学中級Ⅰ	2	3・4	
	マクロ経済学中級II	2	3・4	
	統計分析演習Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	統計分析演習II	2	3・4	本年度休講
	ゲーム理論Ⅰ	2	3・4	
	ゲーム理論II	2	3・4	
	計量経済学Ⅰ	2	3・4	
	計量経済学II	2	3・4	
	応用計量経済学Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	応用計量経済学II	2	3・4	本年度休講
	国際金融Ⅰ	2	3・4	
	国際金融II	2	3・4	
	会計学Ⅰ	2	3・4	
	会計学II	2	3・4	
	経営分析論Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	経営分析論II	2	3・4	本年度休講
	経営情報論Ⅰ	2	3・4	
	経営情報論II	2	3・4	
	情報と組織の経済学Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	情報と組織の経済学II	2	3・4	

B群	管理会計論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	管理会計論Ⅱ	2	3・4	英語講義
	証券市場論Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	証券市場論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	ファイナンス数理Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	ファイナンス数理Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	コーポレートファイナンスⅠ	2	3・4	
	コーポレートファイナンスⅡ	2	3・4	
	国際ファイナンスⅠ	2	3・4	
	国際ファイナンスⅡ	2	3・4	
	証券投資論Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	証券投資論Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	日本経済と証券ビジネス	2	3・4	前期　「野村證券㈱寄附講座」
	証券の基礎と資産選択入門	2	3・4	後期　「日興フィナンシャル・インテリジェンス㈱寄附講座」
	FAST Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	FAST Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	経営戦略論Ⅰ	2	3・4	英語講義
	経営戦略論Ⅱ	2	3・4	英語講義
	マーケティング原理Ⅰ	2	3・4	
	マーケティング原理Ⅱ	2	3・4	
	ビジネス・シミュレーションⅠ	2	3・4	本年度休講
	ビジネス・シミュレーションⅡ	2	3・4	本年度休講
	国際経済学特殊講義Ⅲ	2	1～4	海外短期研修
	国際経済学特殊講義Ⅴ	2	1～4	本年度休講
	総合講義(アジア大学連携プログラム)	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅱ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅱ	2	3・4	
	インターンシップ	2	1～3	118ページ参照
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期
	演習Ⅰ	8	3	通年
	演習Ⅱ	4	4	通年
	〈閉講〉			
	経済・経営数学中級Ⅰ	2	3・4	2010年度閉講
	経済・経営数学中級Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講
	経営管理・組織論Ⅰ	2	3・4	2010年度閉講
	経営管理・組織論Ⅱ	2	3・4	2010年度閉講

6．国際政治学科・国際経済学科 国際コミュニケーションコース（COM）

※国際政治学科所属学生の必修科目は、下記Ａ群必修科目および学科必修科目（**「政治学原論Ⅰ」**、**「政治学原論Ⅱ」**）です。
※国際経済学科所属学生の必修科目は、下記Ａ群必修科目および学科必修科目（**「ミクロ経済学入門Ⅰ」**、**「ミクロ経済学入門Ⅱ」**、**「マクロ経済学入門Ⅰ」**、**「マクロ経済学入門Ⅱ」**）です。

（太字は必修科目）

学科科目配置表　（原則として、Ⅰ…前期科目　Ⅱ…後期科目）

区分	授業科目	単位	履修年次	備考
Ａ群	**入門セミナーⅠ**	2	1	
	入門セミナーⅡ	2	1	
	コミュニケーション総論Ⅰ	2	2	
	コミュニケーション総論Ⅱ	2	2	
	言語科学概論Ⅰ	2	2	
	言語科学概論Ⅱ	2	2	
	地域文化論Ⅰ	2	2	
	地域文化論Ⅱ	2	2	
	宗教文化論Ⅰ	2	2	
	宗教文化論Ⅱ	2	2	
	政治学原論Ⅰ	2	1・2	
	政治学原論Ⅱ	2	1・2	
	ミクロ経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	ミクロ経済学入門Ⅱ	2	1・2	
	マクロ経済学入門Ⅰ	2	1・2	
	マクロ経済学入門Ⅱ	2	1・2	
	経済情報入門Ⅰ	2	2	
	経済情報入門Ⅱ	2	2	本年度休講
Ｂ群	文化とコミュニケーションⅠ	2	2	※文化とコミュニケーションＡ
	文化とコミュニケーションⅡ	2	2	※文化とコミュニケーションＢ
	情報倫理学Ⅰ	2	3・4	後期
	情報倫理学Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	通訳の理論と方法Ⅰ	2	3・4	
	通訳の理論と方法Ⅱ	2	3・4	
	翻訳の理論と方法Ⅰ	2	3・4	
	翻訳の理論と方法Ⅱ	2	3・4	
	英語レポート・論文作成Ⅰ	2	3・4	
	英語レポート・論文作成Ⅱ	2	3・4	
	メディア論Ⅰ	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	メディア論Ⅱ	2	3・4	「毎日新聞社寄附講座」
	国際ビジネス・コミュニケーションⅠ	2	3・4	
	国際ビジネス・コミュニケーションⅡ	2	3・4	
	国際言語としての英語Ⅰ	2	3・4	
	国際言語としての英語Ⅱ	2	3・4	本年度休講
	認知とことばⅠ	2	3・4	後期
	認知とことばⅡ	2	3・4	前期
	Thesis Writing Ⅰ	2	3・4	英語講義　※ Thesis Writing（Ⅰ）
	Thesis Writing Ⅱ	2	3・4	英語講義　※ Thesis Writing（Ⅱ）
	日英語比較Ⅰ	2	3・4	
	日英語比較Ⅱ	2	3・4	
	ヨーロッパ文化論Ⅰ	2	3・4	
	ヨーロッパ文化論Ⅱ	2	3・4	
	異文化リテラシーⅠ	2	3・4	後期　英語講義
	異文化リテラシーⅡ	2	3・4	前期　英語講義
	言語科学特殊講義Ⅰ	2	3・4	

B群	言語科学特殊講義II	2	3・4	
	言語文化特殊講義Ⅰ	2	3・4	本年度休講
	言語文化特殊講義II	2	3・4	本年度休講
	アンケート・社会調査の方法	2	3・4	後期
	コミュニケーション研究法の全体像	2	3・4	前期
	国際政治学特殊講義III（注２）	2	1～4	海外短期研修
	国際政治学特殊講義Ⅴ（注３）	2	1～4	青山キャンパス開講　夏期集中講義　英語講義
	国際経済学特殊講義III（注４）	2	1～4	海外短期研修
	国際経済学特殊講義Ⅴ（注５）	2	1～4	本年度休講
	総合講義(アジア大学連携プログラム)	2	2～4	青山キャンパス開講　後期　英語講義
	外国書（フランス語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（フランス語）講読II	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ドイツ語）講読II	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（スペイン語）講読II	2	3・4	
	外国書（中国語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（中国語）講読II	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読Ⅰ	2	3・4	
	外国書（ロシア語）講読II	2	3・4	
	インターンシップ	2	1～3	118ページ参照
	プリゼミ	2	2のみ	前・後期
	演習Ⅰ	8	3	通年
	演習II	4	4	通年
	〈閉講〉			
	国際コミュニケーション特殊講義Ⅰ	2	3・4	2010年度閉講
	国際コミュニケーション特殊講義II	2	3・4	2010年度閉講

（注１）**上記の学科科目において単位を修得した科目の同一名称および異名称同一の外国語Ｃ群科目は履修することができません。また上記の学科科目Ａ・Ｂ群・自由選択科目として修得した単位は、同一名称および異名称同一の外国語科目Ｃ群の単位に振り替えることはできません。**

（注２）「国際政治学特殊講義III」は**国際政治学科**の学生のみが履修可能な科目です。

（注３）「国際政治学特殊講義Ⅴ」を履修した場合、**国際政治学科**の学生は学科科目Ｂ群、**国際経済学科**の学生は自由選択科目となります。

（注４）「国際経済学特殊講義III」は**国際経済学科**の学生のみが履修可能な科目です。

（注５）「国際経済学特殊講義Ⅴ」を履修した場合、**国際政治学科**の学生は自由選択科目、**国際経済学科**の学生は学科科目Ｂ群となります。

【5】 自由選択科目履修方法

1．自由選択科目の履修方法

(1) 自由選択科目の必要単位
選択（20単位）

(2) 下記の科目は、自由選択科目として卒業要件単位に算入されます。

① 本学部の学科科目で、自学科･自コースの学科科目Ａ群と学科科目Ｂ群における卒業に必要な単位を超えて修得した単位

② 本学部の学科科目で、他学科･他コースの学科科目Ａ群と学科科目Ｂ群の科目の単位

③ 青山スタンダード科目の「フレッシャーズ・セミナー」の単位

④ 青山スタンダード科目の技能コア科目の身体の技能〔領域Ｇ〕の科目の単位

⑤ 青山スタンダード科目の卒業に必要な単位を超えて修得した単位

⑥ 外国語科目Ｃ群における卒業に必要な単位を超えて修得した単位（英語以外の外国語科目は入学時に学籍資料票により申請した外国語の科目に限ります。申請以外の外国語の科目は卒業に必要な単位に参入されません。）

⑦ 他学部との共通開講科目

他学部共通開講科目

授　業　科　目	単位	履修年次	備　　考
行政法Ⅰ	4	3・4	前期週２回
行政法Ⅱ	4	3・4	後期週２回
商法Ⅰ	4	3・4	通年
商法Ⅱ	4	3・4	通年
経済法	4	3・4	通年
財政学	4	3・4	通年
経済変動論	4	3・4	通年
労働経済論	4	3・4	通年
簿記論Ⅰ	4	1・2	通年
簿記論Ⅱ	4	3・4	通年
財務会計論	4	2	通年
連結会計論	2	3・4	本年度休講
制度会計論	2	3・4	前期

⑧ 他学部の学科科目・専門教育科目
履修については、他学部科目一覧表（134ページ以降）を参照してください。

注１）他学部の学科科目・専門教育科目を履修する場合は、当該学部で制限を設けていない科目に限ります。

注２）本学部に同一名称・異名称同一科目がある他学部学科科目・専門教育科目の履修は認めません。

C．他学部科目一覧表

他学部科目の履修について

他学部科目のうち本学部学生が履修可能な科目の一覧表を以下に掲載します。
履修については下記の点に注意してください。

1．一覧表は他学部が本学部に対して履修可能としている科目を掲載しています。なお、「担当者氏名」及び「本年度休講」の掲載はしていませんので、講義内容および授業時間割表にて確認してください。履修希望科目が講義内容および授業時間割表に掲載されていない場合は本年度休講となっています。

また、年度により一覧表の科目のうち履修を認めないなどの措置をとることがあります。

2．他学部の一覧表は基本的には1997年度以降入学者に対応した科目を掲載しています。履修可能な科目は同じ入学年度の科目のみ履修できます。掲載してある一覧表以前の入学生で他学部科目の履修を希望する学生は教務課で希望学部の授業要覧を閲覧し履修してください。

3．本学部では入学年度によって他学部科目の卒業要件単位に含まれる条件が異なる場合がありますので、授業要覧で確認のうえ履修してください。

4．一覧表に掲載されている科目のうち、履修に制限がある場合は、開講学部の履修制限に従って履修してください。

文学部共通科目

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
芸術文化論	4	3・4	文化財科学	4	3・4	日本の思想	4	2・3・4
東洋の思想	4	2・3・4	現代思想	4	3・4	日本美術史	4	3・4
東洋美術史	4	3・4	西洋美術史	4	3・4	日本文化史	4	3・4
東洋文化史	4	3・4	西洋文化史	4	3・4	映像文化論A	2	3・4
映像文化論B	2	3・4	東洋音楽史	4	3・4	西洋音楽史	4	3・4
生命倫理学	4	3・4	詩論	4	3・4	ギリシャ・ローマ文学	4	3・4
テクスト論	4	3・4	物語文学	4	3・4	キリスト教文学	4	3・4
世界各地域の文学A	4	3・4	世界各地域の文学B	4	3・4	世界各地域の文学C	4	3・4
児童文学	4	3・4	比較文学	4	3・4	言語学概論	4	3・4
比較言語学	4	3・4	記号論	4	3・4	古典ギリシャ語I	4	3・4
古典ギリシャ語II	4	3・4	ラテン語入門	4	2・3・4	ラテン語I	4	3・4
ラテン語II	4	3・4	出版ジャーナリズム	4	3・4	放送ジャーナリズム	4	3・4
精神分析学入門	4	3・4	心理言語学	4	3・4	イタリアの言語と文化	4	2・3・4
通訳ワークショップ(1)	2	3・4	通訳ワークショップ(2)	2	3・4	現代社会と文学部	2	3・4

文学部教育学科（2001年度～2008年度入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
日本教育史（人間形成の歴史Ⅰ）	4	1・2	西洋教育史（人間形成の歴史Ⅱ）	4	3・4	宗教教育学	2	2
教育哲学Ⅰ（人間形成の思想と哲学）	2	3・4	教育哲学Ⅱ（人間形成の文化と社会）	2	3・4	発達と文化Ⅰ（教育人類学）	2	3・4
発達と文化Ⅱ（教育現象学）	2	3・4	図書館情報文化論	2	2	比較発達社会学	4	1・2
教育社会学概論	4	1・2	比較教育学	4	3・4	教育行政・制度	4	2
国際理解教育	2	3・4	現代社会と社会教育Ⅰ（高齢化社会と教育）	2	3・4	現代社会と社会教育Ⅱ（青年期の教育）	2	3・4
現代社会と社会教育Ⅲ（ジェンダーと教育）	2	3・4	家庭教育	4	2	発達文化論	2	3・4
発達心理学	4	1・2	教育調査・統計	4	3・4	社会教育計画	4	3・4
※1社会教育演習	4	3・4	図書館情報学概論	2	2	図書館システム経営論	2	3・4
図書館システムサービス論	2	2	図書館情報学特論	2	3・4	児童サービス論	2	3・4
生涯学習概論	4	2	※1生涯学習演習	4	3・4	学校教育学総論	4	1・2
初等教育原理	4	1・2	教育課程論	4	3・4	学校経営・管理	4	3・4
※2教育方法	4	2	教材開発論	2	3・4	学校教育学特論	4	3・4
音楽教材研究	2	3・4	図画工作教材研究	2	3・4	体育教材研究	2	3・4
国語教材研究	2	3・4	社会教材研究	2	3・4	算数教材研究	2	3・4
理科教材研究	2	3・4	生活科教材研究	2	3・4	家庭教材研究	2	3・4
学校経営と学校図書館	2	2	学習指導と学校図書館	2	3・4	読書教育論	2	3・4
学校心理学	2	3・4	臨床保育学	4	3・4	幼児教育原理	4	1・2
小児保健学	4	3・4	小児精神神経学	2	3・4	保育方法の研究	4	3・4
保育内容総論	4	3・4	保育内容研究（健康）	2	3・4	保育内容研究（人間関係）	2	3・4
保育内容研究（環境）	2	3・4	保育内容研究（ことば）	2	3・4	保育内容研究（表現A）	2	3・4
保育内容研究（表現B）	2	3・4	※3臨床心理学総論	4	2	人格心理学	4	3・4
相談心理学	4	3・4	養護教育	4	1・2	障害児・者の心理Ⅰ	2	2
障害児・者の心理Ⅱ	2	3・4	障害児・者の教育	2	3・4	障害児・者の福祉	2	3・4
障害児・者の医学	2	3・4	メディアコミュニケーション概論	2	1・2	認知科学概論	2	2
インターフェース論	2	3・4	知的表現論	2	3・4	メディア･コミュニケーション特論Ⅰ	2	3・4
メディア･コミュニケーション特論Ⅱ	2	3・4	視聴覚教育メディア論	2	3・4	学習心理学	4	3・4
社会心理学	4	3・4	情報メディア論Ⅰ	2	2	情報メディア論Ⅱ	2	3・4
情報メディア特論	2	3・4	メディア組織法Ⅰ	2	3・4	メディア組織法Ⅱ	4	3・4
学校図書館メディア	2	3・4	情報サービス論	4	3・4	情報検索法	4	3・4
情報メディア利用論	2	3・4	※4教育学概論Ⅱ	2	3・4	※5生涯学習概論Ⅱ	2	3・4
インストラクショナルデザイン総論	2	3・4	教育システムのためのITファンダメンタル	2	3・4	コンピュータ利用教育と学習理論	2	3・4
コンテンツ開発演習	2	3・4	eラーニングシステムマネジメント演習	2	3・4	コース実施と学習支援演習	2	3・4
オンライン調査解析演習	2	3・4	協調学習デザイン演習	2	3・4	キリスト教学校論	2	3・4
聖書の世界（旧約）	2	3・4	聖書の世界（新約）	2	3・4	キリスト教の教理	2	3・4
キリスト教と法思想	2	3・4	宗教と社会	2	3・4	礼拝学	2	3・4
キリスト教と精神医学	2	3・4						

※1：社会教育主事希望者のみ履修可　※2：2003年度以降入学生は履修不可　※3：「臨床心理学」修得者は履修不可
※4：社会教育主事・学芸員希望者のみ履修可　※5：司書・学芸員希望者のみ履修可

他学部科目一覧表

文学部英米文学科（2010年度以降入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
イギリス文学史	4	1・2	イギリス文学概論	4	1・2	イギリス文化概論	4	1・2
アメリカ文学史	4	1・2	アメリカ文学概論	4	1・2	アメリカ文化概論	4	1・2
グローバル文学・文化概論	4	1・2	グローバル文学理論	4	1・2	英語学概論	4	1・2
英語史	4	1・2	英文法	4	1・2	コミュニケーション概論	4	1・2
異文化間コミュニケーション概論	4	1・2	英語教育学概論	4	1・2	イギリス文学特講	4	3・4
イギリス文化特講	4	3・4	アメリカ文学特講	4	3・4	アメリカ文化特講	4	3・4
グローバル文学特講	4	3・4	グローバル文化特講	4	3・4	英語学特講	4	3・4
言語学特講	4	3・4	コミュニケーション特講	4	3・4	英語教育学特講	4	3・4
英詩概論	4	3・4	イギリス事情	4	3・4	アメリカ事情	4	3・4
英語聖書	4	3・4	ビジネスイングリッシュⅠ	2	3・4	メディアイングリッシュⅠ	2	3・4
メディアイングリッシュⅡ	2	3・4						

文学部英米文学科（2009年度以前入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
英国文学史Ⅰ	4	1	英国文学史Ⅱ	4	1	英語学概論	4	1
米国文学史	4	1	英語史	4	1	英文学概論	4	1
米文学概論	4	1	コミュニケーション概論	4	1	異文化間コミュニケーション概論	4	1
英文学特講	4	3・4	米文学特講	4	3・4	英語学特講	4	3・4
言語学特講	4	3・4	コミュニケーション特講	4	3・4	英詩概論	4	3・4
英語教授法	4	3・4	イギリス事情	4	3・4	アメリカ事情	4	3・4
英語聖書	4	3・4	ビジネスイングリッシュⅠ	2	3・4	メディアイングリッシュⅠ	2	3・4
メディアイングリッシュⅡ	2	3・4						

文学部フランス文学科（2011年度入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
※1フランス語会話	4	1	フランス文学研究	4	3・4	フランス語学研究	4	3・4
フランス文化研究	4	3・4	エクスプリカシオン(A)	4	3・4	エクスプリカシオン(B)	4	3・4
コミュニカシオンⅠ	4	3・4	コミュニカシオンⅡ	4	3・4	エクスプレシオン・エクリットⅡ	4	3・4
エクスプレシオン・エクリットⅢ	4	3・4	フランス文学特講	4	2・3・4	フランス語学特講	4	2・3・4
フランス文化特講	4	2・3・4	フランス文学演習Ⅰ	4	2・3	フランス語学演習Ⅰ	4	2・3
フランス文化演習Ⅰ	4	2・3	フランス文学演習Ⅱ	4	3・4	フランス語学演習Ⅱ	4	3・4
フランス文化演習Ⅱ	4	3・4	フランス語教授法Ⅰ	4	3・4	フランス語教授法Ⅱ	4	3・4
フランス語作文	4	2・3・4	フランス語学概論	4	2・3・4	実務フランス語	4	3・4

※1：既修得者用クラスのみ履修可

文学部フランス文学科（2010年度以前入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
講読演習	4	3・4	フランス文学史概説II	4	3・4	フランス語学概論	4	3・4
フランス語史	4	3・4	エクスプリカシオン	4	3・4	コミュニカシオンI・II	8	3・4
コミュニカシオンIII	4	3・4	フランス語作文II	4	3・4	フランス語作文III	4	4
時事フランス語	4	3・4	実務フランス語	4	3・4	フランス文学特講	4	3・4
フランス語学特講	4	3・4	フランス文化特講	4	3・4	フランス文学演習	4	3・4
フランス語学演習	4	3・4	フランス文化演習	4	3・4	※1フランス語会話III	4	3・4
※2フランス語教授法	4	3・4	※3フランス語教授法I	4	3・4	※3フランス語教授法II	4	3・4

※1：「フランス語会話II」修得者は履修不可
※2：2008年度以前入学者
※3：2009年度以降入学者

文学部日本文学科

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
日本文学史I	2	1	日本文学史II	2	1	日本文学史III	2	2
日本文学史IV	2	2	古典文学概論	4	1・2	近代文学概論	4	1・2
漢文学概論	4	1・2	日本語学概論	4	1・2	日本語史	4	1・2
日本文学講読［1］～［4］	4	1・2	漢文学講読	4	1・2	日本語学講読	4	1・2
表象文化論［1］～［3］	4	3・4	日本文学特講［1］～[12]	4	3・4	日本文学特講A・B	2	3・4
漢文学特講［1］・［2］	4	3・4	日本語学特講［1］～［3］	4	3・4	書理論	4	3・4

文学部史学科（2005年度以降入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
※考古学概説	2	1	史学概論	2	1	人文地理学概論	4	3
古文書学	4	2・3・4	日本史特講	4	2・3・4	東洋史特講	4	2・3・4
西洋史特講	4	2・3・4	考古学特講	4	2・3・4	芸術史特講	4	2・3・4
史学特講A	4	1･2･3･4	史学特講B	4	1･2･3･4	※博物館概論	2	3のみ
※博物館学各論	4	3・4	※博物館実習I	2	3のみ	※博物館実習II	2	4

※学芸員希望者のみ

他学部科目一覧表

文学部心理学科　昼間主コース（2001年度～2006年度入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
基礎心理学A	2	2	基礎心理学B	2	3・4	教育・心理統計法	4	2
学習心理学	4	3・4	発達心理学	4	1・2	臨床保育学	4	3・4
教育哲学I	2	3・4	社会心理学	4	3・4	産業心理学	2	3・4
認知科学概論	2	2	臨床心理学	4	2	心理療法	4	3・4
人格心理学	4	3・4	相談心理学	4	3・4	哲学的認識論	4	3・4
学校心理学	2	3・4	学校教育学総論	2	1・2	障害児・者の心理I	2	2
障害児・者の心理II	2	3・4	障害児・者の教育	2	3・4	障害児・者の福祉	2	3・4
障害児・者の医学	2	3・4	心理学特講A	2	3・4	心理学特講B	2	3・4
心理学原書講読	2	3・4	教育統計実習	2	3・4			

文学部心理学科（2007年度～2008年度入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
基礎心理学	2	2	心理統計学基礎	4	2	哲学的認識論	4	3・4
心理統計実習	2	3・4	心の哲学	4	3・4	心理学史	2	3・4
心理学研究法	2	3	学習心理学	4	3・4	発達心理学	4	1・2
生涯発達心理学Ⅰ	2	2	生涯発達心理学Ⅱ	2	2	知覚心理学	2	2
認知科学概論	2	2	認知心理学	4	3・4	感情心理学	2	3・4
神経心理学	2	3・4	人格心理学	4	3・4	健康心理学	2	3・4
社会心理学	4	3・4	社会心理学Ⅰ	2	3・4	社会心理学Ⅱ	2	3・4
産業心理学	2	3・4	広告心理学	2	3・4	ノンバーバル･コミュニケーションⅠ	2	3・4
ノンバーバル･コミュニケーションⅡ	2	3・4	音楽心理学	2	3	心理学特講A	2	3・4
心理学特講B	2	3・4	学校心理学	2	3・4	臨床心理学	4	2
臨床心理学Ⅰ	2	3・4	臨床心理学Ⅱ	2	3・4	心理療法	4	3・4
精神分析学	2	3・4	家族心理学	2	3・4	犯罪心理学	4	3・4
臨床心理学特講	4	3・4	相談心理学	4	3・4	音楽療法	2	3・4
音楽療法演習	2	3・4	コミュニティ心理学	2	3・4	臨床心理実務倫理論	2	3・4
心理面接法	4	3・4	精神医学	4	3・4	身体医学	2	3・4
心身医学	2	3・4	薬理学	2	3・4	脳生理学	2	3・4
精神衛生	2	3・4	生涯発達論	2	3・4	母子保健	2	3・4
成人・高齢者保健	2	3・4	精神保健福祉	2	3・4	保健・医療・福祉・制度論	2	3・4
社会保障制度と関連法規	2	3・4	障害児・者の心理Ⅰ	2	2	障害児・者の心理Ⅱ	2	3・4
障害児・者の教育	2	3・4	障害児・者の福祉	2	3・4	障害児・者の医学	2	3・4
学校教育学総論	4	1・2	保育内容総論	4	3・4	臨床保育学	4	3・4
保育方法の研究	4	3・4	生涯学習概論	4	2	現代社会と社会教育Ⅰ（高齢化社会と教育）	2	3・4
現代社会と社会教育Ⅱ（青年期の教育）	2	3・4	現代社会と社会教育Ⅲ（ジェンダーと教育）	2	3・4	心理学原書講読A	2	3・4
心理学原書講読B	2	3・4						

他学部科目一覧表

教育人間科学部教育学科（2009年度以降入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
人間形成学総論	2	1・2	日本教育史 I	2	1・2	日本教育史 II	2	1・2
西洋教育史 I	2	3・4	西洋教育史 II	2	3・4	教育史特殊講義	2	3・4
宗教教育学	2	2	発達と文化 A	2	3・4	発達と文化 B	2	3・4
教育哲学 A	2	3・4	教育哲学 B	2	3・4	教育学特論 A	2	3・4
教育学特論 B	2	3・4	教育社会学総論	2	1・2	比較発達社会学	2	1・2
生涯発達心理学 I	2	1・2	生涯発達心理学 II	2	1・2	キャリア教育 A	2	2
キャリア教育 B	2	3・4	家庭教育 A	2	2	家庭教育 B	2	2
比較教育学	2	3・4	異文化理解教育	2	3・4	老年学	2	3・4
教育学特論 C	2	3・4	教育学特論 D	2	3・4	社会福祉概論	2	2
臨床心理学概論 I	2	2	臨床心理学概論 II	2	2	小児精神神経学	2	3・4
相談心理学 I	2	3・4	相談心理学 II	2	3・4	特別支援教育	2	3・4
障害児・者の心理 I	2	2	障害児・者の心理 II	2	3・4	障害児・者の教育	2	3・4
障害児・者の福祉	2	3・4	障害児・者の医学	2	3・4	教育学特論 E	2	3・4
教育学特論 F	2	3・4	生涯学習概論 I	2	2	生涯学習概論 II	2	2
高等教育論 A	2	2	高等教育論 B	2	3・4	社会教育計画 I	2	3・4
社会教育計画 II	2	3・4	社会教育課題研究	4	3・4	高齢化社会と教育	2	3・4
青年期と教育	2	3・4	ジェンダーと教育	2	3・4	青年文化論	2	3・4
ボランティア教育論	2	3・4	地域ネットワーキング論	2	3・4	スポーツ・レクリエーション論	2	3・4
教育学特論 G	2	3・4	教育学特論 H	2	3・4	教育情報学総論	2	1・2
メディア・コミュニケーション総論	2	1・2	認知科学概論	2	2	学校経営と学校図書館	2	2
視聴覚教育メディア論	2	3・4	インターフェース論	2	3・4	知的表現論	2	3・4
教材開発論	2	3・4	学習指導と学校図書館	2	3・4	学校図書館メディア	2	3・4
情報メディア利用論	2	3・4	読書教育論	2	3・4	学習心理学 I	2	3・4
学習心理学 II	2	3・4	社会心理学 I	2	3・4	社会心理学 II	2	3・4
教育学特論 I	2	3・4	教育学特論 J	2	3・4	図書館情報学概論	2	2
図書館システムサービス論	2	2	図書館情報文化論	2	2	図書館システム経営論	2	3・4
情報メディア論 A	2	2	情報メディア論 B	2	3・4	情報メディア論 C	2	3・4
児童サービス論	2	3・4	メディア組織法 I	2	3・4	メディア組織法 II	2	3・4
メディア組織法 III	2	3・4	情報サービス論 I	2	3・4	情報サービス論 II	2	3・4
情報検索法 I	2	3・4	情報検索法 II	2	3・4	図書館情報学実習	2	4
教育学特論 K	2	3・4	教育学特論 L	2	3・4	幼児教育原理 A	2	1・2
幼児教育原理 B	2	1・2	児童福祉論	2	1・2	臨床保育学 A	2	2
臨床保育学 B	2	2	小児保健論	2	3・4	教育学特論 M	2	3・4
教育学特論 N	2	3・4	小児栄養学	2	3・4	教育学特論 O	2	3・4
教育学特論 P	2	3・4	学校教育学総論	2	1・2	初等教育原理 A	2	1・2
初等教育原理 B	2	1・2	学校心理学	2	3・4	教育学特論 Q	2	3・4
教育学特論 R	2	3・4	初等英語概説 A	2	3・4	初等英語概説 B	2	3・4
教育学特論 S	2	3・4	教育学特論 T	2	3・4	インストラクショナルデザイン総論	2	3・4
教育システムのためのITファンダメンタル	2	3・4	コンピュータ利用教育と学習理論	2	3・4	コンテンツ開発演習	2	3・4
eラーニングシステムマネジメント演習	2	3・4	コース実施と学習支援演習	2	3・4	オンライン調査解析演習	2	3・4
協調学習デザイン演習	2	3・4	キリスト教学校論	2	3・4	聖書の世界（旧約）	2	3・4
聖書の世界（新約）	2	3・4	キリスト教の教理	2	3・4	キリスト教と法思想	2	3・4
宗教と社会	2	3・4	礼拝学	2	3・4	キリスト教メンタルヘルス	2	3・4

教育人間科学部心理学科（2009年度以降入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
心理統計実習	2	3・4	哲学的認識論	4	3・4	心の哲学	4	3・4
心理学史	2	3・4	学習心理学	4	3・4	発達心理学	4	1・2
生涯発達心理学Ⅰ	2	2	生涯発達心理学Ⅱ	2	2	生涯発達論	2	3・4
知覚心理学	2	2	認知心理学	4	3・4	音楽心理学	2	3・4
感情心理学	2	3・4	神経心理学	2	3・4	人格心理学	4	3・4
犯罪心理学	4	3・4	社会心理学	4	3・4	社会心理学Ⅰ	2	3・4
社会心理学Ⅱ	2	3・4	産業心理学	2	3・4	広告心理学	2	3・4
ノンバーバル・コミュニケーションⅠ	2	3・4	ノンバーバル・コミュニケーションⅡ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅰ	2	3・4
応用社会心理学特講Ⅱ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅲ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅳ	2	3・4
応用社会心理学特講Ⅴ	2	3・4	応用社会心理学特講Ⅵ	2	3・4	心理学特講A	2	3・4
学校心理学	2	3・4	臨床心理学	4	2	臨床心理学Ⅰ	2	3・4
臨床心理学Ⅱ	2	3・4	障害児・者の心理Ⅰ	2	2	臨床心理学特講	4	3・4
精神分析学	2	3・4	精神医学	4	3・4	音楽療法	2	3・4
相談心理学	4	3・4	家族心理学	2	3・4	健康心理学	2	3・4
コミュニティ心理学	2	3・4	障害児・者の心理Ⅱ	2	3・4	障害児・者の教育	2	3・4
障害児・者の福祉	2	3・4	障害児・者の医学	2	3・4	心理面接法	4	3・4
応用行動分析	2	3・4	身体医学	2	3・4	心身医学	2	3・4
薬理学	2	3・4	脳生理学	2	3・4	精神衛生	2	3・4
母子保健	2	3・4	成人・高齢者保健	2	3・4	精神保健福祉	2	3・4
保健・医療・福祉・制度論	2	3・4	社会保障制度と関連法規	2	3・4	心理学原書講読A	2	3・4
心理学原書講読B	2	3・4						

他学部科目一覧表

経済学部

経済学科（2011年度入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
金融論Ⅰ	2	2	金融論Ⅱ	2	2	経済学史Ⅰ	2	2
経済学史Ⅱ	2	2	応用ミクロ経済学Ⅰ	2	3・4	応用ミクロ経済学Ⅱ	2	3・4
応用マクロ経済学Ⅰ	2	3・4	応用マクロ経済学Ⅱ	2	3・4	経済動学Ⅰ	2	3・4
経済動学Ⅱ	2	3・4	経済統計Ⅰ	2	3・4	経済統計Ⅱ	2	3・4
数理統計Ⅰ	2	3・4	数理統計Ⅱ	2	3・4	経済数学Ⅰ	2	3・4
経済数学Ⅱ	2	3・4	社会政策論Ⅰ	2	3・4	社会政策論Ⅱ	2	3・4
社会保障論Ⅰ	2	3・4	社会保障論Ⅱ	2	3・4	産業論（航空事業Ⅰ）	2	3・4
産業論（航空事業Ⅱ）	2	3・4	産業論（損害保険業）	2	3・4	産業論（税法）	2	3・4
労働経済論Ⅰ	2	3・4	労働経済論Ⅱ	2	3・4	日本経済史Ⅰ	2	3・4
日本経済史Ⅱ	2	3・4	欧米経済史Ⅰ	2	3・4	欧米経済史Ⅱ	2	3・4
東洋経済史Ⅰ	2	3・4	東洋経済史Ⅱ	2	3・4	経済思想史Ⅰ	2	3・4
経済思想史Ⅱ	2	3・4	キリスト教社会思想史Ⅰ	2	3・4	キリスト教社会思想史Ⅱ	2	3・4
世界経済論Ⅰ	2	3・4	世界経済論Ⅱ	2	3・4	各国経済論ＡⅠ	2	3・4
各国経済論ＡⅡ	2	3・4	各国経済論ＢⅠ	2	3・4	各国経済論ＢⅡ	2	3・4
農業経済論Ⅰ	2	3・4	農業経済論Ⅱ	2	3・4	民法Ⅰ	4	3・4
民法Ⅱ	4	3・4	労働法	4	3・4	経営史Ⅰ	2	3・4
経営史Ⅱ	2	3・4						

経済学科（2010年度以前入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
経済数学入門	4	1・2	金融論	4	2	経済学史	4	2
応用ミクロ経済学	4	3・4	応用マクロ経済学	4	3・4	オープンマクロ経済学	4	3・4
経済統計	4	3・4	数理統計	4	3・4	経済数学Ⅰ	2	3・4
経済数学Ⅱ	2	3・4	社会政策論	4	3・4	社会保障論	4	3・4
産業論（航空事業Ⅰ）	2	3・4	産業論（航空事業Ⅱ）	2	3・4	産業論（損害保険業）	2	3・4
産業論（税法）	2	3・4	ファイナンス論	4	3・4	日本経済史	4	3・4
欧米経済史	4	3・4	東洋経済史	4	3・4	経済思想史	4	3・4
キリスト教社会思想史	4	3・4	世界経済論	4	3・4	各国経済論A	4	3・4
各国経済論B	4	3・4	農業経済論	4	3・4	環境経済学	4	3・4
民法Ⅰ	4	3・4	民法Ⅱ	4	3・4	労働法	4	3・4
経営史（2008年度以前入学者）	4	3・4	経営史Ⅰ（2009年度以降入学者）	2	3・4	経営史Ⅱ（2009年度以降入学者）	2	3・4

現代経済デザイン学科（2008年度以降入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
公的規制の経済学	2	3・4	NPO論A	2	3・4	契約の経済学	2	3・4
公共政策の経済学	2	3・4	公共選択論	2	3・4	NPO論B	2	3・4
政策と評価A	2	3・4	法と経済学	2	3・4	都市再生論	2	3・4
まちづくりと都市計画	2	3・4	住宅と不動産の経済学	2	3・4	郊外地域論	2	3・4
地域人口論	2	3・4	経済地理	2	2	経済地誌	2	2
地方財政の経済学Ⅰ	2	3・4	地方財政の経済学Ⅱ	2	3・4	地域経済学Ⅱ	2	3・4
都市経済学	2	3・4						

他学部科目一覧表

法学部

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
裁判と法	2	1・2	行政と法	2	1・2	現代弁護士論	2	1・2
企業と法	2	1・2	アメリカの社会と法	2	1・2	中国の社会と法	2	1・2
労働と法	2	1・2	市民生活と税法	2	1・2	インターネットと法	2	1・2
憲法II	4	2	比較憲法	4	3・4	立法学入門	2	3・4
憲法特殊講義	2	1・2	言論法	4	3・4	地方自治法	4	3・4
教育法	4	3・4	税法	4	3・4	民法II	4	2
民法III	4	2	民法IV	4	3・4	民法V	4	3・4
借地借家法	2	3・4	※3知的財産法I	2	3・4	※3知的財産法II	2	3・4
※4知的財産法III	2	3・4	※4知的財産法IV	2	3・4	※1登記法	2	3・4
※1不動産法	2	3・4	民事訴訟法I	4	3・4	民事訴訟法II	4	3・4
破産法	4	3・4	刑法I	4	2	刑法II	4	3・4
刑事訴訟法	4	3・4	刑事政策	4	3・4	商法（手形法・小切手法）	4	3・4
商法（保険法）	4	3・4	商法（海商法・航空法）	4	3・4	国際社会と法	2	1・2
金融・商品先物取引法	4	3・4	銀行取引法	2	3・4	※5金融商品取引法	2	3・4
※2企業法務	2	3・4	法思想史	4	1・2	法哲学	4	3・4
法社会学	4	3・4	ローマ法	4	3・4	日本法史学	4	3・4
外国法入門	4	1・2	イギリス法	4	3・4	アメリカ法（刑法・刑事訴訟法）	2	3・4
ドイツ法	4	3・4	※6アメリカ法（憲法・司法制度論I）	2	3・4	アメリカ法（憲法・司法制度論II）	2	3・4
アメリカ法（契約法）	2	3・4	アメリカ法（財産法・担保付取引論）	2	3・4	アメリカ法（知的財産法論）	2	3・4
アメリカ法（不法行為法・PL法）	2	3・4	アメリカ法（家族法）	2	3・4	アメリカ法（会社法・商法）	2	3・4
現代法特講	2	3・4	フランス法	4	3・4	EU法	4	3・4
※7中国法I	2	3・4	※7中国法II	2	3・4	中国法III	2	3・4
中国法IV	2	3・4	ラテンアメリカの法	2	3・4	国際取引法I	2	3・4
国際取引法II	2	3・4	国際取引法III	2	3・4	雇用関係法	4	3・4
労使関係法	2	3・4	雇用政策法	2	3・4	社会保障法	4	3・4
環境法	4	3・4	国際労働法	4	3・4	経済と法	2	3・4
西洋法史学	4	3・4	※8消費者法	2	3・4	日本政治史	4	1・2
比較政治学	4	3・4	西洋政治史	4	3・4	国際関係論	4	3・4
行政学	4	3・4	NPOと公共政策	2	3・4	英語文献講読	4	3・4
ドイツ語文献講読	4	3・4	フランス語文献講読	4	3・4	国際金融法	2	3・4

※1　2002年度以前入学者履修不可
※2　2002年度以前入学者履修不可
※3　「知的所有権法Ⅰ」・「知的財産法Ⅰ（4単位）」を修得済の者は履修不可
※4　「知的所有権法II」・「知的財産法II（4単位）」を修得済の者は履修不可
※5　「証券取引法」を修得済の者は履修不可
※6　「アメリカ法（憲法・司法制度論）」を修得済の者は履修不可
※7　「アジア法」を修得済の者は履修不可
※8　「消費者保護法」を修得済の者は履修不可
※9　「NPOと公共政策」を修得済の者は履修不可

上記科目は、法学部成績評価基準（法学部要覧又は法学部HP参照）にのっとり成績評価をいたします。

経営学部（2011年度入学者）

授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次	授業科目	単位	履修年次
事業戦略論Ⅰ	2	2	事業戦略論Ⅱ	2	2	マーケティング論Ⅰ	2	3・4
マーケティング論Ⅱ	2	3・4	経営データ分析のための基礎解析入門Ⅰ	2	1・2	経営データ分析のための基礎解析入門Ⅱ	2	1・2
経営データ分析のための線形代数入門Ⅰ	2	1・2	経営データ分析のための線形代数入門Ⅱ	2	1・2	ファイナンスⅠ	2	2
ファイナンスⅡ	2	2	経営史Ⅰ	2	3・4	経営史Ⅱ	2	3・4
企業法務Ⅰ	2	3・4	企業法務Ⅱ	2	3・4	経営戦略論Ⅰ	2	3・4
経営戦略論Ⅱ	2	3・4	経営組織論Ⅰ	2	3・4	経営組織論Ⅱ	2	3・4
組織心理学Ⅰ	2	3・4	組織心理学Ⅱ	2	3・4	人材育成論Ⅰ	2	3・4
人材育成論Ⅱ	2	3・4	人的資源管理論Ⅰ	2	3・4	人的資源管理論Ⅱ	2	3・4
サプライチェーン･マネジメントⅠ	2	3・4	サプライチェーン･マネジメントⅡ	2	3・4	事業創造戦略Ⅰ	2	3・4
事業創造戦略Ⅱ	2	3・4	経営データ分析基礎Ⅰ	2	1・2	経営データ分析基礎Ⅱ	2	1・2
経営データ分析応用Ⅰ	2	3・4	経営データ分析応用Ⅱ	2	3・4	経営情報システム論Ⅰ	2	3・4
経営情報システム論Ⅱ	2	3・4	マネジメントサイエンスⅠ	2	3・4	マネジメントサイエンスⅡ	2	3・4
産業労働衛生論	2	3・4	医療経営論	2	3・4	戦略・マネジメント特論Ⅰ	2	3・4
戦略・マネジメント特論Ⅱ	2	3・4	戦略・マネジメント特論Ⅲ	2	3・4	戦略・マネジメント特論Ⅳ	2	3・4
競争戦略論Ⅰ	2	3・4	競争戦略論Ⅱ	2	3・4	組織行動論Ⅰ	2	3・4
組織行動論Ⅱ	2	3・4	企業評価論Ⅰ	2	3・4	企業評価論Ⅱ	2	3・4
実証会計論Ⅰ	2	3・4	実証会計論Ⅱ	2	3・4	会計情報論Ⅰ	2	3・4
会計情報論Ⅱ	2	3・4	財務分析論Ⅰ	2	3・4	財務分析論Ⅱ	2	3・4
制度会計論Ⅰ	2	3・4	制度会計論Ⅱ	2	3・4	税務会計論Ⅰ	2	3・4
税務会計論Ⅱ	2	3・4	監査論Ⅰ	2	3・4	監査論Ⅱ	2	3・4
原価計算論	2	3・4	コストマネジメント	2	3・4	意思決定会計論	2	3・4
予算管理論	2	3・4	財務管理論Ⅰ	2	3・4	財務管理論Ⅱ	2	3・4
会計・ファイナンス特論Ⅰ	2	3・4	会計・ファイナンス特論Ⅱ	2	3・4	会計・ファイナンス特論Ⅲ	2	3・4
会計・ファイナンス特論Ⅳ	2	3・4	統合マーケティングコミュニケーション	2	3・4	広告論Ⅰ	2	3・4
文化創造マーケティングⅠ	2	3・4	文化創造マーケティングⅡ	2	3・4	消費者行動論	2	3・4
ブランド戦略論	2	3・4	サービスマーケティング	2	3・4	国際マーケティング	2	3・4
商業英語	4	3・4	商業英語論	4	3・4	貿易商務論	4	3・4
損害保険論	4	3・4	交通論Ⅰ	2	3・4	交通論Ⅱ	2	3・4
金融市場論Ⅰ	2	3・4	金融市場論Ⅱ	2	3・4	市場システム論Ⅰ	2	3・4
市場システム論Ⅱ	2	3・4	リスク・マネジメント論Ⅰ	2	3・4	リスク・マネジメント論Ⅱ	2	3・4
現代日本産業史	4	3・4	社会情報ネットワーク論Ⅰ	2	3・4	社会情報ネットワーク論Ⅱ	2	3・4
流通情報システム論Ⅰ	2	3・4	流通情報システム論Ⅱ	2	3・4	流通政策Ⅰ	2	3・4
流通政策Ⅱ	2	3・4	国際経営論Ⅰ	2	3・4	国際経営論Ⅱ	2	3・4
市場システム特論Ⅰ	2	3・4	市場システム特論Ⅱ	2	3・4	市場システム特論Ⅲ	2	3・4
市場システム特論Ⅳ	2	3・4	イギリス文化論Ⅰ	2	3・4	イギリス文化論Ⅱ	2	3・4
英語圏社会・文化研究Ⅰ	2	3・4	英語圏社会・文化研究Ⅱ	2	3・4	ユダヤ文化とビジネスⅠ	2	3・4
ユダヤ文化とビジネスⅡ	2	3・4	韓国の経営文化Ⅰ	2	3・4	韓国の経営文化Ⅱ	2	3・4
アメリカ文化論Ⅰ	2	3・4	アメリカ文化論Ⅱ	2	3・4	世界の言語文化Ⅰ	2	3・4
世界の言語文化Ⅱ	2	3・4	経済原論	4	2	金融組織論	4	3・4
民法Ⅰ	4	3・4	民法Ⅱ	4	3・4	商法Ⅰ	4	3・4
商法Ⅱ	4	3・4	経済法	4	3・4	労働法	4	3・4

他学部科目一覧表

経営学部（2009・2010年度以降入学者）

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
事業戦略論Ⅰ	2	2	事業戦略論Ⅱ	2	2	マーケティング論	4	2
経営データ分析のための基礎解析入門Ⅰ	2	1・2	経営データ分析のための基礎解析入門Ⅱ	2	1・2	経営データ分析のための線形代数入門Ⅰ	2	1・2
経営データ分析のための線形代数入門Ⅱ	2	1・2	ファイナンスⅠ	2	2	ファイナンスⅡ	2	2
経営史Ⅰ	2	3・4	経営史Ⅱ	2	3・4	企業法務Ⅰ	2	3・4
企業法務Ⅱ	2	3・4	経営戦略論Ⅰ	2	3・4	経営戦略論Ⅱ	2	3・4
経営組織論Ⅰ	2	3・4	経営組織論Ⅱ	2	3・4	組織心理学Ⅰ	2	3・4
組織心理学Ⅱ	2	3・4	人材育成論Ⅰ	2	3・4	人材育成論Ⅱ	2	3・4
人的資源管理論Ⅰ	2	3・4	人的資源管理論Ⅱ	2	3・4	サプライチェーン･マネジメントⅠ	2	3・4
サプライチェーン･マネジメントⅡ	2	3・4	事業創造戦略Ⅰ	2	3・4	事業創造戦略Ⅱ	2	3・4
経営データ分析基礎Ⅰ	2	1・2	経営データ分析基礎Ⅱ	2	1・2	経営データ分析応用Ⅰ	2	3・4
経営データ分析応用Ⅱ	2	3・4	経営情報システム論Ⅰ	2	3・4	経営情報システム論Ⅱ	2	3・4
マネジメントサイエンスⅠ	2	3・4	マネジメントサイエンスⅡ	2	3・4	産業労働衛生論	2	3・4
医療経営論	2	3・4	戦略・マネジメント特論Ⅰ	2	3・4	戦略・マネジメント特論Ⅱ	2	3・4
戦略・マネジメント特論Ⅲ	2	3・4	戦略・マネジメント特論Ⅳ	2	3・4	企業評価論Ⅰ	2	3・4
企業評価論Ⅱ	2	3・4	実証会計論Ⅰ	2	3・4	実証会計論Ⅱ	2	3・4
会計情報論Ⅰ	2	3・4	会計情報論Ⅱ	2	3・4	財務分析論Ⅰ	2	3・4
財務分析論Ⅱ	2	3・4	制度会計論Ⅰ	2	3・4	制度会計論Ⅱ	2	3・4
税務会計論Ⅰ	2	3・4	税務会計論Ⅱ	2	3・4	監査論Ⅰ	2	3・4
監査論Ⅱ	2	3・4	原価計算論	2	3・4	コストマネジメント	2	3・4
意思決定会計論	2	3・4	予算管理論	2	3・4	戦略管理会計Ⅰ	2	3・4
戦略管理会計Ⅱ	2	3・4	財務管理論Ⅰ	2	3・4	財務管理論Ⅱ	2	3・4
証券投資論Ⅰ	2	3・4	証券投資論Ⅱ	2	3・4	会計・ファイナンス特論Ⅰ	2	3・4
会計・ファイナンス特論Ⅱ	2	3・4	会計・ファイナンス特論Ⅲ	2	3・4	会計・ファイナンス特論Ⅳ	2	3・4
競争戦略論Ⅰ	2	3・4	競争戦略論Ⅱ	2	3・4	組織行動論Ⅰ	2	3・4
組織行動論Ⅱ	2	3・4	統合マーケティングコミュニケーション	2	3・4	文化創造マーケティングⅠ	2	3・4
文化創造マーケティングⅡ	2	3・4	消費者行動論	2	3・4	ブランド戦略論	2	3・4
マーケティングチャネル	2	3・4	サービスマーケティング	2	3・4	国際マーケティング	2	3・4
商業英語	4	3・4	商業英語論	4	3・4	貿易商務論	4	3・4
損害保険論	4	3・4	金融市場論Ⅰ	2	3・4	金融市場論Ⅱ	2	3・4
交通論	4	3・4	市場システム論Ⅰ	2	3・4	市場システム論Ⅱ	2	3・4
リスク・マネジメント論Ⅰ	2	3・4	リスク・マネジメント論Ⅱ	2	3・4	現代日本産業史	4	3・4
社会情報ネットワーク論Ⅰ	2	3・4	社会情報ネットワーク論Ⅱ	2	3・4	流通情報システム論Ⅰ	2	3・4
流通情報システム論Ⅱ	2	3・4	流通政策Ⅰ	2	3・4	流通政策Ⅱ	2	3・4
市場システム特論Ⅰ	2	3・4	市場システム特論Ⅱ	2	3・4	市場システム特論Ⅲ	2	3・4
市場システム特論Ⅳ	2	3・4	国際経営論Ⅰ	2	3・4	国際経営論Ⅱ	2	3・4
英語圏社会・文化研究Ⅰ	2	3・4	英語圏社会・文化研究Ⅱ	2	3・4	ユダヤ文化とビジネスⅠ	2	3・4
ユダヤ文化とビジネスⅡ	2	3・4	韓国の経営文化Ⅰ	2	3・4	韓国の経営文化Ⅱ	2	3・4
世界の言語文化Ⅰ	2	3・4	世界の言語文化Ⅱ	2	3・4	経済原論	4	2
地域経済学	4	3・4	産業組織論	4	3・4	金融論	4	2
金融組織論	4	3・4	民法Ⅰ	4	3・4	民法Ⅱ	4	3・4
商法Ⅰ	4	3・4	商法Ⅱ	4	3・4	経済法	4	3・4
労働法	4	3・4						

経営学部（2008年度以前入学者）

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
経営データ分析入門Ⅰ	4	1・2	経営データ分析入門Ⅱ	4	1・2	経営データ分析Ⅰ	4	1・2
現代企業論	4	2	マーケティング論	4	2	企業法務	4	3・4
事業創造戦略	4	3・4	組織心理学	4	3・4	人的資源管理論	4	3・4
事業戦略評価	4	3・4	サプライチェーン・マネジメント	4	3・4	財務管理論	4	3・4
投資行動論	4	3・4	経営データ分析Ⅱ	4	3・4	経営情報システム論	4	3・4
インフォメーションマネジメントⅠ	4	3・4	インフォメーションマネジメントⅡ	4	3・4	マネジメントサイエンスⅠ	2	3・4
マネジメントサイエンスⅡ	2	3・4	消費者行動論	2	3・4	製品戦略論	2	3・4
マーケティングチャネル論	2	3・4	統合マーケティングコミュニケーション論	2	3・4	サービスマーケティング論	2	3・4
国際マーケティング論	2	3・4	市場システム論	4	3・4	リスク・マネジメント論	4	3・4
広告論	4	3・4	交通論	4	3・4	貿易商務論	4	3・4
商業英語論	4	3・4	流通政策	4	3・4	原価計算論	2	3・4
会計監査論	4	3・4	税務会計論	4	3・4	国際会計論	4	3・4
意思決定会計論	2	3・4	予算管理論	2	3・4	原価管理論	2	3・4
会計情報論	4	3・4	財務分析論	4	3・4	経営学特殊講義Ⅰ（人材育成論Ⅰ）	2	3・4
経営学特殊講義Ⅱ（人材育成論Ⅱ）	2	3・4	商学特殊講義Ⅰ（マーケティング・プロフェッショナル実践Ⅰ）	2	3・4	商学特殊講義Ⅱ（マーケティング・プロフェッショナル実践Ⅱ）	2	3・4
会計学特殊講義Ⅰ（企業評価論Ⅰ）	2	3・4	会計学特殊講義Ⅱ（企業評価論Ⅱ）	2	3・4	会計学特殊講義Ⅲ（国際会計論）	2	3・4
会計学特殊講義Ⅳ（会計学文献研究）	2	3・4	企業と社会	2	3・4	技術と経営	2	3・4
経営組織と個人	2	3・4	経営と文化	2	3・4	経営と法	2	3・4
経済原論	4	2	地域経済学	4	3・4	金融論	4	2
金融組織論	4	3・4	民法Ⅰ	4	3・4	民法Ⅱ	4	3・4
労働法	4	3・4						

他学部科目一覧表

総合文化政策学部（2008年度以降入学者）

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
経済分析（1ミクロ）	2	3・4	経済分析（2マクロ）	2	3・4	公共社会論	2	3・4
金融概論	2	3・4	行政学概論	2	3・4	国際関係	2	3・4
公共政策論	2	3・4	憲法概論	2	3・4	行政法概論	2	3・4
著作権法	2	3・4	経済発展論	2	3・4	国際平和論	2	3・4
経済政策概論	2	3・4	公共経済学概論	2	3・4	文化経済学	2	3・4
文化行政法	2	3・4	文化産業概論	2	3・4	観光産業論	2	3・4
消費経済論	2	3・4	社会福祉論	2	3・4	キリスト教福祉論	2	3・4
マーケティング概論	2	3・4	会計学	2	3・4	サービスマーケティング概論	2	3・4
地域のマーケティング	2	3・4	消費文化論	2	3・4	経営戦略概論	2	3・4
組織論入門	2	3・4	人的資源管理概論	2	3・4	経営分析論	2	3・4
非営利会計論	2	3・4	プロジェクトマネジメント論	2	3・4	ビジネスプロセスマネジメント論	2	3・4
プロジェクトファイナンス	2	3・4	マーケティング戦略論	2	3・4	ブランド戦略論	2	3・4
公共経営論	2	3・4	文化財保護法	2	3・4	プロジェクトプロデュース論	2	3・4
世界経済概論	2	3・4	社会調査論Ⅰ	2	3・4	社会調査論Ⅱ	2	3・4
統計学	2	3・4	文化人類学概論	2	3・4	日本文化の歴史	2	3・4
異文化間コミュニケーション論	2	3・4	表象文化概論	2	3・4	社会分析学	2	3・4
宗教史	2	3・4	経済史(1)	2	3・4	経済史(2)	2	3・4
社会思想史	2	3・4	経済と文明	2	3・4	比較文明論	2	3・4
地域文化論(1)	2	3・4	地域文化論(2)	2	3・4	地域文化論(3)	2	3・4
地域文化論(4)	2	3・4	宗教社会学	2	3・4	比較宗教論	2	3・4
ネットワーク社会と文化	2	3・4	文化遺産論	2	3・4	都市文化論	2	3・4
経営文化論	2	3・4	文化と精神分析	2	3・4	現代経済史	2	3・4
現代日本文化論	2	3・4	近代哲学史	2	3・4	論理学	2	3・4
公共哲学概論	2	3・4	認識論	2	3・4	存在論	2	3・4
倫理学入門	2	3・4	象徴記号論	2	3・4	情報環境論(1)	2	3・4
情報環境論(2)	2	3・4	メディアリテラシー	2	3・4	宗教哲学	2	3・4
社会倫理	2	3・4	日本思想史概論	2	3・4	現代哲学	2	3・4
現代思潮	2	3・4	現代の神学	2	3・4	認知哲学	2	3・4
環境美学	2	3・4	芸術哲学	2	3・4	情報工学	2	3・4
ダイレクトマーケティング論	2	3・4	ベンチャービジネス起業論	2	3・4			

理工学部

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
現代物理学概論	2	2・3・4	現代化学概論	2	2・3・4	一般電気工学	2	2・3・4
社会と経営システム工学	2	2・3・4	計算機概論	2	2・3・4			

社会情報学部（2008年度以降入学者）

授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次	授業科目	単位	配置年次
知的財産法	2	3・4	経済政策 II	2	3・4	社会調査 II	2	3・4
証券市場 II	2	3・4	デリバティブズ	2	3・4	経済解析 I	2	3・4
経済解析 II	2	3・4	現代の経済	2	3・4	グローバルビジネス	2	3・4
社会情報特別講義 C	2	3・4	社会情報特別講義 D	2	3・4	組織論	2	3・4
文化心理学	2	3・4	組織意思決定論	2	3・4	プロジェクトマネジメント	2	3・4
情報化社会と文化	2	3・4	情報アクセス法	2	3・4	コンピュータグラフィックス	2	3・4
情報システム開発	2	3・4	ソフトウェア開発・保守	2	3・4	社会情報特別講義 E	2	3・4
社会情報特別講義 F	2	3・4	情報科学応用 III	2	3・4			

Ⅴ．授業について

1．授　業

授業時間

各キャンパスの授業時間は、次のとおりです。

	青山キャンパス （文学部心理学科夜間主コース・第二部を含む）	相模原キャンパス
第1時限	9：00～10：30	9：00～10：30
礼　拝	10：30～11：00	10：30～11：00
第2時限	11：00～12：30	11：00～12：30
昼休み	12：30～13：10	12：30～13：10
第3時限	13：10～14：40	13：10～14：40
第4時限	14：45～16：15	14：55～16：25
第5時限	16：20～17：50	16：40～18：10
第6時限	（月・水・木・土）18：00～19：30 （火・金）18：00～19：25	
礼拝・課外活動	（火）礼拝　　（金）課外活動 19：30～20：00	
第7時限	（月・水・木・土）19：40～21：10 （火・金）20：05～21：30	

相模原キャンパス

2011年度相模原キャンパス授業時間割は原則5時限で実施予定です。しかし、学科目配置上5時限で実施できないことが起きた場合のみ6時限目に配置いたします。

なお、6時限目は現在の5時限終了後15分休憩後より開始いたします。

青山キャンパス

青山キャンパス第一部の授業時間割は原則1～5時限で配置しておりますが、学科目配置の都合により6時限にも配置することがあります。なお、6時限は第二部の授業時間と同様に18：00より開始いたします。

また、特別な行事のときに授業時間が変更となることがあります。日程については「Ⅰ．学事暦等」を参照してください。

授業教室

授業教室については、別冊子『授業時間割表』に掲載されています。授業教室が変更になる場合は、随時「学生ポータル」で伝達しますので、毎日必ず確認してください。建物の配置については『授業時間割表』巻末に掲載されている「大学建物配置図」を参照してください。

休　講

授業が休講になる場合は、主に「学生ポータル」で伝達します。

休講情報がなく、授業開始から30分以上経過しても担当教員が来ず、連絡もない場合は、学務担当窓口（巻末参照）に問い合わせ、指示を受けてください（学生共通細則第7条参照）。

補　講

休講となった授業に対し、補講を行う場合があります。補講日は、前期・後期とも、定期試験開始前にそれぞれ数日間設けられています。日程については、「Ⅰ．学事暦等」を参照してください。詳細は「学生ポータル」などで伝達しますので、必ず確認してください。また、補講期間以外にも補講を行う場合もあります。担当者が直接教室で発表するか、または「学生ポータル」などで発表しますので、随時確認してください。

授業の欠席について

本学では、特定の理由による欠席を認める「公欠制度」は設けておりません。ケガ･病気･忌引きなどで授業を欠席した場合は、次回の授業時に直接担当教員に申し出て、指示を受けてください。なお、長期にわたる欠席の場合は、学務担当窓口（巻末参照）に相談してください。

2．大学からの伝達

本学では、大学から学生のみなさんへの通知や連絡は、主に「学生ポータル」と「掲示」によって行います。

「学生ポータル」を学内で利用する場合は学生証が必要ですので、必ず携帯してください。また、利用方法については、冊子『学生ポータル利用案内』を参照してください。

「掲示板」の設置場所については次のとおりです。

青山キャンパス	8号館と9号館の間（1階）
相模原キャンパス	E棟とF棟の間（外階段下通路内）

「学生ポータル」「掲示板」では、授業・試験など学生生活に直接関係のある事項が随時伝達されています。情報を確認しなかったことにより、後になって不利益を被ることのないよう、十分注意してください。また、電話による問い合わせには一切応じられませんので、質問などがある場合は直接窓口に来室してください。

3．緊急時の「授業の取り扱い」および「伝達手段」について

事故、災害などにより通常利用している交通機関の運行が停止した場合の授業の取扱いは次のとおりとします。

下記いずれの場合も大学からの情報伝達手段で確認してください。

1．通常利用している交通機関運休時における対応

⑴ 代替交通機関を利用して登校が可能と判断できた場合には、危険な状況でない限り、極力、登校するよう努めてください。

⑵ 代替交通機関の利用ができず登校できなかった場合には、学務担当窓口（巻末参照）に用意されている「交通機関不通による授業欠席届」に、交通機関などが発行した遅延証明書、事故証明書などを添えて授業担当者に提出して欠席分の学習補填の指示を受けてください。

上記1.で休講などの情報
携帯電話　http://mobile.jm.aoyama.ac.jp

2．台風の接近時などの対応

台風の接近などによる被害が予想される場合には、休講などの特別措置がとられることがあります。

3．大規模地震の発生が予想されるときの対応

⑴ 大規模地震対策特別措置法による「地震防災対策強化地域判定会」の招集が報道された時点で休校措置がとられます。

⑵ 警戒宣言が解除され、または「判定会」が解散されたときは、休校を解き、平常授業に戻ります。

上記２．３．

テレドーム　0180－993171（青山学院大学用番号）
Web　　http://www.aoyama.ac.jp

（緊急の情報がない場合、テレドームは呼び出し音のみになります）
ただしこのサービスについては、利用可能な電話と、利用できない電話があります。

利用可能な電話

① 一般電話
② 携帯電話…NTT docomo、au、SoftBank

利用できない電話

携帯電話…NTT docomo を除くプリペイド式携帯、PHS、
列車公衆電話、「050」から始まる IP 電話、NTT の「ひかり電話」、
一部のケーブルテレビ電話、海外からの国際電話

緊急時には、原則として「学生ポータル」では情報提供されません。

４．新型インフルエンザに対する本学の対応について

2009年より全国的に新型インフルエンザ「インフルエンザＡ型（H1N1）」が流行し、本学院においても、感染した学生、生徒等が多数確認されています。

現段階では、教育研究活動および課外活動を平常どおり行う予定でおりますが、今後、青山学院の園児・児童・生徒・学生および教職員における新型インフルエンザの感染状況により、各学校において状況等を判断し、学校ごとに休校等の措置を講じる場合がありますので、青山学院公式ウェブサイトの最新情報にご注意ください。

なお、「新型インフルエンザ（H5N1）」に対する本学の対応については引き続き以下の通りとなります。

新聞等の発表では、各都道府県内で１人でも新型インフルエンザ感染患者が発生した場合はその都道府県内の幼稚園から大学までの全ての教育施設が一斉休校となっていますが、青山学院としては、**国内で１人でも発生が認められた場合は幼稚園から大学までを完全休校**とします（休校の期間は１ヵ月以上の長期にわたる可能性があります）。休校の開始と解除に関しましては、学生・生徒・保護者等に青山学院ホームページや学内一斉配信メール（学生ポータル等）、緊急連絡網、文書等でお知らせいたしますが、厚生労働大臣によるフェーズ４Ｂ（ヒト-ヒト感染発生）の宣言が行われた時点で登校を控えてください。

新型インフルエンザの休校情報は発生次第、テレドームで確認できます。
◇テレドーム　0180-993171

Ⅵ．試験・レポートについて

授業科目の履修状況を評価し単位を認定するため、試験が行われます。試験は、筆記のほかに、科目によっては、論文、レポート、口述試験、実技テスト、その他担当者の指定する方法で行われることもあります。

試験は、受験資格のある学生のみ受験できます。

受験資格は、以下のとおりです。

①　受験する授業科目を履修登録していること

②　学費を納入済みであること

なお、学期を通じ欠席の多い学生は、その科目の受験資格を失うことがあります（学生共通細則第７条参照）。

１．試験の種別

定期試験

前期末、後期末に期間を定めて実施する試験を定期試験といいます。

試験時間割は、試験開始日の約２週間前に「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。試験実施教室や時間割は通常授業時と異なります。

また、不測の事態によって試験が延期される場合もあるので、試験の有無にかかわらず、定期試験期間最終日まで予定（旅行など）を入れないでください。

平常試験

定期試験期間以外の、平常の授業時間に行う試験を平常試験といいます。この場合、担当者によって実施日その他の詳細が決定され、担当者が直接教室で発表するか、または「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。

レポート

レポートは、提出先によって２種類あります。

【学務担当窓口提出レポート】

おおむね定期試験の前後に受付が行われます。詳細は「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。

テーマ、枚数、提出期限などを確認し、必ず指定された期間（時間）内に提出してください。指定された期間内であれば、当該授業科目開講キャンパスに限らず、どちらのキャンパスでも受付けますが、締切時間はキャンパスで異なりますのでよく確認してください。

提出後の内容変更および指定された期間以外の提出は認めません。

このレポートを提出するときは、以下の点に注意してください。

①　用紙は指定されたものを使用してください。

②　必ず大学所定の表紙をつけて綴じてください。

③　表紙には、整理番号その他、記入事項のすべてを「学生ポータル」で確認の上、ボールペンまたはペンで記入してください。鉛筆書きは受け付けません。

④　窓口に持参する際は、表紙記入・ホチキス留めなどをすべて完了し、作成が完了した状態にしておいてください。窓口での表紙記入・ホチキス留めはできません。

⑤　提出した際に受領印の押印された「レポート受領証（学生保存）」を受け取り、成績が発表されるまで各自保管しておいてください。後日、提示を求められる場合があります。

【担当者提出レポート】

情報は担当者が直接教室で発表するか、または「学生ポータル」で発表します（情報は変更される場合もあるので、随時確認してください）。テーマ、用紙、枚数、提出期限、提出方法など、すべて担当者の指示に従ってください。

提出先として**学務グループ設置あるいは学務部教務課の提出ボックス**を指定される場合がありますが、このレポートは**担当者提出レポート**として扱います。

追試験

定期試験を、病気、その他やむを得ない理由によって受験できなかった学生に対して行われる試験を追試験といいます。受験資格は厳密に定められており、**自己の不注意によって受験できなかった場合、および、公的な証明書のない場合は、追試験を受けることはできません。**

資格および申請方法などについては後述の「**3．追試験**」を参照してください。なお、出席日数不足など、担当者の判断によって追試験の受験が認められない場合があります。

2．定期試験の受験

定期試験時間

定期試験時間帯は以下のとおりです。授業時間帯とは異なるので注意してください。

相模原キャンパスでは定期試験科目配置上、5時限で実施できないことが起きた場合のみ6時限目に配置します。なお、6時限目は18時10分より開始します。

試験時間は原則として60分です（理工学部・社会情報学部専門科目のみ最長85分の場合があります）。

	青山キャンパス （文学部心理学科夜間主コース・第二部を含む）	相模原キャンパス
第1時限	9：40 ～ 10：40	9：30 ～ 10：30
第2時限	11：00 ～ 12：00	11：10 ～ 12：10
第3時限	13：00 ～ 14：00	13：10 ～ 14：10
第4時限	14：30 ～ 15：30	14：50 ～ 15：50
第5時限	16：00 ～ 17：00	16：30 ～ 17：30
第6時限	18：20 ～ 19：20	
第7時限	19：40 ～ 20：40	

受験上の注意

受験上の注意は以下の通りです。あらかじめよく読んでおいてください。

試験教室で配布される受験票は、試験を受けた証拠になりますので学年・クラス番号等、正確に記入してください。答案用紙の学年・クラス番号を正しく記入しない場合、担当教員の成績報告に支障をきたすことがあります。また指定されたクラス・試験教室で必ず受験してください。

受験上の注意

1．監督者の指示に従うこと。
2．机の空いている限り、一机一名で着席すること。
3．机上等に書き込みがある場合は、開始前に申し出ること。
4．学生証はケースから出し、通路側の机上に置くこと。**※注**
5．以下の行為は、不正行為に該当するので充分留意すること。
　① 受験資格のない者の受験（代人も含む）。
　② 答案の交換及び他人の答案を盗み見ること。
　③ カンニングペーパー（縮小コピー）等の準備および使用。
　④ 答案用紙を提出せずに試験場から退室すること。
　⑤ 机の中にノート、コピー、文献等を開いたまま置くこと。
　⑥ 所持品やかばん、透明ファイルケース等の中身が見える形のまま、身の回りに置くこと。
6．机上には、許可された文献類および筆記用具以外は置かないこと。
　なお、筆箱・ペンケース等も置いてはならない。

7．携帯電話等の電子機器類の電源を切り、かばん等に入れておくこと。
（携帯電話は時計として使用できない）
8．試験終了前に退室する場合は、他の受験者の妨げにならないよう留意すること。
9．不正行為は恥ずべき行為であり大学として厳重に対処する。

※注　学生証を提示しない学生は受験できません。

・試験開始後20分以上の遅刻者は受験できません。また試験開始後30分を経過するまで退室できません。
・試験当日学生証を忘れた場合、相模原キャンパスでは学務グループ、青山キャンパスでは学務部教務課で学生カードを受け取り受験してください。学生カードの使用については以下の点に注意してください。
ａ．学生カードは、試験受験以外には一切利用できません。
ｂ．学生カードは発行日に限り記載者本人のみ有効です。使用後は自己の責任において適切に処分してください。

不正行為

不正行為を行った学生は、以下に示す『試験における不正行為者処分規則』が適用され、単位を修得することができません。科目によっては4年間で卒業することが不可能になります。

青山学院規則集『試験における不正行為者処分規則』より抜粋

第3条　不正行為者の処分内容は、学則に基づく懲戒処分（訓告、停学、退学）とするほか不正行為を行った授業科目、当該授業科目を含む数科目または全授業科目の履修届を無効とする。

第4条　不正行為者の氏名および処分は学内に掲示し、本人および保証人へ通知する。

不正行為とは、**『試験における不正行為者処分規則施行細則』第2条**に定められた、以下の行為をいいます。

① 代人として受験することまたは代人に受験させること。
② 答案を交換すること。
③ カンニング・ペーパーおよびそれに準ずるもの（メモ類）の用意またはそれらを使用すること。
④ カンニング・ペーパーおよびそれに準ずるもの（メモ類）を廻し見すること。
⑤ 使用が許可されていない文献等を使用すること。
⑥ 使用が許可されている文献等を貸借すること。
⑦ 所持品、身体、机、壁等に解答およびそれに類するものを書き込むこと。
⑧ 答案を写させること、または写しとること。
⑨ 他人の答案を盗み見ること。
⑩ 声、動作等で解答を伝達すること、または伝達を受けること。
⑪ 受験資格のない者が受験すること。
⑫ 他人の学生証を使用して受験すること。
⑬ 偽名または故意により無記名答案を提出すること。
⑭ 答案を提出しないこと。
⑮ 監督者の指示や注意に従わないこと。
⑯ その他上記各号に類すると認められる行為。

3．追試験

申請資格

定期試験を病気、その他やむを得ない理由によって受験できなかった学生のみ申請することができます。

以下の場合には追試験の対象とはなりません。

① 自己の不注意（時間割の見間違い・変更情報の見落としなど）によって受験できなかった場合

② 公共交通機関以外を利用した場合の、天候や交通事故などによる道路の渋滞、車両の故障を理由とする遅刻・欠席の場合
③ 平常試験（定期試験以外の試験を指す）の場合
④ 定期試験を受験した場合

申請方法

申請の日程、追試験日程については、定期試験前に「学生ポータル」で発表します。

追試験の受験を希望する学生は、**直接、授業科目の開講キャンパスの学務担当窓口**（巻末参照）**で、定められた期間に申請してください。**当該授業科目開講キャンパス以外の学務担当窓口では申請できません。

申請時には、当該試験の受験が不可能であったことを証明する公的な書類を持参してください。公的な書類は、**学生氏名、定期試験を受験できなかった日時、理由、証明者名の記載および証明者印のあるもの**に限ります。**コピーは不可です。**申請後「追試験願」用紙を交付しますので、その場で記入し、持参した書類とともに提出してください。なお、受験料は無料です。

欠席理由と、それを示す証明書は次のとおりです。

理　由	証　明　書
病気	医師の診断書（通院・入院・安静期間などの記載のあるもの）
忌引（両親、兄弟姉妹、祖父母、配偶者、子供） ※法事は忌引に含めない	死亡に関する公的証明書および保証人などによる続柄の証明（要押印） または、 葬儀に参列したことを示す会葬礼状（日付が明記されているもの）および保証人などによる続柄・参列の証明（要押印）
就職試験	就職試験の受験を証明するもの（受験票では不可）
災害（台風、地震、水害、火災など）	官公庁による被災証明書
交通関係（遅延）	交通機関などの証明書（通学路線に限る。遅延当日必ず学務担当窓口で指示を受けること）
教育実習	教育実習参加証明書（教職課程課・学務グループにて発行）
科目の時限重複	定期試験実施前に学務担当窓口で指示を受けること

上記以外の理由または、公的な証明書が無い場合については、事前に「**追試験受験資格審査**」を受けてください。審査で認められた場合のみ申請することができます。

追試験時間・採点

原則として60分で実施し、答案は100点満点で採点されます。

Ⅶ．成績評価について

成績評価

学業成績は、授業科目ごとに行う**試験（筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当者の指定する方法）**によって評価されます。

本学の成績は100点法によって評価されます。60点以上が合格とされ、所定の単位が与えられます。

成績証明書および成績通知書にはAA、A、B、Cの表記が用いられます。ただし、「情報スキルⅠ」および指定の海外研修については、所定の単位が与えられた場合、成績証明書には「RR」、成績通知書には「合格」と表示されます。

実点数範囲	学生への成績通知	成績証明書の記載
100～90	AA	AA
89～80	A	A
79～70	B	B
69～60	C	C
59以下または不合格	XX	表示せず
欠席	X	表示せず
「情報スキルⅠ」、海外研修等による単位修得	合格	RR

G.P.A.

2009年度以降のカリキュラム適用学生については、成績通知書に「G.P.A.」の数値を表示しています。G.P.A.（Grade Point Average）とは、学生の履修登録科目の１単位あたりの評点平均値を指します。これは、欧米で広く用いられている世界標準的な成績評価方法で、本学では給付奨学金や学業奨励賞の候補者選出、学位授与式の総代選出、本学大学院進学などの際に活用されています。

履修した科目には、A、B、C、XXなどの成績が与えられます。これらの評価を数値化して１単位ごとの平均を算出したものがG.P.A.です。

本学では、各評価に与えられる評点は次のとおりです。

本学評価	評点
AA	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
XX(不合格)	0.0
X （欠席）	0.0

上記の評点を次の計算式に当てはめてG.P.A.を算出します。

$$\text{G.P.A.}=\frac{(\text{AAの単位数}\times 4+\text{Aの単位数}\times 3+\text{Bの単位数}\times 2+\text{Cの単位数}\times 1)}{(\text{AAの単位数}+\text{Aの単位数}+\text{Bの単位数}+\text{Cの単位数}+\text{XXの単位数}+\text{Xの単位数})}$$

※理工・社会情報学部は、教職課程科目をG.P.A.算出の対象外とします。

※「情報スキルⅠ」は、G.P.A.算出の対象外とします。

成績通知

学生の成績評価は、３月上旬および９月中旬に学生ポータルメニュー「成績通知書」にてお知らせします。学外PCから閲覧する場合は、あらかじめ学内でSecure Matrixパスワードの登録を済ませておく必要があります。（詳細は、学生ポータルメニュー「学外から成績通知書を閲覧する手順」を参照してください。）**成績通知書は各自で印刷し、修得した科目とその評価を確認してください。**

成績調査

成績評価に疑問がある場合は、「成績調査」を申請することができます。これは、科目担当者に対して、安易に再考・変更を求めるものではありません。成績に疑問を持つ**明確な根拠がある場合にのみ**申請してください。

大学が指定する調査期間中に、成績通知書持参のうえ所属キャンパスの学務担当窓口（巻末参照）へ申し出てください。調査期間は、「学生ポータル」でお知らせします。

電話での問い合わせ、期間外の申し出には一切応じません。

Ⅷ．進級および卒業について

進　級

進級については、所属する学部で条件が異なるので、「Ⅳ．学部履修要項」の各学部、学科の**進級条件**の項を参照してください。進級するには、１年間をとおして在学することが必要です。

休学をして復学した場合は、休学前と同一学年になります。

卒　業

⑴　本学に 4 年以上在学し（休学期間を除く）、各学部で定められた、卒業に必要な単位を修得した者は、卒業が認められ学士の学位が授与されます。

⑵　卒業発表は 3 月上旬に行います。卒業の可否は必ず本人が確認してください。電話による問い合わせには一切応じておりません。

9 月卒業

4 年生で留年した場合、不足する科目や単位数により、次年度の前期で単位を修得し、卒業要件単位を満たすことができれば、願い出によって 9 月に卒業できる制度があります。

⑴　希望者は、学務担当窓口（巻末参照）で相談し、**「9 月卒業希望届」**を定められた期間に提出してください。

⑵　期限を過ぎてからの提出は、一切認められません。

⑶　学費については、本学の財務部資金グループに問い合わせてください。

卒業延期制度

4 年次に在学する学生が卒業要件を満たし、具体的な勉学継続計画、国家試験受験等明確な理由、目的を有したうえで、在学期間を延長して学修継続を希望する場合、卒業の延期を認めて学修継続の機会を与える制度です。

⑴　希望者は、学務担当窓口（巻末参照）で相談し、**「卒業延期許可願」、「学修計画書」、「誓約書・保証書」**を定められた期間に提出してください。

⑵　期限を過ぎてからの提出は、一切認められません。

⑶　学費については、本学の財務部資金グループに問い合わせてください。

Ⅸ．学籍について

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>内　　容</th><th>取扱・問い合わせ窓口</th></tr>
<tr><td colspan="2">修業年限</td><td>本学の教育課程を修了するために必要な最低修業年限は、４年です。</td><td>学則第35条参照</td></tr>
<tr><td colspan="2">在学年限</td><td>①　本学に在学できる期間は、休学期間を除き８年です。
②　２年次編入学生、２年次転部または転学部･転学科生の在学年限は６年です。
③　３年次編入学生、３年次転部または転学部･転学科生の在学年限は４年です。
④　再入学者の在学年限は、退学以前を加えて８年です。
⑤　編入学、転部または転学部・転学科をした再入学者の在学年限は、退学以前を加え、編入学、転部または転学部・転学科学生の在学年限を越えることはできません。</td><td>学則第36条参照</td></tr>
<tr><td rowspan="4">休学</td><td>休学期間</td><td>①　休学期間は、通年（１年間）、前期、後期の３種類があり、１年または１学期ごとに更新しなければなりません。
②　休学期間は連続２年までとしますが、特にやむを得ない場合は、審議をしたうえで、連続して３年まで認めることがあります。
③　休学期間は通算して３年を超えることはできません。
④　休学期間は在学期間に算入しません。</td><td>学則第29・36条参照</td></tr>
<tr><td>休学をするには</td><td>病気その他やむを得ない理由で休学しようとする学生は、以下の手続きを行い、教授会の承認を得なければなりません。
①「休学願」（大学所定用紙）（保証人連署）の提出
②　学生証の提示
③　休学費の納入
④「理由書（書式は任意）」休学期間が通算であっても連続であっても、２年を超えてさらに休学を願い出る場合のみ提出
※休学は原級（元の学年）にとどめるので、通年または半期休学をした場合、進級することができません。進級するには、４月から翌年３月まで１年間とおして在学することが必要ですのでご注意ください。</td><td>⇒学務担当窓口
（巻末参照）

学則第28条参照</td></tr>
<tr><td>休学願の提出期限</td><td>「休学願」の提出期限は次のとおりです。
<table>
<tr><th></th><th>休学期間</th><th>提出期限</th></tr>
<tr><td>通年休学</td><td>４月１日～翌年３月31日</td><td>６月末日</td></tr>
<tr><td>前期休学</td><td>４月１日～９月30日</td><td>６月末日</td></tr>
<tr><td>後期休学</td><td>10月１日～翌年３月31日</td><td>12月末日</td></tr>
</table></td><td>⇒学務担当窓口
（巻末参照）</td></tr>
<tr><td>休学費の納入</td><td>休学の願い出の手続きと同時に、下記のとおり、休学期間終了までの学費を完納しなくてはなりません。
①　通年休学の場合……授業料年額の１/２相当額
②　１学期間休学の場合…授業料年額の３/４相当額および諸費</td><td>⇒財務部資金グループ
（青山キャンパス）
学則　別記学費納付に関する取扱い８参照</td></tr>
<tr><td>復学</td><td>復学をするには</td><td>休学者が復学を希望する場合、大学所定の「復学願」を提出し、教授会の承認を経て復学することができます。休学期間満了の約２ヶ月前に、学務部教務課（相模原キャンパスは学務グループ）から次期の復学・休学の継続などについての問い合わせをします。なお、復学が承認された場合の年次は、休学の種類にかかわらず、休学前と同一年次となります。</td><td>⇒学務担当窓口
（巻末参照）

学則第30条参照</td></tr>
</table>

		内　　容	取扱・問い合わせ窓口
退学	退学の期日	退学の期日は、学費の納付期間によって異なります。前期分まで納付している場合は９月30日付、後期分まで納付している場合は３月31日付となります。	学則　別記学費納付に関する取扱い10参照
	退学をするには	病気その他やむを得ない事情で退学を希望する場合は、以下の手続きを行い、教授会の承認を得なければなりません。 ①「退学願」（大学所定用紙）（保証人連署）の提出 ②　学生証の提出 ③　退学期日を含む学期までの学費の納入	⇒学務担当窓口 （巻末参照） 学則第32条参照
再入学		退学した後に再入学を願い出た場合、事情を審査のうえ相当年次に再入学を許可することがあります。願い出をするためには以下のような条件があります。 ①　再入学の願い出ができる期間は、原則として退学した日から２年以内とし、「再入学願」は１月中旬～１月末日（要問い合わせ）の間に学務担当窓口に提出してください。 ②　再入学できる時期は、学年の初めとします。	⇒学務担当窓口 （巻末参照） 学則第27条参照
二重学籍	二重学籍の禁止	本学学生は、他大学および本学他学部または他学科と併せて在学することはできません。	学則第27条の２参照
除籍		学費を期限内に納入しない、履修登録をしない、などの場合は修学の意思がないものとして除籍され、本学学生としての身分を失うことになります。なお、除籍者に対しては、以後、在学中の修得単位・成績の証明などは一切行ないません。また、再入学の資格も失うことになります。	学則第34条参照
転部・転学部・転学科	転部とは	同一学部（学科）内で昼間部または第二部に移ることです。転部を願い出た場合には、選考の上、当該学部学科への転部を許可することがあります。許可された場合、転部届の提出が必要となります。	⇒学務担当窓口 （巻末参照） 学則第26条参照 （詳細については、広報入試センター（青山キャンパス）から、10月初旬発行予定の「試験要項」を確認してください。）
	転学部とは	文学部、教育人間科学部、文学部第二部、法学部、国際政治経済学部へ学部を移ることです。転学部を願い出た場合には、選考の上、当該学部への転学部を許可することがあります。許可された場合、転学部届の提出が必要となります。	
	転学科とは	同一学部内で学科を移ることです。文学部の学生で転学科を願い出た場合には、選考の上、文学部および文学部第二部の他学科への転学科を許可することがあります。また、教育人間科学部の学生が転学科を願い出た場合には、選考の上、教育人間科学部の他学科への転学科を許可することがあります。許可された場合、転学科届の提出が必要となります。	

Ⅹ．教職課程（教員免許状・各種資格）について

１．本学で取得できる教育職員免許状

〔取得できる免許状の種類・教科（学部・学科別）〕

本学で取得できる学部・学科別の免許状の種類・教科は次のとおりです。

（2009年度以降入学者）

学　部	学　科	免許状の種類・教科
文学部	英米文学科	中学校教諭１種免許状（英語） 高等学校教諭１種免許状（英語）
	フランス文学科	中学校教諭１種免許状（フランス語） 高等学校教諭１種免許状（フランス語）
	日本文学科	中学校教諭１種免許状（国語） 高等学校教諭１種免許状（国語）
	史学科	中学校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史）
教育人間科学部	教育学科	幼稚園教諭１種免許状 小学校教諭１種免許状 中学校教諭１種免許状（国語・社会・英語） 高等学校教諭１種免許状 （国語・地理歴史・公民・英語）
経済学部	経済学科	中学校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史※１・公民）
法学部	法学科	中学校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（公民）
経営学部	経営学科	高等学校教諭１種免許状（商業）※２
理工学部	物理・数理学科	中学校教諭１種免許状（理科・数学） 高等学校教諭１種免許状（理科・数学）
	化学・生命科学科	中学校教諭１種免許状（理科） 高等学校教諭１種免許状（理科）
	電気電子工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	機械創造工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	経営システム工学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
	情報テクノロジー学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
社会情報学部	社会情報学科	中学校教諭１種免許状（数学） 高等学校教諭１種免許状（数学・情報）
文学部第二部	英米文学科	中学校教諭１種免許状（英語）※１ 高等学校教諭１種免許状（英語）※１

※１　2009年度・2010年度入学者のみ

※２　2009年度入学者のみ。

（2005～2008年度入学者）

学　部	学　科	免許状の種類・教科
文学部	教育学科	幼稚園教諭１種免許状 小学校教諭１種免許状 中学校教諭１種免許状（国語・社会・英語） 高等学校教諭１種免許状 （国語・地理歴史・公民・英語）
	英米文学科	中学校教諭１種免許状（英語） 高等学校教諭１種免許状（英語）
	フランス文学科	中学校教諭１種免許状（フランス語） 高等学校教諭１種免許状（フランス語）
	日本文学科	中学校教諭１種免許状（国語） 高等学校教諭１種免許状（国語）
	史学科	中学校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史）
経済学部	経済学科	中学校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史・公民）
法学部	法学科	中学校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（公民）
経営学部	経営学科	高等学校教諭１種免許状（商業）
理工学部	物理・数理学科	中学校教諭１種免許状（理科・数学） 高等学校教諭１種免許状（理科・数学）
	化学・生命科学科	中学校教諭１種免許状（理科） 高等学校教諭１種免許状（理科）
	電気電子工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	機械創造工学科	高等学校教諭１種免許状（工業）
	経営システム工学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
	情報テクノロジー学科	高等学校教諭１種免許状（情報）
文学部第二部	教育学科	幼稚園教諭１種免許状 小学校教諭１種免許状 中学校教諭１種免許状（国語・社会） 高等学校教諭１種免許状（国語・地理歴史・公民）
	英米文学科	中学校教諭１種免許状（英語） 高等学校教諭１種免許状（英語）
経済学部第二部	経済学科	中学校教諭１種免許状（社会） 高等学校教諭１種免許状（地理歴史・公民）
経営学部第二部	経営学科	高等学校教諭１種免許状（商業）

（2004年度以前入学者は、入学年度の「教職課程履修の手引」を参照してください。）

2．教員免許状の取得希望申請について

2006年度以降入学者の申請方法

教員免許状の取得を希望する者は、入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』を熟読の上、前期履修登録期間に Web の履修登録画面から**「教職･各種資格申請」**の画面を開き、登録を行ってください。

この申請は、毎年度前期履修登録期間に必ず行うものであり、在学中における申請内容の変更･取消、またはその有無にかかわらず、教職履修申請継続の意思を持っている場合には、毎年度申請を更新してください。申請内容は毎年度末にクリアされます。

2005年度以前入学者の申請方法

教員免許状の取得を希望する者は、入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』を熟読の上、Web の履修登録画面から**「教職・各種資格申請」**の画面を開き、登録を行ってください。

なお、この申請は、変更・取消がない限り在学期間中に一度行えばよく、毎年再申請する必要はありません。

3．教職課程料の納入について

2006年度以降入学者の教職課程料の納入方法

教員免許状の申請登録（Web）をすると、申請した年度ごとに後期学費納入時に教職課程料を納入することになります。たとえ教職課程科目の履修登録をしなくても、**教員免許状の申請登録によって教職課程料が後期学費に加算されます**ので、各自の責任において免許教科を確認し、熟考の上申請をしてください。また、申請登録（Web）の取消しは、前期履修登録期間内しか行えません。なお、一旦納入された教職課程料は、いかなる理由があっても返還しません。

※学費を前期納付時に一括納付した者については､教職課程料の納付時期は 9 月となります。

2005年度以前入学者の教職課程料の納入方法

教員免許状の申請登録をすると､後期学費納入時に**教職課程料**を納入することになります。たとえ教職課程科目の履修登録をしなくても、**教員免許状の申請登録によって教職課程料が後期学費に加算されます**ので、各自の責任において免許教科を確認し、熟考の上申請をしてください。また、申請を取り消す場合には、最初に申請を行った年度に限り、前期履修登録期間内に Web で修正（取消）を行えば、教職課程料は徴収されません。教職課程料は在学中に一度納入すればよく、毎年徴収されることはありません。また、一旦納入された教職課程料は、いかなる理由があっても返還しません。

4．教職課程履修について

履修上の注意

教職課程の履修は、１年次の年度初頭に開催される**教職課程オリエンテーション**で配付される入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』に従ってください。また、履修方法・科目名称の変更などについては、年度初頭に開催される２年次生対象**教職課程オリエンテーション**と３年次生および４年次生対象**教育実習説明会**で資料を配付しますので、必ず確認してください。

教職課程関係の**オリエンテーション・説明会**および**手続**などで、主なものは**「10．教育職員免許状・各種資格取得計画予定表」**のとおりです（学年については、基準となる学年を記載しています）。これらの日程の詳細については、『**学年初頭行事**』（学生ポータル、授業要覧等に掲載）、教職課程掲示板で確認してください。

オリエンテーション・説明会に欠席したり、指定期間内に**介護等体験登録・教育実習予備登録・教員免許状大学一括申請**などの手続を行わなかった場合、卒業時までに教員免許状を取得できない事態に陥ることがありますので、遺漏のないよう自己管理してください。

履修順序のある教職課程科目

教員免許状取得のための科目には、次ページ以下のとおり**「履修順序」**が定められたものがあります。詳細については、『**教職課程履修の手引**』の該当する学部･学科別の免許教科の項を併せて参照してください。

また、学部･学科別の取得可能な教員免許状の校種･教科は、**「１．本学で取得できる教育職員免許状」**の表のとおりです。

〔教員免許状取得に必要な科目の履修順序〕

（2010年度以降入学者に適用）

幼稚園教諭免許状取得希望者

第１段階		第２段階		第３段階
			第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）		（４年次配置科目）
教育思想概説 教育心理学概説 教育制度概説	教職論	保育内容教育法を３教科以上	幼児教育実習Ⅰ	幼児教育実習Ⅱ 教職実践演習(幼)

小学校教諭免許状取得希望者

第１段階		第２段階		第３段階
			第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）		（４年次配置科目）
教育思想概説 教育心理学概説 教育制度概説	教職論	初等教科教育法を４教科以上	初等教育実習Ⅰ	初等教育実習Ⅱ 教職実践演習(小)

中学校・高等学校教諭免許状取得希望者（第一部・第二部）

第１段階		第２段階	第３段階
		第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）	（４年次配置科目）
教育原理Ａ (教育思想概説) 教育心理 (教育心理学概説) 教育原理Ｂ (教育制度概説)	教職論	中等教育実習Ⅰ 国語科教育法 　又は　国語科教材論 社会科教育法 　又は　社会科教材論 地理歴史科教育法 　又は　地理歴史科教材論 公民科教育法 　又は　公民科教材論 英語科教育法 　又は　英語科教育法特論 フランス語科教育法 （フランス語教授法Ⅰ） 　又は　フランス語科教育法特論 理科教育法Ⅰ及び理科教育法Ⅱ 　又は　理科教材論 数学科教育法 　又は　数学科教育法特論 工業科教育法 情報科教育法 　又は　情報科教育法特論	中等教育実習ⅡＡ 中等教育実習ⅡＢ 教職実践演習(中・高)

・「教育原理Ａ」「教育心理」「教育原理Ｂ」は２年次までしか履修できません。

・第二部英米文学科生が「中等教育実習Ⅰ」、「英語科教育法」および「英語科教育法特論」を履修するには、第１段階の授業科目に合格している事に加えて**「教職課程 英語能力認定制度」**に合格していることを条件としています。

・**「教職課程 英語能力認定制度」認定申請手続**については、**「10．教育職員免許状・各種資格取得計画予定表」**を参照してください。また、詳細については、11月上旬より、**教職課程掲示板（9号館1階）**で周知します。

（2009年度入学者に適用）

幼稚園教諭免許状取得希望者

第1段階		第2段階		第3段階
			第1段階に合格した場合のみ履修できる	第2段階に合格した場合のみ履修できる
（1年次配置科目）	（2年次配置科目）	（3年次配置科目）		（4年次配置科目）
教育思想概説 教育心理学概説 教育制度概説	教職論	保育内容教育法を3教科以上	幼児教育実習Ⅰ	幼児教育実習Ⅱ

小学校教諭免許状取得希望者

第1段階		第2段階		第3段階
			第1段階に合格した場合のみ履修できる	第2段階に合格した場合のみ履修できる
（1年次配置科目）	（2年次配置科目）	（3年次配置科目）		（4年次配置科目）
教育思想概説 教育心理学概説 教育制度概説	教職論	初等教科教育法を4教科以上	初等教育実習Ⅰ	初等教育実習Ⅱ

中学校・高等学校教諭免許状取得希望者（第一部・第二部）

第1段階		第2段階	第3段階
		第1段階に合格した場合のみ履修できる	第2段階に合格した場合のみ履修できる
（1年次配置科目）	（2年次配置科目）	（3年次配置科目）	（4年次配置科目）
教育原理Ａ （教育思想概説） 教育心理 （教育心理学概説） 教育原理Ｂ （教育制度概説）	教職論	中等教育実習Ⅰ 国語科教育法 　又は　国語科教材論 社会科教育法 　又は　社会科教材論 地理歴史科教育法 　又は　地理歴史科教材論 公民科教育法 　又は　公民科教材論 英語科教育法（英語教授法） 　又は　英語科教育法特論 フランス語科教育法 （フランス語教授法Ⅰ） 　又は　フランス語科教育法特論 商業科教育法 理科教育法Ⅰ及び理科教育法Ⅱ 　又は　理科教材論 数学科教育法 　又は　数学科教育法特論 工業科教育法 情報科教育法 　又は　情報科教育法特論	中等教育実習ⅡＡ 中等教育実習ⅡＢ

・**「教育原理 A」「教育心理」「教育原理 B」は 2 年次までしか履修できません。**
・第二部英米文学科生が「中等教育実習Ⅰ」、「英語科教育法」および「英語科教育法特論」を履修するには、第１段階の授業科目に合格している事に加えて**「教職課程 英語能力認定制度」**に合格していることを条件としています。
・**「教職課程 英語能力認定制度」認定申請手続**については、**「10．教育職員免許状・各種資格取得計画予定表」**を参照してください。また、詳細については、11月上旬より、**教職課程掲示板（ 9 号館 1 階）**で周知します。

（2005～2008年度入学者に適用）

幼稚園教諭免許状取得希望者（第一部）

第１段階		第２段階		第３段階
			第1段階に合格した場合のみ履修できる	第2段階に合格した場合のみ履修できる
（1 年次配置科目）	（2 年次配置科目）	（3 年次配置科目）		（4 年次配置科目）
教育学概論 教育心理学概論	現代教師論	保育内容研究を 3 教科以上	幼児教育実習Ⅰ	幼児教育実習Ⅱ

幼稚園教諭免許状取得希望者（第二部）

第１段階		第２段階		第３段階
			第1段階に合格した場合のみ履修できる	第2段階に合格した場合のみ履修できる
（1 年次配置科目）	（2 年次配置科目）	（2 年次配置科目）	（3 年次配置科目）	（4 年次配置科目）
教育学概論 教育心理学概論	現代教師論	保育内容研究を 3 教科以上	幼児教育実習Ⅰ	幼児教育実習Ⅱ

小学校教諭免許状取得希望者（第一部）

第１段階		第２段階		第３段階
			第1段階に合格した場合のみ履修できる	第2段階に合格した場合のみ履修できる
（1 年次配置科目）	（2 年次配置科目）	（3 年次配置科目）		（4 年次配置科目）
教育学概論 教育心理学概論	現代教師論	教材研究を 4 教科以上	初等教育実習Ⅰ	初等教育実習Ⅱ

小学校教諭免許状取得希望者（第二部）

第１段階		第２段階		第３段階
			第1段階に合格した場合のみ履修できる	第2段階に合格した場合のみ履修できる
（1 年次配置科目）	（2 年次配置科目）	（2 年次配置科目）	（3 年次配置科目）	（4 年次配置科目）
教育学概論 教育心理学概論	現代教師論	教材研究を 4 教科以上	初等教育実習Ⅰ	初等教育実習Ⅱ

中学校・高等学校教諭免許状取得希望者（第一部・第二部）

第１段階		第２段階	第３段階
		第１段階に合格した場合のみ履修できる	第２段階に合格した場合のみ履修できる
（１年次配置科目）	（２年次配置科目）	（３年次配置科目）	（４年次配置科目）
教育原理 （教育学概論） 教育心理 （教育心理学概論）	現代教師論	中等教育実習Ⅰ 国語科教育法 　又は　国語科教材論 社会科教育法 　又は　社会科教材論 地理歴史科教育法 　又は　地理歴史科教材論 公民科教育法 　又は　公民科教材論 英語科教育法（英語教授法） 　又は　英語科教育法特論 フランス語科教育法 （フランス語教授法） 商業科教育法 理科教育法Ⅰ及び理科教育法Ⅱ 　又は　理科教材論 数学科教育法 　又は　数学科教育法特論 工業科教育法 情報科教育法 　又は　情報科教育法特論	中等教育実習ⅡA 中等教育実習ⅡB

・「教育原理」「教育心理」は２年次までしか履修できません。

・2005年度入学者の２年次配置科目「教師論」は名称変更により「現代教師論」になりました。2005年度入学者は「現代教師論」を履修してください。

・第二部英米文学科生が「中等教育実習Ⅰ」「英語科教育法」および「英語科教育法特論」を履修するには、第１段階の授業科目に合格している事に加えて**「教職課程 英語能力認定制度」**（旧称 T.E.T.）に合格していることを条件としています。

・「教職課程 英語能力認定制度」（旧称 T.E.T.）についての詳細は、**教職課程掲示板（９号館１階）**を参照してください。

・「教職課程 英語能力認定制度」認定申請手続については、**「10.教育職員免許状・各種資格取得計画予定表」**を参照してください。また、詳細については、11月上旬より、**教職課程掲示板（９号館１階）**で周知します。

（2004年度以前入学者は、入学年度の「教育課程履修の手引」を参照してください。）

5．教職課程科目配置表

文学部
教育人間科学部
経済学部
法学部
理工学部
社会情報学部

（2010年度以降入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	教職論	2	2	
	教育原理Ａ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育原理Ｂ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育課程編成法	2	3・4	
	国語科教育法	4	3	
	国語科教材論	4	3	
	社会科教育法	4	3	
	社会科教材論	4	3	
	地理歴史科教育法	2	3	
	地理歴史科教材論	2	3	
	公民科教育法	2	3	
	公民科教材論	2	3	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	フランス語科教育法	4	3	
	フランス語科教育法特論	4	3	
	理科教育法Ⅰ	2	3	
	理科教育法Ⅱ	2	3	
	理科教材論	4	3	
	数学科教育法	4	3	
	数学科教育法特論	4	3	
	工業科教育法	4	3	
	情報科教育法	2	3	
	情報科教育法特論	2	3	
	道徳教育指導法	2	3・4	
	特別活動論	2	3・4	
	教育方法の研究	2	3・4	
	生徒・進路指導論	2	3・4	
	教育相談	2	3・4	
	幼児教育実習Ⅰ	1	3	
	幼児教育実習Ⅱ	4	4	
	初等教育実習Ⅰ	1	3	
	初等教育実習Ⅱ	4	4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習ⅡＡ	2	4	
	中等教育実習ⅡＢ	2	4	
	教職実践演習（幼）	2	4	
	教職実践演習（小）	2	4	
	教職実践演習（中・高）	2	4	

文学部
教育人間科学部
経済学部
法学部
経営学部
理工学部
社会情報学部

（2009年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	教職論	2	2	
	教育原理Ａ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育原理Ｂ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育課程編成法	2	3・4	
	国語科教育法	4	3	
	国語科教材論	4	3	
	社会科教育法	4	3	
	社会科教材論	4	3	
	地理歴史科教育法	2	3	
	地理歴史科教材論	2	3	
	公民科教育法	2	3	
	公民科教材論	2	3	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	フランス語科教育法	4	3	
	フランス語科教育法特論	4	3	
	商業科教育法	4	3	
	理科教育法Ⅰ	2	3	
	理科教育法Ⅱ	2	3	
	理科教材論	4	3	
	数学科教育法	4	3	
	数学科教育法特論	4	3	
	工業科教育法	4	3	
	情報科教育法	2	3	
	情報科教育法特論	2	3	
	道徳教育指導法	2	3・4	
	特別活動論	2	3・4	
	教育方法の研究	2	3・4	
	生徒・進路指導論	2	3・4	
	教育相談	2	3・4	
	総合演習	2	3・4	
	幼児教育実習Ⅰ	1	3	
	幼児教育実習Ⅱ	4	4	
	初等教育実習Ⅰ	1	3	
	初等教育実習Ⅱ	4	4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習ⅡＡ	2	4	
	中等教育実習ⅡＢ	2	4	

文学部
経済学部
法学部
経営学部
理工学部

（2005～2008年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。
（2004年度以前入学者は、入学年度の「教職課程履修の手引」を参照してください。）

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	現代教師論	2	2	
	教育原理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	国語科教育法	4	3	
	国語科教材論	4	3	
	社会科教育法	4	3	
	社会科教材論	4	3	
	地理歴史科教育法	2	3	
	地理歴史科教材論	2	3	
	公民科教育法	2	3	
	公民科教材論	2	3	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	フランス語科教育法	4	3	
	商業科教育法	4	3	
	理科教育法Ⅰ	2	3	
	理科教育法Ⅱ	2	3	
	理科教材論	4	3	
	数学科教育法	4	3	
	数学科教育法特論	4	3	
	工業科教育法	4	3	
	情報科教育法	2	3	
	情報科教育法特論	2	3	
	道徳教育の研究	2	3・4	
	特別活動	2	3・4	
	教育方法の研究	2	3・4	
	生徒指導（進路指導を含む）	2	3・4	
	教育相談	2	3・4	
	総合演習	2	3・4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習Ⅱ A	2	4	
	中等教育実習Ⅱ B	2	4	

文学部第二部　（2010年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	教職論	2	2	
	教育原理Ａ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育原理Ｂ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育課程編成法	2	3・4	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	道徳教育指導法	2	3・4	
	特別活動論	2	2・3・4	
	教育方法の研究	2	2・3・4	
	生徒・進路指導論	2	2・3・4	
	教育相談	2	2・3・4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習Ⅱ Ａ	2	4	
	中等教育実習Ⅱ Ｂ	2	4	
	教職実践演習（中・高）	2	4	

文学部第二部　（2009年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	教職論	2	2	
	教育原理Ａ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育原理Ｂ	2	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育課程編成法	2	3・4	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	道徳教育指導法	2	3・4	
	特別活動論	2	2・3・4	
	教育方法の研究	2	2・3・4	
	生徒・進路指導論	2	2・3・4	
	教育相談	2	2・3・4	
	総合演習	2	3・4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習Ⅱ Ａ	2	4	
	中等教育実習Ⅱ Ｂ	2	4	

文学部第二部
経済学部第二部
経営学部第二部

（2005～2008年度入学者）

教職課程科目は教育職員免許状の取得を希望し、申請した学生以外は履修できません。
（2004年度以前入学者は、入学年度の「教職課程履修の手引」を参照してください。）

	科目名	単位数	履修年次	
教職課程科目	現代教師論	2	2	
	教育原理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	教育心理	4	1・2	1・2年次のみ履修可
	国語科教育法	4	3	
	国語科教材論	4	3	
	社会科教育法	4	3	
	社会科教材論	4	3	
	地理歴史科教育法	2	3	
	地理歴史科教材論	2	3	
	公民科教育法	2	3	
	公民科教材論	2	3	
	英語科教育法	4	3	
	英語科教育法特論	4	3	
	商業科教育法	4	3	
	道徳教育の研究	2	3・4	
	特別活動	2	2・3・4	
	教育方法の研究	2	2・3・4	
	生徒指導（進路指導を含む）	2	2・3・4	
	教育相談	2	2・3・4	
	総合演習	2	3・4	
	中等教育実習Ⅰ	1	3	
	中等教育実習ⅡA	2	4	
	中等教育実習ⅡB	2	4	

6．本学で取得できる資格
〔取得できる資格の種類（学部・学科別）〕

本学で取得できる学部・学科別の資格の種類は次のとおりです。

（2005年度以降入学者）

学　部	学　科	資 格 の 種 類
文学部	教育学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	英米文学科	
	フランス文学科	
	日本文学科	
	史学科	
	心理学科	司書・社会教育主事・学芸員
教育人間科学部	教育学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	心理学科	司書・社会教育主事・学芸員
経済学部	経済学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	現代経済デザイン学科	司書・社会教育主事・学芸員
法学部	法学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
経営学部	経営学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員 (2010年度以降経営学科入学生は司書教諭を除く)
	マーケティング学科	司書・社会教育主事・学芸員
国際政治経済学部	国際政治学科	司書・社会教育主事・学芸員
	国際経済学科	
	国際コミュニケーション学科	
総合文化政策学部	総合文化政策学科	司書・社会教育主事・学芸員
理工学部	物理・数理学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
	化学・生命科学科	
	電気電子工学科	
	機械創造工学科	
	経営システム工学科	
	情報テクノロジー学科	
社会情報学部	社会情報学科	司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員
文学部第二部	教育学科	司書教諭・社会教育主事
	英米文学科	
経済学部第二部	経済学科	
経営学部第二部	経営学科	

7．各種資格の取得希望申請について

2006年度以降入学者の申請方法

各種資格（**司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員**）の取得を希望する者は、入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』を熟読の上、前期履修登録期間に、Web の履修登録画面から**「教職・各種資格申請」**の画面を開き、登録を行ってください。

この申請は、毎年度前期履修登録期間に必ず行うものであり、在学中における申請内容の変更・取消、またはその有無にかかわらず、継続の意思を持っている場合には、毎年度申請を更新してください。申請内容は毎年度末にクリアされます。

2005年度以前入学者の申請方法

各種資格（**司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員**）の取得を希望する者は、入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』を熟読の上、Web の履修登録画面から**「教職・各種資格申請」**の画面を開き、登録を行ってください。

なお、この申請は、変更・取消がない限り在学期間中に一度行えばよく、毎年申請する必要はありません。

8．資格課程料の納入方法

2006年度以降入学者の納入方法

各種資格（司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員）の申請登録（Web）をすると、それぞれの資格について申請した年度ごとに後期学費納入時に資格課程料を納入することになります。たとえ必要科目の履修登録をしなくても、**各種資格の申請登録によって資格課程料が後期学費に加算されます**ので、熟考の上申請をしてください。また、申請登録（Web）の取消しは、前期履修登録期間内しか行えません。なお、一旦納入された資格課程料は、いかなる理由があっても返還しません。

※学費を前期納付時に一括納付した者については、資格課程料の納付時期は 9 月となります。

2005年度以前入学者の納入方法

① **司書教諭**：**「教職・各種資格申請」**で司書教諭資格の申請登録をし、**「学校経営と学校図書館」**を履修登録すると、司書教諭の**資格課程料**が後期学費で徴収されます。

② **司書**：**「教職・各種資格申請」**で司書資格の申請登録をし、**「図書館情報学概論」**を履修登録すると、司書の**資格課程料**が後期学費で徴収されます。

③ **社会教育主事**：**「教職・各種資格申請」**で社会教育主事資格の申請登録をし、**「生涯学習概論」**を履修登録すると、社会教育主事の**資格課程料**が後期学費で徴収されます。

④ **学芸員**：**「教職・各種資格申請」**で学芸員資格の申請登録をし、**「博物館実習Ⅰ」**を履修登録すると、学芸員の**資格課程料**が後期学費で徴収されます。

①～④の各種資格課程料は在学中に一度納入すればよく、毎年徴収されることはありません。

また、一旦納入された資格課程料は、いかなる理由があっても返還しません。

9．各種資格取得に必要な科目の履修について

履修上の注意

各種資格取得に必要な科目の履修は、1年次の年度初頭に開催される**各種資格オリエンテーション**で配付される入学年度適用の『**教職課程履修の手引**』に従ってください（第二部は、オリエンテーションはありませんので、教職課程課窓口で各種資格申請希望者に『**教職課程履修の手引**』を配付します）。

また、履修方法・科目名称などの変更があった場合には、年度初頭に開催される2年次生対象の**司書・司書教諭・社会教育主事オリエンテーション、学芸員オリエンテーション**、2年次生対象**「博物館実習Ⅰ」予備登録説明会**（学芸員資格取得希望者対象）などで資料を配付しますので、必ず確認してください。

各種資格関係の**オリエンテーション・説明会**および**手続**等で、主なものは**「10．教育職員免許状・各種資格取得計画予定表」**のとおりです（学年については、基準となる学年を記載しています）。これらの日程の詳細については、『**学年初頭行事**』（学生ポータル、授業要覧等に掲載）、教職課程掲示板で確認してください。

オリエンテーション・説明会に欠席したり、指定期間内に**博物館実習予備登録・各種資格申請**などの手続を行わなかった場合、卒業時までに資格の取得ができない事態に陥ることがありますので、遺漏のないよう自己管理してください（但し、司書教諭資格の取得時期については、『**教職課程履修の手引**』を参照してください）。

履修順序のある科目

学芸員資格取得のための科目には、**「履修順序」**が定められたものがあります。詳細については、『**教職課程履修の手引**』の**学芸員**の項を参照してください。

また、学部・学科別の取得可能な資格の種類は、**「6.本学で取得できる資格」**の表のとおりです。

〔学芸員資格取得に必要な科目の履修順序〕

①	②
	①を履修し合格した場合のみ履修できる
3年次配置科目	4年次配置科目
博物館実習Ⅰ 博物館概論 博物館学各論	博物館実習Ⅱ

- **「博物館実習Ⅰ」および「博物館概論」は、3年次生しか履修できません。**
- 「博物館実習Ⅰ」は、実習･設備等の諸事情により、受講者は30名までとします。また、2年次10月に博物館実習予備登録を受付け、3年次年度初頭に選抜試験を実施します。
- **「博物館実習Ⅰ」説明会・予備登録**の日程については、**「10．教育職員免許状・各種資格取得計画予定表」**を参照してください。

履修順序のある科目の登録方法

① 「博物館実習Ⅰ」（3年次配置科目）は、**事前登録科目**です。2年次10月に**博物館実習予備登録**をし、3年次の年度初頭に実施される**選抜試験**に合格することにより**事前登録**されるので、履修登録期間中に個人が登録する必要はありません。履修登録期間中に、Webの履修登録画面で登録内容を確認してください。

② 「博物館実習Ⅱ」（4年次配置科目）は、Webの履修登録画面から各自が登録をしてください。履修順序の条件を満たしていない場合は、登録することができません。

10．教育職員免許状・各種資格取得計画予定表（学年については、基準となる学年を記載）

	1　年	2　年	3　年	4　年
4月	**・教職課程オリエンテーション** **・各種資格オリエンテーション（第一部のみ）** **・教育職員免許状、各種資格取得希望申請（Web）（2006年度以降入学者は毎年申請）** **・「教職課程履修カルテ」配付（2010年度以降入学者）**	**・教職課程オリエンテーション** **・司書、司書教諭、社会教育主事オリエンテーション（第一部のみ）** **・学芸員オリエンテーション（第一部のみ）**	**・教育実習説明会** ・実習校との交渉・内諾 **・「幼児教育実習Ⅰ」** **「初等教育実習Ⅰ」** **「中等教育実習Ⅰ」** **履修登録** **・介護等体験オリエンテーション（欠席の場合は体験辞退とみなす）**	**・教育実習説明会** **・「幼児教育実習Ⅱ」** **「初等教育実習Ⅱ」** **「中等教育実習ⅡA・ⅡB」** **履修登録確認（事前登録）** ・教育実習関係書類提出（個人校実習） **・教育実習オリエンテーション** ・実習前指導（前期実習者） ・教育委員会による教員採用試験オリエンテーション　4月23日（土）　相模原キャンパス
5月				・教育実習（5月～11月までに行う） ・教員採用試験対策講座 青山キャンパス　5月14日（土） 相模原キャンパス（中旬）
6月				・教育実習事後指導（前期実習者） ・実習前指導（後期実習者） 青山キャンパス ・教員採用試験第二次試験対策講座 ・公立教員採用試験（一次）
7月			・小学校1日体験実習オリエンテーション	
8月				・教員採用試験第二次試験対策講座 ・公立教員採用試験（二次）
9月			**・「幼児教育実習Ⅱ」** **「初等教育実習Ⅱ」** **「中等教育実習ⅡA・ⅡB」** **予備登録説明会9月20日（火）** **〔相模原キャンパスは9月24日（土）〕** **予備登録9月21日（水）～27日（火）** **〔相模原キャンパスは9月26日（月）～27日（火）〕** ・小学校1日体験実習 ・教員採用試験対策講座 青山キャンパス	・実習前指導（後期実習者） 相模原キャンパス
10月		**・介護等体験登録** **青山キャンパス：** **10月18日（火）～21日（金）** **相模原キャンパス：** **10月19日（水）～21日（金）** **・「博物館実習Ⅰ」予備登録者対象説明会10月20日（木）** **予備登録10月24日（月）～26日（水）**	・実習依頼状等の交付（個人校実習） 青山キャンパス： 10月18日（火）～21日（金） 相模原キャンパス： 10月12日（水）～14日（金） ・実習依頼状等を実習校へ持参（個人校実習）	**・教育職員免許状、司書教諭申請手続** **10月4日（火）～10月7日（金）** **〔相模原キャンパスは10月6日（木）～7日（金）〕**
11月			・教員採用試験対策講座 青山キャンパス　11月26日（土）	・教育実習事後指導（後期実習者）
12月			・実習校決定第一次発表（指定校実習）	
1月			・教員採用試験対策講座 相模原キャンパス 1月7日（土） ・教育実習関係書類提出（指定校実習）	
2月	・教職課程 英語能力認定制度 申請手続【第二部英米文学科で、認定資格該当者のみ】（上旬）		・実習校決定第二次発表（指定校実習） ・教育実習関係書類提出（指定校実習第二次発表決定者）	
3月				・教育職員免許状、各種資格取得判定発表 ・教育職員免許状交付 3月24日（土）　学位授与式

・年度初頭の各説明会およびオリエンテーションの日程については『学年初頭行事』（学生ポータル、授業要覧等に掲載）、教職課程掲示板で確認してください。

・説明会、手続等の詳細に関する連絡は、教職課程掲示板または学生ポータルで行うので、各自が責任を持って確認してください。

・上記の開催予定は、所属キャンパスのみの対応となります。（教員採用試験対策講座は除く）

Ⅺ．大学院について

本学には、より高度な専門知識と技術によって確かな実績と高い評価をうける「大学院」各研究科･専攻に加え、時代と社会の要請に応える高度専門職業人養成の「専門職大学院」があります。

学部から本学「大学院」「専門職大学院」へ進学を希望する学生は、詳細を下記に問い合わせてください。

《問い合わせ先》

大学院

進学希望研究科	問い合わせ先（担当部署）
文学研究科 教育人間科学研究科 経済学研究科 法学研究科 経営学研究科 国際政治経済学研究科 総合文化政策学研究科 社会情報学研究科社会情報学専攻ヒューマンイノベーションコース	大学院事務室 所在：青山キャンパス　総研ビル２階
理工学研究科 社会情報学研究科社会情報学専攻社会情報学コース	スチューデントセンター・学務グループ 所在：相模原キャンパス　Ｂ棟１階
国際マネジメント研究科	専門職大学院事務室 所在：青山キャンパス５号館１階

専門職大学院

進学希望研究科	問い合わせ先（担当部署）
国際マネジメント研究科（ビジネススクール） 法務研究科（ロースクール） 会計プロフェッション研究科（アカウンティングスクール）	専門職大学院事務室 所在：青山キャンパス　５号館１階

＊青山学院大学ホームページ（http://www.aoyama.ac.jp）にも、情報が載っていますので、参照してください。

○文学研究科

英米文学専攻　博士前期課程

特色	英国・米国の文学作品研究を通して、著者の人間性や時代、社会、文化的背景や特徴を探求します。また、英語という言語について歴史的分析、意味論、音声学、心理言語学、教育論、翻訳などを通して考察も深めていきます。	
学内進学	学内進学者選抜試験は実施しません。	
	大学院科目特別履修資格試験 （3年生対象：3月実施） ※学部4年次に大学院の科目を履修するための試験です。 ※大学院に入学するためには入学試験に合格する必要があります。	出願資格： 本学文学部英米文学科3年次に在籍する者で、第3年次終了時点で卒業要件単位の90%以上を修得し、学科科目（英語科目・専門科目）のG.P.A.が2.80以上の者。 ただし、上記の要件を満たす者が3年次から4年次にかけて協定校へ交換留学し、留学終了の次年度も在学を要する場合は、留学終了年度（4年次）での出願を認める。 選考方法：面接（書類審査を含む） 【注意】第3年次の最終成績により、出願資格を満たさなかった者は不合格となります。
一般入試	秋・春実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、7月中旬頃発行予定	

フランス文学・語学専攻　博士前期課程

特色	17～20世紀の文学作品研究を通して、著者の人間性や時代、社会、文化的背景、その特徴の洞察、あるいは思想、哲学面からなど多面的に考察します。また、語学分野では、文法・語法・音韻などをより深く研究します。	
学内進学	学内進学者選抜試験は実施しません。	
	大学院科目特別履修資格試験 （3年生対象：3月実施） ※学部4年次に大学院の科目を履修するための試験です。 ※大学院に入学するためには入学試験に合格する必要があります。	出願資格： 本学文学部フランス文学科3年次に在籍する者で、第3年次終了時点で卒業要件単位の90%以上を修得し、学科科目（フランス語科目・専門科目）のG.P.A.が2.60以上の者。 ただし、上記の要件を満たす者が3年次から4年次にかけて協定校へ交換留学し、留学終了の次年度も在学を要する場合は、留学終了年度（4年次）での出願を認める。 選考方法：面接（書類審査を含む） 【注意】第3年次の最終成績により、出願資格を満たさなかった者は不合格となります。
一般入試	秋・春実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、7月中旬頃発行予定	

日本文学・日本語専攻　博士前期課程

特色	上代から近世・近代までの小説・戯曲・詩歌などをテーマに、文学表現の研究や、時代や社会状況との関係などについて考察を深めます。また、日本語の変遷や文法体系に関する研究、漢文学研究も盛んです。
学内進学	学内進学者選抜試験は実施していません。
一般入試	秋・春実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、7月中旬頃発行予定

史学専攻　博士前期課程

特色	日本史、東洋史、西洋史の３部門において、古代、中世、近代・現代の各時代における人間の営み・文化を、古文書や遺品、史料、研究論文などから考察します。その他、遺物や遺跡をもとに研究する考古学部門、また、芸術作品から探求する芸術史部門を選ぶこともできます。2008年度より５部門編成となりました。	
学内進学	学内進学者選抜試験は実施しません。	
	大学院科目特別履修資格試験 （３年生対象：３月実施） ※学部４年次に大学院の科目を履修するための試験です。 ※大学院に入学するためには入学試験に合格する必要があります。	出願資格： 本学文学部史学科３年次に在籍する者で、第３年次終了時点で卒業要件単位の90％以上を修得し、学科科目（専門科目）のG.P.A.が2.60以上の者。 ただし、上記の要件を満たす者が３年次から４年次にかけて協定校へ交換留学し、留学終了の次年度も在学を要する場合は、留学終了年度（４年次）での出願を認める。 選考方法：面接（書類審査を含む） 【注意】第３年次の最終成績により、出願資格を満たさなかった者は不合格となります。
一般入試	秋・春実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、７月中旬頃発行予定	

○教育人間科学研究科

教育学専攻　博士前期課程

特色	多様な教育問題を根源から解決していくため、誕生から臨終に至るライフサイクルを視野に入れつつ、実践的かつ理論的な研究を進めています。思想・歴史・理論の領域と臨床・実践・方法の領域の双方が提供するさまざまなアプローチを、現実に即して協調的に生かす方法を探究します。
学内進学	学内進学者選抜試験は実施していません。
一般入試	秋・春実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、７月中旬頃発行予定

心理学専攻（心理学コース・臨床心理学コース）　博士前期課程

特色	認知心理学や発達心理学など心理学の基礎分野から、実社会に密着した臨床心理学、産業心理学などまで、幅広い研究を通して人間に対する深い洞察力を養成していきます。 （本専攻の臨床心理学コースは㈶日本臨床心理士資格認定協会の認定する第１種指定大学院です。臨床心理士の資格取得を目指す方は必ずこのコースに出願してください。）
学内進学	試験時期：10月頃実施　＊学生募集要項は、７月中旬頃発行予定 出願資格：本学文学部　来年３月卒業見込み者　ただし、心理学関連の科目について出願時までに32単位以上修得済みであること。 試験科目 〔心理学コース〕： ・論文読解（心理学関連の英語の論文） ・専門Ａ（心理学に関する論述） ・専門Ｂ（心理学研究に関する基礎知識） ・面接（第１次試験合格者のみ） 〔臨床心理学コース〕： ・論文読解（臨床心理学および心理学関連の英語の論文） ・専門Ａ（臨床心理学および心理学に関する論述） ・専門Ｃ（臨床心理学および心理学研究に関する基礎知識） ・面接（第１次試験合格者のみ）
一般入試	春実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、７月中旬頃発行予定

○経済学研究科

経済学専攻　博士前期課程

特色	21世紀における国内外の経済的諸問題の探求と解決を目指し、高度かつ総合的な経済学の専門能力を身につけた人材を育成します。	
学内進学	学内進学者選抜試験 （4年生対象）	試験時期：第1回　7月中旬頃実施　　第2回　12月上旬頃実施 出願資格：本学経済学部、経営学部及び国際政治経済学部を来年3月卒業見込みの者 ただし前年度までの専門科目および第一外国語（英語必修科目、外国人留学生で第一外国語を日本語として申請している場合は、日本語必修科目）のG.P.A.がそれぞれ2.4以上であること。 試験科目：面接（詳細は要問い合わせ）
	大学院科目特別履修生試験 （3年生対象） ※学部4年次に大学院の科目を履修するための試験です。	試験時期：第1回　12月上旬頃実施　　第2回　2月下旬頃実施 出願資格：本学経済学部第3年次に在学する者で、3年次終了時において、以下の要件を満たす見込みの者。 経済学部の卒業要件単位の90％以上を修得し、3年次までの専門科目のG.P.A.および第一外国語(英語必修科目、外国人留学生で第一外国語を日本語として申請している場合は､日本語必修科目)のG.P.A.がそれぞれ2.4以上でなければならない。 (注意)合格発表後、3年次終了時の成績が出願資格を満たすことができなかった場合、合格は取り消しとなります。 大学院に入学するためには、本専攻の入学試験を受験し、合格する必要があります。 試験科目：面接
一般入試	秋・春実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、7月中旬頃発行予定	

公共・地域マネジメント専攻　博士前期課程

特色	経済学の知見のもと、新しい公共社会を実現するために、現代に即した経済システムをデザインし、政府や地域・コミニュティのマネジメントを提案していきます。	
学内進学	学内進学者選抜試験 （4年生対象）	試験時期：第1回　7月中旬頃実施　　第2回　12月上旬頃実施 出願資格：本学学部を来年3月卒業見込みの者 ただし、前年度までのG.P.A.が2.4以上であること。 試験科目：面接（詳細は要問い合わせ）
	大学院科目特別履修生試験 （3年生対象） ※学部4年次に大学院の科目を履修するための試験です。	試験時期：第1回　12月上旬頃実施　　第2回　2月下旬頃実施 出願資格：本学学部第3年次に在学する者 大学院に入学するためには、本専攻の入学試験を受験し、合格する必要があります。 試験科目：面接
一般入試	秋・春実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、7月中旬頃発行予定	

○法学研究科

私法専攻　博士前期課程
公法専攻　博士前期課程

<table>
<tr><td rowspan="2">特色</td><td>私法専攻</td><td colspan="2">社会生活、企業活動、マルチメディア化が進展するなかでの知的所有権など、私法における問題は国際化しています。こうした領域の法学的能力と確かな視点を育み、研究を深めていきます。</td></tr>
<tr><td>公法専攻</td><td colspan="2">社会や時代に密接に関わる、憲法解釈、住民権と行政施策との関係といった公法の問題に、的確な判断と深い洞察で柔軟に対応できるよう、高い専門能力を身につけながら研究を進めていきます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">学内進学</td><td rowspan="4">3種類の試験があります（詳細は要問い合わせ）</td><td>内部推薦入試
（本学法学部4年生対象）</td><td>試験時期：第1回　6月下旬頃実施　　第2回　11月下旬頃実施
出願資格：本学法学部を来年3月卒業見込みの者
ただしG.P.A.（外国語および専門教育科目）が2.8以上の者
試験科目：書類審査、面接
すべて詳細は大学院事務室へ問い合わせること。</td></tr>
<tr><td>外部推薦入試
（出身大学､出身学部問わず）</td><td>試験時期：第1回　6月下旬頃実施　　第2回　11月下旬頃実施
出願資格：来年大学（本学あるいは本学法学部に限りません）を
卒業見込みの者又は既に卒業した者。
試験科目：書類審査、面接
すべて詳細は大学院事務室へ問い合わせること。</td></tr>
<tr><td>大学院科目特別履修資格試験
（3年生対象：
11月下旬頃実施）
※学部4年次に大学院の科目を履修するための試験です。
※大学院に入学するためには入学試験に合格する必要があります。</td><td>出願資格：本学法学部3年次在学生で下記のすべてに該当すること。
・法学部3年次終了時点で卒業要件単位の90％以上を修得見込みであり、かつそのG.P.A.が2.80以上であること。
・3年次までに留年していないこと。ただし、留学による休学等やむをえない事情の場合はこの限りではない。
【注意】合格発表後に3年次終了時の成績が出願資格を満たさなかった場合には、合格は取り消しとなります。
試験科目：
・書類審査
・口述試験</td></tr>
<tr><td colspan="2">一般入試</td><td>秋・春実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、7月中旬頃発行予定</td></tr>
</table>

ビジネス法務専攻　修士課程

<table>
<tr><td>特色</td><td colspan="2">ビジネス法務専攻は、ビジネスとリーガルのリテラシーを兼ね備えた人材の育成を目的とします。この専攻は、人事労務法務プログラム、知財法務プログラム、税法務プログラム、金融法務プログラムの4つにわかれ、それぞれが専任の教員のほかに実務に精通した兼任教員（弁護士、公認会計士、税理士や企業法務で長い経験をお持ちの方）が実務的な観点から指導を行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学内進学</td><td colspan="2">学内進学者選抜試験は実施しません。</td></tr>
<tr><td>大学院科目特別履修資格試験
（3年生対象：11月下旬頃実施）
※学部4年次に大学院の科目を履修するための試験です。
※大学院に入学するためには入学試験に合格する必要があります。</td><td>出願資格：本学法学部3年次在学生で下記のすべてに該当すること。
・法学部3年次終了時点で卒業要件単位の90％以上を修得見込みであり、かつそのG.P.A.が2.80以上であること。
・3年次までに留年していないこと。ただし、留学による休学等やむをえない事情の場合はこの限りではない。
【注意】合格発表後に3年次終了時の成績が出願資格を満たさなかった場合には、合格は取り消しとなります。
試験科目：
・書類審査
・口述試験</td></tr>
<tr><td>一般入試</td><td colspan="2">実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、7月中旬頃発行予定</td></tr>
</table>

○経営学研究科

経営学専攻　博士前期課程

<table>
<tr><td>特色</td><td colspan="3">情報技術の急速な発展とそれに伴う意思決定のスピードアップなど、現代の企業経営は多くの課題を抱えています。経営学研究科は、経営学部門、会計学部門、IMC 統合マーケティング部門という 3 部門によって構成され、企業経営の理論的、実証的研究を行うとともに、高度な専門知識・能力を持つ人材を育成します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">学内進学</td><td rowspan="4">3種類の試験があります（詳細は要問い合わせ）</td><td>学内進学者選抜試験
（4 年生対象：
第 1 回 7 月頃実施
第 2 回10月頃実施）
＊学生募集要項は、 5 月中旬頃発行予定</td><td>出願資格：本学経営学部及び経済学部を来年 3 月卒業見込みの者。ただし G.P.A. が2.4以上であること（卒業要件外科目は除く）
試験科目：小論文（入学後の研究領域に関する出題）、口述試験</td></tr>
<tr><td>学内飛び級入学試験
（3 年生対象：
2 ・ 3 月頃実施）
※学部を 3 年終了時点で退学し大学院に入学するための試験です。
＊学生募集要項は、11月中旬頃発行予定</td><td>出願資格：本学経営学部第 3 年次に在学する者で、 3 年次終了時において、経営学部の卒業要件単位の90％以上を修得し、かつ第一外国語（英語必修科目）の要件単位を満たし、その G.P.A. がそれぞれ3.0以上の者。（全体の G.P.A. が3.0以上で、かつ英語必修科目の G.P.A. が3.0以上）
ただし、第一外国語（英語必修科目）については、第一外国語科目を日本語として申請している外国人留学生は第一外国語（日本語必修科目）とする。
（注 1 ） 出願時において、上記の要件に該当する見込みであること。
（注 2 ） 合格発表後、 3 年次終了時の成績が出願資格を満たすことができなかった場合、合格は取り消しとなる。
試験科目：口述試験（書類審査を含む）</td></tr>
<tr><td>大学院科目特別履修生試験
（3 年生対象：
2 ・ 3 月頃実施）
※学部 4 年次に大学院の科目を履修するための試験です。
※大学院に入学するためには下に記載の入学試験に合格する必要があります。
＊試験要項は、11月中旬頃発行予定</td><td>出願資格：本学経営学部第 3 年次に在学する者で、 3 年次終了時において、経営学部の卒業要件単位の90％以上を修得し、かつ第一外国語（英語必修科目）の要件単位を満たし、その G.P.A. がそれぞれ2.6以上の者。（全体の G.P.A. が2.6以上で、かつ英語必修科目の G.P.A. が2.6以上）
ただし、第一外国語（英語必修科目）については、第一外国語科目を日本語として申請している外国人留学生は第一外国語（日本語必修科目）とする。
（注 1 ） 出願時において、上記の要件に該当する見込みであること。
（注 2 ） 合格発表後、 3 年次終了時の成績が出願資格を満たすことができなかった場合、合格は取り消しとなる。
試験科目：口述試験（書類審査を含む）</td></tr>
<tr><td>学内入学試験
（大学院科目特別履修中の 4 年生対象：10月頃実施）
＊学生募集要項は、 7 月中旬頃発行予定</td><td>出願資格：本学経営学部第 4 年次に在学する経営学研究科大学院科目特別履修生で、来年 3 月卒業見込みの者。
試験科目：口述試験（書類審査を含む）</td></tr>
<tr><td>一般入試</td><td colspan="3">秋・春実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、 7 月頃発行予定</td></tr>
</table>

○国際政治経済学研究科

国際政治学専攻　修士課程
国際経済学専攻　修士課程
国際コミュニケーション専攻　修士課程

<table>
<tr><td rowspan="3">特色</td><td colspan="2">国際政治学専攻</td><td>ダイナミックに変動する国際政治経済の今日的事象について、学際的な解明に取り組んでいます。国際政治事象、安全保障や国際秩序に関する分析、地域経済圏に焦点を当てた地域研究などの分野があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">国際経済学専攻</td><td>発展途上国における人口増加や貧困、自然破壊と資源の枯渇など、深刻化する国際経済問題を解決するための理論的、実践的分析力を身につけていきます。関連分野も含め、体系的に理解する研究者の養成を推進します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">国際コミュニケーション専攻</td><td>国際コミュニケーションに関するさまざまな事象について、１）コミュニケーション論、２）言語学、３）比較文化・地域文化論、の諸領域を３本の柱として、理論的、実践的に研究します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">学内進学</td><td rowspan="3">３種類の試験があります（詳細は要問い合わせ）</td><td>学内進学者選抜試験
（４年生対象：
７・11月実施予定）</td><td>出願資格：国際政治経済学部第４年次在学生（国際経済学専攻は経済学部第４年次在学生を含む）で、下記のいずれかに該当する者。
①本研究科科目特別履修試験に合格し、本年度本学部卒業見込みの者。
②第３年次終了時点で修得卒業要件単位のG.P.Aが2.50以上で、本年度本学卒業見込みの者。
試験科目：①該当者…書類審査
②該当者…口述試問（書類審査を含む）</td></tr>
<tr><td>学内飛び級入試
（３年生対象：
３月実施予定）</td><td>出願資格：本学国際政治経済学部第３年次在学生で、下記のすべてに該当する者。
①第３年次終了時点で卒業要件単位の90％以上を修得し、そのG.P.A.が2.5以上の者。
②外国語要件単位を満たし、そのうち必修科目のG.P.A.が2.5以上の者。
試験科目：口述試問（書類審査を含む）</td></tr>
<tr><td>大学院授業科目
特別履修資格試験
（3･4年生対象：３月
４年生対象：９月
実施予定）</td><td>（３・４年次３月実施予定分）
出願資格：国際政治経済学部３・４年次在籍学生で、下記のすべてに該当する者。
但し、出願資格条件を満たすことができなかった者は、不合格となります。
①本学部第３・４年次在籍学生で、本年度終了時点で卒業要件単位の90％以上修得し、そのG.P.A.が2.50以上取得（見込）の者。
②本学部外国語要件単位を満たし、そのうち必修科目のG.P.A.が2.50以上修得（見込）の者。
試験科目：口述試問（書類審査を含む）
（４年次９月実施予定分）
出願資格：国際政治経済学部４年次在籍学生で、下記のすべてに該当する者。
但し、出願資格条件を満たすことができなかった者は、不合格となります。
①本学部第４年次在籍学生で、第４年次前期終了時点で卒業要件単位の90％以上修得し、そのG.P.A.が2.50以上取得（見込）の者。
②本学部外国語要件単位を満たし、そのうち必修科目のG.P.A.が2.50以上修得（見込）の者。
試験科目：口述試問（書類審査を含む）</td></tr>
<tr><td>一般入試</td><td colspan="3">秋・春実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、７月頃発行予定</td></tr>
</table>

○総合文化政策学研究科

文化創造マネジメント専攻　修士課程

特色	文化芸術の創造並びにその事業化、企業・団体における文化政策の立案、文化産業のプロデュース等の分野で高度な専門性を発揮する人材を養成します。専門科目（政策マネジメント分野、都市・国際分野、メディア・アート分野）に加えて、自らが課題を設定し、その解決を図るプロジェクト演習を重視します。修業年限は、標準２年の他に３年制のコースも選べます。
学内選抜	試験時期：第１回　７月頃　　第２回　10月頃 出願資格：本学学部を来年３月卒業見込みの者。ただし３年次までのG.P.A.が2.5以上であること。 試験科目：書類審査及び面接（希望する専門分野についての口述試問を含む）
	大学院科目特別履修生試験（３年生対象） ※学部４年次に大学院の科目を履修するための試験です。（詳細は問い合わせ）
一般入試	秋・春実施（詳細は問い合わせ）　＊学生募集要項は、７月頃発行予定

総合文化政策学専攻　博士課程（５年一貫制）

特色	総合文化政策学は、文化に係わるさまざまな問題の発見と解決、文化や芸術の創造のための構想、政策やプロジェクトの立案と具体化の実際を系統的に明らかにするものであります。その分野において、研究者として自立して研究活動を行い、あるいは総合文化政策学と関係する学術分野において高度に専門的な業務に従事するに必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養います。
学内選抜	試験時期：第１回　７月頃　　第２回　10月頃 出願資格：本学学部を来年３月卒業見込みの者。ただし３年次までのG.P.A.が2.5以上であること。 試験科目：書類審査及び面接（希望する専門分野についての口述試問を含む）
一般入試	秋・春実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、７月頃発行予定

○理工学研究科

理工学専攻　博士前期課程

特色	基礎科学コース	数理科学、理論物理学、宇宙物理学、原子・分子物理学の分野を中心とし、複雑系など新分野へも視野を広げています。また、専門分野の研究を通じて、さまざまな問題に対するモデル構築能力および問題解決能力を涵養します。
	化学コース	物理化学、有機化学、無機分析化学の３分野で構成されています。個々の分子から生体機能などの種々の機能性を示す組織系に至るまでの幅広い分子系を対象にして、化学本来の視点から研究を遂行し、幅広く底深い化学的素養を身につけた学生を育てます。
	機能物質創成コース	新機能を持つ物質の創成を中心に、物質設計やデバイス作製等の応用も視野に入れた総合的な研究を行うことを目的としています。物性物理学、固体化学、物質科学、薄膜工学、電気物性工学、表面科学等のいずれかを基礎におきつつ、分野を横断した幅広い知識に精通した、最先端の物質科学を行う人材を育成します。
	生命科学コース	生命科学の共通基盤となる生化学、分子生物学、細胞生物学、生物物理学の知識を身につけ、これらを応用したバイオテクノロジーやバイオインフォマティクスなどの新しい分野について学ぶとともに、既存学問分野の枠を超えた方法論を駆使して、生命現象を担う分子の構造、機能、および調節機能を研究します。
	電気電子工学コース	回路系から情報通信系、物性系まで広い研究分野の研究室がそれぞれ大学院生を受け入れています。技術者、研究者を目指す者として、現代社会の基盤を支えるエネルギー分野、計測・制御分野、情報・通信分野、電子デバイス分野、材料・物性分野、またそれらの関連分野を対象に学習、研究を進めています。研究指導を重視し、それらを通して自ら考える能力、発見能力、問題解決能力の育成に努めます。

	機械創造コース	本コースは、人類の福祉と持続的発展に役立ち、優れた機能を持つ機器やシステムを創造する研究者を養成します。すなわち、エネルギー・環境・安全・倫理に対する広い視野を持ち、ものの形や機構と力学的作用を深く理解させる教育・研究を行います。さらに、機械に代表されるハードと知能に代表されるソフトとの融合を図り、進んだ情報処理能力、高度な計測技術と解析技術を修得させ、研究指導を通じて総合力を養い、自ら問題発掘と解決のできる学生を育てます。
	知能情報コース	知識処理・ヒューマンインタフェース・ネットワークをキーワードに工学専門領域からビジネスまで広範囲に勉強・研究します。各領域で世界をリードする研究を行い、理系出身者が専門知識を高める専門フロンティアプログラム、また最新のネットワーク技術でビジネス開拓を目指すなど文系出身者を受け入れる複合フロンティアプログラムがあります。
	マネジメントテクノロジーコース	製品ライフサイクル、生産システム、サプライチェーン、経営技術、環境経営、品質経営などの領域について、経営管理、IE・生産管理、統計・品質管理、OR・情報の観点に立ったそれらのマネジメントに必要な概念・方法論・システムの構築とその運用を学びます。
学内進学	本学部に在籍の卒業見込み者で、本理工学専攻への進学を第一志望とする者は、「学内進学」入試を受けることができます。この「学内進学」入試は、4年生の前期において、 ⑴　学科での被推薦資格の認定 ⑵　各コースでの入学候補者の内定 の2段階のステップを踏んで行われます。 ステップ⑴では、各学科において、次の「A」または「B」を満たしたものを被推薦資格者として認定します。 「A」：3年次終了時（卒業見込者となった時）における成績順位（全科目のG.P.A.または専門科目のG.P.A.による順位）で上位1/2以上であるもの 「B」：各学科が定めた独自の推薦基準（実力試験など）を満たしたもの ステップ⑵では、被推薦資格者が希望する指導教員の面接を受けたうえで入学の申請を行い、各コースが審議の上、入学候補者を内定します。 各学科が定める独自の推薦基準（上記「B」）を以下に示します。（2011年度入試参考）	
	物理学科、 物理・数理学科	物理・数理学科で実施する実力試験において、上位3分の1以内の成績を収めた者。
	化学科、 化学・生命科学科	前記のステップ⑴におけるAの推薦基準に満たない者に対して専門科目に関する実力試験（4月中旬）を課し、一定の合格基準に達した者を被推薦資格者として認定します。ただし、全科目および専門科目のG.P.Aが2.0に達しない者は受験することはできません。
	電気電子工学科	2010年11月に電気電子工学科で実施した学力試験の得点が基準点以上であること。 基準点を満たした者は4月上旬に公表します。
	機械創造工学科	機械創造工学科で実施する実力試験で満点の6割以上の成績を収めた者。または、技術士第一次試験合格者。
	経営システム工学科	経営システム工学科で実施する実力試験の結果、大学院推薦レベルに該当する成績を収めた者。または、技術士第一次試験合格者。
	情報テクノロジー学科	2011年2月中旬に行った実力試験で大学院推薦レベルの得点を得た者。
一般入試	一般入試には、「7月入試」と「9月入試」があり、特に「7月入試」については理工学部以外の学部出身者でも受験しやすい内容となっております。ただし、「7月入試」は本学理工学部に在籍する学生は、出願できません。 7月入試　選考内容（「書類審査」「小論文」および「口述試問」） 9月入試　選考内容（「書類審査」「数学」「英語」および「口述試問」） （詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、4月上旬に発行予定。	

○社会情報学研究科

社会情報学専攻　社会情報学コース
社会情報学専攻　ヒューマンイノベーションコース

特色	社会情報学コース	社会情報学は、社会科学と情報科学の融合と、それにより従来の文系、理系の枠に捉われない極めて多角的な視点から現代社会の問題点をえぐり、その問題解決を自らが図れる高度な人材を養成することを目指しています。このような能力は、現代の輻輳した社会において、ファイナンス関連、経済や地域政策関連、情報システム関連等、あらゆる分野で活躍しようとする人々にとって必要不可欠なものです。経営・経済概念の精深な理解、社会活動、経済活動の優れた分析（データ分析や社会調査等）能力、人や社会を考える上で必要となる心理や教育に関する基盤の修得、数量的なものに限らず質的な情報の処理能力、数理的な基盤、情報を高度に利用するための基盤や、情報システム構築のための幅広い素養を身につけた人材を養成します。
	ヒューマンイノベーションコース	さまざまな現場で「学び」を生み出し、それを人･組織･社会の変革＝イノベーションへと結びつけることのできる専門的能力をもった人材の育成に重点を置いたコースです。学習科学、認知科学、学習環境デザインなど広義の「学び」に関する最先端の理論と研究方法を学び、それをベースにしてワークショップデザイン、人材育成、組織変革、学校教育、地域活性化、コンサルテーション、NPO 活動、行政サービスなどさまざまな現場でイノベーションを生み出す高度な実践力を身につけることを目指します。
学内進学	出願資格：本学学部を来年 3 月卒業見込みの者。 ただし 3 年次までの全取得科目の G.P.A. が2.4以上であること。 試験科目：書類審査及び面接	
一般入試	9 月・1 月実施（詳細は要問い合わせ）　＊学生募集要項は、7 月頃発行予定	

○国際マネジメント研究科

国際マネジメントサイエンス専攻 博士課程（5 年一貫制）

特色	創造性豊かな優れた学術研究者の育成を目指す「学術理論研究志向」の Ph.D.（博士：国際経営学）プログラムと、企業等で専門性が要求される研究課題に取り組む研究者を養成する「実践的研究志向」の DBA（博士：経営管理）プログラムから構成されています。
学内進学	学内進学入試は実施していないので、一般の入試を受験してください。
一般入試	10月・2 月実施（2010年度実績）

○国際マネジメント研究科（専門職大学院）

国際マネジメント専攻

特色	国際社会のより豊かな未来を切り拓いていくために、高い倫理観と国際的視野を身につけた企業家精神に富む人材を育成することをミッションとして掲げています。これを達成するために「自ら考え、分析し、意志決定の行える経営プロフェッショナル」を育成する教育プログラムを開発し、絶え間ない改善努力を続けています。
学内進学	学内進学入試は実施していないので、一般の入試を受験してください。
一般入試	10月・1 月・2 月実施（2010年度実績）

○法務研究科（専門職大学院）

法務専攻

特色	キリスト教理念に基づく豊かな人間性や法曹としての倫理意識の涵養と、専門的な法知識の確実な修得を基盤として、批判的・創造的な思考力と法的な分析・議論能力を養成し、国際的視野をもって社会的責任を果たすことができる法曹を育成しています。
学内進学	学内進学入試は実施していないので、一般の入試を受験してください。
一般入試	秋実施（2010年度実績）　＊学生募集要項は、６月下旬発行予定

○会計プロフェッション研究科（専門職大学院）

会計プロフェッション専攻

特色	青山学院の教育理念に基づいた高度な職業倫理性と国際感覚に優れた会計プロフェッショナルの育成を目指しています。質の高い独自のカリキュラムにより、社会的要求に応えられる幅広い人材育成を実践します。
学内進学	未定
一般入試	10月実施（2010年度実績）
自己推薦入試	７月・１月・２月実施（2010年度実績）

Ⅻ．大学組織概要

1．大　学　役　職　員

院　　長	山北　宣久
学　　長	伊藤　定良
副　学　長	長谷川　信
副　学　長	岡田　昌志
副　学　長	土山　實男
文　学　部　長	西澤　文昭
教育人間科学部長	酒井　豊
経　済　学　部　長	米澤　義衛
法　学　部　長	菊池　純一
経　営　学　部　長	田中　正郎
国際政治経済学部長	仙波　憲一
総合文化政策学部長	杉浦　勢之
理　工　学　部　長	林　洋一
社会情報学部長	稲積　宏誠

2．教育・研究組織

学部・学科

3．教員組織

文　学　部

＜准教授＞
シュー土戸　ポール
（シューツチド　ポール）

英米文学科

＜教授＞
ダブズ（DABBS, T.W.）
パウンズ（POUNDS, W.E.）
ロビンソン（ROBINSON, P.J.）
ストロング（STRONG, G.B.）
アレン玉井　光江（アレンタマイ　ミツエ）
小野寺　典子（オノデラ　ノリコ）
折島　正司（オリシマ　マサシ）
木村　松雄（キムラ　マツオ）
佐久間　康夫（サクマ　ヤスオ）
佐野　弘子（サノ　ヒロコ）
髙田　賢一（タカダ　ケンイチ）
武内　信一（タケウチ　シンイチ）
伊達　直之（ダテ　ナオユキ）
田中　啓史（タナカ　ケイシ）
外池　滋生（トノイケ　シゲオ）
外岡　尚美（トノオカ　ナオミ）
冨山　太佳夫（トミヤマ　タカオ）
中澤　和夫（ナカザワ　カズオ）
中野　康司（ナカノ　コウジ）
野邊　修一（ノベ　シュウイチ）
福田　敬子（フクダ　タカコ）
松井　優子（マツイ　ユウコ）
水野　的（ミズノ　アキラ）
山内　一芳（ヤマノウチ　カズヨシ）
吉波　弘（ヨシバ　ヒロシ）
＜准教授＞
ディアス（DIAS, J.V.）
マクレディ（McCREADY, E.S.JR.）
麻生　えりか（アソウ　エリカ）
稲生　衣代（イノウ　キヌヨ）
大川　道代（オオカワ　ミチヨ）
西本　あづさ（ニシモト　アヅサ）
横谷　輝男（ヨコタニ　テルオ）
若林　麻希子（ワカバヤシ　マキコ）

フランス文学科

＜教授＞
ドルヌ（DHORNE, F.）
秋山　伸子（アキヤマ　ノブコ）
荒木　善太（アラキ　ゼンタ）
尾形　こづえ（オガタ　コヅエ）
露崎　俊和（ツユザキ　トシカズ）
鳥居　正文（トリイ　マサフミ）
西澤　文昭（ニシザワ　フミアキ）
西村　哲一（ニシムラ　テツイチ）
＜准教授＞
デグランジュ（DESGRANGES, G.）
ルクレール（LECLERCQ, A.）
阿部　崇（アベ　タカシ）
井田　尚（イダ　ヒサシ）
久保田　剛史（クボタ　タケシ）
濵野　耕一郎（ハマノ　コウイチロウ）
和田　惠里（ワダ　エリ）

日本文学科

＜教授＞
大上　正美（オオガミ　マサミ）
小川　靖彦（オガワ　ヤスヒコ）
片山　宏行（カタヤマ　ヒロユキ）
近藤　泰弘（コンドウ　ヤスヒロ）
佐伯　眞一（サエキ　シンイチ）
佐藤　泉（サトウ　イズミ）
篠原　進（シノハラ　ススム）
高田　祐彦（タカダ　ヒロヒコ）
日置　俊次（ヒオキ　シュンジ）
土方　洋一（ヒジカタ　ヨウイチ）
廣木　一人（ヒロキ　カズヒト）
矢島　泉（ヤジマ　イズミ）
安田　尚道（ヤスダ　ナオミチ）
山下　喜代（ヤマシタ　キヨ）
＜准教授＞
大屋　多詠子（オオヤ　タエコ）

史学科

＜教授＞
青木　敦（アオキ　アツシ）
浅井　和春（アサイ　カズハル）
飯島　渉（イイジマ　ワタル）
伊藤　定良（イトウ　サダヨシ）
岩田　みゆき（イワタ　ミユキ）
小名　康之（オナ　ヤスユキ）
北村　優季（キタムラ　マサキ）
小林　和幸（コバヤシ　カズユキ）
阪本　浩（サカモト　ヒロシ）
清水　信行（シミズ　ノブユキ）
髙橋　達史（タカハシ　タツシ）
手塚　直樹（テヅカ　ナオキ）
那須　輝彦（ナス　テルヒコ）
平田　雅博（ヒラタ　マサヒロ）
藤原　良章（フジワラ　ヨシアキ）
松尾　精文（マツオ　キヨブミ）
三嶋　輝夫（ミシマ　テルオ）
安村　直己（ヤスムラ　ナオキ）
渡辺　節夫（ワタナベ　セツオ）

教育人間科学部

＜教授＞
伊藤　悟（イトウ　サトル）
緒方　孝文（オガタ　タカフミ）
＜准教授＞
髙木　亜希子（タカギ　アキコ）
山本　史歩子（ヤマモト　シホコ）
＜助教＞
北村　哲（キタムラ　テツ）
髙畠　瑠依（タカバタケ　ルイ）

教育学科

＜教授＞
井上　直子（イノウエ　ナオコ）
今井　重孝（イマイ　シゲタカ）
大森　秀子（オオモリ　ヒデコ）
小田　光宏（オダ　ミツヒロ）
川﨑　仁志（カワサキ　ヒトシ）
河本　洋子（カワモト　ヨウコ）
北本　正章（キタモト　マサアキ）
小林　紀子（コバヤシ　トシコ）
小森　茂（コモリ　シゲル）
酒井　豊（サカイ　ユタカ）
鈴木　宏昭（スズキ　ヒロアキ）
鈴木　眞理（スズキ　マコト）
早坂　方志（ハヤサカ　マサシ）
樋田　大二郎（ヒダ　ダイジロウ）
古荘　純一（フルショウ　ジュンイチ）
安井　年文（ヤスイ　トシフミ）
柳田　雅明（ヤナギダ　マサアキ）
横山　徹（ヨコヤマ　トオル）
＜特任教授＞
藏元　幸二（クラモト　コウジ）
長嶋　清（ナガシマ　キヨシ）
野口　芳宣（ノグチ　ヨシノリ）
＜准教授＞
杉谷　祐美子（スギタニ　ユミコ）
野末　俊比古（ノズエ　トシヒコ）
藤田　幹夫（フジタ　ミキオ）
吉仲　淳（ヨシナカ　アツシ）
＜助教＞
佐々木　竜太（ササキ　リュウタ）

心理学科

＜教授＞
入不二　基義（イリフジ　モトヨシ）
遠藤　健治（エンドウ　ケンジ）
小俣　和義（オマタ　カズヨシ）
北村　文昭（キタムラ　フミアキ）
重野　純（シゲノ　スミ）
平山　栄治（ヒラヤマ　エイジ）
丸山　千秋（マルヤマ　チアキ）
山根　律子（ヤマネ　リツコ）
＜准教授＞
坂上　裕子（サカガミ　ヒロコ）
繁桝　江里（シゲマス　エリ）
薬師神　玲子（ヤクシジン　レイコ）
＜助教＞
駒屋　雄高（コマヤ　ユタカ）

経 済 学 部

＜教授＞
遠藤　光暁（エンドウ　ミツアキ）
大島　力（オオシマ　チカラ）
小張　敬之（オバリ　ヒロユキ）
金田　由紀子（カネダ　ユキコ）
黒沼　健（クロヌマ　タケシ）
三條　和博（サンジョウ　カズヒロ）
玉木　隆敏（タマキ　タカトシ）
橋本　清一（ハシモト　セイイチ）
堀　真理子（ホリ　マリコ）
＜准教授＞
メニッシュ（MENISH, M.C.）

経済学科

＜教授＞
石井　信之（イシイ　ノブユキ）
後藤　文廣（ゴトウ　フミヒロ）
白井　邦彦（シライ　クニヒコ）
白須　洋子（シラス　ヨウコ）
芹田　敏夫（セリタ　トシオ）
田付　茉莉子（タツキ　マリコ）
中込　正樹（ナカゴメ　マサキ）
中澤　進一（ナカザワ　シンイチ）
中村　まづる（ナカムラ　マヅル）
成田　淳司（ナリタ　ジュンジ）
馬場　弓子（ババ　ユミコ）
平出　尚道（ヒライデ　ナオミチ）
平澤　典男（ヒラサワ　ノリオ）
本郷　茂（ホンゴウ　シゲル）
本間　照光（ホンマ　テルミツ）
松尾　孝一（マツオ　コウイチ）
矢吹　初（ヤブキ　ハジメ）
美添　泰人（ヨシゾエ　ヤスト）
米澤　義衛（ヨネザワ　ヨシエ）
＜准教授＞
髙嶋　修一（タカシマ　シュウイチ）
永山　のどか（ナガヤマ　ノドカ）
堀　健夫（ホリ　タケオ）
松本　茂（マツモト　シゲル）
水上　英貴（ミズカミ　ヒデキ）
＜助教＞
今　喜史（コン　ヨシフミ）

現代経済デザイン学科

＜教授＞
井上　孝（イノウエ　タカシ）
須田　昌弥（スダ　マサヤ）
髙橋　重雄（タカハシ　シゲオ）
髙橋　朋一（タカハシ　トモカズ）
中川　辰洋（ナカガワ　タツヒロ）
西川　雅史（ニシカワ　マサシ）
藤村　学（フジムラ　マナブ）
堀場　勇夫（ホリバ　イサオ）
宮原　勝一（ミヤハラ　ショウイチ）
＜准教授＞
吉岡　祐次（ヨシオカ　ユウジ）

法　学　部

＜教授＞
ギブンズ（GIVENS, S.B.）
芦原　貞雄（アシハラ　サダオ）
安藤　泰子（アンドウ　タイコ）
石井　光（イシイ　アキラ）
大石　泰彦（オオイシ　ヤスヒコ）
小薗　康範（オソノ　ヤスノリ）
菊池　純一（キクチ　ジュンイチ）
許　末恵（キョ　スエ）
久保　茂樹（クボ　シゲキ）（法務研究科併任）
酒井　安行（サカイ　ヤスユキ）
佐々木　高雄（ササキ　タカオ）
申　惠丰（シン　ヘボン）
住吉　雅美（スミヨシ　マサミ）
関　英昭（セキ　ヒデアキ）
臺　豊（ダイ　ユタカ）
チェン・ポール（チェン・ポール）
手塚　和彰（テヅカ　カズアキ）
土橋　正（ドバシ　タダシ）
中村　芳昭（ナカムラ　ヨシアキ）
夏目　博明（ナツメ　ヒロアキ）
西澤　宗英（ニシザワ　ムネヒデ）
原口　健治（ハラグチ　ケンジ）
廣瀬　久和（ヒロセ　ヒサカズ）
藤川　久昭（フジカワ　ヒサアキ）
松川　実（マツカワ　ミノル）
三木　義一（ミキ　ヨシカズ）
安見　ゆかり（ヤスミ　ユカリ）
山崎　敏彦（ヤマザキ　トシヒコ）（法務研究科併任）
山田　央子（ヤマダ　エイコ）
吉田　直（ヨシダ　スナオ）
＜准教授＞
フクダ（FUKUDA, S.E.）
メニム（MENNIM, P.）
伊藤　敬也（イトウ　タカヤ）
大沢　光（オオサワ　ヒカル）
大山　和寿（オオヤマ　カズトシ）
岡田　直己（オカダ　ナオキ）
塩谷　直也（シオタニ　ナオヤ）
松田　憲忠（マツダ　ノリタダ）
室住　信子（ムロズミ　ノブコ）
＜助教＞
赤間　聡（アカマ　サトシ）
楊　林凱（ヨウ　リンガイ）
＜客員教授＞
宇佐美　洋（ウサミ　ヒロシ）

経 営 学 部

経営学科

＜教授＞
荒木　万寿夫（アラキ　マスオ）
戒野　敏浩（カイノ　トシヒロ）
亀坂　安紀子（カメサカ　アキコ）
五味　愼太郎（ゴミ　シンタロウ）
佐藤　靖（サトウ　オサム）
塩澤　友規（シオザワ　トモキ）
高橋　邦丸（タカハシ　クニマル）
竹田　賢（タケダ　ケン）
玉木　欽也（タマキ　キンヤ）
東海　幹夫（トウカイ　ミキオ）
西村　優子（ニシムラ　ユウコ）
長谷川　信（ハセガワ　シン）
林　伸二（ハヤシ　シンジ）
安田　洋史（ヤスダ　ヒロシ）
山本　寛（ヤマモト　ヒロシ）
尹　志煌（ユン　シコウ）
吉田　猛（ヨシダ　タケシ）
＜准教授＞
上枝　正幸（ウエエダ　マサユキ）
楠　由記子（クス　ユキコ）
高松　朋史（タカマツ　トモフミ）
竹内　規彦（タケウチ　ノリヒコ）
立石　義明（タテイシ　ヨシアキ）
矢澤　憲一（ヤザワ　ケンイチ）
矢内　一利（ヤナイ　カズトシ）
山下　勝（ヤマシタ　マサル）

マーケティング学科

＜教授＞
ダフ（DUFF, B.R.）
岩田　伸人（イワタ　ノブト）
薄上　二郎（ウスガミ　ジロウ）
小野　譲司（オノ　ジョウジ）
鹿島　浩之（カシマ　ヒロユキ）
加藤　篤史（カトウ　アツシ）
佐川　和茂（サガワ　カズシゲ）
佐藤　亨（サトウ　トオル）
宋　連玉（ソン　ヨンオク）
田中　正郎（タナカ　マサオ）
芳賀　康浩（ハガ　ヤスヒロ）
三村　優美子（ミムラ　ユミコ）
森川　信男（モリカワ　ノブオ）
＜准教授＞
東　伸一（アズマ　ノブカズ）
大道　千穂（オオミチ　チホ）
島田　淳二（シマダ　ジュンジ）
髙砂　民宣（タカサゴ　タミノブ）
土橋　治子（ツチハシ　ハルコ）
當間　麗（トウマ　ウララ）
永井　忠孝（ナガイ　タダタカ）
宮崎　純一（ミヤザキ　ジュンイチ）
＜助教＞

和田　剛明（ワダ　タケアキ）

理 工 学 部

＜教授＞
蔭山　友行（カゲヤマ　トモユキ）
加島　健（カシマ　タケシ）
川口　悦（カワグチ　エツ）
瀧本　将弘（タキモト　マサヒロ）
中園　嘉巳（ナカゾノ　ヨシミ）
中村　功（ナカムラ　イサオ）
＜准教授＞
ペイゲル（PAGEL, J.W.）
リーディ（REEDY, D.W.）
谷口　裕子（タニグチ　ユウコ）

物理・数理学科

＜教授＞
秋光　純（アキミツ　ジュン）
久保　健（クボ　ケン）
薩摩　順吉（サツマ　ジュンキチ）
高野　恭一（タカノ　キョウイチ）
中山　裕道（ナカヤマ　ヒロミチ）
西尾　泉（ニシオ　イズミ）
西山　享（ニシヤマ　キョウ）
古川　信夫（フルカワ　ノブオ）
松川　宏（マツカワ　ヒロシ）
吉田　篤正（ヨシダ　アツマサ）
＜准教授＞
北野　晴久（キタノ　ハルヒサ）
谷口　健二（タニグチ　ケンジ）
馬場　彩（バンバ　アヤ）
前田　はるか（マエダ　ハルカ）
増田　哲（マスダ　テツ）
三井　敏之（ミツイ　トシユキ）
山崎　了（ヤマザキ　リョウ）
＜助教＞
礒島　伸（イソジマ　シン）
井上　剛志（イノウエ　ツヨシ）
大槻　道夫（オオツキ　ミチオ）
小林　夏野（コバヤシ　カヤ）
榊　直人（サカキ　ナオト）
佐藤　正寛（サトウ　マサヒロ）
鈴木　正（スズキ　セイ）
高峰　愛子（タカミネ　アイコ）
藤井　康裕（フジイ　ヤスヒロ）
村田　実貴生（ムラタ　ミキオ）
村中　隆弘（ムラナカ　タカヒロ）
山岡　和貴（ヤマオカ　カズタカ）
＜理工学部講師＞
青木　和巳（アオキ　カズミ）

化学・生命科学科

＜教授＞
阿部　二朗（アベ　ジロウ）
木村　純二（キムラ　ジュンジ）
小林　迪夫（コバヤシ　ミチオ）
重里　有三（シゲサト　ユウゾウ）
杉村　秀幸（スギムラ　ヒデユキ）
鈴木　正（スズキ　タダシ）
武内　亮（タケウチ　リョウ）
田代　朋子（タシロ　トモコ）
長谷川　美貴（ハセガワ　ミキ）
宮野　雅司（ミヤノ　マサシ）
＜准教授＞
阿部　文快（アベ　フミヨシ）
中田　恭子（ナカダ　キョウコ）
＜助教＞
磯崎　輔（イソザキ　タスク）
岡　伸人（オカ　ノブト）
小野寺　玄（オノデラ　ゲン）
川島　麗（カワシマ　レイ）
髙橋　勇雄（タカハシ　イサオ）
辻本　恭（ツジモト　タカシ）
根岸　隆之（ネギシ　タカユキ）
優　乙石（ユウ　イッセキ）
＜理工学部講師＞
稲吉　倫子（イナヨシ　トモコ）
＜助手＞
河合　重和（カワイ　シゲカズ）

電気電子工学科

＜教授＞
井出　英人（イデ　ヒデト）
澤邊　厚仁（サワベ　アツヒト）
地主　創（ジヌシ　ハジメ）
中田　時夫（ナカダ　トキオ）
永田　勇二郎（ナガタ　ユウジロウ）
橋本　修（ハシモト　オサム）
林　洋一（ハヤシ　ヨウイチ）
松谷　康之（マツヤ　ヤスユキ）
＜准教授＞
外林　秀之（ソトバヤシ　ヒデユキ）
春山　純志（ハルヤマ　ジュンジ）
米山　淳（ヨネヤマ　ジュン）
＜助教＞
児玉　英之（コダマ　ヒデユキ）
名取　賢二（ナトリ　ケンジ）
水崎　壮一郎（ミズサキ　ソウイチロウ）
＜助手＞
浅野　裕俊（アサノ　ヒロトシ）
井岡　惠理（イオカ　エリ）
今村　薫（イマムラ　カオル）
内田　ゆず（ウチダ　ユズ）
風間　保裕（カザマ　ヤスヒロ）
須賀　良介（スガ　リョウスケ）
三瀬　貴寛（ミセ　タカヒロ）
吉田　隆弘（ヨシダ　タカヒロ）

機械創造工学科

＜教授＞
大石　進（オオイシ　ススム）
岡田　昌志（オカダ　マサシ）
小川　武史（オガワ　タケシ）
小林　信之（コバヤシ　ノブユキ）
林　光一（ハヤシ　コウイチ）
横田　和彦（ヨコタ　カズヒコ）
渡邉　昌宏（ワタナベ　マサヒロ）
＜准教授＞
長　秀雄（チョウ　ヒデオ）
米山　聡（ヨネヤマ　サトル）
＜助教＞
浅岡　龍徳（アサオカ　タツノリ）
橋本　宣慶（ハシモト　ノブヨシ）
原　謙介（ハラ　ケンスケ）
松尾　卓摩（マツオ　タクマ）
山田　英助（ヤマダ　エイスケ）
＜助手＞
有川　秀一（アリカワ　シュウイチ）
金田　忍（カネダ　シノブ）
姜　東赫（カン　ドンヒョク）

経営システム工学科

＜教授＞
天坂　格郎（アマサカ　カクロウ）
石津　昌平（イシズ　ショウヘイ）
熊谷　敏（クマガイ　ヒサシ）
松本　俊之（マツモト　トシユキ）
＜准教授＞
大内　紀知（オオウチ　ノリトモ）
宋　少秋（ソン　ショウシュウ）
日吉　久礎（ヒヨシ　ヒサモト）
水山　元（ミズヤマ　ハジメ）
＜助教＞
中田　洋平（ナカダ　ヨウヘイ）
松浦　峻（マツウラ　シュン）
＜理工学部講師＞
安瀬　美知子（アンセ　ミチコ）
＜助手＞
梶山　朋子（カジヤマ　トモコ）
金子　雅明（カネコ　マサアキ）
繁住　健哉（シゲズミ　タケヤ）
早坂　弘達（ハヤサカ　ヒロタツ）

情報テクノロジー学科

＜教授＞
テュールスト（DUERST, M.J.）
小宮山　摂（コミヤマ　セツ）
佐久田　博司（サクタ　ヒロシ）
鷲見　和彦（スミ　カズヒコ）
原田　実（ハラダ　ミノル）
水澤　純一（ミズサワ　ジュンイチ）
山口　博明（ヤマグチ　ヒロアキ）
＜准教授＞
大原　剛三（オオハラ　コウゾウ）
＜助教＞
河上　篤史（カワカミ　アツシ）
狐崎　直文（キツネザキ　ナオフミ）
斉藤　友彦（サイトウ　トモヒコ）
藤本　悠（フジモト　ユウ）
松田　源立（マツダ　ヨシタツ）
武藤　剛（ムトウ　タケシ）
矢吹　太朗（ヤブキ　タロウ）

＜助手＞
松原　俊一（マツバラ　シュンイチ）

国際政治経済学部

＜教授＞
嶋田　順好（シマダ　マサヨシ）

国際政治学科

＜教授＞
青井　千由紀（アオイ　チユキ）
押村　高（オシムラ　タカシ）
菊池　努（キクチ　ツトム）
小島　敏郎（コジマ　トシロウ）
土山　實男（ツチヤマ　ジツオ）
中山　俊宏（ナカヤマ　トシヒロ）
納家　政嗣（ナヤ　マサツグ）
袴田　茂樹（ハカマダ　シゲキ）
羽場　久美子（ハバ　クミコ）
＜准教授＞
阿部　達也（アベ　タツヤ）
倉松　中（クラマツ　タダシ）
武田　興欣（タケダ　オキヨシ）
＜助教＞
和田　洋典（ワダ　ヒロノリ）

国際経済学科

＜教授＞
内田　達也（ウチダ　タツヤ）
内山　義英（ウチヤマ　ヨシヒデ）
大野　昭彦（オオノ　アキヒコ）
岡村　稔（オカムラ　ミノル）
木村　光彦（キムラ　ミツヒコ）
仙波　憲一（センバ　ケンイチ）
友原　章典（トモハラ　アキノリ）
中川　浩宣（ナカガワ　ヒロノブ）
本田　重美（ホンダ　シゲミ）
港　徹雄（ミナト　テツオ）
＜准教授＞
飯坂　ひとみ（イイザカ　ヒトミ）
竹田　憲史（タケタ　ケンシ）
＜専任講師＞
瀬尾　佳美（セオ　カミ）
＜助教＞
上原　克仁（ウエハラ　カツヒト）

国際コミュニケーション学科

＜教授＞
エバノフ（EVANOFF, R.J.）
ポダルコ（PODALKO, P.）
井川　肇（イカワ　ハジメ）
大久保　典子（オオクボ　ミチコ）
抱井　尚子（カカイ　ヒサコ）
狩野　良規（カノウ　ヨシキ）
末田　清子（スエダ　キヨコ）
田辺　正美（タナベ　マサミ）
陳　継東（チン　ケイトウ）
林　世景（リン　セイケイ）
渡邊　千秋（ワタナベ　チアキ）
＜准教授＞
幸地　茂（コウチ　シゲル）
國分　俊宏（コクブ　トシヒロ）
猿橋　順子（サルハシ　ジュンコ）
田崎　勝也（タサキ　カツヤ）

総合文化政策学部

＜教授＞
井口　典夫（イグチ　ノリオ）
石崎　晴己（イシザキ　ハルミ）
内山　隆（ウチヤマ　タカシ）
梅津　順一（ウメツ　ジュンイチ）
大島　正嗣（オオシマ　マサツグ）
岡　眞理子（オカ　マリコ）
岡部　篤行（オカベ　アツユキ）
懸田　豊（カケダ　ユタカ）
黒石　いずみ（クロイシ　イズミ）
茂　牧人（シゲル　マキト）
杉浦　勢之（スギウラ　セイシ）
鈴木　博之（スズキ　ヒロユキ）
東方　敬信（トウボウ　ヨシノブ）
鳥越　けい子（トリゴエ　ケイコ）
中野　昌宏（ナカノ　マサヒロ）
福岡　伸一（フクオカ　シンイチ）
堀内　正博（ホリウチ　マサヒロ）
真鍋　一史（マナベ　カズフミ）
宮澤　淳一（ミヤザワ　ジュンイチ）
＜准教授＞
沖本　幸子（オキモト　ユキコ）
関根　小織（セキネ　サオリ）
竹内　孝宏（タケウチ　タカヒロ）
矢野　晋吾（ヤノ　シンゴ）
＜助教＞
福田　大輔（フクダ　ダイスケ）

社会情報学部

＜准教授＞
大宮　謙（オオミヤ　ケン）
＜助教＞
阿部　慶賀（アベ　ケイガ）
齋藤　裕（サイトウ　ユタカ）

社会情報学科

＜教授＞
飯島　泰裕（イイジマ　ヤスヒロ）
石田　博之（イシダ　ヒロユキ）
稲積　宏誠（イナヅミ　ヒロシゲ）
岩井　千尋（イワイ　チヒロ）
魚住　清彦（ウオズミ　キヨヒコ）
苅宿　俊文（カリヤド　トシブミ）
小池　和彦（コイケ　カズヒコ）
佐伯　胖（サエキ　ユタカ）
清水　康司（シミズ　ヤスシ）
高木　光太郎（タカギ　コウタロウ）
長橋　透（ナガハシ　トオル）
開澤　栄相（ヒラキザワ　エイスケ）
吹春　俊隆（フキハル　トシタカ）
福田　亘孝（フクダ　ノブタカ）
増永　良文（マスナガ　ヨシフミ）
宮川　裕之（ミヤガワ　ヒロユキ）
村川　久子（ムラカワ　ヒサコ）
矢野　公一（ヤノ　コウイチ）
＜准教授＞
ランバッカー（LAMBACHER, S.G.）
伊藤　一成（イトウ　カズナリ）
清成　透子（キヨナリ　トオコ）
寺尾　敦（テラオ　アツシ）
伏屋　広隆（フシヤ　ヒロタカ）
宮治　裕（ミヤジ　ユタカ）
＜助教＞
東　るみ子（アズマ　ルミコ）
遠藤　俊典（エンドウ　トシノリ）
髙村　正志（タカムラ　マサシ）
南部　和香（ナンブ　カズカ）
＜助手＞
森田　武史（モリタ　タケシ）

学内兼担

法学研究科

＜特任教授＞
小林　一郎（コバヤシ　イチロウ）

総合文化政策学研究科

＜特任教授＞
青木　保（アオキ　タモツ）

国際マネジメント研究科

＜教授＞
岩井　千明（イワイ　チアキ）
小林　孝雄（コバヤシ　タカオ）
榊原　正幸（サカキバラ　マサユキ）
中里　宗敬（ナカサト　ムネノリ）
西谷　幸介（ニシタニ　コウスケ）

法務研究科　法務専攻

＜教授＞
レンツ（LENZ, K.F.）
関　武志（セキ　タケシ）
芹沢　斉（セリザワ　ヒトシ）
新倉　修（ニイクラ　オサム）
宮﨑　万壽夫（ミヤザキ　マスオ）
山崎　敏彦（ヤマザキ　トシヒコ）
＜客員教授＞
永井　均（ナガイ　ヒトシ）

会計プロフェッション研究科

＜教授＞
唐沢　昌敬（カラサワ　マサタカ）
多賀谷　充（タガヤ　ミツル）
＜客員教授＞
平　仁（タイラ　ヒトシ）
＜特任教授＞
吉村　貞彦（ヨシムラ　サダヒコ）
＜准教授＞
久持　英司（ヒサモチ　エイジ）

院内兼担

短期大学

河見　誠（カワミ　マコト）
齋藤　修三（サイトウ　シュウゾウ）
橋本　典子（ハシモト　ノリコ）
松村　伸一（マツムラ　シンイチ）
湯本　久美子（ユモト　クミコ）

幼稚園

多々内　三恵子（タダウチ　ミエコ）

大学特別招聘教授

小倉　和夫（オグラ　カズオ）
榊原　英資（サカキバラ　エイスケ）

非常勤講師

アンダーソン（ANDERSON, T.C.）
アンドラディ（ANDRADE, M.）
アームストロング（ARMSTRONG, W.H.）
オードリー（AUDOLY, E.）
バランス（BALLANCE, T.L.）
バラット（BARAT, R.）
バッソ（BASSO, R.J.）
バウマン（BAUMAN, J.）
バインダー（BINDER, S.R.）
ビゼ（BIZET, F.）
ボダン（BODIN, E.）
ボリンジャー（BOLLINGER, D.J.）
ボレンステン（BORENSTEIN, C.）
ブラウン、A.（BRAUN, A.）
ブレッフェュエル（BREFUEL, R.）
ブロードブリッジ（BROADBRIDGE, J.R.）
ブルック（BROOKE, S.J.）
ブラウニング（BROWNING, T.L.）
ブルース（BRUCE, J.M.）
バックレー（BUCKLEY, H.L.）
ブラック（BULACH, J.J.）
バント（BUNDT, L.L.）
バトラー、B.J.（BUTLER, B.J.）
カルトン（CARTON, M.）
カズウェル（CASWELL, I.M.）
クープ（COOP, S.L.）
コンルール（CONREUR, G.）
コートニー（COURTNEY, G.R.）
クレイグ（CRAIG, J.R.）
クレイン（CRANE, G.A.）
クラウン（CROWN, K.A.）
ダーリン（DARLING, M.W.）
ドゥ　ウルフ（DE WOLF, C.）
デニー（DENNY, J.S.）
ドーラン（DORAN, S.）
ダイグナン（DUIGNAN, R.）
ドボルジャーク（DVORJAK, Y.）
エリオット（ELLIOTT, M.）
フォスター、J.（FOSTER, J.J.）
フレンドーフ（FUHLENDORF, A.M.）
ガルシアールイス（GARCIA-RUIZ, P.）
ガブリロワ（GAVRILOVA, M.）
ガーション（GERSHON, B.）
ガダード（GODDARD, J.A.）
グレイ（GRAY, M.A.）
ホイサーマン、P.（HAEUSSERMANN, P.）
ハードグレィヴ（HARDGRAVE, B.J.）
ハーパー（HARPER, P.A.K.）
ヒントン、R.D.（HINTON, R.D.）
ハウル（HOWL, P.F.）
ジャンセン（JANSEN, W.A.）
カミムラ　タンウォング（KAMIMURA, T.H.）
カーリン（KARLIN, O.C.）
カズマー（KASMER, W.B.）
ケン　フジオカ（KEN FUJIOKA）
ランバート（LAMBERT, N.）
ローガン（LOGAN, R.A.JR.）
マディーン（MADEEN, E.C.）
マレシャル（MARECHAL, B.）
マーティン（MARTIN, J.P.）
マクエバリ（McEVILLY, P.M.）
ミーハン（MEEHAN, K.）
ミニオン（MIGNON, E.T.）
ミゲス（MIGUEZ, G.V.）
ミルティアドス（MILTIADOUS, M.M.）
モハメッド（MOHAMED, G.A.）
ネルソン（NELSON, F.M.）
オチャンド（OCHANDO, F.）
オクハラ-カズウェル（OKUHARA-CASWELL）
モミヤマ（ORDONEZ DE MOMIYAMA, M.）
パタン（PATIN, C.）
ペンゴスロ（PENGOSRO, E.K.）
ピーターソン（PETERSON, L.M.）
ポポフスキー（POPOVSKI, V.）
ポーシャック（POULSHOCK, J.W.）
プラスキー（PULASKI, J.C.）
ラフボ（RACHUBO, A.P.）
ラルフ（RALPH, B.J.）
レイナード（RANARD, A.B.）
リーバー（REBER, M.F.）
リー、S.（REE, S.A.）
ライリー（REILLY, J.E.）
ライマン（REIMANN, A.N.）
ルヌール（RENOUL, C.）
ロバートソン（ROBERTSON, P.E.）
ローゼンキャー（ROSENKJAR, P.R.）
ローワン（ROWAN, P.A.R.）
ルシンスキー（RUCYNSKI, T.J.）
ラファエル（RUIZ, RAFAEL）
シェイド（SHADE, E.）
ソロモンス（SOLOMONS, R.A.）
タケダ（TAKEDA, N.K.）
タニグチ（TANIGUCHI, J.M.）
トムソン（THOMSON, B.J.）
トッテン（TOTTEN, P.J.）
タイナー（TYNER, C.H.）
ウチダ（UCHIDA, A.）
ヴァジラサーン（VAJIRASARN, A.）
バルギース（VARGHESE, M.）
ヴォート（VOGT, L.）
ウォルツァー（WALZER, R.）
ヨダ（YODER, R.S.）
ヤング（YOUNG, J.）
ジャンジェ（ZHANJE, T.W.）
青木　敦子（アオキ　アツコ）
青木　詔司（アオキ　ショウジ）
青木　久子（アオキ　ヒサコ）
青柳　いづみこ（アオヤギ　イヅミコ）

青山　清英（アオヤマ　キヨヒデ）
青山　治世（アオヤマ　ハルトシ）
赤崎　祐子（アカサキ　ユウコ）
赤平　恵理（アカヒラ　エリ）
秋場　勝彦（アキバ　カツヒコ）
秋元　実治（アキモト　ミノジ）
秋山　聰（アキヤマ　アキラ）
秋山　映一（アキヤマ　エイイチ）
秋山　茂幸（アキヤマ　シゲユキ）
秋山　武清（アキヤマ　タケキヨ）
秋山　靖浩（アキヤマ　ヤスヒロ）
阿久津　純恵（アクツ　スミエ）
浅野　清彦（アサノ　キヨヒコ）
朝比奈　大作（アサヒナ　ダイサク）
朝広　謙次郎（アサヒロ　ケンジロウ）
浅利　浩一（アサリ　コウイチ）
東　徹（アズマ　トオル）
東　英弥（アズマ　ヒデヤ）
麻生　英子（アソウ　エイコ）
足立　崇（アダチ　タカシ）
新井　恵理（アライ　エリ）
荒井　健二郎（アライ　ケンジロウ）
荒井　幸康（アライ　ユキヤス）
荒川　慎太郎（アラカワ　シンタロウ）
荒木　暉（アラキ　ヒカル）
荒巻　朋子（アラマキ　トモコ）
新目　真紀（アラメ　マキ）
新谷　淳一（アラヤ　ジュンイチ）
有川　雅裕（アリカワ　マサヒロ）
安家　達也（アンケ　タツヤ）
安齋　有紀（アンザイ　ユキ）
安西　弥生（アンザイ　ヤヨイ）
安藤　勉（アンドウ　ツトム）
安藤　壽茂（アンドウ　ヒサシゲ）
李　恵淑（イ　ヘスク）
飯倉　洋一（イイクラ　ヨウイチ）
飯沢　耕太郎（イイザワ　コウタロウ）
飯田　晴巳（イイダ　ハルミ）
飯田　道子（イイダ　ミチコ）
飯田　義明（イイダ　ヨシアキ）
飯野　明（イイノ　アキラ）
生田　かおる（イクタ　カオル）
井口　磯夫（イグチ　イソオ）
池内　守厚（イケウチ　モリアツ）
池田　明子（イケダ　アキコ）
池田　明史（イケダ　アキフミ）
池田　和子（イケダ　カズコ）
池田　早苗（イケダ　サナエ）
池田　信夫（イケダ　ノブオ）
池田　まさみ（イケダ　マサミ）
池田　満（イケダ　ミツル）
池田　稔（イケダ　ミノル）
石井　一平（イシイ　イッペイ）
石井　啓子（イシイ　ケイコ）
石井　恵子（イシイ　ケイコ）
石井　丈二（イシイ　タケジ）
石井　信明（イシイ　ノブアキ）
石井　仁（イシイ　ヒトシ）
石川　健治（イシカワ　ケンジ）
石川　泰（イシカワ　タイ）
石黒　敏明（イシグロ　トシアキ）
石黒　弓美子（イシグロ　ユミコ）
石橋　和代（イシバシ　カズヨ）
石橋　満（イシバシ　ミツル）
石原　信一（イシハラ　シンイチ）
石原　比伊呂（イシハラ　ヒイロ）
石本　英彦（イシモト　ヒデヒコ）
石森　大知（イシモリ　ダイチ）
伊集院　睦雄（イジュウイン　ムツオ）
石渡　彰二（イシワタ　ショウジ）
石和田　昌利（イシワダ　マサトシ）
泉　忠司（イズミ　タダシ）
磯山　久美子（イソヤマ　クミコ）
板井　広明（イタイ　ヒロアキ）
板垣　良一（イタガキ　リョウイチ）
市川　やよい（イチカワ　ヤヨイ）
市来嵜　治（イチキザキ　オサム）
市倉　信義（イチクラ　ノブヨシ）
井出　功一（イデ　コウイチ）
伊藤　亜紗（イトウ　アサ）
伊藤　健一郎（イトウ　ケンイチロウ）
伊藤　仁美（イトウ　サトミ）
伊藤　丈人（イトウ　タケヒト）
伊藤　直（イトウ　タダシ）
伊藤　忠弘（イトウ　タダヒロ）
伊藤　徹哉（イトウ　テツヤ）
伊藤　匡美（イトウ　マサミ）
伊東　弥香（イトウ　ミカ）
井戸　美里（イド　ミサト）
伊奈　久喜（イナ　ヒサヨシ）
稲垣　久和（イナガキ　ヒサカズ）
稲垣　文男（イナガキ　フミオ）
稲富　三夫（イナトミ　ミツオ）
井野　葉子（イノ　ヨウコ）
井上　恵子（イノウエ　ケイコ）
井上　順雄（イノウエ　ノブオ）
井上　正（イノウエ　マサシ）
井上　美砂（イノウエ　ミサ）
井上　裕夫（イノウエ　ヤスオ）
井上　泰日子（イノウエ　ヤスヒコ）
猪塚　元（イノヅカ　ハジメ）
今井　章久（イマイ　アキヒサ）
今井　邦雄（イマイ　クニオ）
今井　福司（イマイ　フクジ）
今泉　美由紀（イマイズミ　ミユキ）
今川　正浩（イマガワ　マサヒロ）
井村　俊義（イムラ　トシヨシ）
伊與田　正彦（イヨダ　マサヒコ）
岩井　克文（イワイ　カツフミ）
岩下　誠（イワシタ　アキラ）
岩田　淳子（イワタ　アツコ）
岩原　武則（イワハラ　タケノリ）
岩丸　良明（イワマル　ヨシアキ）
上杉　嘉見（ウエスギ　ヨシミ）
植芝　牧（ウエシバ　マキ）
上田　修一（ウエダ　シュウイチ）
植田　みどり（ウエダ　ミドリ）
上原　行義（ウエハラ　コウギ）
上原　美知子（ウエハラ　ミチコ）
植松　希久磨（ウエマツ　キクマ）
植松　公彦（ウエマツ　キミヒコ）
上村　佳世子（ウエムラ　カヨコ）
上村　威（ウエムラ　タケシ）
植村　恒一郎（ウエムラ　ツネイチロウ）
植村　朋弘（ウエムラ　トモヒロ）
魚谷　武志（ウオタニ　タケシ）
右近　修治（ウコン　シュウジ）
宇田川　久美子（ウダガワ　クミコ）
内桶　真二（ウチオケ　シンジ）
内田　英二（ウチダ　エイジ）
内田　啓一（ウチダ　ケイイチ）
内田　滋（ウチダ　シゲル）
内田　有紀（ウチダ　ユウキ）
内田　利菜（ウチダ　リナ）
内山　幸久（ウチヤマ　ユキヒサ）
宇野　雅章（ウノ　マサアキ）
浦部　尚志（ウラベ　タカシ）
占部　雅一（ウラベ　マサカズ）
江田　幸子（エダ　サチコ）
衛藤　英達（エトウ　ヒデサト）
海老沢　達郎（エビサワ　タツオ）
遠藤　恭一（エンドウ　キョウイチ）
王　凌（オウ　リョウ）
王　敏（オウ　ビン）
大川　裕子（オオカワ　ユウコ）
大木　京子（オオキ　キョウコ）
大窪　高志（オオクボ　タカシ）
大久保　哲也（オオクボ　テツヤ）
太下　義之（オオシタ　ヨシユキ）
大島　有子（オオシマ　アリス）
太田　和子（オオタ　カズコ）
太田　さつき（オオタ　サツキ）
大竹　誠（オオタケ　マコト）
大谷　康晴（オオタニ　ヤスハル）
大津　浩（オオツ　ヒロシ）
大槻　直子（オオツキ　ナオコ）
大出　敦（オオデ　アツシ）
大西　幸子（オオニシ　サチコ）
大沼　博靖（オオヌマ　ヒロヤス）
大野　伸（オオノ　シン）
大野　秀夫（オオノ　ヒデオ）
大野　広之（オオノ　ヒロユキ）
大場　静枝（オオバ　シズエ）
大橋　知子（オオハシ　トモコ）
大橋　直義（オオハシ　ナオヨシ）
大橋　憲広（オオハシ　ノリヒロ）
大原　一元（オオハラ　カズモト）
大房　潤一（オオフサ　ジュンイチ）
大堀　壽夫（オオホリ　トシオ）
大嶺　せい子（オオミネ　セイコ）
大山　恭子（オオヤマ　キョウコ）
大輪　公壱（オオワ　コウイチ）
小笠原　耕司（オガサワラ　コウジ）
小笠原　弘幸（オガサワラ　ヒロユキ）
岡田　純一（オカダ　ジュンイチ）
小方　伴子（オガタ　トモコ）
岡留　聡子（オガドメ　サトコ）
岡野　智彦（オカノ　トモヒコ）
岡村　陽子（オカムラ　ヨウコ）
岡本　さだこ（オカモト　サダコ）
小川　誠子（オガワ　セイコ）
小川　忠（オガワ　タダシ）
小川　ルビー（オガワ　ルビー）
沖　一雄（オキ　カズオ）
沖塩　有希子（オキシオ　ユキコ）
荻野　克美（オギノ　カツミ）
沖山　充（オキヤマ　ミツル）
荻原　幸子（オギワラ　サチコ）
奥田　英信（オクダ　ヒデノブ）
奥野　理恵子（オクノ　リエコ）
奥村　大志（オクムラ　タイシ）
小倉　ひろみ（オグラ　ヒロミ）
生越　まり子（オゴシ　マリコ）
織田　弥生（オダ　ヤヨイ）
鬼丸　洋（オニマル　ヒロシ）
鬼山　敬邦（オニヤマ　タカクニ）
小野　晃典（オノ　アキノリ）
小野　新（オノ　アラタ）
小野　公一（オノ　コウイチ）
小野　俊太郎（オノ　シュンタロウ）
小野　壽美子（オノ　スミコ）
小野　正敏（オノ　マサトシ）
小野　森都子（オノ　モトコ）
尾上　正博（オノウエ　マサヒロ）
小野田　摂子（オノダ　セツコ）
小野塚　久枝（オノヅカ　ヒサエ）
小幡　一雄（オバタ　カズオ）
小幡　勝彦（オバタ　カツヒコ）
小畑　精和（オバタ　ヨシカズ）
小原　進（オハラ　ススム）
小原　格（オハラ　ツトム）
小俣　一平（オマタ　イッペイ）
小山　望（オヤマ　ノゾミ）
恩田　英治（オンダ　ヒデハル）
甲斐　基文（カイ　モトフミ）
甲斐　利恵子（カイ　リエコ）
香川　知晶（カガワ　チアキ）
柿崎　孝夫（カキザキ　タカオ）
柿元　資子（カキモト　モトコ）
賀来　道生（カク　ミチオ）
河西　由美子（カサイ　ユミコ）
笠羽　晴夫（カサバ　ハルオ）
風間　賢二（カザマ　ケンジ）
加島　勝（カシマ　マサル）
片上　英俊（カタカミ　ヒデトシ）
片桐　祐（カタギリ　ユウ）
片野　修一郎（カタノ　シュウイチロウ）
片見　彰夫（カタミ　アキオ）

片山　等（カタヤマ　ヒトシ）
勝田　千恵子（カツダ　チエコ）
勝西　良典（カツニシ　ヨシノリ）
勝又　恵理子（カツマタ　エリコ）
勝山　裕之（カツヤマ　ヒロユキ）
加藤　章（カトウ　アキラ）
加藤　敦子（カトウ　アツコ）
加藤　恵子（カトウ　ケイコ）
加藤　譲（カトウ　ジョウ）
加藤　尚子（カトウ　ナオコ）
加藤　弘子（カトウ　ヒロコ）
加藤　宏（カトウ　ヒロシ）
加藤　麻衣子（カトウ　マイコ）
加藤　昌弘（カトウ　マサヒロ）
加藤　めぐみ（カトウ　メグミ）
香取　英男（カトリ　ヒデオ）
金井　光太朗（カナイ　コウタロウ）
金杉　憲治（カナスギ　ケンジ）
金沢　陽（カナザワ　ヨウ）
金田　耕一（カナダ　コウイチ）
金丸　芙美（カナマル　フミ）
金森　努（カナモリ　ツトム）
金谷　美紗（カナヤ　ミサ）
金谷　良夫（カナヤ　ヨシオ）
金子　一秀（カネコ　カズヒデ）
金子　憲（カネコ　アキラ）
金子　智太郎（カネコ　トモタロウ）
兼利　琢也（カネトシ　タクヤ）
兼平　充明（カネヒラ　ミツアキ）
金山　秋男（カネヤマ　アキオ）
狩野　昌央（カノウ　マサヒロ）
狩野　雄（カノウ　ユウ）
鎌田　裕美（カマタ　ヒロミ）
神尾　真知子（カミオ　マチコ）
神鷹　徳治（カミタカ　トクハル）
亀井　奈保美（カメイ　ナオミ）
狩俣　恵美（カリマタ　エミ）
川井　勇雄（カワイ　イサオ）
河合　久（カワイ　ヒサシ）
河合　史恵（カワイ　フミエ）
川合　ゆみ子（カワイ　ユミコ）
川上　泰（カワカミ　ヤスシ）
川口　恵子　（カワグチ　ケイコ）
川口　裕司（カワグチ　ユウジ）
川口　義晴（カワグチ　ヨシハル）
川名　晋史（カワナ　シンジ）
川鍋　定男（カワナベ　サダオ）
河野　克也（カワノ　カツヤ）
河野　誠哉（カワノ　セイヤ）
川端　芳子（カワバタ　ヨシコ）
河原　清志（カワハラ　キヨシ）
川邉　雄大（カワベ　ユウダイ）
河村　弘祐（カワムラ　コウスケ）
川村　祥子（カワムラ　ショウコ）
川本　思心（カワモト　シシン）
河原　清（カワラ　キヨシ）
河原崎　やす子（カワラサキ　ヤスコ）
姜　公淑（カン　コンス）
神崎　繁（カンザキ　シゲル）
菊池　韶彦（キクチ　アキヒコ）
菊地　進（キクチ　ススム）
菊地　哲也（キクチ　テツヤ）
木﨑　悠子（キザキ　ユウコ）
岸　彩子（キシ　アヤコ）
北垣　潔（キタガキ　キヨシ）
北出　広子（キタデ　ヒロコ）
北野　良枝（キタノ　ヨシエ）
北村　麻紀子（キタムラ　マキコ）
北村　昌彦（キタムラ　マサヒコ）
北山　雅昭（キタヤマ　マサアキ）
橘川　武郎（キツカワ　タケオ）
橘田　栄子（キツタ　エイコ）
橘田　正造（キツタ　ショウゾウ）
木野井　美紗子（キノイ　ミサコ）
木原　朝子（キハラ　アサコ）
金　愛慶（キム　エキヨン）
金　敬黙（キム　ギョンムク）
金　恵信（キム　ヘシン）
木村　武雄（キムラ　タケオ）
木村　利夫（キムラ　トシオ）
木村　みどり（キムラ　ミドリ）
木元　豊（キモト　ユタカ）
久野　康彦（キュウノ　ヤスヒコ）
清野　嘉之（キヨノ　ヨシユキ）
吉良　文孝（キラ　フミタカ）
桐谷　佳裕（キリタニ　ヨシヒロ）
桐谷　栄希（キリヤ　エイキ）
金　琦（キン　キ）
日下　正一（クサカ　ショウイチ）
楠　裕行（クスノキ　ヒロユキ）
楠本　和哉（クスモト　カズヤ）
楠本　重行（クスモト　シゲユキ）
工藤　章（クドウ　アキラ）
工藤　健一（クドウ　ケンイチ）
工藤　早恵（クドウ　サエ）
工藤　眞一（クドウ　シンイチ）
工藤　文三（クドウ　ブンゾウ）
国宗　知子（クニムネ　トモコ）
久保　陽一（クボ　ヨウイチ）
久保田　忠利（クボタ　タダトシ）
久保寺　紀江（クボテラ　ノリエ）
隈井　秀人（クマイ　ヒデト）
熊沢　孝（クマザワ　タカシ）
久山　道彦（クヤマ　ミチヒコ）
栗原　浩之（クリハラ　ヒロユキ）
栗山　保之（クリヤマ　ヤスユキ）
黒川　学（クロカワ　マナブ）
黒川　美和（クロカワ　ミワ）
黒澤　文貴（クロサワ　フミタカ）
黒嶋　敏（クロシマ　サトル）
黒田　俊太郎（クロダ　シュンタロウ）
桑田　光平（クワダ　コウヘイ）
桑名　恵（クワナ　メグミ）
桑原　啓一（クワハラ　ケイイチ）
軍司　敦子（グンジ　アツコ）
毛塚　敦（ケヅカ　アツシ）
小池　茂子（コイケ　シゲコ）
小池　惇平（コイケ　ジュンペイ）
小池　政行（コイケ　マサユキ）
小泉　晋一（コイズミ　シンイチ）
小泉　徹（コイズミ　トオル）
小磯　花絵（コイソ　ハナエ）
黄　漢青（コウ　カンセイ）
郷　義孝（ゴウ　ヨシタカ）
河野　貴美子（コウノ　キミコ）
河野　康成（コウノ　ヤスナリ）
小枝　義人（コエダ　ヨシト）
国分　峰樹（コクブ　ミネキ）
越川　邦夫（コシカワ　クニオ）
小島　慶一（コジマ　ケイイチ）
小島　章子（コジマ　ショウコ）
小嶋　久子（コジマ　ヒサコ）
小島　聰子（コジマ　フサコ）
兒島　峰（コジマ　ミネ）
小島　優子（コジマ　ユウコ）
小嶋　洋介（コジマ　ヨウスケ）
小谷　真理子（コタニ　マリコ）
児玉　公信（コダマ　キミノブ）
児玉　正博（コダマ　マサヒロ）
後藤　和子（ゴトウ　カズコ）
後藤　直（ゴトウ　タダシ）
小林　愛明（コバヤシ　アイメイ）
小林　亜起子（コバヤシ　アキコ）
小林　加奈子（コバヤシ　カナコ）
小林　群司（コバヤシ　グンジ）
小林　賢司（コバヤシ　ケンジ）
小林　晴子（コバヤシ　ハルコ）
小林　弘和（コバヤシ　ヒロカズ）
小林　学（コバヤシ　マナブ）
小林　裕子（コバヤシ　ヤスコ）
小林　保彦（コバヤシ　ヤスヒコ）
小林　由紀（コバヤシ　ユキ）
小林　和歌子（コバヤシ　ワカコ）
小日向　英俊（コヒナタ　ヒデトシ）
駒田　亜紀子（コマダ　アキコ）
小松　弥生（コマツ　ヤヨイ）
小峰　和子（コミネ　カズコ）
小峰　隆夫（コミネ　タカオ）
五味渕　典嗣（ゴミブチ　ノリツグ）
小柳　潤（コヤナギ　ジュン）
小柳　春一郎（コヤナギ　シュンイチロウ）
古山　みゆき（コヤマ　ミユキ）
根田　隆平（コンダ　リュウヘイ）
近藤　存志（コンドウ　アリユキ）
権藤　俊彦（ゴンドウ　トシヒコ）
近藤　瑞木（コンドウ　ミズキ）
近藤　倫弘（コンドウ　ミチヒロ）
近藤　ゆう子（コンドウ　ユウコ）
紺野　卓（コンノ　タク）
雑賀　恭一（サイガ　キョウイチ）
西前　明（サイゼン　アキラ）
齋藤　かおる（サイトウ　カオル）
齋藤　敬子（サイトウ　ケイコ）
斉藤　祥恵（サイトウ　サチエ）
齋藤　直（サイトウ　ナオ）
齋藤　長行（サイトウ　ナガユキ）
斎藤　博（サイトウ　ヒロシ）
斎藤　正武（サイトウ　マサタケ）
齋藤　希史（サイトウ　マレシ）
齋野　岳廊（サイノ　タケロウ）
佐伯　奈津子（サエキ　ナツコ）
酒井　和子（サカイ　カズコ）
酒井　智宏（サカイ　トモヒロ）
酒井　潔（サカイ　キヨシ）
酒井　幸子（サカイ　サチコ）
酒井　良清（サカイ　ヨシキヨ）
榊原　英資（サカキバラ　エイスケ）
阪口　美津子（サカグチ　ミツコ）
坂野　慎二（サカノ　シンジ）
坂原　眞里（サカハラ　マリ）
坂部　正治（サカベ　マサハル）
坂元　忠明（サカモト　タダアキ）
坂本　秀人（サカモト　ヒデト）
坂本　誠（サカモト　マコト）
桜井　恵子（サクライ　ケイコ）
櫻井　道子（サクライ　ミチコ）
笹川　あゆみ（ササガワ　アユミ）
佐々木　三郎（ササキ　サブロウ）
佐々木　惠（ササキ　メグミ）
笹倉　優（ササクラ　マサル）
左治木　吾郎（サジキ　ゴロウ）
佐志田　晶夫（サシダ　アキオ）
佐竹　由帆（サタケ　ヨシホ）
薩摩　秀登（サツマ　ヒデト）
佐藤　和孝（サトウ　カズタカ）
佐藤　修司（サトウ　シュウジ）
佐藤　進（サトウ　ススム）
佐藤　拓司（サトウ　タクジ）
佐藤　健生（サトウ　タケオ）
佐藤　千明（サトウ　チアキ）
佐藤　紀子（サトウ　ノリコ）
佐藤　憲久（サトウ　ノリヒサ）
佐藤　宏（サトウ　ヒロシ）
佐藤　道生（サトウ　ミチオ）
佐藤　美由紀（サトウ　ミユキ）
佐藤　由美（サトウ　ユミ）
佐藤　義夫（サトウ　ヨシオ）
佐藤　凉子（サトウ　リョウコ）
佐野　栄一（サノ　エイイチ）
佐野　智子（サノ　トモコ）
佐野　洋一郎（サノ　ヨウイチロウ）
佐橋　亮（サハシ　リョウ）
澤井　和彦（サワイ　カズヒコ）
澤村　明（サワムラ　アキラ）
塩川　徹也（シオカワ　テツヤ）
塩谷　雅之（シオタニ　マサユキ）
塩谷　敬（シオノヤ　ケイ）
志賀　義雄（シガ　ヨシオ）

繁田　進（シゲタ　ススム）
重田　晴生（シゲタ　ハルオ）
重光　由加（シゲミツ　ユカ）
宍戸　真（シシド　マコト）
宍戸　渉（シシド　ワタル）
篠﨑　昌子（シノザキ　マサコ）
篠﨑　英樹（シノザキ　ヒデキ）
柴　宜弘（シバ　ノブヒロ）
芝井　清久（シバイ　キヨヒサ）
芝崎　和美（シバサキ　カズミ）
柴崎　聰（シバサキ　サトシ）
柴田　徹（シバタ　トオル）
柴田　教昭（シバタ　ノリアキ）
澁川　顕一（シブカワ　ケンイチ）
澁谷　陽子（シブヤ　ヨウコ）
嶋　正（シマ　タダシ）
島﨑　三津子（シマザキ　ミツコ）
嶋田　淳恵（シマダ　アツエ）
島田　和夫（シマダ　カズオ）
嶋村　元宏（シマムラ　モトヒロ）
清水　信光（シミズ　ノブミツ）
清水　尚哉（シミズ　ヒサヤ）
清水　弥生（シミズ　ヤヨイ）
下澤　礼子（シモザワ　レイコ）
下田　淳（シモダ　ジュン）
赤土　正貴（シャクド　マサタカ）
朱　全安（シュ　ゼンアン）
朱　珉（シュ　ミン）
周　剛（シュウ　ゴウ）
荀　涛（ジュン　トウ）
庄司　達也（ショウジ　タツヤ）
庄子　豊（ショウジ　ユタカ）
正田　良（ショウダ　リョウ）
白井　勢津子（シライ　セツコ）
白岩　拓哉（シライワ　タクヤ）
白土　茂雄（シラド　シゲオ）
白原　由起子（シラハラ　ユキコ）
白藤　博行（シラフジ　ヒロユキ）
白勢　京子（シロセ　キョウコ）
秦　邦生（シン　クニオ）
新宮　富美子（シングウ　フミコ）
新宅　巖（シンタク　イワオ）
新藤　哲雄（シンドウ　テツオ）
真道　洋子（シンドウ　ヨウコ）
新保　良明（シンボ　ヨシアキ）
陶久　明日香（スエヒサ　アスカ）
菅野　昌彦（スガノ　マサヒコ）
菅原　克也（スガワラ　カツヤ）
菅原　純（スガワラ　ジュン）
菅原　恒彦（スガワラ　ツネヒコ）
杉田　多佳子（スギタ　タカコ）
杉野　早苗月（スギノ　サツキ）
杉本　卓（スギモト　タク）
杉山　明（スギヤマ　アキラ）
杉山　裕（スギヤマ　ヒロシ）
鈴木　海三（スズキ　カイゾウ）
鈴木　聡子（スズキ　サトコ）
鈴木　淳平（スズキ　ジュンペイ）
鈴木　隆（スズキ　タカシ）
鈴木　貴宇（スズキ　タカネ）
鈴木　隆芳（スズキ　タカヨシ）
鈴木　健（スズキ　タケシ）
鈴木　匡（スズキ　タダシ）
鈴木　千代（スズキ　チヨ）
鈴木　ふさ子（スズキ　フサコ）
鈴木　美恵子（スズキ　ミエコ）
鈴木　道也（スズキ　ミチヤ）
鈴木　勇一郎（スズキ　ユウイチロウ）
須永　美紀（スナガ　ミキ）
須山　聡（スヤマ　サトシ）
勢力　尚雅（セイリキ　ノブマサ）
関　仁（セキ　ヒトシ）
関口　幸男（セキグチ　ユキオ）
関戸　冬彦（セキド　フユヒコ）
関根　正幸（セキネ　マサユキ）
妹尾　新太郎（セノオ　シンタロウ）
泉水　清志（センスイ　キヨシ）
仙波　圭子（センバ　ケイコ）
曽根　美恵（ソネ　ミエ）
曽根田　純子（ソネダ　ジュンコ）
園田　洋一（ソノダ　ヨウイチ）
田井　健太郎（タイ　ケンタロウ）
大門　芳行（ダイモン　ヨシユキ）
髙井　晉（タカイ　ススム）
高江洲　昌哉（タカエス　マサヤ）
高尾　享幸（タカオ　タカユキ）
髙木　友子（タカキ　ユウコ）
高木　誠一郎（タカギ　セイイチロウ）
髙木　葉子（タカギ　ヨウコ）
髙嶋　景子（タカシマ　ケイコ）
高頭　麻子（タカトウ　マコ）
高橋　徹（タカハシ　トオル）
髙橋　尚子（タカハシ　ナオコ）
高橋　ひさ子（タカハシ　ヒサコ）
髙橋　道子（タカハシ　ミチコ）
髙橋　幸雄（タカハシ　ユキオ）
髙畑　千秋（タカハタ　チアキ）
高部　千春（タカベ　チハル）
髙村　正志（タカムラ　マサシ）
高山　俊則（タカヤマ　トシノリ）
田川　悦子（タガワ　エツコ）
瀧川　裕貴（タキガワ　ヒロキ）
滝沢　昌彦（タキザワ　マサヒコ）
田北　康成（タキタ　ヤスナリ）
田口　幹比古（タグチ　ミキヒコ）
宅間　文夫（タクマ　フミオ）
竹内　倫和（タケウチ　トモカズ）
竹内　智子（タケウチ　トモコ）
竹田　久美子（タケダ　クミコ）
竹田　智志（タケダ　サトシ）
竹中　治堅（タケナカ　ハルカタ）
竹野　一雄（タケノ　カズオ）
田代　一聡（タシロ　カズトシ）
田嶋　規雄（タジマ　ノリオ）
多田　寿康（タダ　トシヤス）
多々良　源（タタラ　ゲン）
立松　隆介（タテマツ　リュウスケ）
立山　利治（タテヤマ　トシハル）
田所　承己（タドコロ　ヨシキ）
田中　昭（タナカ　アキラ）
田中　亜美（タナカ　アミ）
田中　恵美子（タナカ　エミコ）
田中　訓子（タナカ　クニコ）
田中　城次郎（タナカ　ジョウジロウ）
田中　信司（タナカ　シンジ）
田中　孝文（タナカ　タカフミ）
田中　敬文（タナカ　タカフミ）
田中　成行（タナカ　ナリユキ）
田中　憲彦（タナカ　ノリヒコ）
田中　秀隆（タナカ　ヒデタカ）
田中　正邦（タナカ　マサクニ）
田中　裕司（タナカ　ユウジ）
田中　洋平（タナカ　ヨウヘイ）
谷口　康浩（タニグチ　ヤスヒロ）
谷澤　叙彦（タニザワ　ノブヒコ）
田原　啓祐（タハラ　ケイスケ）
太原　孝英（タハラ　タカヒデ）
玉井　朗（タマイ　アキラ）
田村　惠一（タムラ　ケイイチ）
田村　達久（タムラ　タツヒサ）
丹波　美佐子（タンバ　ミサコ）
漆　紅（チー　ホン）
近本　謙介（チカモト　ケンスケ）
千々岩　靖子（チヂイワ　ヤスコ）
千々松　和夫（チヂマツ　カズオ）
茅野　嘉司郎（チノ　カシロウ）
千葉　一大（チバ　イチダイ）
千葉　悦子（チバ　エツコ）
千葉　淳一（チバ　ジュンイチ）
千葉　宏史（チバ　ヒロフミ）
千葉　優子（チバ　ユウコ）
趙　聖九（チョ　ソンク）
趙　小鳳（チョウ　ショウホウ）
張　明傑（チョウ　メイケツ）
千代島　雅（チヨジマ　タダシ）
鄭　洲（チョン　ジュ）
陳　祖蓓（チン　ソバイ）
塚田　朋子（ツカダ　トモコ）
塚田　雅也（ツカダ　マサヤ）
塚田　麻里子（ツカダ　マリコ）
塚原　拓馬（ツカハラ　タクマ）
塚本　俊也（ツカモト　トシヤ）
佃　陽子（ツクダ　ヨウコ）
辻　リン（ツジ　リン）
辻本　拓司（ツジモト　タクジ）
津田　千悦子（ツダ　チエコ）
土田　久美子（ツチダ　クミコ）
土屋　明美（ツチヤ　アケミ）
土屋　菜穂子（ツチヤ　ナオコ）
土屋　文子（ツチヤ　フミコ）
土屋　良二（ツチヤ　リョウジ）
堤　一彦（ツツミ　カズヒコ）
堤　ちはる（ツツミ　チハル）
堤　康徳（ツツミ　ヤスノリ）
敦賀　陽一郎（ツルガ　ヨウイチロウ）
津留﨑　毅（ツルサキ　タケシ）
鶴見　典子（ツルミ　ノリコ）
ティムソン　真澄（ティムソン　マスミ）
手塚　裕子（テヅカ　ユウコ）
寺田　至（テラダ　イタル）
寺田　誠一（テラダ　セイイチ）
寺戸　淳子（テラド　ジュンコ）
寺西　範恭（テラニシ　ノリヤス）
寺林　賢司（テラバヤシ　ケンジ）
東松　秀雄（トウマツ　ヒデオ）
道用　大介（ドウヨウ　ダイスケ）
遠山　明子（トオヤマ　アキコ）
時弘　哲治（トキヒロ　テツジ）
徳田　英明（トクダ　エイメイ）
徳田　皇毅（トクダ　コウキ）
徳永　健伸（トクナガ　タケノブ）
得能　壽美（トクノウ　トシミ）
土佐　尚子（トサ　ナオコ）
戸田　勉（トダ　ツトム）
戸田　真夏（トダ　マナツ）
戸田　裕美子（トダ　ユミコ）
飛田　綾子（トビタ　アヤコ）
蓬郷　尚代（トマゴウ　ヒサヨ）
富澤　達三（トミザワ　タツゾウ）
富田　悠生（トミタ　ユウキ）
友澤　宏隆（トモザワ　ヒロタカ）
友野　清文（トモノ　キヨフミ）
外山　真理（トヤマ　マリ）
鳥越　泰彦（トリゴエ　ヤスヒコ）
トレント　信子（トレント　ノブコ）
内藤　雅一（ナイトウ　マサカズ）
内藤　正人（ナイトウ　マサト）
内藤　元和（ナイトウ　ユキカズ）
奈尾　信英（ナオ　ノブヒデ）
永井　淳子（ナガイ　ジュンコ）
中井　均（ナカイ　ヒトシ）
長井　秀友（ナガイ　ヒデトモ）
長江　眞弥（ナガエ　ナオヤ）
長尾　敦子（ナガオ　アツコ）
中尾　麻衣子（ナカオ　マイコ）
中尾　正史（ナカオ　マサシ）
長岡　政憲（ナガオカ　マサノリ）
中兼　和津次（ナカガネ　カツジ）
中川　明博（ナカガワ　アキヒロ）
中川　千恵子（ナカガワ　チエコ）
中川　雅貴（ナカガワ　マサキ）
中川　恭明（ナカガワ　ヤスアキ）
長島　一比古（ナガシマ　カズヒコ）
中島　隆（ナカジマ　タカシ）
中島　秀男（ナカジマ　ヒデオ）
中島　洋（ナカジマ　ヒロシ）
中島　理暁（ナカシマ　マサアキ）
中嶋　幸子（ナカジマ　ユキコ）

中曽根　敬子 (ナカソネ　ケイコ)
仲田　大人 (ナカタ　ヒロト)
中田　裕康 (ナカタ　ヒロヤス)
永谷　万里雄 (ナガタニ　マリオ)
永田　雅啓 (ナガタ　マサヒロ)
中條　誠一 (ナカジョウ　セイイチ)
中西　史 (ナカニシ　フミ)
中野　京子 (ナカノ　キョウコ)
中野　基光 (ナカノ　モトミツ)
長浜　三千代 (ナガハマ　ミチヨ)
中原　暁彦 (ナカハラ　アキヒコ)
中原　裕貴 (ナカハラ　ユタカ)
長又　高夫 (ナガマタ　タカオ)
中村　馨 (ナカムラ　カオル)
中村　貴美子 (ナカムラ　キミコ)
中村　國則 (ナカムラ　クニノリ)
中村　直子 (ナカムラ　ナオコ)
中村　尚子 (ナカムラ　ナオコ)
中村　祐子 (ナカムラ　ユウコ)
中本　恭平 (ナカモト　キョウヘイ)
中山　健 (ナカヤマ　タケシ)
中山　豊 (ナカヤマ　ユタカ)
南雲　智 (ナグモ　サトル)
梨本　進 (ナシモト　ススム)
夏目　麻子 (ナツメ　アサコ)
夏目　省悟 (ナツメ　ショウゴ)
夏目　康子 (ナツメ　ヤスコ)
鯰　博行 (ナマズ　ヒロユキ)
楢橋　祥一 (ナラハシ　ショウイチ)
成家　亘宏 (ナリヤ　ノブヒロ)
成瀬　俊一 (ナルセ　シュンイチ)
難波　和子 (ナンバ　カズコ)
新居　美津子 (ニイ　ミツコ)
新野　直哉 (ニイノ　ナオヤ)
新村　香 (ニイムラ　カオリ)
西　和彦 (ニシ　カズヒコ)
西井　正造 (ニシイ　ショウゾウ)
西海　孝夫 (ニシウミ　タカオ)
西岡　祥文 (ニシオカ　ヨシフミ)
西川　恵 (ニシカワ　メグミ)
西島　央 (ニシジマ　ヒロシ)
西田　依麻 (ニシダ　エマ)
西土　彰一郎 (ニシド　ショウイチロウ)
仁科　貞文 (ニシナ　サダフミ)
西原　稔 (ニシハラ　ミノル)
西村　まりこ (ニシムラ　マリコ)
西村　美香 (ニシムラ　ミカ)
西村　洋一 (ニシムラ　ヨウイチ)
西山　勝昭 (ニシヤマ　カツアキ)
西山　千恵子 (ニシヤマ　チエコ)
新田　司 (ニッタ　ツカサ)
二宮　修治 (ニノミヤ　シュウジ)
丹羽　さがの (ニワ　サガノ)
庭野　延子 (ニワノ　ノブコ)
額谷　修二 (ヌカタニ　シュウジ)
根岸　徹郎 (ネギシ　テツロウ)
根岸　知生 (ネギシ　トモオ)
祢津　啓 (ネツ　アキラ)
野木　香里 (ノギ　カオリ)
野口　和彦 (ノグチ　カズヒコ)
野田　研一 (ノダ　ケンイチ)
野田　秀三 (ノダ　シュウゾウ)
野津　寛 (ノツ　ヒロシ)
野津　浩 (ノヅ　ヒロシ)
野中　雅代 (ノナカ　マサヨ)
野村　昌代 (ノムラ　マサヨ)
野村　祐之 (ノムラ　ユウシ)
野本　茂夫 (ノモト　シゲオ)
乗富　秀富 (ノリトミ　ヒデタカ)
萩原　綾 (ハギワラ　アヤ)
白　榮勛 (ハク　エイクン)
朴　倍暎 (パク　ベエヨン)
橋本　到 (ハシモト　イタル)
橋本　克己 (ハシモト　カツミ)
橋本　健一 (ハシモト　ケンイチ)
橋本　早予 (ハシモト　サヨ)
橋本　貴子 (ハシモト　タカコ)
長谷川　明子 (ハセガワ　アキコ)
長谷川　淳一 (ハセガワ　ジュンイチ)
長谷川　宜之 (ハセガワ　ヨシユキ)
杤山　茂樹 (ハゼヤマ　シゲキ)
畑中　千晶 (ハタナカ　チアキ)
波多野　知子 (ハタノ　トモコ)
服部　カトリーヌ
(ハットリ　カトリーヌ)
花岡　民子 (ハナオカ　タミコ)
羽田　雄一 (ハネダ　ユウイチ)
浜田　一宇 (ハマダ　カズイエ)
濱田　瑞美 (ハマダ　タマミ)
濱田　庸子 (ハマダ　ヨウコ)
濱村　良久 (ハマムラ　ヨシヒサ)
早川　亜里 (ハヤカワ　アリ)
早川　淳 (ハヤカワ　ジュン)
早川　勉 (ハヤカワ　ツトム)
早川　洋子 (ハヤカワ　ヨウコ)
早坂　五郎 (ハヤサカ　ゴロウ)
早崎　鐘基 (ハヤサキ　ショウキ)
林　克彦 (ハヤシ　カツヒコ)
林　精子 (ハヤシ　セイコ)
林　力 (ハヤシ　チカラ)
林　英樹 (ハヤシ　ヒデキ)
林　茂人 (ハヤシ　マキト)
林　正樹 (ハヤシ　マサキ)
林　康子 (ハヤシ　ヤスコ)
林　瑠美子 (ハヤシ　ルミコ)
林田　愛 (ハヤシダ　アイ)
早野　薫 (ハヤノ　カオル)
羽山　博 (ハヤマ　ヒロシ)
原　潔 (ハラ　キヨシ)
原　卓史 (ハラ　タカシ)
原　佑二 (ハラ　ユウジ)
原田　敦史 (ハラダ　アツシ)
原田　理恵 (ハラダ　リエ)
春名　宏昭 (ハルナ　ヒロアキ)
伴　好彦 (バン　ヨシヒコ)
范　力 (ハン　リキ)
半田　純子 (ハンダ　ジュンコ)
樋口　泰裕 (ヒグチ　ヤスヒロ)
彦江　智弘 (ヒコエ　トモヒロ)
日高　薫 (ヒダカ　カオリ)
日野　康一郎 (ヒノ　コウイチロウ)
日吉　和子 (ヒヨシ　カズコ)
平井　聰丞 (ヒライ　ソウスケ)
平井　孝志 (ヒライ　タカシ)
平尾　清 (ヒラオ　キヨシ)
平岡　敦 (ヒラオカ　アツシ)
平岡　久夫 (ヒラオカ　ヒサオ)
平木　真快 (ヒラキ　シンカイ)
平野　晶子 (ヒラノ　アキコ)
平野　信輔 (ヒラノ　シンスケ)
平野　正樹 (ヒラノ　マサキ)
平松　博 (ヒラマツ　ヒロシ)
平山　修平 (ヒラヤマ　シュウヘイ)
平山　真理 (ヒラヤマ　マリ)
広瀬　洋子 (ヒロセ　ヨウコ)
広瀬　佳一 (ヒロセ　ヨシカズ)
広田　紘一 (ヒロタ　コウイチ)
廣田　尚子 (ヒロタ　ナオコ)
廣田　治子 (ヒロタ　ハルコ)
廣本　寿夫 (ヒロモト　ヒサオ)
深井　智朗 (フカイ　トモアキ)
深井　吉男 (フカイ　ヨシオ)
深江　敬志 (フカエ　ケイジ)
福士　由紀 (フクシ　ユキ)
福島　君子 (フクシマ　キミコ)
福島　尚文 (フクシマ　ナオフミ)
福嶋　揚 (フクシマ　ヨウ)
福嶋　義博 (フクシマ　ヨシヒロ)
福田　耕介 (フクダ　コウスケ)
福田　保 (フクダ　タモツ)
福富　満久 (フクトミ　ミツヒサ)
藤尾　美佐 (フジオ　ミサ)
藤掛　洋子 (フジカケ　ヨウコ)
藤倉　達郎 (フジクラ　タツロウ)
藤沢　千代勝 (フジサワ　チヨカツ)
藤田　孝弥 (フジタ　タカヤ)
藤田　泰正 (フジタ　ヤスマサ)
藤田　幸広 (フジタ　ユキヒロ)
藤林　道夫 (フジバヤシ　ミチオ)
藤原　正仁 (フジハラ　マサヒト)
藤牧　新 (フジマキ　アラタ)
藤牧　喜久子 (フジマキ　キクコ)
藤巻　光浩 (フジマキ　ミツヒロ)
藤村　待子 (フジムラ　マチコ)
藤本　敬三 (フジモト　ケイゾウ)
藤本　満 (フジモト　ミツル)
藤本　頼人 (フジモト　ヨリヒト)
藤山　美典 (フジヤマ　ヨシノリ)
藤原　淳賀 (フジワラ　アツヨシ)
藤原　一弘 (フジワラ　カズヒロ)
冨士原　紀絵 (フジワラ　キエ)
藤原　雅子 (フジワラ　マサコ)
藤原　義博 (フジワラ　ヨシヒロ)
布施　克彦 (フセ　カツヒコ)
二村　まどか (フタムラ　マドカ)
船木　順一 (フナキ　ジュンイチ)
船木　亨 (フナキ　トオル)
舟橋　美香 (フナハシ　ミカ)
船水　直子 (フナミズ　ナオコ)
降旗　千恵 (フリハタ　チエ)
古川　江里子 (フルカワ　エリコ)
古田　知章 (フルタ　トモアキ)
古田　洋 (フルタ　ヒロシ)
古屋　秀樹 (フルヤ　ヒデキ)
古屋　龍太 (フルヤ　リュウタ)
部家　直樹 (ヘヤ　ナオキ)
保苅　尚 (ホカリ　ヒサシ)
保坂　佳男 (ホサカ　ヨシオ)
星﨑　和子 (ホシザキ　カヅコ)
星崎　幸子 (ホシザキ　サチコ)
星野　愛秀 (ホシノ　アイシュウ)
細谷　等 (ホソヤ　ヒトシ)
堀　宏治 (ホリ　コウジ)
堀　健志 (ホリ　タケシ)
堀　暖 (ホリ　ダン)
堀　千和子 (ホリ　チワコ)
堀　広治 (ホリ　ヒロハル)
堀　芙三夫 (ホリ　フミオ)
堀　有喜衣 (ホリ　ユキエ)
堀尾　あづみ (ホリオ　アヅミ)
堀尾　耕一 (ホリオ　コウイチ)
堀川　洋子 (ホリカワ　ヨウコ)
本所　靖博 (ホンジョ　ヤスヒロ)
本清　耕造 (ホンセイ　コウゾウ)
本田　明美 (ホンダ　アケミ)
本田　龍央 (ホンダ　タツオ)
本田　英郎 (ホンダ　ヒデオ)
本田　秀仁 (ホンダ　ヒデヒト)
本間　俊一 (ホンマ　トシカズ)
本間　晴樹 (ホンマ　ハルキ)
本間　裕章 (ホンマ　ヒロアキ)
本間　裕子 (ホンマ　ヒロコ)
洪　玧伸 (ホン　ユンシン)
前川　孝雄 (マエカワ　タカオ)
前沢　明枝 (マエザワ　アキエ)
前島　和也 (マエジマ　カズヤ)
前田　多美子 (マエダ　タミコ)
前野　澄子 (マエノ　スミコ)
馬　燕 (マ　エン)
益井　明子 (マスイ　アキコ)
益井　岳樹 (マスイ　タカキ)
升本　潔 (マスモト　キヨシ)
俣野　房子 (マタノ　フサコ)
町田　隆吉 (マチダ　タカヨシ)
町田　俊之 (マチダ　トシユキ)
町田　行男 (マチダ　ユキオ)
松井　賢治 (マツイ　ケンジ)
松井　洋 (マツイ　ヒロシ)

松井　浩（マツイ　ヒロシ）
松尾　知明（マツオ　トモアキ）
松岡　チカ子（マツオカ　チカコ）
松嵜　英士（マツザキ　エイジ）
松崎　かおり（マツザキ　カオリ）
松嵜　くみ子（マツザキ　クミコ）
松崎　毅（マツザキ　タケシ）
松澤　孝紀（マツザワ　タカトシ）
松下　純一（マツシタ　ジュンイチ）
松下　正弘（マツシタ　マサヒロ）
松下　みどり（マツシタ　ミドリ）
松田　英子（マツダ　エイコ）
松田　英（マツダ　スグル）
松田　奈利子（マツダ　ナリコ）
松野　彩（マツノ　アヤ）
松村　茂樹（マツムラ　シゲキ）
松村　芳明（マツムラ　ヨシアキ）
松本　麻子（マツモト　アサコ）
松本　恵美子（マツモト　エミコ）
松本　旬子（マツモト　ジュンコ）
松本　光朗（マツモト　ミツオ）
松本　渉（マツモト　ワタル）
真殿　達（マドノ　サトル）
眞部　清孝（マナベ　キヨタカ）
真鍋　淳哉（マナベ　ジュンヤ）
眞鍋　正紀（マナベ　マサノリ）
馬渕　彰（マブチ　アキラ）
馬渡　鎮夫（マワタリ　シズオ）
三浦　逸雄（ミウラ　イツオ）
三浦　太郎（ミウラ　タロウ）
三浦　正広（ミウラ　マサヒロ）
三上　威彦（ミカミ　タケヒコ）
三神　弘子（ミカミ　ヒロコ）
美甘　哲秀（ミカモ　テツヒデ）
三木　泰弘（ミキ　ヤスヒロ）
水嶋　裕子（ミズシマ　ヒロコ）
水島　陽子（ミズシマ　ヨウコ）
水谷　尚子（ミズタニ　ナオコ）
水野　利紀（ミズノ　トシキ）
水野　浩幸（ミズノ　ヒロユキ）
水本　義彦（ミズモト　ヨシヒコ）
見世　千賀子（ミセ　チカコ）
溝口　甲順（ミゾグチ　カプスン）
三田村　智（ミタムラ　サトシ）
道下　徳成（ミチシタ　ナルシゲ）
三井　はるみ（ミツイ　ハルミ）
三井　清（ミツイ　キヨシ）
光延　京子（ミツノブ　キョウコ）
三橋　郁雄（ミツハシ　イクオ）
南山　宏之（ミナミヤマ　ヒロユキ）
三原　裕子（ミハラ　ユウコ）
宮尾　依子（ミヤオ　ヨリコ）
宮川　真一（ミヤガワ　シンイチ）
宮城　妙子（ミヤギ　タエコ）
三宅　京子（ミヤケ　キョウコ）
三宅　正純（ミヤケ　マサスミ）
三宅　麻理（ミヤケ　マリ）
宮越　智子（ミヤコシ　トモコ）
宮崎　克己（ミヤザキ　カツミ）
宮崎　文典（ミヤザキ　フミノリ）
宮﨑　美智子（ミヤザキ　ミチコ）
宮沢　厚雄（ミヤサワ　アツオ）
宮下　聡子（ミヤシタ　サトコ）
宮部　頼子（ミヤベ　ヨリコ）
宮丸　裕二（ミヤマル　ユウジ）
宮本　和武（ミヤモト　カズム）
宮本　直利（ミヤモト　ナオトシ）
宮森　孝史（ミヤモリ　タカシ）
宮脇　和（ミヤワキ　カノウ）
明日　誠一（ミョウガ　セイイチ）
三輪　イルマ（ミワ　イルマ）
三輪　久惠（ミワ　ヒサエ）
向島　正喜（ムコウジマ　マサキ）
宗実　陽子（ムネザネ　ヨウコ）
村井　英紀（ムライ　ヒデノリ）
村岡　正敏（ムラオカ　マサトシ）
村上　桂一（ムラカミ　ケイイチ）
村椿　真理（ムラツバキ　マコト）
村中　崇信（ムラナカ　タカノブ）
村中　亮子（ムラナカ　リョウコ）
村松　廣二（ムラマツ　コウジ）
村山　祐季子（ムラヤマ　ユキコ）
妻鹿　裕子（メガ　ユウコ）
目黒　正武（メグロ　マサタケ）
持田　顕一（モチダ　ケンイチ）
望月　正光（モチヅキ　マサミツ）
元山　斉（モトヤマ　ヒトシ）
森　一郎（モリ　イチロウ）
森　啓次郎（モリ　ケイジロウ）
森　幸穂（モリ　サチホ）
森　徹（モリ　トオル）
森　長秀（モリ　ナガヒデ）
森　晴代（モリ　ハルヨ）
森　秀夫（モリ　ヒデオ）
森　秀善（モリ　ヒデヨシ）
森　正樹（モリ　マサキ）
森　雅文（モリ　マサフミ）
森崎　初男（モリサキ　ハツオ）
森田　茂之（モリタ　シゲユキ）
森田　千草（モリタ　チグサ）
森田　英利（モリタ　ヒデトシ）
森本　真一（モリモト　シンイチ）
森本　平（モリモト　タイラ）
森山　久留美（モリヤマ　クルミ）
両角　亜希子（モロズミ　アキコ）
八重田　美衣（ヤエダ　ミエ）
矢ヶ崎　隆二郎（ヤガサキ　リュウジロウ）
八木　直人（ヤギ　ナオト）
八木岡　茂一（ヤギオカ　モイチ）
薬　会（ヤク　カイ）
谷口　幸一（ヤグチ　コウイチ）
矢頭　攸介（ヤズ　ユウスケ）
安田　孝子（ヤスダ　タカコ）
安田　努（ヤスダ　ツトム）
安富　義泰（ヤストミ　ヨシヤス）
安原　伸一朗（ヤスハラ　シンイチロウ）
谷田　征子（ヤツダ　マサコ）
箭内　道彦（ヤナイ　ミチヒコ）
柳　宏（ヤナギ　ヒロシ）
柳澤　波香（ヤナギサワ　ナミカ）
柳原　恵津子（ヤナギハラ　エツコ）
矢野　陽子（ヤノ　ヨウコ）
矢延　洋泰（ヤノブ　ヒロヤス）
山内　豊（ヤマウチ　ユタカ）
山岡　透（ヤマオカ　トオル）
山岡　洋一（ヤマオカ　ヨウイチ）
山影　進（ヤマカゲ　ススム）
山上　真貴子（ヤマガミ　マキコ）
八巻　直一（ヤマキ　ナオカズ）
山岸　健一（ヤマギシ　ケンイチ）
山北　宣久（ヤマキタ　ノブヒサ）
山口　浩平（ヤマグチ　コウヘイ）
山口　しのぶ（ヤマグチ　シノブ）
山口　昌也（ヤマグチ　マサヤ）
山口　まどか（ヤマグチ　マドカ）
山口　理沙（ヤマグチ　リサ）
山崎　朗（ヤマザキ　アキラ）
山﨑　和美（ヤマザキ　カズミ）
山﨑　俊明（ヤマザキ　トシアキ）
山下　清美（ヤマシタ　キヨミ）
山田　晶雄（ヤマダ　アキオ）
山田　歩（ヤマダ　アユミ）
山田　高敬（ヤマダ　タカヒロ）
山田　忠彰（ヤマダ　タダアキ）
山田　晴通（ヤマダ　ハルミチ）
山田　博志（ヤマダ　ヒロシ）
山田　寛子（ヤマダ　ヒロコ）
山田　好一（ヤマダ　ヨシカズ）
大和　洋子（ヤマト　ヨウコ）
山中　宏治（ヤマナカ　コウジ）
山根　信二（ヤマネ　シンジ）
山内　康英（ヤマノウチ　ヤスヒデ）
山邊　進（ヤマベ　ススム）
山邉　美登子（ヤマベ　ミトコ）
山本　昭代（ヤマモト　アキヨ）
山本　直人（ヤマモト　ナオト）
山本　宣明（ヤマモト　ノブアキ）
山本　泰生（ヤマモト　ヤスオ）
山本　裕一（ヤマモト　ユウイチ）
山本　幸生（ヤマモト　ユキオ）
山本　吉宣（ヤマモト　ヨシノブ）
湯川　次義（ユカワ　ツギヨシ）
横江　公美（ヨコエ　クミ）
横川　耕二（ヨコカワ　コウジ）
横田　逸郎（ヨコタ　イツロウ）
横田　順子（ヨコタ　ジュンコ）
横山　俊一（ヨコヤマ　シュンイチ）
横山　詔一（ヨコヤマ　ショウイチ）
横山　晴彦（ヨコヤマ　ハルヒコ）
吉岡　愛子（ヨシオカ　アイコ）
吉岡　貴雄（ヨシオカ　タカオ）
吉岡　秀輝（ヨシオカ　ヒデキ）
吉川　真（ヨシカワ　マコト）
芳川　ゆかり（ヨシカワ　ユカリ）
吉川　好昭（ヨシカワ　ヨシアキ）
吉田　典代（ヨシダ　ノリヨ）
吉田　パトリシア（ヨシダ　パトリシア）
吉田　寛（ヨシダ　ヒロシ）
吉冨　透（ヨシトミ　トウル）
吉本　素子（ヨシモト　モトコ）
米倉　律（ヨネクラ　リツ）
米田　博美（ヨネダ　ヒロミ）
米山　明日香（ヨネヤマ　アスカ）
羅　奇祥（ラ　キショウ）
李　鴻谷（リ　コウコク）
李　錚強（リ　ソウキョウ）
李　哲権（リ　テツケン）
流郷　吐夢（リュウゴウ　トム）
若園　智明（ワカゾノ　チアキ）
涌井　陽子（ワクイ　ヨウコ）
和治元　義博（ワジモト　ヨシヒロ）
渡邉　章（ワタナベ　アキラ）
渡辺　聡（ワタナベ　アキラ）
渡辺　敦子（ワタナベ　アツコ）
渡辺　紫乃（ワタナベ　シノ）
渡辺　隆司（ワタナベ　タカシ）
渡邊　貴彦（ワタナベ　タカヒコ）
渡辺　岳夫（ワタナベ　タケオ）
渡部　富栄（ワタナベ　トミエ）
渡邊　直樹（ワタナベ　ナオキ）
渡邉　英則（ワタナベ　ヒデノリ）
渡辺　浩（ワタナベ　ヒロシ）
渡辺　博之（ワタナベ　ヒロユキ）
渡邉　雅之（ワタナベ　マサユキ）
渡邉　義浩（ワタナベ　ヨシヒロ）
渡部　良子（ワタベ　リョウコ）

学務担当窓口について

キャンパス	学務担当窓口	事務取扱時間	
相模原キャンパス	学務グループ （B棟1階 スチューデントセンター）	（月～金） 9：00 ～ 11：30 12：30 ～ 15：05 16：05 ～ 17：00	（土） 9：00 ～ 11：30
青山キャンパス	学務部　教務課 （8号館1階）	（月～金） 9：00 ～ 15：00 16：00 ～ 20：00	（土） 9：00 ～ 11：30 14：00 ～ 20：00
	学務部　教職課程課 （8号館1階）	（月・水・木） 9：00 ～ 11：30 12：30 ～ 16：00 （火・金） 9：00 ～ 11：30 12：30 ～ 16：00 17：00 ～ 20：00	（土） 9：00 ～ 11：30

＊長期休業など、授業期間以外の事務取り扱いについては「学生ポータル」で伝達いたします。

窓口で取り扱う業務：

●履修・成績に関すること　●授業に関すること　●休学・退学などの学籍に関する願出
●教職課程(教員免許状)および各種資格(司書教諭･司書･学芸員･社会教育主事)取得に関すること
●証明書の交付

種　類	取扱窓口	手数料(1通につき)
在学証明書	証明書自動発行機 注1) 所属キャンパスの学務担当窓口	和文　200円 英文　400円
成績証明書		
卒業見込証明書		
本学が定めた様式以外の証明書 注2)	所属キャンパスの学務担当窓口	
学力に関する証明書	青山キャンパス教職課程課 相模原キャンパス教職課程担当窓口	和文　400円
免許状取得見込証明書		和文　200円
各種資格取得見込証明書		
健康診断証明書	証明書自動発行機 注1) 英文・指定用紙は保健管理センター	和文　200円 英文　400円

注1）在学生の証明書発行は、原則として自動発行機をお使いください。
注2）即日発行できない証明書があるので事前に取扱窓口で確認してください。

＊電話など、窓口以外での受付には原則として応じません。
＊提出物は期限を厳守してください。締切後の取り扱いは一切行いません。

地の塩、世の光

The Salt of the Earth,The Light of the World

青山学院スクール・モットー

学生番号

氏　　名